

中部国際空港における航空旅客 流動の実態と訪日外国人旅行者 の地域別特徴に関する実証分析

2025年6月

公益財団法人 中部圏社会経済研究所

はじめに

当財団は、2011 年 4 月に財団法人中部空港調査会（2011 年 3 月をもって解散）から航空・空港に関する調査研究事業を引き継ぎ、中部圏の航空・空港の発展に資する調査研究を行っています。2011～2012 年度は「中部広域圏における国際航空旅客動態と課題」、2013～2014 年度は「中部圏航空・空港政策の戦略調査」、2015～2016 年度は「大交流時代に即した中部国際空港のあるべき姿～名古屋大都市圏の航空・空港の将来像調査～」、2017～2018 年度は「中部国際空港の現状と目指すべき方向性～中部国際空港の将来像調査～」、2019～2020 年度は「中部国際空港の開港効果～第 2 滑走路の実現に向けて～」、そして 2021～2022 年度は「第 3 都市圏における空港と航空輸送に関する考察～日英比較を中心に～」と題した報告書を取りまとめてきました。

開港から 20 年を迎えた現在、中部国際空港では、第 2 滑走路の整備計画が進められています。これは滑走路の補修を目的としていますが、滑走路の処理能力が約 1.2 倍にまで拡大します。この機会を最大限に活かすためには、中部圏における一層の航空需要の創出が重要となります。新型コロナウイルスから完全回復後の成長戦略を描くために、また、我が国における国際拠点空港の一翼を担うためには、中部圏で重要な役割を担っている中部国際空港に求められる今後の役割について、さらに調査研究を進めていかなければなりません。

本調査研究を実施するにあたっては、「中部国際空港の将来像調査研究会」（座長：慶應義塾大学 商学部 加藤一誠 教授）を設置し、学識者による調査、研究、審議をいただきました。また、研究会には、オブザーバーとして、中部国際空港株式会社さま、ならびに、一般社団法人中部経済連合会さまに参加いただき、情報の提供、ならびに、ご意見などを頂戴いたしました。ここに深く感謝を申し上げる次第です。

本調査研究報告書が、中部国際空港の第 2 滑走路の早期実現への一助となれば幸いです。

2025 年 3 月

公益財団法人中部圏社会経済研究所

調査研究体制

本調査研究では、航空政策に学識・見識の高い 9 名で構成する「中部国際空港の将来像調査研究会」を設置し、2023 年度と 2024 年度の 2 年間にわたって、検討を行いました。ここに記して、心より深く感謝申し上げます。

中部国際空港の将来像調査研究会

【座 長】

加藤 一誠 慶應義塾大学 商学部 教授

【委 員】

奥田 隆明 南山大学 経営学部 教授

後藤 孝夫 中央大学 経済学部 教授

手塚 広一郎 日本大学 経済学部 教授

秀島 栄三 名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授

松本 秀暢 関西学院大学 総合政策学部 教授

堂前 光司 関西外国語大学 外国語学部 准教授

紀村 真一郎 愛知教育大学 社会科教育講座 講師

中村 知識 慶應義塾大学 商学部 助教

【オブザーバー】

中部国際空港株式会社、一般社団法人 中部経済連合会

【事務局】

公益財団法人 中部圏社会経済研究所

目 次

序 章	1
第 1 章 中部国際空港における航空旅客流動の実態	3
1.1 OAG データの概要と分析対象期間および比較対象空港	3
1.1.1 OAG データの概要	3
1.1.2 分析対象期間	3
1.1.3 中部国際空港の比較対象空港	3
1.1.4 OAG データと国土交通省統計の整合性	4
1.2 中部国際空港と比較対象空港における航空旅客流動の概況	6
1.2.1 航空旅客流動の類型化	6
1.2.2 類型別航空旅客流動	7
1.2.3 乗換（ハブ）空港としての特徴	10
1.2.4 東京 2 空港経由の航空旅客流動	12
1.3 中部国際空港と比較対象空港における航空旅客流動の実態	24
1.3.1 ローカル	24
1.3.2 ビヨンド	28
1.3.3 ビハインド	36
1.3.4 ブリッジ	44
第 2 章 空港後背圏の設定と国内航空旅客流動の決定要因	56
2.1 空港後背圏と航空旅客流動	56
2.1.1 先行研究	56
2.1.2 EU とイギリスにおける地域分類	57
2.2 空港後背圏の設定	58
2.2.1 設定方法	58
2.2.2 設定結果	59
2.3 国内航空旅客流動の決定要因	60
2.3.1 分析方法	60
2.3.2 分析結果	62
2.3.3 モデルの再現性	63
2.4 中部国際空港の後背圏と国内旅客の現状	64
2.4.1 中部国際空港の後背圏	64

2.4.2 中部国際空港における国内線の検証	65
第3章 訪日外国人旅行者の都道府県別国籍別検証	72
3.1 訪日外国人旅行者の概要	72
3.1.1 国籍別訪日外国人旅行者数の推移	72
3.1.2 国籍別訪日外国人延べ宿泊者数の推移	74
3.2 訪日外国人旅行者の都道府県別国籍別地域特性	76
3.2.1 利用データ	76
3.2.2 分析対象期間	77
3.2.3 ハーフインダール・ハーシュマン指数	77
(1) 分析方法	77
(2) 分析結果	78
3.2.4 特化係数	81
(1) 分析方法	81
(2) 分析結果	82
3.3 中部圏における訪日外国人旅行者数増加に向けた政策的含意	95
3.3.1 岐阜県における取り組み	95
3.3.2 これからの観光政策に向けた政策的含意	96
終 章	98
参考文献	101
(参考)【詳細表】	106
1. 中部国際空港	106
1.1 ビヨンド	106
1.1.1 経由空港	106
1.1.2 目的空港	111
1.2 ビハインド	116
1.2.1 出発空港	116
1.2.2 目的空港	122
1.3 ブリッジ	126
2. 関西国際空港	136
2.1 ビヨンド	136
2.1.1 経由空港	136

2.1.2	目的空港	141
2.2	ビハインド	146
2.2.1	出発空港	146
2.2.2	目的空港	152
2.3	ブリッジ	156
3.	福岡空港	166
3.1	ビヨンド	166
3.1.1	経由空港	166
3.1.2	目的空港	171
3.2	ビハインド	176
3.2.1	出発空港	176
3.2.2	目的空港	182
3.3	ブリッジ	186

図表一覧

【図一覧】

図 1.1 航空旅客流動の 4 類型

図 2.1 EU における地方区画

(1) NUTS 1

(2) NUTS 2

(3) NUTS 3

図 2.2 我が国における国内航空旅客を対象とした空港後背圏

図 2.3 モデルの再現性

(1) 全 217 路線

(2) 213 路線（上位 4 路線除外）

図 2.4 モデルの再現性（中部国際空港発着路線）

図 2.5 比較対象空港におけるモデルの再現性

(1) 関西国際空港

(2) 福岡空港

(3) 成田国際空港

(4) 東京国際空港

(5) 大阪国際空港

(6) 神戸空港

図 3.1 国籍別訪日外国人旅行者数の推移

図 3.2 国籍別外国人延べ宿泊者数の推移

図 3.3 都道府県別 HHI

(1) 2013 年

(2) 2023 年

図 3.4 分析対象 20 ヶ国における都道府県別特化係数の概要

(1) 韓国人旅行者

①2013 年

②2023 年

(2) 中国人旅行者

①2013 年

②2023 年

(3) 台湾人旅行者

①2013 年

②2023 年

(4) 香港人旅行者

①2013 年

②2023 年

(5) タイ人旅行者

①2013 年

②2023 年

(6) マレーシア人旅行者

①2013 年

②2023 年

(7) シンガポール人旅行者

①2013 年

②2023 年

(8) インドネシア人旅行者

①2013 年

②2023 年

(9) フィリピン人旅行者

①2013 年

②2023 年

(10) ベトナム人旅行者

①2013 年

②2023 年

(11) インド人旅行者

①2013 年

②2023 年

(12) オーストラリア人旅行者

①2013 年

②2023 年

(13) イギリス人旅行者

①2013 年

②2023 年

(14) フランス人旅行者

①2013 年

②2023 年

(15) ドイツ人旅行者

①2013 年

②2023 年

(16) イタリア人旅行者

②2023 年

(17) スペイン人旅行者

②2023 年

(18) ロシア人旅行者

①2013 年

②2023 年

(19) アメリカ人旅行者

①2013 年

②2023 年

(20) カナダ人旅行者

①2013 年

②2023 年

【表一覧】

表 1.1 我が国における旅客数の多い上位 10 空港

- (1) 国内線
- (2) 国際線

表 1.2 OAG と空港管理状況調書との比較

- (1) 国内線
- (2) 国際線
- (3) 合計

表 1.3 OAG と航空輸送統計調査との比較

表 1.4 中部国際空港と比較対象空港における類型別旅客数とその割合

- (1) 中部国際空港
- (2) 関西国際空港
- (3) 福岡空港
- (4) 成田国際空港
- (5) 東京国際空港

表 1.5 中部国際空港と比較対象空港における類型別乗換旅客数とその割合

- (1) 中部国際空港
- (2) 関西国際空港
- (3) 福岡空港
- (4) 成田国際空港
- (5) 東京国際空港

表 1.6 中部国際空港と比較対象空港における東京 2 空港経由の旅客数とその割合

- (1) 中部国際空港
- (2) 関西国際空港
- (3) 福岡空港

表 1.7 中部国際空港と比較対象空港における東京 2 空港経由の上位目的空港別旅客数

- (1) 中部国際空港
 - (a) 成田国際空港経由
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月
 - (b) 東京国際空港経由
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月
- (2) 関西国際空港

- (a) 成田国際空港経由
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月
- (b) 東京国際空港経由
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月
- (3) 福岡空港
 - (a) 成田国際空港経由
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月
 - (b) 東京国際空港経由
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月

表 1.8 中部国際空港と比較対象空港におけるローカルの上位 10 目的空港

- (1) 中部国際空港
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月
- (2) 関西国際空港
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月
- (3) 福岡空港
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月

表 1.9 中部国際空港と比較対象空港におけるビヨンドの上位 10 経由空港

- (1) 中部国際空港
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月
- (2) 関西国際空港
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月
- (3) 福岡空港
 - ①2019 年 1 月－6 月
 - ②2024 年 1 月－6 月

表 1.10 中部国際空港と比較対象空港におけるビヨンドの上位 10 目的空港

- (1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(2) 関西国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

表 1.11 中部国際空港と比較対象空港におけるビハインドの上位 10 出発空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(2) 関西国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

表 1.12 中部国際空港と比較対象空港におけるビハインドの上位 10 目的空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(2) 関西国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

表 1.13 中部国際空港と比較対象空港におけるブリッジの上位 10 出発空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(2) 関西国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

表 1.14 中部国際空港と比較対象空港におけるブリッジの上位 10 経由空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(2) 関西国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

表 1.15 中部国際空港と比較対象空港におけるブリッジの上位 10 目的空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(2) 関西国際空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

②2024 年 1 月－6 月

表 2.1 航空旅客動態調査における中部国際空港の集計結果

表 2.2 データの出典

表 2.3 推定結果

表 2.4 中部国際空港の後背圏に含まれる市町村一覧

表 2.5 中部国際空港におけるモデルの再現性

表 2.6 中部国際空港における各路線の特性

表 2.7 関西圏の複数空港開設路線における実績値と理論値

(1) 3 空港開設路線

(2) 2 空港開設路線

表 3.1 国籍別訪日外国人旅行者 1 人当たりの平均宿泊日数

表 3.2 分析対象国

表 3.3 都道府県別 HHI

表 3.4 基本統計量（都道府県別 HHI）

表 3.5 国籍別 HHI

表 3.6 基本統計量（国籍別 HHI）

表 3.7 特化係数の高い上位 10 都道府県

表 3.8 特化係数の都道府県別最上位国籍

序 章

2025 年 2 月 17 日、中部国際空港は開港から 20 年を迎えた。現在、中部国際空港では、滑走路の大規模補修を目的として、空港用地内に第 2 滑走路の整備が予定されている。第 2 滑走路の整備によって、処理容量がこれまでの 1.2 倍に拡大することが見込まれているが（中部国際空港将来構想推進調整会議（2021））、空港インフラを効率的に活用すると同時に、地域経済の活性化に資するという観点からは、航空需要の拡大が極めて重要である。そこで、本調査研究では、「拠点空港（成田国際空港、東京国際空港、中部国際空港、関西国際空港、福岡空港）の競争と役割分担」という観点から、特に、乗り換え空港としての機能に焦点を当てた比較分析を行う。そして、空港の効率的運用や空港経営という観点からは、今後、航空需要の拡大、特に、インバウンド観光客の獲得が重要となることから、訪日外国人旅行者（インバウンド観光客）の地域特性を明らかにする。このような分析によって、中部国際空港における今後の国際線誘致方針、あるいは、路線ネットワークのあり方に向けた視座を提供することを目的とする。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生から 5 年が経過した 2024 年には、訪日外国人旅行者数は 3,687 万人（前年比 47.1%増、2019 年比 15.6%増）に達し、2019 年の水準を上回って過去最高を記録して、現在は COVID-19 から完全復活を果たした（UN Tourism, 2024）。一方、我が国では、国内人口の減少に伴う内需の縮小に対応するために、観光による交流人口の拡大と地域経済の活性化に対して、現在、ますます多くの注目が集まっている。日本政府は、中国をはじめとした近隣アジア諸国の経済成長に伴って拡大している国際観光需要を取り込むために、2000 年代前半から、観光を国や地方を活性化させる基幹産業と位置付け、国策として、さまざまな政策を推進している。2003 年に観光立国宣言を打ち出し、同年に 521 万人であった訪日外国人旅行者数を、2010 年には 1 千万人に倍増させることを目標とするなど、インバウンド観光の振興をその柱の 1 つに位置付けている。そして、同年からは「ビジット・ジャパン・キャンペーン（Visit Japan Campaign : VJC）」も始動し、主に東アジア市場を対象として、国、地方自治体、および民間が共同したインバウンド誘致活動を積極的に展開している。その効果もあって、2003 年以降、訪日外国人旅行者数は順調に増加した。そして、2009 年はリーマン・ショックや新型インフルエンザの影響によって対前年比で 18.7%減少したものの、2010 年には回復し、1 千万人という当初の政府目標には及ばなかったものの、過去最高の 861 万人を記録した。その後は、2011 年に東日本大震災とそれに伴う原発事故の影響を受けて、再度、対前年比で 27.8%減少したものの、2012 年以降は再び増加に転じ、2016 年（2,404 万人）に 2,000 万人の大台を、そして 2019 年（3,188 万人）には 3,000 万人の大台を突破した。

日本政府は、2030 年に訪日外国人旅行者数 6,000 万人と、10 年間で 2 倍にまで増加させ

るという高い数値目標を掲げ、さらなる量的拡大に向けたインバウンド観光振興を推進している。その一方で、訪日外国人旅行者が集中する地域において、オーバー・ツーリズムの問題が発生している。また、訪日外国人旅行者の国籍別内訳を見ると、アジア地域が圧倒的に多く、特に、2014 年以降の上位 4 ヶ国／地域は、中国、韓国、台湾、および香港の東アジア地域となっている。その一方で、最近は増加傾向にあるとはいえ、ヨーロッパ地域や北アメリカ地域、オセアニア地域をはじめ、他の地域からの訪日外国人旅行者は、相対的に少ない。

以上のような背景を踏まえた上で、本調査研究の主な目的は、中部国際空港における航空旅客流動の実態を明らかにすることである。そして、特に、岐阜県における取り組みから、訪日外国人旅行者の誘致に向けた示唆を得ることによって、これからの観光政策の方向性について、政策提言を行うことである。本調査研究報告書の構成は、以下の通りである。まず第 1 章において、OAG データに基づきながら、特に、関西国際空港と福岡空港との比較の下で、中部国際空港における航空旅客流動の実態を把握する。次に第 2 章では、我が国の空港後背圏を設定した上で、国内航空旅客流動の決定要因を明らかにすると同時に、特に、中部圏と同様に複数空港が併存する関西圏との比較の下で、中部国際空港発着の国内航空旅客流動に関する分析を行う。そして第 3 章では、我が国における訪日外国人旅行者数について、これまでの政府による観光政策の変遷と併せながら、その推移を概観し、特に、訪日外国人旅行者の地域的集中と分散について、都道府県別かつ国籍別に検証する。最後に終章において、以上の分析結果を踏まえながら、中部国際空港、および中部圏における観光政策の方向性について、今後の課題と展望を述べる。

第1章 中部国際空港における航空旅客流動の実態

1.1 OAG データの概要と分析対象期間および比較対象空港

1.1.1 OAG データの概要

本章では、OAG データを利用するが、同データは、主に、MIDT (Marketing Information Data Transfer) に基づいている¹⁾。MIDT は、世界の GDS (Global Distribution System) ベンダーであるアマデウス、セーバー、トラベルポート、アマカス、インフィニ、アクセス、トップス、あるいは、トラベルスカイ等の予約データを取り込み生成したデータであり、OAG のトラフィック・データ (需要データ) には、同社が独自の方法で算出した推定値が含まれている。実際の搭乗旅客数は公表されていないことが多いために、トラフィック・データは、基本的に GDS の予約データ等を基に推定したものしか入手できない。GDS の予約データを利用する最も大きな問題の 1 つは、多くの低費用航空会社 (Low-cost Carriers : LCC) が GDS と連携していないことである。したがって、OAG のトラフィック・データには推定値が含まれており、また、OAG 以外のフライト情報提供各社 (Cirium、Saber 等) によっても、推定値は同一ではない。

上記の通り、OAG データは全ての航空旅客流動を正確に反映している訳ではないが、その整合性を確認した上で、以下では、同データに基づきながら分析を行う。

1.1.2 分析対象期間

以下の分析では、COVID-19 の発生前である「2019 年 1 月－2019 年 6 月 (6 ヶ月間)」と、COVID-19 からの回復後である「2024 年 1 月－2024 年 6 月 (6 ヶ月間)」の 2 期間を分析対象期間として取り上げると同時に、COVID-19 からの回復に関する考察も併せて行う²⁾。

1.1.3 中部国際空港の比較対象空港

表 1.1 は、2019 年における我が国の乗降客数上位 10 空港について、国内線および国際線別に示したものである。

同表からは、国内線乗降客数については、中部国際空港が約 668 万人、そして関西国際

¹⁾ OAG (Official Aviation Guide) とは、イギリスに本社がある航空関連の情報調査会社であり、航空会社別／路線別データ (旅客数、便数、座席数、運航機種、運航時間 (距離) 等) を有償で販売している。ここでは、「Traffic Analyser」というモジュールを契約したが、中部圏社会経済研究所から研究助成を受けた。記して、感謝申し上げる。

²⁾ 国内線の完全回復は 2023 年 4 月であったが、2024 年 2 月に国際線が完全回復したことを受けて、世界の航空需要 (RPK) は、2024 年 2 月に 2019 年の同月水準を 5.7% 上回った (IATA (2024))。また、2024 年の国際線定期便冬ダイヤにおいて、旅客便は 5,178 便／週となり、2019 年の国際線定期便冬ダイヤ (5,219 便／週) とほぼ同水準になった (国土交通省 (11 月 9 日発表))。したがって、分析対象期間とした「2024 年 1 月－2024 年 6 月 (6 ヶ月間)」であっても、国際線に関しては、COVID-19 から完全に回復している訳ではない。

空港が約 698 万人であり、国際線乗降客数に関しては、中部国際空港が約 678 万人、そして福岡空港が約 640 万人であることから、ほぼ同水準であるといえる。

したがって、以下の分析では、中部国際空港の比較対象空港として、主に、関西国際空港と福岡空港に焦点を当てる。併せて、成田国際空港や東京国際空港、大阪国際空港、神戸空港についても、分析によっては、参考までに取り上げることとする。

表 1.1 我が国における旅客数の多い上位 10 空港

(1) 国内線				(2) 国際線			
順位	空港	空港コード	旅客数	順位	空港	空港コード	旅客数
1	東京国際空港	HND	68,868,623	1	成田国際空港	NRT	34,771,149
2	新千歳空港	CTS	20,732,744	2	関西国際空港	KIX	24,826,050
3	福岡空港	FUK	18,281,552	3	東京国際空港	HND	18,537,482
4	那覇空港	OKA	18,080,998	4	中部国際空港	NGO	6,783,526
5	大阪国際空港	ITM	16,504,209	5	福岡空港	FUK	6,398,065
6	成田国際空港	NRT	7,642,779	6	新千歳空港	CTS	3,866,519
7	関西国際空港	KIX	6,981,770	7	那覇空港	OKA	3,680,830
8	中部国際空港	NGO	6,676,623	8	鹿児島空港	KOJ	411,671
9	鹿児島空港	KOJ	5,663,539	9	仙台空港	SDJ	393,043
10	仙台空港	SDJ	3,462,344	10	広島空港	HIJ	345,496

出所) 空港管理状況調書より、筆者作成。

1.1.4 OAG データと国土交通省統計の整合性

ここでは、OAG データと国土交通省から公表されている空港統計や航空輸送統計を比較することによって、OAG データの整合性を確認する。

まず、表 1.2 (1) は、2019 年における「OAG から検索した中部国際空港と比較対象空港を出発する旅客数」と、「空港管理状況調書（国土交通省）における中部国際空港と比較対象空港の乗客数」について、国内線と国際線別に比較したものである³⁾。空港管理状況調書の乗客数は正確であることを考慮すると、OAG データの捕捉の程度は、中部国際空港の場合で、国内線が 94.0%、国際線が 108.8%、そして合計では 101.4%となっており、極めて高いといえる。比較対象空港に関しても、国内線と国際線の合計でみれば、関西国際空港が 91.0%、福岡空港が 87.7%、成田国際空港が 97.7%、そして東京国際空港が 84.6%となっており、全体的に OAG データの捕捉の程度は高いと判断できるだろう。また、分析対象 5 空港に共通して、国内線の捕捉率は相対的に低い一方で、国際線の捕捉率は相対的に高い傾向が観察される。

³⁾ 「OAG から検索した中部国際空港と比較対象空港を出発する旅客数」とは、1.2.1 で述べるローカル、ビヨンド、ビハインド、およびブリッジの合計である。

表 1.2 OAG と空港管理状況調書との比較

(1) 国内線

	中部 国際空港	関西 国際空港	福岡空港	成田 国際空港	東京 国際空港
OAG (人)	3,133,013	2,758,400	7,591,018	2,980,500	27,037,773
空港管理状況調書(人)	3,331,997	3,500,080	9,188,381	3,794,224	34,438,309
乖離率 (%)	94.0	78.8	82.6	78.6	78.5

(2) 国際線

	中部 国際空港	関西 国際空港	福岡空港	成田 国際空港	東京 国際空港
OAG (人)	3,630,843	11,665,972	3,263,132	16,756,120	9,869,830
空港管理状況調書(人)	3,338,451	12,353,574	3,192,413	16,413,561	9,169,929
乖離率 (%)	108.8	94.4	102.2	102.1	107.6

(3) 合計

	中部 国際空港	関西 国際空港	福岡空港	成田 国際空港	東京 国際空港
OAG (人)	6,763,856	14,424,372	10,854,150	19,736,620	36,907,603
空港管理状況調書(人)	6,670,448	15,853,654	12,380,794	20,207,785	43,608,238
乖離率 (%)	101.4	91.0	87.7	97.7	84.6

注 1) OAG はローカル、ビヨンド、ビハインド、およびブリッジの合計であり、空港管理状況調書は乗客数である。

注 2) 乖離率 = (OAG (人) ÷ 空港管理状況調書 (人)) × 100

出所) OAG Traffic Analyser および空港管理状況調書より、筆者作成。

次に、表 1.3 は、2019 年における「OAG から検索した中部国際空港を出発する国内線旅客数」と、「航空輸送統計調査（国土交通省）における中部国際空港の国内定期航空路線別輸送実績」を比較したものである⁴⁾。同表からは、大分路線（180.6%）や仙台路線（130.1%）、熊本路線（122.0%）、福岡路線（120.7%）は 100%を大きく上回っている一方で、函館路線（74.5%）や秋田路線（77.9%）は 80%を大きく下回っていることが分かる。ただし、航空輸送統計調査の旅客数は正確であることを考慮すると、全路線の平均は 98.7%であり、大きくは逸脱していないといえる。

以上のことから、OAG が推定したトラフィック・データと、国土交通省から公表されている公的統計との整合性を確認した結果、両者の相違は許容範囲であると判断できる。したがって、以下では、OAG のトラフィック・データに基づきながら、分析を進める。

⁴⁾ ここでも、「OAG から検索した中部国際空港を出発する国内線旅客数」とは、1.2.1 で述べるローカル、ビヨンド、ビハインド、およびブリッジの合計である。

表 1.3 OAG と航空輸送統計調査との比較

No.	路線	OAG (人)	航空輸送 統計調査(人)	乖離率 (%)
1	中部国際空港－新千歳空港	724,085	814,854	88.9
2	中部国際空港－旭川空港	24,651	27,931	88.3
3	中部国際空港－函館空港	35,455	47,616	74.5
4	中部国際空港－女満別空港	24,916	23,153	107.6
5	中部国際空港－秋田空港	28,296	36,327	77.9
6	中部国際空港－仙台空港	179,049	137,649	130.1
7	中部国際空港－新潟空港	34,761	30,265	114.9
8	中部国際空港－成田国際空港	165,573	189,701	87.3
9	中部国際空港－東京国際空港	111,030	117,608	94.4
10	中部国際空港－松山空港	63,859	55,280	115.5
11	中部国際空港－福岡空港	556,354	460,985	120.7
12	中部国際空港－長崎空港	72,313	75,162	96.2
13	中部国際空港－熊本空港	69,312	56,803	122.0
14	中部国際空港－大分空港	64,316	35,615	180.6
15	中部国際空港－宮崎空港	74,402	80,234	92.7
16	中部国際空港－鹿児島空港	287,060	267,544	107.3
17	中部国際空港－那覇空港	541,950	631,065	85.9
18	中部国際空港－宮古空港	36,635	41,142	89.0
19	中部国際空港－新石垣空港	35,472	41,526	85.4
...	...	...	...	...
	合計	3,133,012	3,174,577	98.7

注 1) OAG はローカル、ビヨンド、ビハインド、およびブリッジの合計であり、航空輸送統計調査は往路の旅客数で、かつ 12 ヶ月全てに旅客数が計上されている路線のみを取り上げている。

注 2) 釧路路線 (1,736 人) と帯広路線 (2,381 人) の 2 路線は、8 月のみの季節運航のために除外している (航空輸送統計調査の合計との差異 (4,117 人) に該当する)。

注 3) 乖離率 = (OAG (人) ÷ 航空輸送統計調査 (人)) × 100

出所) OAG Traffic Analyser および航空輸送統計調査より、筆者作成。

1.2 中部国際空港と比較対象空港における航空旅客流動の概況

1.2.1 航空旅客流動の類型化

航空旅客流動は、旅客が複数路線を乗り継いだ場合には、各路線の旅客流動として計上される「総流動」と、乗り換えの有無に関わらず、旅客本来の出発地から本来の目的地までの「純流動」に分類される。航空ネットワークの観点からは、これは直行便 (= 総流動) と経由便 (= 純流動) に該当する。以下では、この観点から、中部国際空港と比較対象空港における航空旅客流動を把握する。

図 1.1 は、航空旅客流動を 4 タイプに類型化したものである。同図に示されているように、航空旅客流動は、

(1) ローカル (Local)

B 空港と C 空港の間の乗り換えを伴わない航空旅客流動

(2) ビヨンド (Beyond)

C 空港での乗り換えを伴う B 空港と D 空港の間の航空旅客流動

(3) ビハインド (Behind)

B 空港での乗り換えを伴う A 空港と C 空港の間の航空旅客流動

(4) ブリッジ (Bridge)

B 空港および C 空港での乗り換えを伴う A 空港と D 空港の間の航空旅客流動

の 4 タイプに類型化でき、乗り換えの有無に関わらず、これらは全て純流動となる。そして、B 空港と C 空港の間の航空旅客流動には、ローカルの航空旅客流動に加えて、ビヨンド、ビハインド、あるいは、ブリッジの B 空港－C 空港の間の航空旅客流動も含まれており、これらの航空旅客流動の合計が B 空港と C 空港の間の総流動となる。

また、B 空港におけるローカルとビヨンドの合計は、B 空港からの到達可能な目的地数を表し、B 空港におけるビハインドとブリッジの合計は、B 空港のハブ空港としての大きさを表す。

通常、公的な空港統計や航空輸送統計は総流動に基づいていることから、以下では、中部国際空港と比較対象空港を出発する航空旅客に焦点を当てながら、航空旅客流動を上記の 4 タイプに分類する。

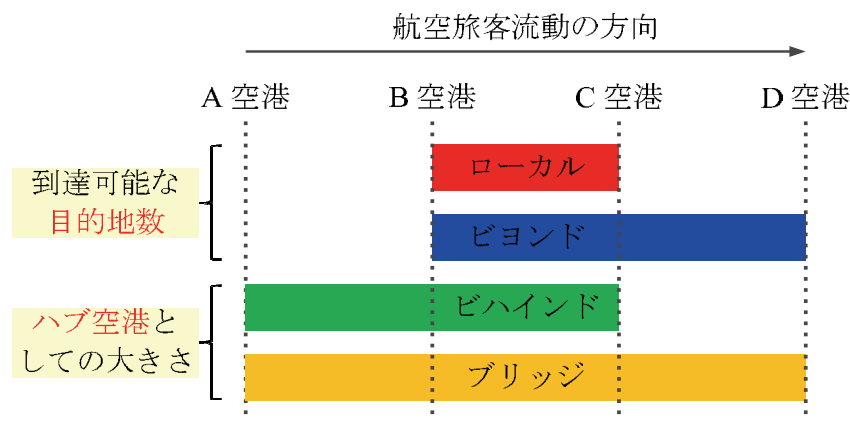


図 1.1 航空旅客流動の 4 類型

出所) OAG (2017) より、筆者作成。

1.2.2 類型別航空旅客流動

表 1.4 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港、成田国際空港、東京国際空港）におけるローカル、ビヨンド、ビハインド、およびブリッジ別にみた旅客数とその割合を示したものである。併せて、COVID-19 からの回復率を確認するために、両期間における旅客数の比率も示した。

まず、COVID-19 からの回復率については、中部国際空港が 82.9%、そして比較対象空港である関西国際空港が 95.0%、福岡空港が 114.7%、成田国際空港が 91.3%、および東京

国際空港が 105.2%であり、中部国際空港の回復率は低いことが分かる。国内線の回復が早かったことから、全体的に、国内線の比率が相対的に大きい福岡空港と東京国際空港の回復率は高く、国際線の比率が相対的に大きい中部国際空港、関西国際空港、および成田国際空港の回復率は低いといえるだろう。

表 1.4 中部国際空港と比較対象空港における類型別旅客数とその割合

(1) 中部国際空港

	2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／ 2019 年 (%)
	旅客数 (人)	割合 (%)	旅客数 (人)	割合 (%)	
ローカル	2,566,963	78.5	2,290,786	84.6	89.2
ビヨンド	559,535	17.1	337,400	12.5	60.3
ビハインド	134,943	4.1	77,415	2.9	57.4
ブリッジ	6,693	0.2	2,388	0.1	35.7
OAG (人)	3,268,134	100	2,707,989	100	82.9
空港管理状況調書 (人)	3,182,998		—		—
乖離率 (%)	102.7		—		—

(2) 関西国際空港

	2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／ 2019 年 (%)
	旅客数 (人)	割合 (%)	旅客数 (人)	割合 (%)	
ローカル	5,952,238	83.6	5,676,917	83.9	95.4
ビヨンド	1,036,760	14.6	985,493	14.6	95.1
ビハインド	116,782	1.6	90,623	1.3	77.6
ブリッジ	13,580	0.2	10,584	0.2	77.9
OAG (人)	7,119,360	100	6,763,617	100	95.0
空港管理状況調書 (人)	8,039,848		—		—
乖離率 (%)	88.6		—		—

(3) 福岡空港

	2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／ 2019 年 (%)
	旅客数 (人)	割合 (%)	旅客数 (人)	割合 (%)	
ローカル	4,613,820	85.0	5,492,514	88.3	119.0
ビヨンド	521,325	9.6	401,614	6.5	77.0
ビハインド	273,949	5.0	313,970	5.0	114.6
ブリッジ	17,547	0.3	15,407	0.2	87.8
OAG (人)	5,426,641	100	6,223,505	100	114.7
空港管理状況調書 (人)	6,213,496		—		—
乖離率 (%)	87.3		—		—

(4) 成田国際空港

	2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／ 2019 年
	旅客数（人）	割合（％）	旅客数（人）	割合（％）	（％）
ローカル	6,430,000	66.8	6,618,826	75.4	102.9
ビヨンド	1,667,891	17.3	1,218,066	13.9	73.0
ビハインド	1,250,840	13.0	788,229	9.0	63.0
ブリッジ	271,367	2.8	156,848	1.8	57.8
OAG（人）	9,620,098	100	8,781,969	100	91.3
空港管理状況調書（人）	10,741,951		—		—
乖離率（％）	89.6		—		—

(5) 東京国際空港

	2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／ 2019 年
	旅客数（人）	割合（％）	旅客数（人）	割合（％）	（％）
ローカル	14,158,418	78.2	14,367,084	75.4	101.5
ビヨンド	861,063	4.8	1,154,298	6.1	134.1
ビハインド	2,910,926	16.1	3,263,853	17.1	112.1
ブリッジ	174,803	1.0	266,759	1.4	152.6
OAG（人）	18,105,210	100	19,051,994	100	105.2
空港管理状況調書（人）	20,931,711		—		—
乖離率（％）	86.5		—		—

注 1) OAG はローカル、ビヨンド、ビハインド、およびブリッジの合計であり、空港管理状況調書は乗客数である。

注 2) 乖離率＝（OAG（人）÷空港管理状況調書（人））×100

出所）OAG Traffic Analyser および空港管理状況調書より、筆者作成。

次に、類型別旅客数に関しては、2019 年 1 月－6 月の期間では、中部国際空港はローカルが 78.5%、ビヨンドが 17.1%、ビハインドが 4.1%、およびブリッジが 0.2%となっている。したがって、同空港を出発する旅客は、ローカルの旅客が最も多く、次に、同空港から他空港経由で目的地に向かう旅客（ビヨンド）が多いことが分かる。その一方で、同空港は、国際拠点空港として、国内航空ネットワークの充実を図っているものの、ビハインドから判断する限り、現時点では、その機能を十分に果たしていないと判断できるだろう。

2024 年 1 月－6 月の期間との比較では、ローカル（84.6%）の割合が上昇する一方で、ビヨンド（12.5%）、ビハインド（2.9%）、およびブリッジ（0.1%）の割合が低下している。この背景には、デルタ航空がデトロイト路線を 2023 年 3 月から無期限で運休したことがある。同社は、COVID-19 による影響で同路線を運休したが、2021 年 4 月に週 1 便で再開し、2022 年 10 月には週 3 便に増便して運航を継続していた。この事実上の撤退に伴って、中部国際空港を発着する北アメリカ路線はなくなり、このことが同空港におけるビヨンド、ビハインド、およびブリッジの割合低下に繋がっているといえる。

比較対象空港の類型別旅客数については、2019 年 1 月－6 月の期間では、関西国際空港はローカルが 83.6%、ビヨンドが 14.6%、ビハインドが 1.6%、およびブリッジが 0.2%となっている。福岡空港はローカルが 85.0%、ビヨンドが 9.6%、ビハインドが 5.0%、およびブリッジが 0.3%であり、関西国際空港や中部国際空港と同様に、ブリッジの割合が極めて小さい。2024 年 1 月－6 月の期間においては、関西国際空港はローカルが 83.9%、ビヨンドが 14.6%、ビハインドが 1.3%、およびブリッジが 0.2%であり、福岡空港はローカルが 88.3%、ビヨンドが 6.5%、ビハインドが 5.0%、およびブリッジが 0.2%であり、2019 年 1 月－6 月の期間とほぼ同様の傾向を示している。

全体的に、中部国際空港は、関西国際空港や福岡空港よりもローカルの割合が小さい一方で、ビヨンドは関西国際空港と、そしてビハインドは福岡空港と同水準であるといえる。参考までに、成田国際空港は、両期間に共通して、ローカルの割合が相対的に小さい一方で、ビヨンドとビハインドの割合が相対的に大きいといえる。東京国際空港に関しては、両期間に共通して、ローカルの割合が比較的小さい一方で、同空港経由で目的地に向かう旅客（ビハインド）の割合は、分析対象 5 空港の中で最も大きくなっている。

1.2.3 乗換（ハブ）空港としての特徴

表 1.5 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港、成田国際空港、東京国際空港）における乗換旅客数とその割合を示したものであり、図 1.1 における Hub（＝ビハインド＋ブリッジ）に該当する。これは、国内線から国内線への乗り換える「内内ハブ」、国内線から国際線への乗り換える「内際ハブ」、国際線から国内線への乗り換える「際内ハブ」、および国際線から国際線への乗り換える「際際ハブ」の 4 タイプに分類でき、その合計は、ビハインドとブリッジの旅客数を合計した値と一致する。併せて、ここでも、COVID-19 からの回復率を確認するために、両期間における旅客数の比率も示した。

まず、COVID-19 からの回復率については、中部国際空港が 56.3%、そして比較対象空港である関西国際空港が 77.6%、福岡空港が 113.0%、成田国際空港が 62.1%、および東京国際空港が 114.4%であり、中部国際空港の回復率が最も低いことが分かる。ここでも、国内線の回復が早かったことから、全体的に、国内線の比率が相対的に大きい福岡空港と東京国際空港の回復率は高く、国際線の比率が相対的に大きい中部国際空港、関西国際空港、および成田国際空港の回復率は低いといえるだろう。

次に、ハブの分類別にみた旅客数に関しては、両期間に共通して、中部国際空港は内内ハブとしての接続が 5 割強、内際ハブと際内ハブとしての接続が各々 2 割程度、そして際際ハブとしての接続はほとんど存在しない。際際ハブに関しては、2019 年 1 月－6 月の 3.2%から 2024 年 1 月－6 月には 0.7%にまで低下しており、この背景にも、デルタ航空によるデトロイト路線運休の影響があると考えられる。したがって、同空港は国内線同士を乗り

換える旅客数が相対的に多いといえる。同時に、同空港は、国際拠点空港として、国内線と国際線相互の乗り換え空港としての役割も期待されているが、同空港の乗換旅客数自体は少ないものの、一定程度、国内線と国際線の相互接続も存在しており、より一層の機能強化／拡充が求められるだろう。

表 1.5 中部国際空港と比較対象空港における類型別乗換旅客数とその割合

(1) 中部国際空港

		2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／2019 年 (%)
		旅客数 (人)	割合 (%)	旅客数 (人)	割合 (%)	
内内ハブ	国内→国内	81,916	57.8	43,898	55.0	53.6
内際ハブ	国内→国際	27,072	19.1	16,659	20.9	61.5
際内ハブ	国際→国内	28,050	19.8	18,649	23.4	66.5
際際ハブ	国際→国際	4,598	3.2	597	0.7	13.0
合計		141,636	100	79,803	100	56.3

(2) 関西国際空港

		2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／2019 年 (%)
		旅客数 (人)	割合 (%)	旅客数 (人)	割合 (%)	
内内ハブ	国内→国内	22,138	17.0	13,421	13.3	60.6
内際ハブ	国内→国際	34,380	26.4	27,598	27.3	80.3
際内ハブ	国際→国内	33,901	26.0	27,843	27.5	82.1
際際ハブ	国際→国際	39,943	30.6	32,334	32.0	81.0
合計		130,362	100	101,196	100	77.6

(3) 福岡空港

		2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／2019 年 (%)
		旅客数 (人)	割合 (%)	旅客数 (人)	割合 (%)	
内内ハブ	国内→国内	180,764	62.0	212,158	64.4	117.4
内際ハブ	国内→国際	43,366	14.9	56,542	17.2	130.4
際内ハブ	国際→国内	39,107	13.4	49,944	15.2	127.7
際際ハブ	国際→国際	28,259	9.7	10,731	3.3	38.0
合計		291,496	100	329,375	100	113.0

(4) 成田国際空港

		2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／2019 年 (%)
		旅客数 (人)	割合 (%)	旅客数 (人)	割合 (%)	
内内ハブ	国内→国内	41,777	2.7	36,061	3.8	86.3
内際ハブ	国内→国際	321,777	21.1	130,936	13.9	40.7
際内ハブ	国際→国内	385,371	25.3	152,277	16.1	39.5
際際ハブ	国際→国際	773,245	50.8	625,785	66.2	80.9
合計		1,522,170	100	945,059	100	62.1

(5) 東京国際空港

		2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／2019 年
		旅客数 (人)	割合 (%)	旅客数 (人)	割合 (%)	(%)
内内ハブ	国内→国内	2,164,612	70.1	1,992,696	56.4	92.1
内際ハブ	国内→国際	460,823	14.9	603,423	17.1	130.9
際内ハブ	国際→国内	360,089	11.7	505,677	14.3	140.4
際際ハブ	国際→国際	100,188	3.2	428,741	12.1	427.9
合計		3,085,712	100	3,530,537	100	114.4

出所) OAG Traffic Analyser より、筆者作成。



ハブの分類別にみた比較対象空港における旅客数については、関西国際空港は、両期間に共通して、際際ハブとしての接続が 30%以上であり、最も多いという特徴がある。次いで、内際ハブと際内ハブとしての接続が各々 25%程度あり、内内ハブとしての接続が 15%程度と最も少ない。福岡空港は、中部国際空港よりも内内ハブとしての接続が多く、60%以上となっている。次いで、内際ハブと際内ハブとしての接続が各々 15%程度であり、際際ハブとしての接続も、中部国際空港以上に存在している。参考までに、成田国際空港と東京国際空港に関しては、成田国際空港は際際ハブとしての接続が、東京国際空港は内内ハブとしての接続が最も多くなっている。そして、内際ハブと際内ハブとしての接続について、東京国際空港ではその割合が上昇している一方で、成田国際空港ではその割合が低下しており、これは東京国際空港における国際線の新規路線開設や既存路線拡充の影響であると考えられる。

1.2.4 東京 2 空港経由の航空旅客流動

表 1.6 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港）における東京 2 空港（成田国際空港、東京国際空港）経由の旅客数とその割合を示したものである。

まず、中部国際空港と比較対象空港における東京 2 空港経由の旅客数を比較すると、2019 年 1 月－6 月の期間では、中部国際空港は 11.0 万人、関西国際空港は 10.7 万人、および福岡空港は 17.2 万人であり、2024 年 1 月－6 月の期間では、中部国際空港は 9.0 万人、関西国際空港は 11.9 万人、および福岡空港は 13.0 万人となっている。すなわち、東京 2 空港で乗り換える旅客数は福岡空港が最も多く、中部国際空港と関西国際空港は同程度であるといえる。また、両期間を比較すると、関西国際空港の東京 2 空港経由旅客数は 1.2 万人増加している一方で、中部国際空港は 2.0 万人、そして福岡空港は 4.1 万人減少している。

次に、東京 2 空港経由旅客の国内線と国際線の内訳をみると、2019 年 1 月－6 月の期間では、中部国際空港は国内線が 1.5 万人（13.2%）、国際線が 9.5 万人（86.8%）である一方で、関西国際空港は国内線が 6.5 万人（60.9%）、国際線が 4.2 万人（39.1%）、そして福岡空港は国内線が 9.1 万人（53.0%）、国際線が 8.1 万人（47.0%）となっている。2024 年 1 月－6 月の期間では、中部国際空港は国内線が 1.8 万人（20.3%）、国際線が 7.1 万人（79.7%）、関西国際空港は国内線が 6.5 万人（54.4%）、国際線が 5.4 万人（45.6%）、そして福岡空港は国内線が 8.7 万人（66.6%）、国際線が 4.4 万人（33.4%）となっている。すなわち、関西国際空港や福岡空港と比較して、中部国際空港は東京 2 空港経由で国際線に乗り換える割合が相対的に高い傾向がある。

そして、東京 2 空港経由国際線乗換旅客に焦点を当てると、2019 年 1 月－6 月の期間では、中部国際空港は成田国際空港が 7.3 万人（77.0%）、東京国際空港が 2.2 万人（23.0%）である一方で、関西国際空港は成田国際空港が 1.2 万人（27.7%）、東京国際空港が 3.0 万人（72.3%）、そして福岡空港は成田国際空港が 3.9 万人（48.5%）、東京国際空港が 4.2 万人（51.5%）となっている。2024 年 1 月－6 月の期間では、中部国際空港は成田国際空港が 4.0 万人（55.8%）、東京国際空港が 3.2 万人（44.2%）、関西国際空港は成田国際空港が 0.8 万人（15.1%）、東京国際空港が 4.6 万人（84.9%）、そして福岡空港は成田国際空港が 0.3 万人（6.5%）、東京国際空港が 4.1 万人（93.5%）となっている。すなわち、関西国際空港や福岡空港と比較して、中部国際空港は成田国際空港経由で国際線に乗り換える割合が相対的に高い傾向がある。

表 1.6 中部国際空港と比較対象空港における東京 2 空港経由の旅客数とその割合

(1) 中部国際空港

		2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／2019 年
		旅客数 (人)	割合 (%)	旅客数 (人)	割合 (%)	(%)
成田国際空港	国内線	1,046	1.4	0	0.0	0.0
	国際線	73,453	98.6	39,864	100	54.3
	合計	74,499	100	39,864	100	53.5
東京国際空港	国内線	13,513	38.2	18,167	36.5	134.4
	国際線	21,887	61.8	31,622	63.5	144.5
	合計	35,400	100	49,789	100	140.6
総計	国内線	14,559	13.2	18,167	20.3	124.8
	国際線	95,340	86.8	71,486	79.7	75.0
	合計	109,899	100	89,653	100	81.6

国内線	成田国際空港	1,046	7.2	0	0.0	0.0
	東京国際空港	13,513	92.8	18,167	100	134.4
	合計	14,559	100	18,167	100	124.8
国際線	成田国際空港	73,453	77.0	39,864	55.8	54.3
	東京国際空港	21,887	23.0	31,622	44.2	144.5
	合計	95,340	100	71,486	100	75.0
総計	成田国際空港	74,499	67.8	39,864	44.5	53.5
	東京国際空港	35,400	32.2	49,789	55.5	140.6
	合計	109,899	100	89,653	100	81.6

(2) 関西国際空港

		2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／2019 年
		旅客数 (人)	割合 (%)	旅客数 (人)	割合 (%)	(%)
成田国際空港	国内線	885	7.1	4,264	34.2	481.8
	国際線	11,545	92.9	8,221	65.8	71.2
	合計	12,430	100	12,485	100	100.4
東京国際空港	国内線	64,095	68.0	60,505	56.8	94.4
	国際線	30,173	32.0	46,076	43.2	152.7
	合計	94,268	100	106,581	100	113.1
総計	国内線	64,980	60.9	64,769	54.4	99.7
	国際線	41,718	39.1	54,297	45.6	130.2
	合計	106,698	100	119,066	100	111.6

国内線	成田国際空港	885	1.4	4,264	6.6	481.8
	東京国際空港	64,095	98.6	60,505	93.4	94.4
	合計	64,980	100	64,769	100	99.7
国際線	成田国際空港	11,545	27.7	8,221	15.1	71.2
	東京国際空港	30,173	72.3	46,076	84.9	152.7
	合計	41,718	100	54,297	100	130.2
総計	成田国際空港	12,430	11.6	12,485	10.5	100.4
	東京国際空港	94,268	88.4	106,581	89.5	113.1
	合計	106,698	100	119,066	100	111.6

(3) 福岡空港

		2019 年 1 月－6 月		2024 年 1 月－6 月		2024 年／2019 年
		旅客数 (人)	割合 (%)	旅客数 (人)	割合 (%)	(%)
成田国際空港	国内線	2,482	6.0	2,794	49.6	112.6
	国際線	39,132	94.0	2,834	50.4	7.2
	合計	41,614	100	5,628	100	13.5
東京国際空港	国内線	88,588	68.0	84,010	67.3	94.8
	国際線	41,595	32.0	40,728	32.7	97.9
	合計	130,183	100	124,738	100	95.8
総計	国内線	91,070	53.0	86,804	66.6	95.3
	国際線	80,727	47.0	43,562	33.4	54.0
	合計	171,797	100	130,366	100	75.9

国内線	成田国際空港	2,482	2.7	2,794	3.2	112.6
	東京国際空港	88,588	97.3	84,010	96.8	94.8
	合計	91,070	100	86,804	100	95.3
国際線	成田国際空港	39,132	48.5	2,834	6.5	7.2
	東京国際空港	41,595	51.5	40,728	93.5	97.9
	合計	80,727	100	43,562	100	54.0
総計	成田国際空港	41,614	24.2	5,628	4.3	13.5
	東京国際空港	130,183	75.8	124,738	95.7	95.8
	合計	171,797	100	130,366	100	75.9

出所) OAG Traffic Analyser より、筆者作成。

表 1.7 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港）における東京 2 空港経由の上位目的空港別旅客数とその割合を示したものである。

まず、中部国際空港における成田国際空港経由旅客数は、2019 年 1 月－6 月の 7.4 万人から 2024 年 1 月－6 月の 4.0 万人まで約半減している一方で、東京国際空港経由旅客数は、2019 年 1 月－6 月の 3.5 万人から 2024 年 1 月－6 月の 5.0 万人まで約 1.5 倍に増加していることが分かる。この背景には、日本航空と全日本空輸による中部国際空港発東京 2 空港経由の国際線乗継に関して、東京国際空港における国際線の新規路線開設や既存路線拡充に伴って、旅客が成田国際空港経由から東京国際空港経由にシフトした影響があると考えられるだろう。

次に、成田国際空港経由旅客の上位第 5 位までの目的空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、ロサンゼルス国際空港（0.6 万人 [8.2%]）、ダラス・フォートワース国際空港（0.5 万人 [7.3%]）、シカゴ・オヘア国際空港（0.4 万人 [5.3%]）、インディアナポリス国際空港（0.4 万人 [5.1%]）、そしてスカルノ・ハッタ国際空港（0.4 万人 [4.9%]）であり、上位第 10 位まで全て海外の空港となっている。一方、2024 年 1 月－6 月の期間では、ダニエル・K・イノウエ国際空港（0.5 万人 [12.6%]）、スカルノ・ハッタ国際空港（0.4 人 [10.5%]）、

ロサンゼルス国際空港（0.3 万人 [8.3%]）、サンフランシスコ国際空港（0.2 人 [5.7%]）、そしてバンクーバー国際空港（0.2 人 [5.3%]）であり、やはり上位第 10 位まで全て海外の空港となっている。両期間に共通して、北アメリカ地域（アメリカ、カナダ、メキシコ）やアジア地域（インドネシア、マレーシア、インド）の空港に乗り継ぐ旅客が多く、オセアニア地域やヨーロッパ地域の空港に乗り継ぐ旅客は少ない。また、2024 年 1 月－6 月における最も経由旅客数が多いダニエル・K・イノウエ国際空港やスカルノ・ハッタ国際空港、クアラルンプール国際空港をはじめ、中部国際空港にも路線が存在する空港に対しても、一定数、成田国際空港経由旅客が存在する。

その一方で、東京国際空港経由旅客の上位第 5 位までの目的空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、パリ＝シャルル・ド・ゴール空港（0.4 万人 [12.1%]）、青森空港（0.3 万人 [8.8%]）、ロンドン・ヒースロー空港（0.2 万人 [7.0%]）、釧路空港（0.2 万人 [6.8%]）、そしてフランクフルト空港（0.2 万人 [5.2%]）である。また、上位第 10 位のうち国内の空港は 2 空港のみとなっている。一方、2024 年 1 月－6 月の期間では、シカゴ・オヘア国際空港（0.4 万人 [7.7%]）、ロンドン・ヒースロー空港（0.4 万人 [7.2%]）、ダラス・フォートワース国際空港（0.3 万人 [7.0%]）、青森空港（0.3 万人 [5.2%]）、そしてインディラ・ガンディー国際空港（0.3 万人 [5.0%]）であり、上位第 10 位の半数が国内の空港となっている。両期間に共通して、国内線では、北海道地方や東北地方の空港で便数が限られている路線や混雑路線、国際線では、中部国際空港に就航していない路線に乗り継ぐ旅客が多い傾向が観察される。また、成田国際空港と同様に、スカルノ・ハッタ国際空港やフランクフルト空港（2019 年 1 月－6 月）をはじめ、中部国際空港にも路線が存在する空港に対しても、一定数、東京国際空港経由旅客が存在する。

最後に、比較対象空港における東京 2 空港経由の上位目的空港別旅客数に関しては、関西国際空港は、両期間に共通して、全体的に成田国際空港は国際線への乗り継ぎが、東京国際空港は国内線への乗り継ぎが多い。そして、国際線への乗り継ぎは、アジア地域やオセアニア地域、北アメリカ地域の空港が多く、国内線への乗り継ぎは、北海道地方や東北地方、沖縄地方の空港となっている。福岡空港については、まず、成田国際空港経由旅客数が、2019 年 1 月－6 月の 4.2 万人から 2024 年 1 月－6 月の 0.6 万人まで、1/7 以下に激減している。この背景には、中部国際空港と同様に、日本航空と全日本空輸による福岡空港発東京 2 空港経由の国際線乗継に関して、東京国際空港における国際線の新規路線開設や既存路線拡充に伴って、旅客が成田国際空港経由から東京国際空港経由にシフトした影響があると考えられるだろう。全体的な傾向としては、両期間に共通して、成田国際空港は、新千歳を除いて上位 10 空港は全て国際線への乗り継ぎであり、東京国際空港については、国内線への乗り継ぎが比較的多い。そして、国際線への乗り継ぎは、成田国際空港は北アメリカ地域とオセアニア地域の空港が多く、東京国際空港に関しては、北アメリカ地域とヨーロッパ地域の空港が多い傾向がある。

表 1.7 中部国際空港と比較対象空港における東京 2 空港経由の上位目的空港別旅客数

(1) 中部国際空港

(a) 成田国際空港経由

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	6,086	8.2
2	ダラス・フォートワース国際空港	DFW	アメリカ	ダラス	5,403	7.3
3	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	3,932	5.3
4	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	3,804	5.1
5	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	3,658	4.9
6	メキシコ・シティ国際空港	MEX	メキシコ	メキシコシティ	2,646	3.6
7	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	2,338	3.1
8	ブリュッセル空港	BRU	ベルギー	ブリュッセル	2,235	3.0
9	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	2,058	2.8
10	ジョージ・ブッシュ・インターコンチネンタル空港	IAH	アメリカ	ヒューストン	2,025	2.7
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				1,046	1.4
	国際計				73,453	98.6
	合計				74,499	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	5,017	12.6
2	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	4,189	10.5
3	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	3,316	8.3
4	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	2,284	5.7
5	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	2,129	5.3
6	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	2,027	5.1
7	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	1,699	4.3
8	メキシコ・シティ国際空港	MEX	メキシコ	メキシコシティ	1,328	3.3
9	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	1,146	2.9
10	オークランド国際空港	AKL	ニュージーランド	オークランド	1,012	2.5
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				0	0.0
	国際計				39,864	100
	合計				39,864	100

中部国際空港

成田国際空港

目的空港

(b) 東京国際空港経由

①2019年1月－6月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	4,289	12.1
2	青森空港	AOJ	日本	青森	3,118	8.8
3	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	2,469	7.0
4	釧路空港	KUH	日本	釧路	2,401	6.8
5	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	1,851	5.2
6	ジョン・F・ケネディ国際空港	JFK	アメリカ	ニューヨーク	1,724	4.9
7	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	1,713	4.8
8	ハマド国際空港	DOH	カタール	ドーハ	1,684	4.8
9	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	1,521	4.3
10	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	1,348	3.8
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				13,513	38.2
	国際計				21,887	61.8
	合計				35,400	100

②2024年1月－6月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	3,821	7.7
2	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	3,572	7.2
3	ダラス・フォートワース国際空港	DFW	アメリカ	ダラス	3,479	7.0
4	青森空港	AOJ	日本	青森	2,606	5.2
5	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	2,514	5.0
6	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	2,471	5.0
7	旭川空港	AKJ	日本	旭川	2,438	4.9
8	釧路空港	KUH	日本	釧路	2,027	4.1
9	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,856	3.7
10	福岡空港	FUK	日本	福岡	1,621	3.3
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				18,167	36.5
	国際計				31,622	63.5
	合計				49,789	100

中部国際空港

東京国際空港

目的空港

(2) 関西国際空港

(a) 成田国際空港経由

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	1,146	9.2
2	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	868	7.0
3	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	728	5.9
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	653	5.3
5	ゴールドコースト空港	OOL	オーストラリア	ゴールドコースト	620	5.0
6	ダラス・フォートワース国際空港	DFW	アメリカ	ダラス	610	4.9
7	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	594	4.8
8	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	579	4.7
9	ヌメア国際空港	NOU	ニューカレドニア	ヌメア	525	4.2
10	コナ国際空港	KOA	アメリカ	カイルア・コナ	486	3.9
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				885	7.1
	国際計				11,545	92.9
	合計				12,430	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	旭川空港	AKJ	日本	旭川	2,236	17.9
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,224	9.8
3	ヌメア国際空港	NOU	ニューカレドニア	ヌメア	1,054	8.4
4	那覇空港	OKA	日本	那覇	804	6.4
5	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	773	6.2
6	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	633	5.1
7	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	619	5.0
8	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	543	4.3
9	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	392	3.1
10	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	359	2.9
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				4,264	34.2
	国際計				8,221	65.8
	合計				12,485	100



(b) 東京国際空港経由

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	秋田空港	AXT	日本	秋田	9,988	10.6
2	函館空港	HKD	日本	函館	9,112	9.7
3	旭川空港	AKJ	日本	旭川	8,543	9.1
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	7,066	7.5
5	庄内空港	SYO	日本	酒田	5,757	6.1
6	帯広空港	OBO	日本	帯広	5,423	5.8
7	那覇空港	OKA	日本	那覇	4,744	5.0
8	女満別空港	MMB	日本	網走	3,331	3.5
9	稚内空港	WKJ	日本	稚内	2,974	3.2
10	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	2,925	3.1
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				64,095	68.0
	国際計				30,173	32.0
	合計				94,268	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	釧路空港	KUH	日本	釧路	10,472	9.8
2	奄美空港	ASJ	日本	奄美	7,976	7.5
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	6,192	5.8
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	5,978	5.6
5	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	5,128	4.8
6	函館空港	HKD	日本	函館	5,110	4.8
7	下地島空港	SHI	日本	宮古島	4,949	4.6
8	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	3,916	3.7
9	ジョン・F・ケネディ国際空港	JFK	アメリカ	ニューヨーク	3,421	3.2
10	那覇空港	OKA	日本	那覇	3,404	3.2
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				60,505	56.8
	国際計				46,076	43.2
	合計				106,581	100

関西国際空港

東京国際空港

目的空港

(3) 福岡空港

(a) 成田国際空港経由

①2019年1月－6月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	3,384	8.1
2	ダラス・フォートワース国際空港	DFW	アメリカ	ダラス	2,240	5.4
3	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	2,134	5.1
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	2,123	5.1
5	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	2,050	4.9
6	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	1,900	4.6
7	オークランド国際空港	AKL	ニュージーランド	オークランド	1,391	3.3
8	ジョージ・ブッシュ・インターコンチネンタル空港	IAH	アメリカ	ヒューストン	1,268	3.0
9	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	1,260	3.0
10	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	1,188	2.9
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				2,482	6.0
	国際計				39,132	94.0
	合計				41,614	100

②2024年1月－6月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	2,788	49.5
2	サンディエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	411	7.3
3	ジェネラル・エドワード・ローレンス・ローガン国際空港	BOS	アメリカ	ボストン	317	5.6
4	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	293	5.2
5	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	218	3.9
6	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	191	3.4
7	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	127	2.3
8	モントリオール・ピエール・エリオット・トルドー国際空港	YUL	カナダ	モントリオール	111	2.0
9	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	101	1.8
10	シアトル・タコマ国際空港	SEA	アメリカ	シアトル	94	1.7
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				2,794	49.6
	国際計				2,834	50.4
	合計				5,628	100



(b) 東京国際空港経由

①2019年1月－6月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	32,609	25.0
2	青森空港	AOJ	日本	青森	8,139	6.3
3	秋田空港	AXT	日本	秋田	7,770	6.0
4	函館空港	HKD	日本	函館	7,553	5.8
5	富山空港	TOY	日本	富山	7,356	5.7
6	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	6,165	4.7
7	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	4,898	3.8
8	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	4,300	3.3
9	小松空港	KMQ	日本	金沢	3,787	2.9
10	旭川空港	AKJ	日本	旭川	3,707	2.8
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				88,588	68.0
	国際計				41,595	32.0
	合計				130,183	100

②2024年1月－6月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	32,553	26.1
2	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	7,859	6.3
3	青森空港	AOJ	日本	青森	7,609	6.1
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	7,089	5.7
5	函館空港	HKD	日本	函館	6,599	5.3
6	小松空港	KMQ	日本	金沢	4,820	3.9
7	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	4,551	3.6
8	富山空港	TOY	日本	富山	4,136	3.3
9	旭川空港	AKJ	日本	旭川	3,946	3.2
10	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	3,070	2.5
...	...	...	...	...	...	...
	国内計				84,010	67.3
	国際計				40,728	32.7
	合計				124,738	100

出所) OAG Traffic Analyser より、筆者作成。



1.3 中部国際空港と比較対象空港における航空旅客流動の実態

1.3.1 ローカル

以下では、ローカル、ビヨンド、ビハインド、およびブリッジの4類型別に、航空旅客流動の実態を把握する。これらは全て純流動に該当する。まず、表 1.8 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港）におけるローカルの上位第 10 位までの目的空港別旅客数とその割合を示したものであるが、これは図 1.1 におけるローカルの C 空港が該当する。

同表からは、中部国際空港を出発する旅客の上位第 5 位までの目的空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、新千歳空港（29.2 万人 [11.4%]）、那覇空港（25.5 万人 [9.9%]）、福岡空港（24.3 万人 [9.5%]）、台湾桃園国際空港（19.7 万人 [7.7%]）、そして仁川国際空港（18.8 万人 [7.3%]）であり、上位第 10 位まで日本、韓国、中国、および台湾の空港となっている。一方、2024 年 1 月－6 月の期間では、那覇空港（28.5 万人 [12.5%]）、新千歳空港（27.7 万人 [12.1%]）、福岡空港（25.2 万人 [11.0%]）、仁川国際空港（22.0 万人 [9.6%]）、そして台湾桃園国際空港（17.2 万人 [7.5%]）であり、やはり上位第 10 位まで日本、韓国、中国、および台湾の空港となっている。両期間に共通して、日本の地方拠点 3 空港（新千歳空港、福岡空港、那覇空港）への旅客数で 3 割以上を占めており、次いで、東アジア主要空港（仁川国際空港、台湾桃園国際空港、上海浦東国際空港、香港国際空港）への旅客数が多くなっている。全体的に、同空港の上位 10 目的空港は、国内と海外がほぼ半数ずつであり、同空港の特性を反映しているといえるだろう。

また、表 1.3 で利用した航空輸送統計調査（総流動）では、例えば、2019 年 1 月－6 月の期間における旅客数（概数）は、新千歳空港が 38.4 万人、そして那覇空港が 30.7 万人であり、OAG データ（純流動）の旅客数（新千歳空港：29.2 万人、那覇空港：25.5 万人）と比較すると、航空輸送統計調査にはビヨンド、ビハインド、およびブリッジの旅客数も加算されていることから、OAG データよりも大きくなっている。OAG データの利用によって、このような純流動の実態把握が可能となる。

比較対象空港におけるローカルの上位第 10 位までの目的空港については、関西国際空港は、両期間に共通して、仁川国際空港、台湾桃園国際空港、香港国際空港、および上海浦東国際空港の旅客数が 30 万人以上であり、上位第 4 位までを独占している。日本の空港では、那覇空港や新千歳空港、東京の 2 空港（東京国際空港、成田国際空港）を目的空港とする旅客が多く、それ以外では、両期間に共通して、韓国の 2 空港（金海国際空港、金浦国際空港）が上位第 10 位までに入っている。福岡空港に関しては、両期間に共通して、上位第 10 位までの目的空港に日本の空港が 6 空港入っており、特に、東京国際空港が全体の 3 割以上を占める約 165 万人であり、他の目的空港と比較して圧倒的に多い。次いで、仁川国際空港（2019 年 1 月－6 月：50.0 万人 [10.8%]、2024 年 1 月－6 月：72.1 万人 [13.1%]）、そして那覇空港（2019 年 1 月－6 月：36.7 万人 [7.9%]、2024 年 1 月－6 月：44.7 万人 [8.1%]）

と続いている。それ以外では、日本の主要空港（新千歳空港、成田国際空港、中部国際空港等）や近隣諸国の主要空港（台湾桃園国際空港、金海国際空港、香港国際空港）を目的空港とする旅客が多くなっている。

表 1.8 中部国際空港と比較対象空港におけるローカルの上位 10 目的空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	291,872	11.4
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	255,353	9.9
3	福岡空港	FUK	日本	福岡	243,217	9.5
4	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	196,718	7.7
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	187,879	7.3
6	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	162,916	6.3
7	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	140,351	5.5
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	110,703	4.3
9	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	92,276	3.6
10	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	67,355	2.6
...	...	...	...	...	...	...
	合計				2,566,963	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	285,348	12.5
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	276,961	12.1
3	福岡空港	FUK	日本	福岡	252,294	11.0
4	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	220,327	9.6
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	172,121	7.5
6	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	103,229	4.5
7	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	96,375	4.2
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	96,225	4.2
9	仙台空港	SDJ	日本	仙台	95,476	4.2
10	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	65,480	2.9
...	...	...	...	...	...	...
	合計				2,290,786	100



(2) 関西国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	660,007	11.1
2	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	555,965	9.3
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	488,738	8.2
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	373,958	6.3
5	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	242,874	4.1
6	那覇空港	OKA	日本	那覇	230,998	3.9
7	東京国際空港	HND	日本	東京	224,995	3.8
8	新千歳空港	CTS	日本	札幌	195,450	3.3
9	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	180,961	3.0
10	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	166,973	2.8
...	...	...	...	...	...	...
	合計				5,952,238	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	972,907	17.1
2	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	585,659	10.3
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	473,655	8.3
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	341,473	6.0
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	268,963	4.7
6	新千歳空港	CTS	日本	札幌	247,267	4.4
7	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	234,153	4.1
8	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	221,063	3.9
9	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	190,777	3.4
10	成田国際空港	NRT	日本	東京	163,365	2.9
...	...	...	...	...	...	...
	合計				5,676,917	100

関西国際空港

目的空港

(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	1,648,878	35.7
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	499,715	10.8
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	366,605	7.9
4	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	249,886	5.4
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	180,136	3.9
6	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	170,867	3.7
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	165,010	3.6
8	新千歳空港	CTS	日本	札幌	124,130	2.7
9	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	120,141	2.6
10	香港国際空港	HKG	中国	香港	107,946	2.3
...	...	...	...	...	...	...
	合計				4,613,820	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	1,649,916	30.0
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	720,551	13.1
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	446,822	8.1
4	成田国際空港	NRT	日本	東京	350,862	6.4
5	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	264,063	4.8
6	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	229,153	4.2
7	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	200,868	3.7
8	新千歳空港	CTS	日本	札幌	175,685	3.2
9	香港国際空港	HKG	中国	香港	151,449	2.8
10	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	135,293	2.5
...	...	...	...	...	...	...
	合計				5,492,514	100

出所) OAG Traffic Analyser より、筆者作成。



1.3.2 ビヨンド

次に、表 1.9 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港）におけるビヨンドの上位第 10 位までの経由空港別旅客数とその割合を示したものであるが、これは図 1.1 におけるビヨンドの C 空港が該当する。

同表からは、中部国際空港を出発する旅客の上位第 5 位までの経由空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、成田国際空港（7.4 万人 [13.3%]）、上海浦東国際空港（5.8 万人 [10.5%]）、新千歳空港（5.0 万人 [8.9%]）、仁川国際空港（3.8 万人 [6.8%]）、そして東京国際空港（3.5 万人 [6.3%]）であり、上位第 6 位以下は全て海外の空港となっている。例えば、第 7 位のヘルシンキ・ヴァンター国際空港（3.0 万人 [5.4%]）や第 8 位のフランクフルト空港（2.5 万人 [4.6%]）のヨーロッパの主要空港も含まれている。一方、2024 年 1 月－6 月の期間では、上海浦東国際空港（5.7 万人 [16.8%]）、東京国際空港（5.0 万人 [14.8%]）、成田国際空港（4.0 万人 [11.8%]）、新千歳空港（2.5 万人 [7.4%]）、そしてニノイ・アキノ国際空港（2.3 万人 [6.9%]）となっている。2019 年 1 月－6 月の期間からの大きな変化としては、東京国際空港経由旅客数の増加と成田国際空港経由旅客数の減少、そしてヘルシンキ・ヴァンター国際空港経由旅客とフランクフルト空港経由旅客の消滅が挙げられる。前者については、先に述べた東京国際空港における国際線の新規路線開設や既存路線拡充の影響であり、後者に関しては、COVID-19 に伴って運休となったフィンエアーとルフトハンザが運航を再開していない影響である。両期間に共通して、中部国際空港については、海外の主要空港の中では、上海浦東国際空港経由旅客数が最も多いことが特徴的である。

比較対象空港におけるビヨンドの上位第 10 位までの経由空港については、関西国際空港は、両期間に共通して、日本の空港は東京国際空港のみであり、それ以外は全て海外の空港となっている。そして、海外の経由空港としては、上海浦東国際空港、香港国際空港、仁川国際空港、およびシンガポール・チャンギ国際空港のアジア主要 4 空港に加えて、ドバイ国際空港が多い傾向にある。また、2019 年 1 月－6 月の期間では、ヘルシンキ・ヴァンター国際空港とアムステルダム・スキポール空港の経由旅客数も多かったが、フィンエアーおよび KLM オランダ航空ともに、COVID-19 回復後は減便していることから、2024 年 1 月－6 月の期間では、両空港の経由旅客数は減少している。福岡空港に関しては、両期間に共通して、東京国際空港経由旅客数が圧倒的に多く（2019 年 1 月－6 月：13.0 万人 [25.0%]、2024 年 1 月－6 月：12.5 万人 [31.1%]）、次いで、金海国際空港が続いている。それ以外では、仁川国際空港や上海浦東国際空港、香港国際空港、台湾桃園国際空港、シンガポール・チャンギ国際空港等のアジア主要空港経由旅客数が多くなっており、日本の空港としては、両期間とも大阪国際空港が、2019 年 1 月－6 月の期間では成田国際空港が、そして 2024 年 1 月－6 月の期間では那覇空港が、上位第 10 位までに入っている⁵⁾。

⁵⁾ 表 1.9 で示した中部国際空港と比較対象空港におけるビヨンドの上位 10 経由空港ごとの上位 10 目的空港については、【詳細表】を参照されたい。

表 1.9 中部国際空港と比較対象空港におけるビヨンドの上位 10 経由空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	経由空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	成田国際空港	NRT	日本	東京	74,499	13.3
2	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	58,497	10.5
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	49,889	8.9
4	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	37,865	6.8
5	東京国際空港	HND	日本	東京	35,400	6.3
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	34,686	6.2
7	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	30,072	5.4
8	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	25,472	4.6
9	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	24,106	4.3
10	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	23,646	4.2
...	...	...	...	...	...	...
	合計				559,535	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	経由空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	56,725	16.8
2	東京国際空港	HND	日本	東京	49,789	14.8
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	39,864	11.8
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	24,850	7.4
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	23,430	6.9
6	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	21,038	6.2
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	19,330	5.7
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	19,138	5.7
9	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	13,716	4.1
10	那覇空港	OKA	日本	那覇	12,572	3.7
...	...	...	...	...	...	...
	合計				337,400	100



(2) 関西国際空港

①2019年1月－6月

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	香港国際空港	HKG	中国	香港	98,557	9.5
2	東京国際空港	HND	日本	東京	94,268	9.1
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	68,278	6.6
4	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	65,767	6.3
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	61,926	6.0
6	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	58,489	5.6
7	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	40,130	3.9
8	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	35,240	3.4
9	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	34,897	3.4
10	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	33,208	3.2
...	...	...	...	...	...	...
	合計				1,036,760	100

②2024年1月－6月

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	117,906	12.0
2	東京国際空港	HND	日本	東京	106,581	10.8
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	80,578	8.2
4	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	68,371	6.9
5	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	47,716	4.8
6	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	45,213	4.6
7	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	38,429	3.9
8	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	35,812	3.6
9	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	33,298	3.4
10	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	27,613	2.8
...	...	...	...	...	...	...
	合計				985,493	100



(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	経由空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	130,183	25.0
2	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	67,550	13.0
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	55,986	10.7
4	成田国際空港	NRT	日本	東京	41,614	8.0
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	34,812	6.7
6	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	24,027	4.6
7	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	22,476	4.3
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	16,241	3.1
9	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	14,530	2.8
10	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	13,949	2.7
...	...	...	...	...	...	...
	合計				521,325	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	経由空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	124,738	31.1
2	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	48,744	12.1
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	38,797	9.7
4	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	25,523	6.4
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	21,922	5.5
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	18,282	4.6
7	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	17,784	4.4
8	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	17,348	4.3
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	17,329	4.3
10	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	12,899	3.2
...	...	...	...	...	...	...
	合計				401,614	100

出所) OAG Traffic Analyser より、筆者作成。



一方、表 1.10 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港）におけるビヨンドの上位第 10 位までの目的空港別旅客数とその割合を示したものであるが、これは図 1.1 におけるビヨンドの D 空港が該当する。

同表からは、中部国際空港を出発する旅客の上位第 5 位までの目的空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、ングラ・ライ国際空港 (2.1 万人 [3.8%])、青森空港 (2.1 万人 [3.7%])、

花巻空港（1.9 万人 [3.4%]）、パリ＝シャルル・ド・ゴール空港（1.4 万人 [2.5%]）、そして釧路（1.4 万人 [2.5%]）であり、上位第 10 位までに日本の空港が上記の東北 2 空港と北海道 1 空港の 3 空港が入っている。そして、海外の 7 空港に関しては、パリ＝シャルル・ド・ゴール空港とロサンゼルス国際空港の 2 空港を除けば、残る 5 空港は全てアジア地域の空港であり、その内の 4 空港は東南アジア地域の空港となっている。一方、2024 年 1 月－6 月の期間では、スワンナプーム空港（1.3 万人 [3.8%]）、スカルノ・ハッタ国際空港（1.2 万人 [3.6%]）、青森空港（1.0 万人 [2.9%]）、ングラ・ライ国際空港（0.9 万人 [2.6%]）、そして花巻空港（0.8 万人 [2.3%]）となっている。2019 年 1 月－6 月の期間からの大きな変化としては、日本の 3 空港（青森空港、花巻空港、新石垣空港）を除けば、残る 7 空港は全て東南アジア地域の空港になっていることが挙げられる。また、2019 年 1 月－6 月の期間でも上位に入っていたインドネシア 2 空港（スカルノ・ハッタ国際空港、ングラ・ライ国際空港）、マレーシア 1 空港（クアラルンプール国際空港）、およびタイ 1 空港（スワンナプーム空港）に加えて、2024 年 1 月－6 月の期間では、ベトナム 2 空港（ダナン国際空港、タンソンニャット国際空港）が上位に入っている。両期間に共通して、中部国際空港の場合には、ビヨンドの目的空港として、東南アジア地域の空港が多いことが特徴的である。

比較対象空港におけるビヨンドの上位第 10 位までの目的空港については、関西国際空港は、両期間に共通して、全て海外の空港となっている。そして、海外の目的空港としては、アジア地域を中心に、ヨーロッパ地域や北アメリカ地域、オセアニア地域の空港が広く含まれており、特に、2019 年 1 月－6 月の期間では、ヨーロッパ地域の 4 空港（ロンドン・ヒースロー空港 [第 3 位]、フィウミチーノ空港 [第 5 位]、パリ＝シャルル・ド・ゴール空港 [第 6 位]、バルセロナ＝エル・プラット空港 [第 8 位]）が上位に入っている。また、両期間に共通して、上位 2 空港はスカルノ・ハッタ国際空港（2019 年 1 月－6 月：3.3 万人 [3.1%]、2024 年 1 月－6 月：3.4 万人 [3.5%]）、そしてスワンナプーム空港（2019 年 1 月－6 月：2.9 万人 [2.8%]、2024 年 1 月－6 月：3.1 万人 [3.2%]）となっている。福岡空港に関しては、両期間に共通して、新千歳を目的空港とする旅客が最も多い（2019 年 1 月－6 月：4.3 万人 [8.3%]、2024 年 1 月－6 月：4.0 万人 [9.9%]）。また、韓国 2 空港（金浦国際空港、済州国際空港）とリゾート地である 2 空港（ングラ・ライ国際空港、ダニエル・K・イノウエ国際空港）についても、両期間とも上位に入っている。両期間における特徴的な変化は、2019 年 1 月－6 月の期間では日本の空港は 3 空港であったが、2024 年 1 月－6 月の期間では 6 空港にまで増えている点であるだろう⁶⁾。

⁶⁾ 表 1.10 で示した中部国際空港と比較対象空港におけるビヨンドの上位 10 目的空港ごとの上位 10 経由空港については、【詳細表】を参照されたい。

表 1.10 中部国際空港と比較対象空港におけるビヨンドの上位 10 目的空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	ングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	21,271	3.8
2	青森空港	AOJ	日本	青森	20,792	3.7
3	花巻空港	HNA	日本	盛岡	18,859	3.4
4	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	14,146	2.5
5	釧路空港	KUH	日本	釧路	13,742	2.5
6	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	11,086	2.0
7	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	10,884	1.9
8	済州国際空港	CJU	韓国	済州	10,850	1.9
9	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	10,596	1.9
10	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	9,862	1.8
...	...	...	...	...	...	...
	合計				559,535	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	12,717	3.8
2	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	12,255	3.6
3	青森空港	AOJ	日本	青森	9,920	2.9
4	ングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	8,822	2.6
5	花巻空港	HNA	日本	盛岡	7,922	2.3
6	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	7,456	2.2
7	ダナン国際空港	DAD	ベトナム	ダナン	7,124	2.1
8	新石垣空港	ISG	日本	石垣	6,569	1.9
9	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	6,508	1.9
10	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	5,852	1.7
...	...	...	...	...	...	...
	合計				337,400	100



(2) 関西国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	32,554	3.1
2	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	29,289	2.8
3	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	18,835	1.8
4	済州国際空港	CJU	韓国	済州	18,086	1.7
5	フィウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	16,892	1.6
6	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	16,004	1.5
7	シェムリアップ国際空港	REP	カンボジア	シェムリアップ	15,446	1.5
8	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	15,273	1.5
9	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	15,142	1.5
10	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	14,566	1.4
...	...	...	...	...	...	...
	合計				1,036,760	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	34,134	3.5
2	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	31,427	3.2
3	ングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	23,358	2.4
4	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	20,533	2.1
5	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	19,340	2.0
6	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	16,391	1.7
7	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	15,846	1.6
8	済州国際空港	CJU	韓国	済州	15,618	1.6
9	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	14,785	1.5
10	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	14,222	1.4
...	...	...	...	...	...	...
	合計				985,493	100



(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	43,293	8.3
2	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	32,755	6.3
3	済州国際空港	CJU	韓国	済州	29,870	5.7
4	ングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	15,602	3.0
5	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	14,120	2.7
6	東京国際空港	HND	日本	東京	11,826	2.3
7	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	11,803	2.3
8	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	11,672	2.2
9	青森空港	AOJ	日本	青森	9,899	1.9
10	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	9,792	1.9
...	...	...	...	...	...	...
	合計				521,325	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	39,789	9.9
2	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	28,854	7.2
3	済州国際空港	CJU	韓国	済州	19,479	4.9
4	東京国際空港	HND	日本	東京	11,782	2.9
5	青森空港	AOJ	日本	青森	8,969	2.2
6	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	8,818	2.2
7	宮古空港	MMY	日本	宮古島	8,292	2.1
8	新石垣空港	ISG	日本	石垣	8,227	2.0
9	秋田空港	AXT	日本	秋田	7,801	1.9
10	ングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	7,345	1.8
...	...	...	...	...	...	...
	合計				401,614	100

出所) OAG Traffic Analyser より、筆者作成。



1.3.3 ビハインド

そして、表 1.11 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港）におけるビハインドの上位第 10 位までの出発空港別旅客数とその割合を示したものであるが、これは図 1.1 におけるビハインドの A 空港が該当する。

同表からは、中部国際空港を出発する旅客の上位第 5 位までの出発空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、新千歳空港（1.8 万人 [13.1%]）、仙台空港（1.2 万人 [8.7%]）、福岡空港（1.1 万人 [7.9%]）、鹿児島空港（0.8 万人 [5.8%]）、そして仁川国際空港（0.7 万人 [5.0%]）であり、仁川国際空港を除けば、上位第 10 位まで全て日本の空港となっている。一方、2024 年 1 月－6 月の期間では、新千歳空港（1.0 万人 [13.3%]）、香港国際空港（0.7 万人 [9.2%]）、仙台空港（0.6 万人 [8.2%]）、那覇空港（0.5 万人 [6.1%]）、そして長崎空港（0.4 万人 [4.8%]）であり、仁川国際空港に香港国際空港を加えた 2 空港のみが海外の空港であり、それ以外は全て日本の空港となっている。両期間に共通して、主に、日本の空港を出発した旅客が中部国際空港で乗り換えており、2019 年 1 月－6 月の期間における東京国際空港を除けば、その全てが北海道地方や東北地方、あるいは、九州地方や沖縄地方の空港となっている。また、両期間とも新千歳空港（2019 年 1 月－6 月：1.8 万人 [13.1%]、2024 年 1 月－6 月：1.0 万人 [13.3%]）が最も多くなっている。

比較対象空港におけるビハインドの上位第 10 位までの出発空港については、関西国際空港は、両期間に共通して、日本の空港が 4 空港、そして海外の空港が 6 空港であり、第 1 位が東京国際空港（2019 年 1 月－6 月：1.7 万人 [14.5%]、2024 年 1 月－6 月：1.6 万人 [17.2%]）、そして第 2 位が新千歳空港（2019 年 1 月－6 月：1.1 万人 [9.5%]、2024 年 1 月－6 月：1.0 万人 [10.7%]）となっている。海外の出発空港としては、韓国や中国、台湾の空港に加えて、両期間ともダニエル・K・イノウエ国際空港が、2019 年 1 月－6 月の期間にはヌメア国際空港が、上位 10 位までに入っている。福岡空港に関しては、2019 年 1 月－6 月の期間では韓国 2 空港（済州国際空港、仁川国際空港）、そして 2024 年 1 月－6 月の期間では韓国 1 空港（仁川国際空港）を除いて、全て日本の空港が出発空港となっている。そして、上位第 4 位までの空港は、那覇空港（2019 年 1 月－6 月：2.7 万人 [10.0%]、2024 年 1 月－6 月：4.3 万人 [13.8%]）、東京国際空港（2019 年 1 月－6 月：2.7 万人 [9.8%]、2024 年 1 月－6 月：4.3 万人 [13.7%]）、宮崎空港（2019 年 1 月－6 月：2.7 万人 [9.7%]、2024 年 1 月－6 月：2.4 万人 [7.8%]）、そして松山空港（2019 年 1 月－6 月：2.0 万人 [7.2%]、2024 年 1 月－6 月：1.9 万人 [6.1%]）となっている⁷⁾。

⁷⁾ 表 1.11 で示した中部国際空港と比較対象空港におけるビハインドの上位 10 出発空港ごとの上位 10 目的空港については、【詳細表】を参照されたい。

表 1.11 中部国際空港と比較対象空港におけるビハインドの上位 10 出発空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	出発空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	17,729	13.1
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	11,742	8.7
3	福岡空港	FUK	日本	福岡	10,594	7.9
4	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	7,873	5.8
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	6,745	5.0
6	旭川空港	AKJ	日本	旭川	6,389	4.7
7	那覇空港	OKA	日本	那覇	6,068	4.5
8	東京国際空港	HND	日本	東京	6,040	4.5
9	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	4,621	3.4
10	新石垣空港	ISG	日本	石垣	4,457	3.3
...	...	...	...	...	...	...
	合計				134,943	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	出発空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	10,266	13.3
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	7,089	9.2
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	6,323	8.2
4	那覇空港	OKA	日本	那覇	4,726	6.1
5	長崎空港	NGS	日本	長崎	3,732	4.8
6	福岡空港	FUK	日本	福岡	3,693	4.8
7	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	3,666	4.7
8	熊本空港	KMJ	日本	熊本	3,603	4.7
9	大分空港	OIT	日本	大分	3,516	4.5
10	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	3,235	4.2
...	...	...	...	...	...	...
	合計				77,415	100



(2) 関西国際空港

①2019年1月－6月

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	16,981	14.5
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	11,039	9.5
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	7,914	6.8
4	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	6,836	5.9
5	福岡空港	FUK	日本	福岡	5,293	4.5
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	4,440	3.8
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	4,111	3.5
8	ヌメア国際空港	NOU	ニューカレドニア	ヌメア	3,658	3.1
9	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	3,116	2.7
10	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	2,944	2.5
...	...	...	...	...	...	...
	合計				116,782	100

②2024年1月－6月

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	15,626	17.2
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	9,706	10.7
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	5,335	5.9
4	成田国際空港	NRT	日本	東京	4,850	5.4
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	4,722	5.2
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	4,334	4.8
7	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	4,035	4.5
8	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	3,418	3.8
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	3,004	3.3
10	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	2,965	3.3
...	...	...	...	...	...	...
	合計				90,623	100



(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	出発空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	27,439	10.0
2	東京国際空港	HND	日本	東京	26,888	9.8
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	26,584	9.7
4	松山空港	MYJ	日本	松山	19,835	7.2
5	済州国際空港	CJU	韓国	済州	17,385	6.3
6	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	15,429	5.6
7	仙台空港	SDJ	日本	仙台	13,342	4.9
8	対馬空港	TSJ	日本	対馬	12,744	4.7
9	名古屋飛行場	NKM	日本	名古屋	11,133	4.1
10	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	10,105	3.7
...	...	...	...	...	...	...
	合計				273,949	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	出発空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	43,368	13.8
2	東京国際空港	HND	日本	東京	43,004	13.7
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	24,417	7.8
4	松山空港	MYJ	日本	松山	19,292	6.1
5	対馬空港	TSJ	日本	対馬	15,670	5.0
6	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	13,829	4.4
7	静岡空港	FSZ	日本	静岡	11,414	3.6
8	天草空港	AXJ	日本	天草	10,945	3.5
9	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	10,890	3.5
10	仙台空港	SDJ	日本	仙台	10,460	3.3
...	...	...	...	...	...	...
	合計				313,970	100

出所) OAG Traffic Analyser より、筆者作成。



一方、表 1.12 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港）におけるビハインドの上位第 10 位までの目的空港別旅客数とその割合を示したものであるが、これは図 1.1 におけるビハインドの C 空港が該当する。

同表からは、中部国際空港を経由する旅客の上位第 5 位までの目的空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、新千歳空港（2.2 万人 [16.4%]）、福岡空港（1.4 万人 [10.6%]）、仙台

空港（1.3 万人 [9.9%]）、旭川空港（0.8 万人 [6.0%]）、そして鹿児島空港（0.8 万人 [5.6%]）であり、アメリカ 2 空港（ダニエル・K・イノウエ国際空港、グアム国際空港）を除けば、それ以外は全て日本の空港となっている。一方、2024 年 1 月－6 月の期間では、仙台空港（0.9 万人 [12.2%]）、新千歳空港（0.9 万人 [12.1%]）、長崎空港（0.6 万人 [7.8%]）、福岡空港（0.6 万人 [7.7%]）、そして秋田空港（0.4 万人 [5.2%]）であり、台湾 1 空港（高雄国際空港）と韓国 1 空港（仁川国際空港）を除けば、それ以外は全て日本の空港となっている。2019 年 1 月－6 月の期間における松山空港と 2024 年 1 月－6 月の期間における成田国際空港を除けば、両期間に共通して、中部国際空港を経由する旅客は、その全てが北海道地方や東北地方、あるいは、九州地方や沖縄地方の空港を目的空港としている。すなわち、同空港は、北海道地方や東北地方の空港と、九州地方や沖縄地方の空港との間の経由空港になっているといえるだろう。ただし、2019 年 1 月－6 月の期間と比較して、2024 年 1 月－6 月の期間における中部国際空港を経由するビハインドの旅客数は約半減している（2019 年 1 月－6 月：13.5 万人、2024 年 1 月－6 月：7.7 万人）。

比較対象空港におけるビハインドの上位第 10 位までの目的空港については、関西国際空港は、両期間に共通して、日本の空港が 4 空港、そして海外の空港が 6 空港となっている。また、上位第 4 位までの空港は、東京国際空港（2019 年 1 月－6 月：1.6 万人 [13.5%]、2024 年 1 月－6 月：1.0 万人 [10.9%]）、新千歳空港（2019 年 1 月－6 月：1.5 万人 [13.2%]、2024 年 1 月－6 月：1.6 万人 [17.4%]）、那覇空港（2019 年 1 月－6 月：0.9 万人 [7.8%]、2024 年 1 月－6 月：0.6 万人 [6.5%]）、およびダニエル・K・イノウエ国際空港（2019 年 1 月－6 月：0.6 万人 [5.5%]、2024 年 1 月－6 月：0.6 万人 [6.9%]）となっている。福岡空港に関しては、2019 年 1 月－6 月の期間では韓国 2 空港（仁川国際空港、金海国際空港）、そして 2024 年 1 月－6 月の期間では韓国 1 空港（仁川国際空港）と台湾 1 空港（台湾桃園国際空港）を除いて、全て日本の空港が目的空港となっている。そして、上位第 5 位までの空港は、仁川国際空港（2019 年 1 月－6 月：3.5 万人 [12.9%]、2024 年 1 月－6 月：1.5 万人 [4.6%]）、東京国際空港（2019 年 1 月－6 月：3.0 万人 [11.1%]、2024 年 1 月－6 月：3.2 万人 [10.0%]）、宮崎空港（2019 年 1 月－6 月：3.0 万人 [10.9%]、2024 年 1 月－6 月：3.6 万人 [11.5%]）、那覇空港（2019 年 1 月－6 月：2.8 万人 [10.4%]、2024 年 1 月－6 月：3.7 万人 [11.8%]）、そして松山空港（2019 年 1 月－6 月：2.0 万人 [7.3%]、2024 年 1 月－6 月：1.5 万人 [4.8%]）となっている⁸⁾。

⁸⁾ 表 1.12 で示した中部国際空港と比較対象空港におけるビハインドの上位 10 目的空港ごとの上位 10 出発空港については、【詳細表】を参照されたい。

表 1.12 中部国際空港と比較対象空港におけるビハインドの上位 10 目的空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	22,095	16.4
2	福岡空港	FUK	日本	福岡	14,250	10.6
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	13,331	9.9
4	旭川空港	AKJ	日本	旭川	8,053	6.0
5	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	7,515	5.6
6	那覇空港	OKA	日本	那覇	6,776	5.0
7	松山空港	MYJ	日本	松山	4,887	3.6
8	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	3,769	2.8
9	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	3,762	2.8
10	女満別空港	MMB	日本	網走	3,565	2.6
...	...	...	...	...	...	...
	合計				134,943	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	仙台空港	SDJ	日本	仙台	9,476	12.2
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	9,388	12.1
3	長崎空港	NGS	日本	長崎	6,008	7.8
4	福岡空港	FUK	日本	福岡	5,952	7.7
5	秋田空港	AXT	日本	秋田	4,014	5.2
6	大分空港	OIT	日本	大分	3,301	4.3
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	3,290	4.2
8	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	3,184	4.1
9	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	3,151	4.1
10	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	3,027	3.9
...	...	...	...	...	...	...
	合計				77,415	100



(2) 関西国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	15,759	13.5
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	15,450	13.2
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	9,066	7.8
4	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	6,380	5.5
5	福岡空港	FUK	日本	福岡	6,124	5.2
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	4,105	3.5
7	香港国際空港	HKG	中国	香港	3,655	3.1
8	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	3,636	3.1
9	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	3,580	3.1
10	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	3,451	3.0
...	...	...	...	...	...	...
	合計				116,782	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	15,761	17.4
2	東京国際空港	HND	日本	東京	9,844	10.9
3	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	6,268	6.9
4	那覇空港	OKA	日本	那覇	5,866	6.5
5	成田国際空港	NRT	日本	東京	4,383	4.8
6	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	4,295	4.7
7	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	3,199	3.5
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	3,087	3.4
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	2,900	3.2
10	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	2,647	2.9
...	...	...	...	...	...	...
	合計				90,623	100



(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	35,312	12.9
2	東京国際空港	HND	日本	東京	30,407	11.1
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	29,941	10.9
4	那覇空港	OKA	日本	那覇	28,388	10.4
5	松山空港	MYJ	日本	松山	20,045	7.3
6	仙台空港	SDJ	日本	仙台	15,190	5.5
7	名古屋飛行場	NKM	日本	名古屋	11,484	4.2
8	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	10,319	3.8
9	対馬空港	TSJ	日本	対馬	10,238	3.7
10	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	9,748	3.6
...	...	...	...	...	...	...
	合計				273,949	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	37,073	11.8
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	36,179	11.5
3	東京国際空港	HND	日本	東京	31,537	10.0
4	松山空港	MYJ	日本	松山	15,076	4.8
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	14,574	4.6
6	対馬空港	TSJ	日本	対馬	12,611	4.0
7	仙台空港	SDJ	日本	仙台	12,524	4.0
8	静岡空港	FSZ	日本	静岡	11,521	3.7
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	10,998	3.5
10	名古屋飛行場	NKM	日本	名古屋	10,772	3.4
...	...	...	...	...	...	...
	合計				313,970	100

出所) OAG Traffic Analyser より、筆者作成。



1.3.4 ブリッジ

最後に、表 1.13 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港）におけるブリッジの上位第 10 位までの出発空港別旅客数とその割合を示したものであるが、これは図 1.1 におけるブリッジの A 空港が該当する。

同表からは、中部国際空港からさらに乗り換える旅客の上位第 5 位までの出発空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、新千歳空港（1.2 千人 [17.6%]）、東京国際空港（0.9 千人 [14.0%]）、マクタン・セブ国際空港（0.8 千人 [11.6%]）、福岡空港（0.7 千人 [10.7%]）、そして那覇空港（0.6 千人 [9.3%]）であり、フィリピン 2 空港（マクタン・セブ国際空港、ニノイ・アキノ国際空港）と台湾 1 空港（台湾桃園国際空港）を除いて、全て日本の空港が出発空港となっている。一方、2024 年 1 月－6 月の期間では、新千歳空港（0.6 千人 [26.5%]）、成田国際空港（0.6 千人 [26.0%]）、仙台空港（0.3 千人 [14.1%]）、ニノイ・アキノ国際空港（0.1 千人 [6.2%]）、そして那覇空港（0.1 千人 [5.4%]）であり、フィリピン 1 空港（ニノイ・アキノ国際空港）とアメリカ 1 空港（ダニエル・K・イノウエ国際空港）の 2 空港のみが海外の空港であり、それ以外は全て日本の空港となっている。両期間に共通して、ブリッジの出発旅客数自体は少ないものの、主に日本の空港が出発空港となっており、新千歳空港が最も多い。

比較対象空港におけるブリッジの上位第 10 位までの出発空港については、関西国際空港は、両期間に共通して、日本の空港が 4 空港、そして海外の空港が 6 空港であり、2019 年 1 月－6 月の期間では、第 1 位がヌメア国際空港（2.9 千人 [21.2%]）、2024 年 1 月－6 月の期間では、第 1 位がニノイ・アキノ国際空港（1.3 千人 [12.6%]）となっている。福岡空港に関しては、両期間に共通して、中部国際空港や関西国際空港よりも出発旅客数が多くなっているが、これは、福岡空港からさらに他の空港で乗り換えて、目的空港に向かう旅客数が多いことを意味する。そして、2019 年 1 月－6 月の期間では韓国 1 空港（仁川国際空港）、2024 年 1 月－6 月の期間では韓国 2 空港（仁川国際空港、金海国際空港）を除いて、全て日本の空港が出発空港となっており、両期間とも仁川国際空港が最も多くなっている（2019 年 1 月－6 月：10.7 千人 [61.1%]、2024 年 1 月－6 月：5.8 千人 [37.4%]）。また、2019 年 1 月－6 月の期間における福江空港（1.1 千人 [6.4%]）と対馬空港（1.0 千人 [5.6%]）、そして 2024 年 1 月－6 月の期間における対馬空港（2.1 千人 [13.8%]）、福江空港（1.8 千人 [11.6%]）、および天草空港（0.3 千人 [1.9%]）をはじめ、離島空港が上位第 10 位までに入っていることが特徴的であるだろう。

表 1.13 中部国際空港と比較対象空港におけるブリッジの上位 10 出発空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	出発空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,177	17.6
2	東京国際空港	HND	日本	東京	938	14.0
3	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	778	11.6
4	福岡空港	FUK	日本	福岡	719	10.7
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	622	9.3
6	仙台空港	SDJ	日本	仙台	520	7.8
7	新潟空港	KIJ	日本	新潟	322	4.8
8	秋田空港	AXT	日本	秋田	220	3.3
9	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	204	3.0
10	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	177	2.6
...	...	...	...	...	...	...
	合計				6,693	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	出発空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	632	26.5
2	成田国際空港	NRT	日本	東京	622	26.0
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	337	14.1
4	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	148	6.2
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	128	5.4
6	秋田空港	AXT	日本	秋田	126	5.3
7	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	82	3.4
8	長崎空港	NGS	日本	長崎	75	3.1
9	東京国際空港	HND	日本	東京	69	2.9
10	松山空港	MYJ	日本	松山	62	2.6
...	...	...	...	...	...	...
	合計				2,388	100



(2) 関西国際空港

①2019年1月－6月

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ヌメア国際空港	NOU	ニューカレドニア	ヌメア	2,873	21.2
2	東京国際空港	HND	日本	東京	1,819	13.4
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,645	12.1
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,336	9.8
5	福岡空港	FUK	日本	福岡	1,066	7.8
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	743	5.5
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	727	5.4
8	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	345	2.5
9	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	325	2.4
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	263	1.9
...	...	...	...	...	...	...
	合計				13,580	100

②2024年1月－6月

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1,337	12.6
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,319	12.5
3	東京国際空港	HND	日本	東京	1,251	11.8
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,215	11.5
5	成田国際空港	NRT	日本	東京	1,033	9.8
6	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	911	8.6
7	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	618	5.8
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	391	3.7
9	香港国際空港	HKG	中国	香港	369	3.5
10	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	319	3.0
...	...	...	...	...	...	...
	合計				10,584	100



(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	出発空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	10,727	61.1
2	福江空港	FUJ	日本	五島	1,129	6.4
3	対馬空港	TSJ	日本	対馬	990	5.6
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	916	5.2
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	852	4.9
6	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	728	4.1
7	東京国際空港	HND	日本	東京	670	3.8
8	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	405	2.3
9	松山空港	MYJ	日本	松山	244	1.4
10	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	213	1.2
...	...	...	...	...	...	...
	合計				17,547	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	出発空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	5,765	37.4
2	対馬空港	TSJ	日本	対馬	2,119	13.8
3	福江空港	FUJ	日本	五島	1,787	11.6
4	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	1,196	7.8
5	東京国際空港	HND	日本	東京	752	4.9
6	那覇空港	OKA	日本	那覇	737	4.8
7	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	565	3.7
8	仙台空港	SDJ	日本	仙台	368	2.4
9	松山空港	MYJ	日本	松山	352	2.3
10	天草空港	AXJ	日本	天草	290	1.9
...	...	...	...	...	...	...
	合計				15,407	100

出所) OAG Traffic Analyser より、筆者作成。



一方、表 1.14 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港）におけるブリッジの上位第 10 位までの経由空港別旅客数とその割合を示したものであるが、これは図 1.1 におけるブリッジの C 空港が該当する。

同表からは、中部国際空港からさらに乗り換える旅客の上位第 5 位までの経由空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、デトロイト・メトロポリタン・ウェイン・カウンティ空港

(1.8 千人 [26.4%])、ヘルシンキ・ヴァンター国際空港 (1.6 千人 [23.9%])、福岡空港 (0.6 千人 [9.5%])、フランクフルト空港 (0.4 千人 [6.7%])、そして成田国際空港 (0.4 千人 [6.5%]) であり、上位第 2 位までの海外 2 空港を除いて旅客数自体が絶対的に少ないことから、不定期の旅客流動だと考えられる。一方、2024 年 1 月－6 月の期間では、新千歳空港 (0.6 千人 [27.2%])、成田国際空港 (0.5 千人 [21.8%])、福岡空港 (0.4 千人 [15.5%])、那覇空港 (0.4 千人 [14.8%])、そして香港国際空港 (0.2 千人 [7.0%]) であり、2019 年 1 月－6 月の期間と比較して、1/3 程度にまで減少している上に (2019 年 1 月－6 月 : 6.7 千人、2024 年 1 月－6 月 : 2.4 千人)、第 1 位の新千歳空港も含めて、旅客数自体が絶対的に少ないことから、やはり不定期の旅客流動だと考えられる。

比較対象空港におけるブリッジの上位第 10 位までの経由空港については、関西国際空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、アムステルダム・スキポール空港 (2.0 千人 [15.2%])、ヘルシンキ・ヴァンター国際空港 (1.8 千人 [13.6%])、およびパリ＝シャルル・ド・ゴール空港 (1.3 千人 [9.2%]) が上位 3 空港となっている。一方、2024 年 1 月－6 月の期間では、KLM オランダ航空とフィンエアー、エールフランスの 3 社ともに、COVID-19 回復後は減便していることから、これらの 3 空港は上位第 10 位までには入っていない。代わって、バンクーバー国際空港 (1.5 千人 [14.3%]) とサンフランシスコ国際空港 (1.3 千人 [12.5%]) の北アメリカ地域の 2 空港、そして新千歳空港 (1.1 千人 [10.3%]) が上位 3 空港となっている。両期間に共通して、それ以外の経由空港については、旅客数自体が絶対的に少ないことから、不定期の旅客流動だと考えられる。福岡空港に関しては、両期間に共通して、中部国際空港や関西国際空港よりも、やはり経由旅客数が多くなっている。福岡空港からさらに経由する空港は、両期間に共通して、東京国際空港 (2019 年 1 月－6 月 : 7.5 千人 [43.0%]、2024 年 1 月－6 月 : 8.0 千人 [52.0%])、那覇空港 (2019 年 1 月－6 月 : 1.4 千人 [7.8%]、2024 年 1 月－6 月 : 3.0 千人 [19.6%])、および大阪国際空港 (2019 年 1 月－6 月 : 1.0 千人 [5.9%]、2024 年 1 月－6 月 : 1.3 千人 [8.5%]) の日本 3 空港、そして金海国際空港 (2019 年 1 月－6 月 : 4.7 千人 [26.6%]、2024 年 1 月－6 月 : 0.7 千人 [4.3%]) と仁川国際空港 (2019 年 1 月－6 月 : 0.9 千人 [5.4%]、2024 年 1 月－6 月 : 0.6 千人 [4.0%]) の韓国 2 空港であり、これら 5 空港の旅客数は比較的多い。それ以外の経由空港については、旅客数自体が絶対的に少ないことから、やはり不定期の旅客流動だと考えられる。

表 1.14 中部国際空港と比較対象空港におけるブリッジの上位 10 経由空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	経由空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	デトロイト・メトロポリタン・ウェイン・カウンティ空港	DTW	アメリカ	デトロイト	1,764	26.4
2	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	1,600	23.9
3	福岡空港	FUK	日本	福岡	634	9.5
4	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	446	6.7
5	成田国際空港	NRT	日本	東京	434	6.5
6	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	274	4.1
7	ハーツフィールド・ジャクソン・アトランタ国際空港	ATL	アメリカ	アトランタ	272	4.1
8	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	199	3.0
9	香港国際空港	HKG	中国	香港	196	2.9
10	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	187	2.8
...	...	...	...	...	...	...
	合計				6,693	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	経由空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	649	27.2
2	成田国際空港	NRT	日本	東京	521	21.8
3	福岡空港	FUK	日本	福岡	371	15.5
4	那覇空港	OKA	日本	那覇	354	14.8
5	香港国際空港	HKG	中国	香港	168	7.0
6	東京国際空港	HND	日本	東京	103	4.3
7	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	67	2.8
8	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	36	1.5
9	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	27	1.1
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	16	0.7
...	...	...	...	...	...	...
	合計				2,388	100



(2) 関西国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	経由空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	2,069	15.2
2	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	1,842	13.6
3	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,255	9.2
4	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	915	6.7
5	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	835	6.1
6	東京国際空港	HND	日本	東京	604	4.4
7	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	603	4.4
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	577	4.2
9	オークランド国際空港	AKL	ニュージーランド	オークランド	549	4.0
10	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	528	3.9
...	...	...	...	...	...	...
	合計				13,580	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	経由空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	1,515	14.3
2	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	1,326	12.5
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,093	10.3
4	東京国際空港	HND	日本	東京	858	8.1
5	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	792	7.5
6	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	750	7.1
7	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	598	5.7
8	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	448	4.2
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	419	4.0
10	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	357	3.4
...	...	...	...	...	...	...
	合計				10,584	100



(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	経由空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	7,544	43.0
2	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	4,666	26.6
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,366	7.8
4	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1,038	5.9
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	946	5.4
6	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	527	3.0
7	新千歳空港	CTS	日本	札幌	271	1.5
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	202	1.2
9	香港国際空港	HKG	中国	香港	157	0.9
10	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	156	0.9
...	...	...	...	...	...	...
	合計				17,547	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	経由空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	8,017	52.0
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	3,013	19.6
3	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1,311	8.5
4	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	661	4.3
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	610	4.0
6	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	356	2.3
7	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	282	1.8
8	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	177	1.1
9	香港国際空港	HKG	中国	香港	172	1.1
10	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	144	0.9
...	...	...	...	...	...	...
	合計				15,407	100

出所) OAG Traffic Analyser より、筆者作成。



さらに、表 1.15 は、2019 年 1 月－6 月と 2024 年 1 月－6 月の中部国際空港、そして比較対象空港（関西国際空港、福岡空港）におけるブリッジの上位第 10 位までの目的空港別旅客数とその割合を示したものであるが、これは図 1.1 におけるブリッジの D 空港が該当する。

同表からは、中部国際空港からさらに乗り換える旅客の上位第 5 位までの目的空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、金海国際空港(0.3 千人[4.2%])、奄美空港(0.2 千人[3.6%])、

ストックホルム・アーランダ空港（0.2 千人 [2.6%]）、仁川国際空港（0.2 千人 [2.4%]）、そしてオスロ空港（0.2 千人 [2.3%]）であり、2024 年 1 月－6 月の期間では、釧路空港（0.3 千人 [12.1%]）、函館空港（0.2 千人 [8.6%]）、ダニエル・K・イノウエ国際空港（0.1 千人 [6.2%]）、ドンムアン空港（0.1 千人 [5.5%]）、そして女満別空港（0.1 千人 [4.6%]）となっており、旅客数自体が絶対的に少ないことから、ここでも不定期の旅客流動であると考えられる。

比較対象空港におけるブリッジの上位第 10 位までの目的空港についても、旅客数が絶対的に少ないことから、両期間に共通して、基本的には不定期の旅客流動だと考えられる。ただし、2019 年 1 月－6 月の期間における関西国際空港のフランス 4 空港（パリ＝シャルルド・ゴール空港、リヨン＝サン＝テグジュペリ国際空港、ボルドー＝メリニャック空港、マルセイユ＝プロヴァンス空港）、スペイン 1 空港（バルセロナ＝エル・プラット空港）、およびイタリア 1 空港（フィウミチーノ空港）をはじめとするヨーロッパ地域の 6 空港は、関西国際空港からさらにアムステルダム・スキポール空港、あるいは、パリ＝シャルルド・ゴール空港を経由した旅客の目的空港である。しかしながら、先に述べた通り、KLM オランダ航空とエールフランスの両社は、COVID-19 回復後は減便していることから、2024 年 1 月－6 月の期間では、ヨーロッパ地域の諸空港は上位第 10 位までには入っていない。代わって、カナダ 3 空港（カルガリー国際空港、エドモントン国際空港、トロント・ピアソン国際空港）やアメリカ 3 空港（サンディエゴ国際空港、シカゴ・オヘア国際空港、ハリー・リード国際空港）が、旅客数自体は少ないものの、上位第 10 位までに入っている。福岡空港に関しては、両期間に共通して、中部国際空港や関西国際空港よりも、やはり旅客数が多くなっている。そして、旅客数が 1 千人以上の空港は、2019 年 1 月－6 月の期間では、済州国際空港（4.6 千人 [26.5%]）、富山空港（4.4 千人 [24.9%]）、函館空港（1.3 千人 [7.4%]）、および秋田空港（1.0 千人 [5.7%]）であり、2024 年 1 月－6 月の期間では、富山空港（3.5 千人 [22.5%]）、新石垣空港（2.1 千人 [13.7%]）、および旭川空港（1.7 千人 [11.2%]）となっている。これらの旅客は、主に、福岡空港と国内の他の主要空港（東京国際空港、大阪国際空港、那覇空港等）の 2 空港で乗り換えて、北海道地方や東北地方、北陸地方、九州地方、あるいは、沖縄地方の空港を目的空港としていることが分かる⁹⁾。

⁹⁾ 表 1.14 で示した中部国際空港と比較対象空港におけるブリッジの上位 10 経由空港ごとの上位 10 出発空港および上位 10 目的空港については、【詳細表】を参照されたい。

表 1.15 中部国際空港と比較対象空港におけるブリッジの上位 10 目的空港

(1) 中部国際空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	279	4.2
2	奄美空港	ASJ	日本	奄美	242	3.6
3	ストックホルム・アーランダ空港	ARN	スウェーデン	ストックホルム	175	2.6
4	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	160	2.4
5	オスロ空港	OSL	ノルウェー	オスロ	155	2.3
6	ベルリン・テーゲル空港	TXL	ドイツ	ベルリン	133	2.0
7	コペンハーゲン空港	CPH	デンマーク	コペンハーゲン	117	1.7
8	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	117	1.7
9	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	115	1.7
10	オーランド国際空港	MCO	アメリカ	オーランド	109	1.6
...	...	...	...	...	...	...
	合計				6,693	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	釧路空港	KUH	日本	釧路	288	12.1
2	函館空港	HKD	日本	函館	206	8.6
3	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	147	6.2
4	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	131	5.5
5	女満別空港	MMB	日本	網走	109	4.6
6	久米島空港	UEO	日本	久米島	108	4.5
7	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	97	4.1
8	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	96	4.0
9	トロント・ピアソン国際空港	YYZ	カナダ	トロント	89	3.7
10	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	80	3.4
...	...	...	...	...	...	...
	合計				2,388	100



(2) 関西国際空港

①2019年1月－6月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,102	8.1
2	ングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	434	3.2
3	クライストチャーチ国際空港	CHC	ニュージーランド	クライストチャーチ	340	2.5
4	サンディエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	328	2.4
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	271	2.0
6	リヨン＝サン＝テグジュペリ国際空港	LYS	フランス	リヨン	250	1.8
7	ボルドー＝メリニャック空港	BOD	フランス	ボルドー	247	1.8
8	マルセイユ＝プロヴァンス空港	MRS	フランス	マルセイユ	241	1.8
9	バルセロナ＝エル＝プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	238	1.8
10	フィウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	224	1.6
...	...	...	...	...	...	...
	合計				13,580	100

②2024年1月－6月

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	釧路空港	KUH	日本	釧路	758	7.2
2	カルガリー国際空港	YYC	カナダ	カルガリー	378	3.6
3	旭川空港	AKJ	日本	旭川	333	3.1
4	サンディエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	310	2.9
5	エドモントン国際空港	YEG	カナダ	エドモントン	309	2.9
6	トロント＝ピアソン国際空港	YYZ	カナダ	トロント	292	2.8
7	シカゴ＝オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	213	2.0
8	女満別空港	MMB	日本	網走	211	2.0
9	パース空港	PER	オーストラリア	パース	202	1.9
10	ハリー＝リード国際空港	LAS	アメリカ	ラスベガス	190	1.8
...	...	...	...	...	...	...
	合計				10,584	100



(3) 福岡空港

①2019 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	済州国際空港	CJU	韓国	済州	4,647	26.5
2	富山空港	TOY	日本	富山	4,371	24.9
3	函館空港	HKD	日本	函館	1,301	7.4
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	1,008	5.7
5	福島空港	FKS	日本	福島	700	4.0
6	久米島空港	UEO	日本	久米島	638	3.6
7	新石垣空港	ISG	日本	石垣	612	3.5
8	上海虹橋国際空港	SHA	中国	上海	450	2.6
9	サイパン国際空港	SPN	北マリアナ諸島	ガラパン	405	2.3
10	小松空港	KMQ	日本	金沢	256	1.5
...	...	...	...	...	...	...
	合計				17,547	100

②2024 年 1 月－6 月

順位	目的空港	空港 コード	国／地域	最大 母都市	旅客数 (人)	割合 (%)
1	富山空港	TOY	日本	富山	3,463	22.5
2	新石垣空港	ISG	日本	石垣	2,116	13.7
3	旭川空港	AKJ	日本	旭川	1,733	11.2
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	807	5.2
5	福島空港	FKS	日本	福島	702	4.6
6	久米島空港	UEO	日本	久米島	539	3.5
7	新千歳空港	CTS	日本	札幌	528	3.4
8	済州国際空港	CJU	韓国	済州	500	3.2
9	庄内空港	SYO	日本	酒田	376	2.4
10	函館空港	HKD	日本	函館	317	2.1
...	...	...	...	...	...	...
	合計				15,407	100

出所) OAG Traffic Analyser より、筆者作成。



第2章 空港後背圏の設定と国内航空旅客流動の決定要因

2.1 空港後背圏と航空旅客流動

2.1.1 先行研究

航空旅客の流動分析を行う上で、空港後背圏を適切に設定することは重要である。これまでの先行研究では、市や郡をはじめとする行政の境界に基づいて、空港後背圏を設定している研究がある一方で（Wei and Hansen（2006）、Hazledine（2009）、Chang（2014））、空港や航空会社の後背圏を独自の方法で設定した研究も存在する（Pantazis and Liefner（2006）、Lieshout（2012）、Maertens（2012）、Suau-Sanchez et al.（2014）、Paliska et al.（2016）、Zhou et al.（2018）、Suau-Sanchez and Voltes-Dorta（2019）、Gao（2020）、Huber et al.（2021）、Teixeira and Derudder（2021）、Adler et al.（2022））。例えば、Pantazis and Liefner（2006）は、ドイツのハノーファー空港を分析対象として、15,000人以上の同空港利用者に対して調査を行い、LCCの就航が同空港の後背圏に及ぼす影響を分析している。同論文では、出発旅客の居住地を聞き取り調査し、それを郵便番号別の地域に分類することによって、LCCの後背圏を設定している。また、Zhou et al.（2018）は、西オーストラリア州を分析対象として、ティーセン・ポリゴン（Thiessen Polygon）と2.5時間自動車運転距離に基づきながら、2種類の空港後背圏を定義している¹⁰⁾。そして、ティーセン・ポリゴンに基づく空港後背圏の場合には、州全体をカバーした一方で、2.5時間自動車運転距離に基づく空港後背圏の場合には、州全体の32%だけカバーしていることを明らかにした。

我が国における空港後背圏を設定した先駆的な研究としては、井田（1994）が挙げられるだろう。同研究では、運輸省（現国土交通省）の「航空旅客動態基本調査（1981年11月17日（木）実施）」を利用して、各市町村別の出発旅客数と到着旅客数を求め、それらの旅客を利用空港別に集計した上で、空港別旅客数から市町村別に利用頻度の最も高い空港を識別し、各市町村はそれらの識別された空港の後背圏と定義している。そして、1981年時点における国内航空旅客を対象に、37空港の後背圏を画定しているが、それ以降、我が国では、多くの新空港が開港しているとともに、空港後背圏を「航空機に乗り込む旅客の出発地と降りた旅客の到着地」と定義している点については、その妥当性に議論の余地が残るだろう¹¹⁾。

¹⁰⁾ ティーセン・ポリゴン（あるいは、ボロノイ図（Voronoi Diagram）ともいう）とは、「複数の母点（ここでは空港）に対して、他の地点がどの母点（空港）に近いかにによって、領域分けされた図」のことであり、領域の境界線は、各々の母点（空港）の2等分線の1部となる（Croley and Hartmann（1985）、岡部・鈴木（1992）、Burrough et al.（2015））。

¹¹⁾ 同研究は、「乗降旅客数（出発旅客数+到着旅客数）」に基づいて空港後背圏の設定を行っているが、これには、例えば、ビジネス旅客も含まれている。しかしながら、本来、「空港後背圏はローカル旅客に規定される」との考えから、本稿では、「乗降客の現住所」に基づいて、空港後背圏の設定を行った。そして、2.3における分析では、ローカル需要で定義された空港後背圏の基本3変数（GRP、人口、距離）に

以下では、COVID-19 感染拡大前である 2019 年の航空旅客動態調査を利用し、我が国における空港後背圏を設定した上で、中部国際空港を中心に、国内航空旅客の流動特性を明らかにする。

2.1.2 EU とイギリスにおける地域分類

EU には、地域統計分類単位（Nomenclature of Units for Territorial Statistics : NUTS）という統計のための地方区画の標準規格があり、人口規模を基準として、NUTS 1（300 万人－700 万人）、NUTS 2（80 万人－300 万人）、および NUTS 3（15 万人－80 万人）の 3 レベルの地方区画を設定している（図 2.1 参照）。そして、それらの地方区画に対応する地域内総生産（Gross Regional Product : GRP）や人口データも入手可能である。EU を離脱したイギリスにおいても、それまでの NUTS を基本的に踏襲した地方区画（International Territorial Level : ITL）があり、ITL 1（12 地域）、ITL 2（41 地域）、および ITL 3（179 地域）の 3 レベルの地方区画を設定している。したがって、EU 諸国やイギリスの空港後背圏としては、各々、NUTS 2 や ITL 2 が利用可能であると考えられる。

その一方で、我が国の場合には、行政区画である都道府県レベルで空港後背圏を設定すると、複数空港が存在する都道府県や空港が存在しない都道府県が生じる。あるいは、都市圏レベルは、空港後背圏設定の観点からは都道府県レベルよりも適切であるものの、やはり複数空港が存在する都市圏や空港が存在しない都市圏が生じる¹²⁾。したがって、我が国には、空港後背圏として適切な地域区分は存在しない。

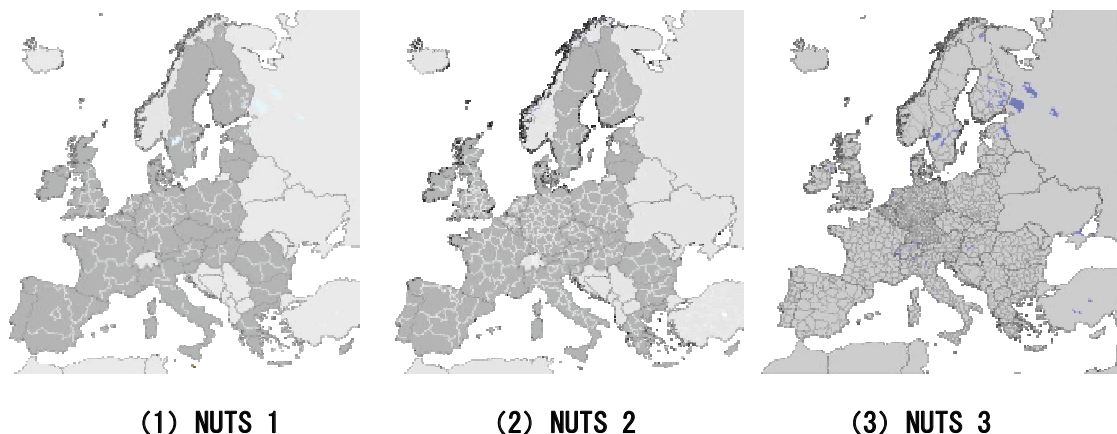


図 2.1 EU における地方区画

出所) Eurostat (<https://ec.europa.eu/eurostat/>) より、筆者引用。

よって、その空港後背圏の潜在的旅客数を規定した上で、ビジネス需要等のその他の要因は、基本 3 変数以外の変数でコントロールするか、あるいは、モデルの推計値を超える旅客数であると解釈した。

¹²⁾ 都市圏とは、行政区分を越えた広域的な経済的・社会的な関係性を持った地域区分である。

2.2 空港後背圏の設定

2.2.1 設定方法

以下では、我が国における国内航空旅客の空港後背圏を設定するために、国土交通省から公表されている「航空旅客動態調査（2019年／平日）」を利用する¹³⁾。

表 2.1 は、2019 年 11 月 13 日（水）に実施された同調査結果から、中部国際空港に関する集計結果の一部を抜粋して示したものである。同表からは、例えば、名古屋市を出発地として、同空港から飛行機に搭乗した旅客数は 1,581 人（26.4%）、名古屋市を目的地として、同空港で飛行機を降機した旅客数は 1,608 人（32.2%）、その合計が 3,189 人（29.0%）、そして名古屋市を現住所とする乗降客数は 1,803 人（16.3%）であったことが分かる。

表 2.1 航空旅客動態調査における中部国際空港の集計結果

地区名		出発旅客数 (出発地)	%	到着旅客数 (目的地)	%	合計（乗降 旅客数）	%	乗降客の 現住所	%	
愛知県	名古屋市	千種区	42	0.7	41	0.8	83	0.8	82	0.7
		東区	26	0.4	20	0.4	46	0.4	46	0.4
		名東区	44	0.7	56	1.1	100	0.9	77	0.7
		天白区	66	1.1	24	0.5	90	0.8	89	0.8
		不明	911	15.2	1,085	21.7	1,996	18.2	764	6.9
		小計	1,581	26.4	1,608	32.2	3,189	29.0	1,803	16.3
		豊橋市	102	1.7	76	1.5	178	1.6	154	1.4
	岡崎市	115	1.9	94	1.9	209	1.9	210	1.9	
	不明	508	8.5	337	6.7	845	7.7	224	2.0	
	合計	4,108	68.6	3,439	68.8	7,547	68.7	5,255	47.5	
	合計（日本国内）		5,988	100	4,996	100	10,984	100	11,061	100
外国	アメリカ合衆国	0	0.0	2	50.0	2	22.2	0	0.0	
	スペイン王国	1	20.0	0	0.0	1	11.1	0	0.0	
合計（外国）		5	100	4	100	9	100	0	0	
不明		667	—	598	—	1,265	—	1,197	—	
総合計		6,660	—	5,598	—	12,258	—	12,258	—	

注）2019 年 11 月 13 日（水）の集計結果に基づく。

出所）航空旅客動態調査（2019 年／平日）より、一部抜粋。

ここでは、まず、東京 23 区と政令指定都市は 1 都区および 1 市とした上で、全国の 1,725 市町村を対象として、同一郡に含まれる町村は集計した。ただし、複数の離島が含まれる島嶼地域においては、各離島が同一郡であっても、離島に空港が存在する場合には、それ

¹³⁾ 同調査は、国内線航空旅客の流動特性を把握することを目的として、調査日（調査年の 10 月および 11 月の平日・休日各 1 日）に、国内線定期便および定時運航する不定期便を利用する全ての旅客を対象に実施される、統計法に基づく一般統計調査である。そして、国内航空旅客の流動パターンや旅行目的、空港のアクセス・イグレス等を調査し、出発空港別や OD ペア別等の集計結果を公表している。

ら空港の後背圏とみなした¹⁴⁾。その結果、空港後背圏の設定は、合計 1,168 市郡（1 都区含む）に対して行った。次に、定期便および定時運航する不定期便の運航実績があった 86 空港について、各市郡の「乗降客の現住所」に着目し、各市郡は、「乗降客の現住所」が最も多い空港の後背圏であると定義した。例えば、先に示した名古屋市に関しては、中部国際空港の「乗降客の現住所」が最も多かったことから、中部国際空港の後背圏に含まれることになる。

2.2.2 設定結果

図 2.2 は、我が国の国内航空旅客を対象として、2.2.1 で述べた方法によって設定された空港後背圏を示したものである¹⁵⁾。同図に示した通り、83 の空港後背圏が画定されたが、札幌飛行場（丘珠空港）、名古屋飛行場（小牧空港）、および調布飛行場の 3 空港に関しては、空港後背圏は存在しなかった。すなわち、これらの空港における「乗降客の現住所」が最も多くなる市郡は確認できなかった。

同図からは、まず、四国と九州の空港については、2 空港が存在する福岡と熊本の両県を除いて、ほぼ県境に近い後背圏となっていることが観察される。次に、北海道の空港については、14 の総合振興局・振興局を集約した 8 地域生活経済圏（道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏）、あるいは、貨物地域流動調査における 7 地域区分（札幌、旭川、函館、室蘭、釧路、帯広、北見）に、基本的には沿った後背圏になっているといえるだろう。そして、青森や秋田、山形、鳥取、島根、山口をはじめ、複数空港が存在する県に関しては、全体的に旧国（令制国）や都市雇用圏の境界と共通しているのかも知れない¹⁶⁾。その一方で、東京国際空港や中部国際空港、関西国際空港、大阪国際空港等の国内拠点空港は、複数の都府県の全て、あるいは 1 部を包含した後背圏を形成していることが分かる。

¹⁴⁾ 例えば、島尻郡南大東村は南大東空港、そして島尻郡北大東村は北大東空港の後背圏とした。

¹⁵⁾ ただし、特定の平日を対象として、全ての旅客を対象に実施された全数調査に基づいていることから、市郡によっては、明らかに不自然な空港の後背圏に含まれていたケースも少なくはなかった。その場合には、経済的、社会的、文化的結合関係、あるいは、明治初期までの地方行政区分であった令制国の地理的区分等を考慮して、総合的な調整を行った。

¹⁶⁾ 都市雇用圏（Urban Employment Areas：UEA）とは、以下の 3 基準に基づいて設定する都市圏である。

（1）人口集中地区（Densely Inhabited District：DID）の人口によって、中心都市を設定する。

（2）中心都市への通勤率が 10%以上の市町村を、郊外都市とする。

（3）同一都市圏内に、複数の中心都市が存在することを許容する。

中心都市の DID 人口が 5 万人以上の都市圏を大都市雇用圏（Metropolitan Employment Area）、そして 1 万人～5 万人の都市圏を小都市雇用圏（Micropolitan Employment Area）と定義している（金本・徳岡（2002））。

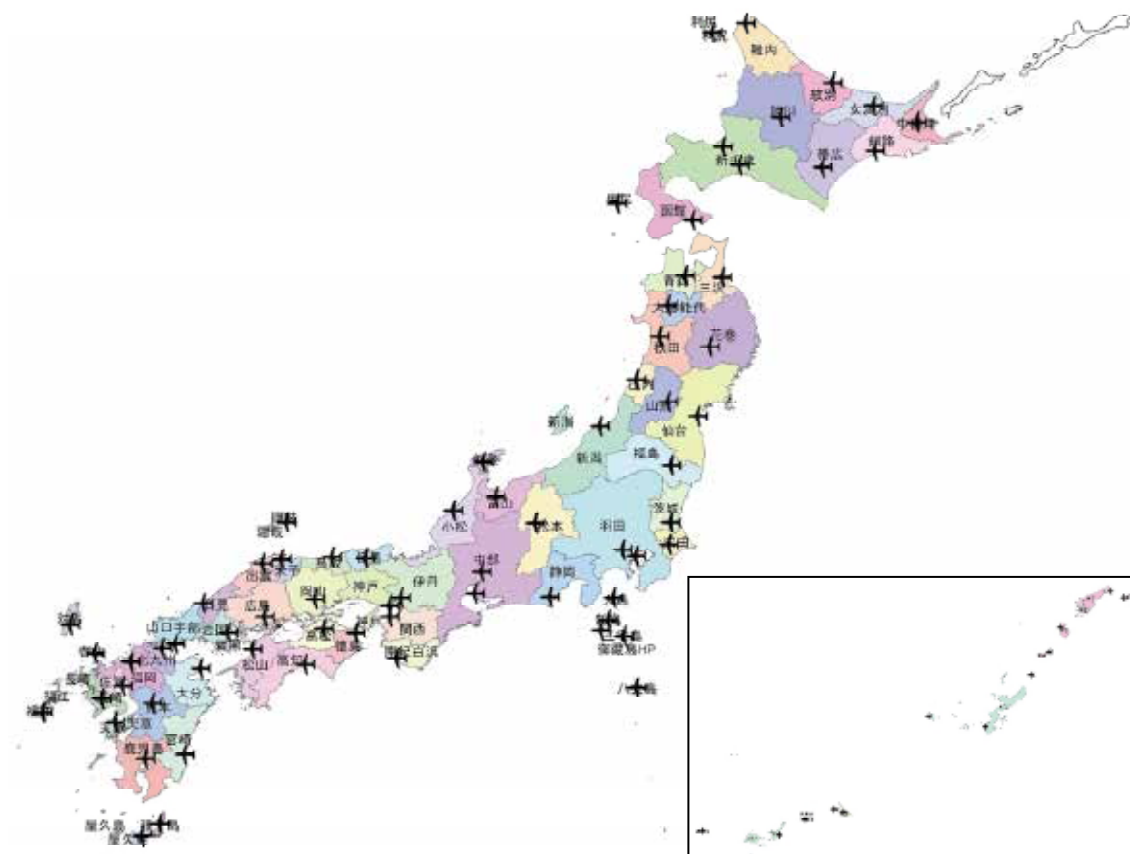


図 2.2 我が国における国内航空旅客を対象とした空港後背圏

注) 丘珠空港、小牧空港、および調布飛行場の空港後背圏は存在しない。

2.3 国内航空旅客流動の決定要因

2.3.1 分析方法

以下では、重力モデルによって、我が国における国内航空旅客の流動特性を把握する。重力モデルは、シンプルで適用しやすい利点があることから、航空旅客や貨物流動の空間的秩序や法則性、拠点性を明らかにするために、これまで多くの研究で用いられてきた (Harvey (1951)、Taaffe (1962)、Long (1970)、Wojahn (2001)、Grosche et al. (2007)、Hwang and Shiao (2011)、Wilken et al. (2016)、Aydin and Ülengin (2022))。

ここで、被説明変数は、2019 年の路線別航空旅客流動数 (1 万人以上) とし、説明変数については、社会的要因として、2.2.2 で設定した空港後背圏の 1 人当たり所得と人口、路線距離、離島路線 (ダミー変数) を取り上げた。そして、経済的要因として、ビジネス目的の旅客数割合、LCC の便数割合、運賃 (普通運賃)、路線競争度、および新幹線との競合路線 (ダミー変数) を検討した。また、路線競争度に関しては、ハーフィンダール・ハ

ーシュマン・インデックス（HHI）を採用した¹⁷⁾。

以上を踏まえて、分析モデルは、式（1）のように定式化した。そして、式（1）の両辺を対数変換した式（2）に対して、最小二乗法（Ordinary Least Squares：OLS）によって、我が国の国内線における旅客流動数を推計した¹⁸⁾。表 2.2 は、データの出典を整理したものである。

$$T_{ij} = A \frac{(G_i G_j)^\alpha (P_i P_j)^\beta (B_{ij})^\delta (L_{ij})^\varepsilon (F_{ij})^\zeta (H_{ij})^\eta \exp(\theta C_1) \exp(\iota C_2)}{(D_{ij})^\gamma} \quad (1)$$

$$\ln T_{ij} = \ln A + \alpha \ln(G_i G_j) + \beta \ln(P_i P_j) - \gamma \ln D_{ij} \\ + \delta \ln B_{ij} + \varepsilon \ln L_{ij} + \zeta \ln F_{ij} + \eta \ln H_{ij} + \theta C_1 + \iota C_2 + u_{ij} \quad (2)$$

ここで、

T_{ij} ：路線 ij における航空旅客流動数（1 万人以上）

G_i ：空港 i の後背圏における 1 人当たり所得

G_j ：空港 j の後背圏における 1 人当たり所得

P_i ：空港 i の後背圏人口

P_j ：空港 j の後背圏人口

D_{ij} ：路線 ij の距離

B_{ij} ：路線 ij におけるビジネス目的の旅客数割合

L_{ij} ：路線 ij における LCC の便数割合

F_{ij} ：路線 ij における普通運賃

H_{ij} ：路線 ij における HHI

C_1 ：新幹線競合路線ダミー

C_2 ：離島路線ダミー

A ：定数項

¹⁷⁾ ここでは、各路線に参入している全ての航空会社の便数シェアの 2 乗和となる。HHI は、運航会社が 1 社である路線では「1」となり（独占状態）、多くの運航会社が競争している路線ほど「0」に近づく。詳しくは、3.2.3（1）を参照されたい。

¹⁸⁾ 実際には、①空港後背圏（現住所〔航空旅客動態調査〕とティーセン・ポリゴン）、②被説明変数（総流動〔航空輸送統計調査〕と純流動〔OAG／ローカル〕）、③1 人当たり所得（県民所得と市区町村別所得）、④人口（全人口〔住民基本台帳〕と課税対象人口）、そして⑤推定方法（OLS とポワソン疑似最尤推定法〔Poisson Pseudo-Maximum-Likelihood estimation method：PPML〕）のさまざまな組み合わせで推定を行った。ここでは、推定結果が大きくは異ならなかったことから、最も良好であった①空港後背圏（現住所〔航空旅客動態調査〕）、②被説明変数（総流動〔航空輸送統計調査〕）、③1 人当たり所得（県民所得）、④人口（全人口〔住民基本台帳〕）、そして⑤推定方法（OLS）のケースを取り上げた。

表 2.2 データの出典

データ	出典
路線別航空旅客流動数 路線距離	航空輸送統計調査（2019 年）、国土交通省航空局
ビジネス目的の旅客数割合 運賃（普通運賃）	航空旅客動態調査（2019 年／平日）、国土交通省航空局
1 人当たり所得	県民経済計算（2019 年）、内閣府経済社会総合研究所
人口	住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（2019 年）、総務省自治行政局
LCC の便数割合 HHI	CapStats（2019 年）、Cirium

2.3.2 分析結果

表 2.3 は、2019 年における推定結果を示したものである。まず、モデルの適合度については、極めて良好であるといえる。次に、説明変数については、新幹線競合路線ダミーは有意ではないものの、離島路線ダミーは 5%水準で、それ以外の説明変数は 1%水準で統計的に有意であり、符号条件に関しても、全ての変数で一致していた。

そして、各説明変数については、まず、空港後背圏の 1 人当たり所得が高く、かつ、人口が多い路線ほど、旅客流動数は多くなることが明らかとなった。次に、路線距離が長いほど旅客流動数は多くなる傾向にあるが、通常、重力モデルでは路線距離は移動抵抗になると考えられ（推定値の符号はマイナスとなる）、多くの先行研究で示されているように、国際航空では、長距離路線ほど旅客流動数は少なくなる¹⁹⁾。国内航空を対象とした本分析では、符号がプラスとなっていることから、距離が長い路線ほど旅客流動数は多くなる可能性を指摘できるが、この背景としては、高速鉄道をはじめ、短中距離路線には他の交通機関との競争があることから、長距離路線ほど航空輸送に競争力があることが挙げられるだろう。さらに、ビジネス目的の旅客数割合や LCC の便数割合が高い路線ほど、また、航空会社間の競争が激しい路線ほど旅客流動数は多くなるとともに、他の利用可能な交通機関が限られていることから、離島路線においても旅客流動数は多くなるといえる。特に、路線競争度は、旅客流動数を最も増加させる要因となっていた。その一方で、普通運賃が高い路線ほど旅客流動数は少なくなると同時に、新幹線との競合路線でも旅客数は影響を受けることが観察された。

¹⁹⁾ 例えば、Matsumoto（2004, 2007）、Matsumoto et al.（2016）、Matsumoto and Domae（2018, 2019）等が挙げられる。

表 2.3 推定結果

		係数	標準誤差	t 値
定数項	$\ln A$	6.52	3.52	1.85*
1人当たり所得	α	0.97	0.16	6.04***
人口	β	0.15	0.03	4.82***
路線距離	γ	0.71	0.20	3.44***
ビジネス目的の旅客数割合	δ	0.42	0.09	4.55***
LCCの便数割合	ε	0.15	0.03	4.52***
普通運賃	ζ	-1.18	0.30	-3.88***
HHI	η	-1.92	0.12	-15.56***
新幹線競合路線ダミー	θ	-0.08	0.10	-0.81
離島路線ダミー	ι	0.35	0.14	2.43**
自由度調整済決定係数		0.79		
観測数		217		

注) ***は1%水準で、**は5%水準で、*は10%水準で統計的に有意を表す。

2.3.3 モデルの再現性

図 2.3 は、上記のモデルによって推定された各路線の旅客流動数（理論値）とその実績値を比較し、本モデルの再現性を示したものである。(1) は全 217 路線を取り上げているが、(2) では、東京国際（羽田）－新千歳路線（理論値：216 万人、実績値：942 万人）、東京国際（羽田）－福岡路線（理論値：213 万人、実績値：881 万人）、東京国際（羽田）－那覇路線（理論値：235 万人、実績値：611 万人）、および東京国際（羽田）－大阪国際（伊丹）路線（理論値：163 万人、実績値：554 万人）の上位 4 路線は極めて旅客流動数が多いことから、これら 4 路線を除外して示している。(2) においても、例えば、東京国際（羽田）－鹿児島路線（理論値：159 万人、実績値：247 万人）や東京国際（羽田）－中部国際（中部）路線（理論値：156 万人、実績値：25 万人）をはじめ、45 度線から大きく外れている路線があるものの、本モデルの再現性は相対的に高いといえるだろう。

同図における 45 度線の上側に位置する路線は、実績値が理論値を上回っている路線であり、特に、上位 4 路線に関しては、東京国際空港の容量制約が影響していると考えられる。これら上位 4 空港以外でも、東京国際空港の発着枠不足によって、潜在的な旅客流動数が抑制されている空港があると考えられる。その一方で、45 度線の下側に位置する路線は、実績値が理論値を下回っている路線であり、以下の 2.4 では、特に、中部国際空港に焦点を当てた考察を行う。

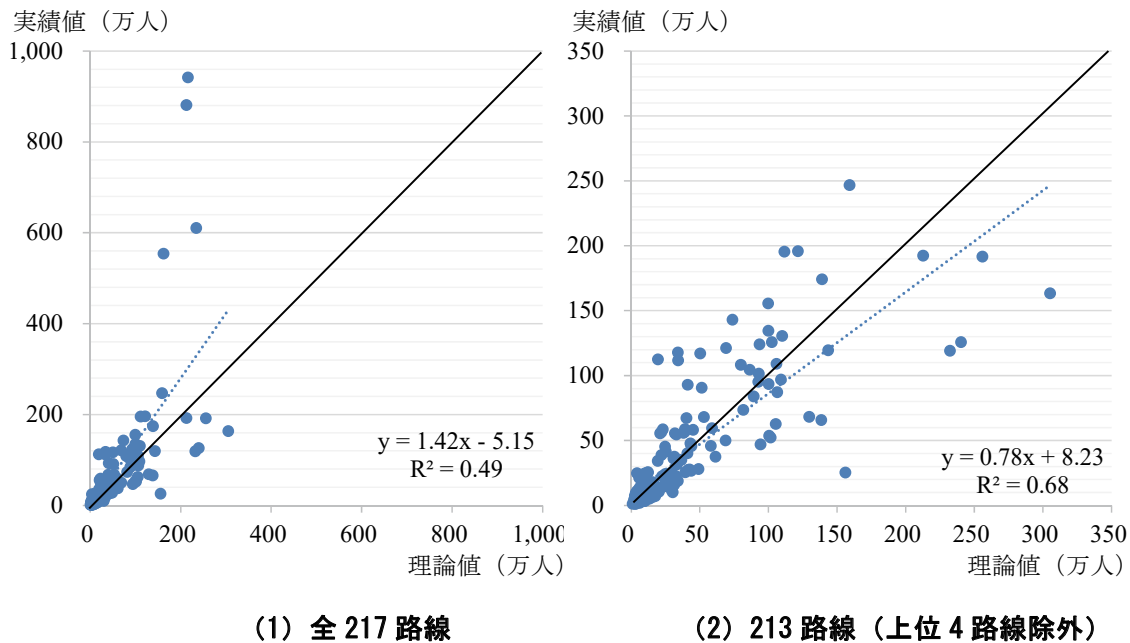


図 2.3 モデルの再現性

2.4 中部国際空港の後背圏と国内旅客の現状

2.4.1 中部国際空港の後背圏

まず、表 2.4 は、2.2.2 で設定した空港後背圏について、中部国際空港の後背圏に含まれている市町村を整理したものである。東海 3 県（愛知県、岐阜県、三重県）を広くカバーしている一方で、長野県や静岡県の一部も、中部国際空港の後背圏に入っていることが観察される。図 2.2 に示した通り、同空港の後背圏面積は東京国際空港とほぼ同規模であり、また、同空港の後背圏人口（約 1,209 万人）は大阪国際空港の後背圏人口（約 1,345 万人）とほぼ同水準である。この空港後背圏は国内旅客を対象としたものであるものの、見方を変えれば、同空港は東海 3 県の居住者による利用が集中し、東海 3 県以遠からの広域利用はもとより、長野県、静岡県、および北陸 3 県の近隣各県からの利用も限られているといえるだろう。

空港後背圏は、地理的な物理的距離に最も影響を受けるものの、鉄道や高速道路、連絡バスをはじめ、空港アクセス交通機関の利用可能性、すなわち、時間距離にも大きく左右される。今後、空港後背圏の精緻化を行うためには、また、国際旅客を対象とした空港後背圏を設定する場合には、鉄道や道路ネットワークの利用実態に即した調査、そして競合する近接空港の影響について検証する必要がある。

表 2.4 中部国際空港の後背圏に含まれる市町村一覧

県	市郡	区町	県	市郡	区町	県	市郡	区町	県	市郡	区町
愛知県	名古屋市	千種区	愛知県	大府市		岐阜県	中津川市		三重県	四日市市	
愛知県	名古屋市	東区	愛知県	知多市		岐阜県	美濃市		三重県	伊勢市	
愛知県	名古屋市	北区	愛知県	知立市		岐阜県	瑞浪市		三重県	松阪市	
愛知県	名古屋市	西区	愛知県	尾張旭市		岐阜県	羽島市		三重県	桑名市	
愛知県	名古屋市	中村区	愛知県	高浜市		岐阜県	恵那市		三重県	鈴鹿市	
愛知県	名古屋市	中区	愛知県	岩倉市		岐阜県	美濃加茂市		三重県	尾鷲市	
愛知県	名古屋市	昭和区	愛知県	豊明市		岐阜県	土岐市		三重県	亀山市	
愛知県	名古屋市	瑞穂区	愛知県	日進市		岐阜県	各務原市		三重県	鳥羽市	
愛知県	名古屋市	熱田区	愛知県	田原市		岐阜県	可児市		三重県	いなべ市	
愛知県	名古屋市	中川区	愛知県	愛西市		岐阜県	山県市		三重県	志摩市	
愛知県	名古屋市	港区	愛知県	清須市		岐阜県	瑞穂市		三重県	桑名郡	木曽岬町
愛知県	名古屋市	南区	愛知県	北名古屋市		岐阜県	本巣市		三重県	員弁郡	東員町
愛知県	名古屋市	守山区	愛知県	弥富市		岐阜県	郡上市		三重県	三重郡	菟野町
愛知県	名古屋市	緑区	愛知県	みよし市		岐阜県	下呂市		三重県	三重郡	朝日町
愛知県	名古屋市	名東区	愛知県	あま市		岐阜県	海津市		三重県	三重郡	川越町
愛知県	名古屋市	天白区	愛知県	長久手市		岐阜県	羽島郡	岐南町	三重県	多気郡	多気町
愛知県	豊橋市		愛知県	愛知郡	東郷町	岐阜県	羽島郡	笠松町	三重県	多気郡	明和町
愛知県	岡崎市		愛知県	西春日井郡	豊山町	岐阜県	養老郡	養老町	三重県	多気郡	大台町
愛知県	一宮市		愛知県	丹羽郡	大口町	岐阜県	不破郡	垂井町	三重県	度会郡	玉城町
愛知県	瀬戸市		愛知県	丹羽郡	扶桑町	岐阜県	不破郡	関ヶ原町	三重県	度会郡	度会町
愛知県	半田市		愛知県	海部郡	大治町	岐阜県	安八郡	神戸町	三重県	度会郡	大紀町
愛知県	春日井市		愛知県	海部郡	蟹江町	岐阜県	安八郡	輪之内町	三重県	度会郡	南伊勢町
愛知県	豊川市		愛知県	海部郡	飛島村	岐阜県	安八郡	安八町	三重県	北牟婁郡	紀北町
愛知県	津島市		愛知県	知多郡	阿久比町	岐阜県	揖斐郡	揖斐川町	長野県	木曽郡	上松町
愛知県	碧南市		愛知県	知多郡	東浦町	岐阜県	揖斐郡	大野町	長野県	木曽郡	南木曽町
愛知県	刈谷市		愛知県	知多郡	南知多町	岐阜県	揖斐郡	池田町	長野県	木曽郡	木祖村
愛知県	豊田市		愛知県	知多郡	美浜町	岐阜県	本巣郡	北方町	長野県	木曽郡	王滝村
愛知県	安城市		愛知県	知多郡	武豊町	岐阜県	加茂郡	坂祝町	長野県	木曽郡	大桑村
愛知県	西尾市		愛知県	額田郡	幸田町	岐阜県	加茂郡	富加町	長野県	木曽郡	木曽町
愛知県	蒲郡市		愛知県	北設楽郡	設楽町	岐阜県	加茂郡	川辺町	静岡県	浜松市	中区
愛知県	犬山市		愛知県	北設楽郡	東栄町	岐阜県	加茂郡	七宗町	静岡県	浜松市	東区
愛知県	常滑市		愛知県	北設楽郡	豊根村	岐阜県	加茂郡	八百津町	静岡県	浜松市	西区
愛知県	江南市		岐阜県	岐阜市		岐阜県	加茂郡	白川町	静岡県	浜松市	南区
愛知県	小牧市		岐阜県	大垣市		岐阜県	加茂郡	東白川村	静岡県	浜松市	北区
愛知県	稲沢市		岐阜県	高山市		岐阜県	可児郡	御嵩町	静岡県	浜松市	浜北区
愛知県	新城市		岐阜県	多治見市		岐阜県	大野郡	白川村	静岡県	浜松市	天竜区
愛知県	東海市		岐阜県	関市		三重県	津市		静岡県	湖西市	

2.4.2 中部国際空港における国内線の検証

以下では、中部国際空港と比較対象空港（関西国際空港、福岡空港、成田国際空港、東京国際空港）に加えて、大阪国際空港と神戸空港についても、本モデルの再現性の観点から、さらに考察を加える。

まず、表 2.5 は、本モデルによって推定された中部国際空港の各路線における旅客流動数（理論値）とその実績値、およびその乖離を、そして図 2.4 はそれを視覚的に示したものである。これらの図表から明らかなように、同空港の国内旅客は福岡路線、長崎路線、宮崎路線、宮古路線、および新石垣路線の 5 路線を除いて、それ以外の 14 路線は実績値が本モデルの理論値を下回っていることが分かる。

表 2.5 中部国際空港におけるモデルの再現性

No.	路線	実績値	理論値	実績値－理論値
1	中部国際空港－新千歳空港	1,633,296	3,053,428	-1,420,132
2	中部国際空港－旭川空港	56,973	92,582	-35,609
3	中部国際空港－函館空港	89,834	91,154	-1,320
4	中部国際空港－女満別空港	50,397	61,871	-11,474
5	中部国際空港－秋田空港	73,140	115,776	-42,636
6	中部国際空港－仙台空港	274,510	415,347	-140,837
7	中部国際空港－新潟空港	62,568	155,008	-92,440
8	中部国際空港－成田国際空港	373,346	615,682	-242,336
9	中部国際空港－東京国際空港	252,965	1,561,259	-1,308,294
10	中部国際空港－松山空港	110,465	182,462	-71,997
11	中部国際空港－福岡空港	928,439	412,939	515,500
12	中部国際空港－長崎空港	149,213	135,388	13,825
13	中部国際空港－熊本空港	112,597	124,524	-11,927
14	中部国際空港－大分空港	71,057	175,734	-104,677
15	中部国際空港－宮崎空港	159,005	108,926	50,079
16	中部国際空港－鹿児島空港	535,550	1,005,483	-469,933
17	中部国際空港－那覇空港	1,257,003	2,404,195	-1,147,192
18	中部国際空港－宮古空港	80,451	34,884	45,567
19	中部国際空港－新石垣空港	82,856	58,990	23,866
	合計	6,353,665	10,805,632	-4,451,967

注) 赤い枠線で囲った路線は、中部国際空港－小牧空港路線との重複路線である。

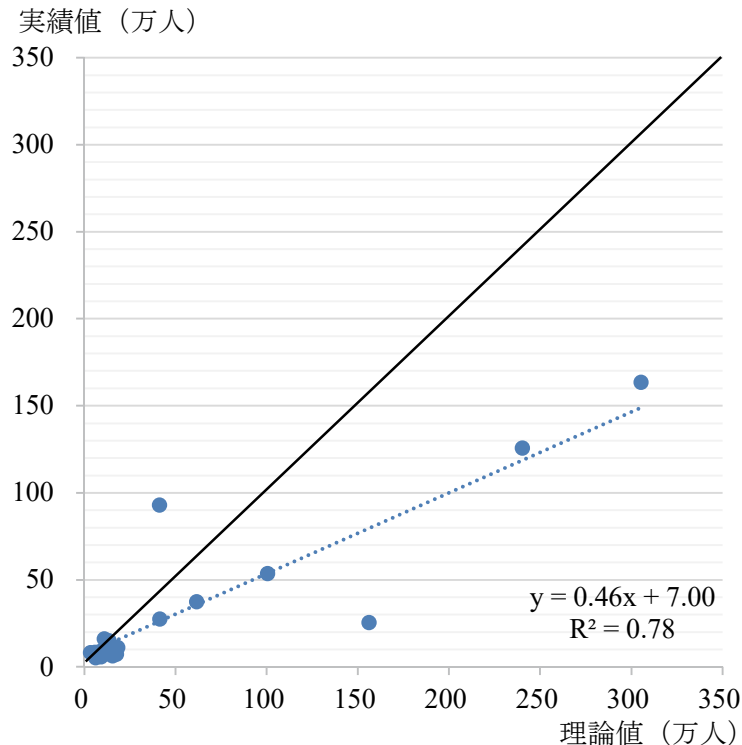


図 2.4 モデルの再現性（中部国際空港発着路線）

特に、福岡路線（理論値：41 万人、実績値：93 万人）と東京国際（羽田）路線（理論値：156 万人、実績値：25 万人）に関しては、45 度線から大きく乖離しており、本モデルでは外れ値となっている。

また、本モデルによる理論値と実績値の乖離が 100 万人以上となっている路線は、東京国際（羽田）路線（131 万人）以外には、新千歳路線（142 万人）と那覇路線（115 万人）の 2 路線であり、全 19 路線の合計では、実績値が理論値を 445 万人下回っている。東京国際（羽田）路線と成田国際（成田）路線に関しては、主に、これら 2 空港からの国際線への乗り継ぎのために利用されている。その一方で、実績値がモデルの理論値を上回っている路線は、全て九州地方や沖縄地方の路線であり、特に、福岡路線に関しては 52 万人上回っている。そして、2019 年には、空港後背圏が設定できなかった小牧空港からも、新潟路線（実績値：40,337 人）、福岡路線（同：211,098 人）、および熊本路線（同：122,759 人）の 3 路線が就航しており、中部国際空港における理論値と実績値の乖離に影響を与えていると考えられるだろう。

表 2.6 は、中部国際空港における各路線の特性を整理したものである。同表からは、例えば、福岡路線は北海道地方と沖縄地方の路線を除けば、普通運賃（45,000 円）が最も高くなっており、航空券の全種類に占める普通運賃の割合（38.9%）も、新千歳路線に次いで大きくなっている。この理由としては、同路線は運賃が高く設定されているものの、高需要路線であることが挙げられるだろう。

表 2.6 中部国際空港における各路線の特性

No.	路線	人口	旅客数	②/①	旅行目的 (%)			運賃		便数 (日)	平均機 体規模	利用率 (%)
		(①)	(②)		仕事	観光	私用	普通運賃割合 (%)				
1	新千歳	12,093,594	1,633,296	0.14	23.0	60.6	13.1	38,400	39.4	18	168	74.5
2	旭川	12,093,594	56,973	0.00	23.3	68.7	8.0	43,200	11.5	1	126	65.5
3	函館	12,093,594	89,834	0.01	16.8	65.3	11.9	37,200	30.3	1	142	69.2
4	女満別	12,093,594	50,397	0.00	12.6	81.9	3.9	46,800	8.3	1	123	64.0
5	秋田	12,093,594	73,140	0.01	42.7	38.9	8.6	30,200	20.2	2	74	68.0
6	仙台	12,093,594	274,510	0.02	55.4	33.0	8.1	30,000	36.0	6	95	61.0
7	新潟	12,093,594	62,568	0.01	62.4	32.8	2.7	28,600	21.8	2	74	58.5
8	成田国際	12,093,594	373,346	0.03	42.7	39.8	14.2	20,300	37.2	5	161	69.6
9	東京国際	12,093,594	252,965	0.02	49.7	35.2	12.8	20,300	26.5	3	161	72.3
10	松山	12,093,594	110,465	0.01	66.5	22.9	9.8	25,100	29.0	3	73	69.8
11	福岡	12,093,594	928,439	0.08	44.9	34.6	16.8	45,000	38.9	13	139	70.6
12	長崎	12,093,594	149,213	0.01	50.3	22.3	19.7	33,700	29.6	2	146	67.6
13	熊本	12,093,594	112,597	0.01	47.7	32.1	14.5	32,700	21.4	2	127	55.0
14	大分	12,093,594	71,057	0.01	38.5	50.4	6.7	26,000	29.9	2	70	70.3
15	宮崎	12,093,594	159,005	0.01	44.2	24.1	23.7	31,400	30.5	3	106	67.5
16	鹿児島	12,093,594	535,550	0.04	26.2	39.0	30.1	33,800	35.4	8	151	62.6
17	那覇	12,093,594	1,257,003	0.10	22.0	60.9	13.1	43,300	28.7	13	179	76.1
18	宮古	12,093,594	80,451	0.01	2.6	93.5	3.5	52,000	11.7	1	162	69.2
19	新石垣	12,093,594	82,856	0.01	10.2	80.6	6.9	54,200	16.4	1	146	78.9
	合計		6,353,665	0.53								

注) 赤い枠線で囲った路線は、中部国際空港—小牧空港路線との重複路線である。

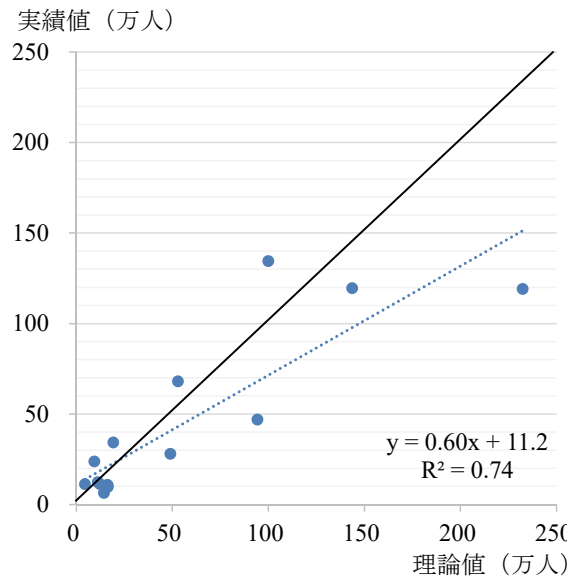
出所) 航空旅客動態調査および航空輸送統計調査より、筆者作成。

全体的に、後背圏人口 1 人当たりで見れば 0.53 人しか同空港を利用しておらず、地域住民の利用率は低いことが分かる。

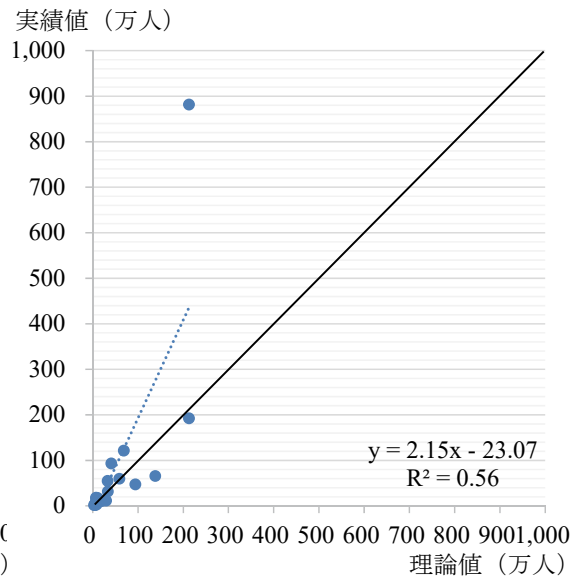
次に、図 2.5 は、比較対象空港における本モデルの再現性を示したものである。まず、関西国際空港については、全 15 路線のうち、実績値が本モデルの理論値を上回っている路線は 6 路線、そして下回っている路線は 9 路線であった。中部国際空港と比較して、実績値が本モデルの理論値を上回っている路線が多い傾向にあるが、那覇路線に関しては、実績値が本モデルの理論値を 113 万人と大きく下回っていた。次に、福岡空港については、全 26 路線のうち、実績値が本モデルの理論値を上回っている路線は 11 路線、そして下回っている路線は 15 路線であった。同空港の場合には、先に述べたように、東京国際（羽田）路線の実績値のみが本モデルの理論値を 668 万人と大きく上回っていることを除けば、それ以外の路線に関しては、ほぼ 45 度線に沿っていることが観察される。

また、成田国際空港については、全 20 路線のうち、実績値が本モデルの理論値を上回っている路線は 11 路線、そして下回っている路線は 9 路線であり、福岡路線（+52 万人）、新千歳路線（-64 万人）、および那覇路線（-62 万人）の 3 路線が、本モデルの理論値と実績値が大きく乖離していた。一方、東京国際空港については、全 48 路線のうち、実績値が本モデルの理論値を上回っている路線は 29 路線、そして下回っている路線は 19 路線であった。実績値が本モデルの理論値を 100 万人以上上回っていた路線は、先に述べたように、新千歳路線（725 万人）、福岡路線（668 万人）、大阪国際（伊丹）路線（392 万人）、および那覇路線（376 万人）の 4 路線であり、実績値が本モデルの理論値を 100 万人以上下回っていた路線は、中部路線（131 万人）の 1 路線のみであった。

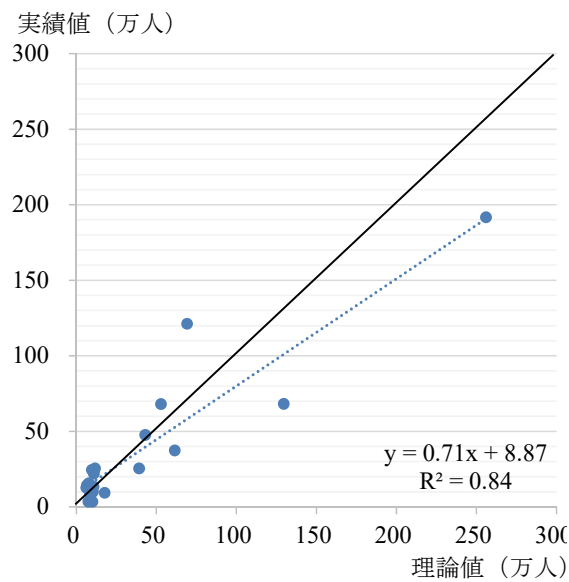
参考までに、大阪国際空港については、全 26 路線のうち、実績値が本モデルの理論値を上回っている路線は 16 路線、そして下回っている路線は 10 路線であり、先に述べたように、東京国際（羽田）路線の実績値のみが本モデルの理論値を 392 万人と大きく上回っていた。それ以外の路線では、新千歳路線（84 万人）、那覇路線（66 万人）、仙台路線（39 万人）、および鹿児島路線（27 万人）の 4 路線に関しても、実績値が本モデルの理論値を大きく上回っていた。一方、神戸空港については、全 6 路線のうち、実績値が本モデルの理論値を上回っている路線は、那覇路線（13 万人）、新千歳（24 万人）、仙台路線（13 万人）、および鹿児島路線（15 万人）の 4 路線、そして下回っている路線は、東京国際（羽田）路線（8 万人）と茨城路線（1 万人）の 2 路線であった。



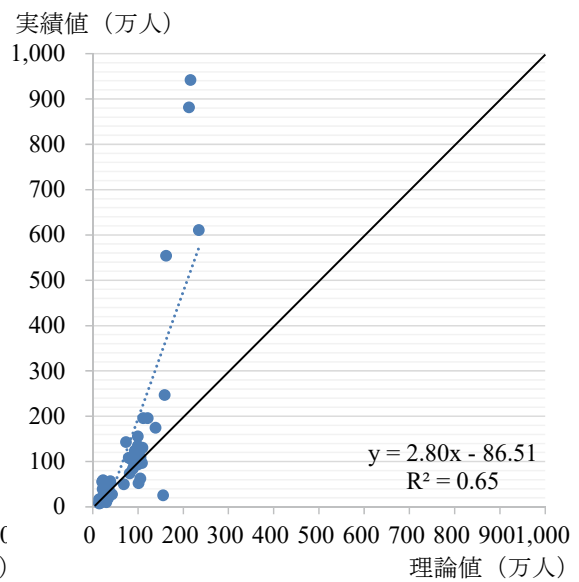
(1) 関西国際空港



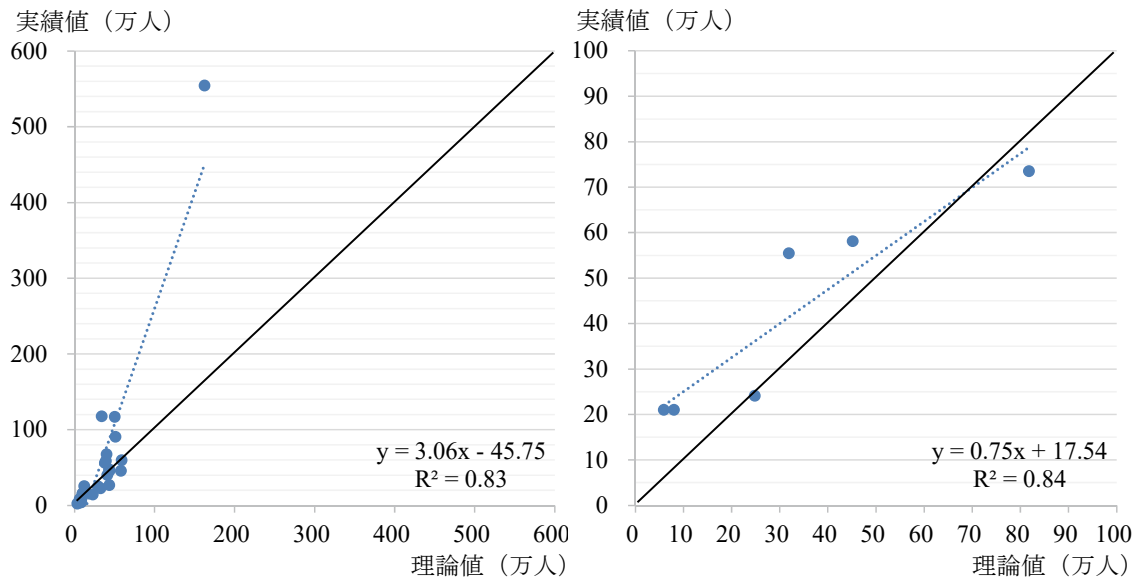
(2) 福岡空港



(3) 成田国際空港



(4) 東京国際空港



(5) 大阪国際空港

(6) 神戸空港

図 2.5 比較対象空港におけるモデルの再現性

ここで、中部国際空港と小牧空港の 2 空港から国内線が就航している中部圏と同様に、関西国際空港、大阪国際空港、および神戸空港の 3 空港から国内線が就航している関西圏に焦点を当て、本モデルの再現性の観点から、さらに考察を加える。

表 2.7 は、関西 3 空港の 2 空港あるいは 3 空港に開設されている路線を取り上げ、各路線における本モデルの理論値と実績値、およびその乖離を示したものである。まず、関西 3 空港全てに開設されている東京国際（羽田）路線、新千歳路線、那覇路線、仙台路線、および鹿児島路線の 5 路線については、神戸空港の東京国際（羽田）路線（－8 万人）、そして関西国際空港の新千歳路線（－24 万人）および那覇路線（－113 万人）を除いて、それ以外の路線で実績値が本モデルの理論値を上回っていた。すなわち、仙台路線と鹿児島路線の地方 2 路線に関しては、関西 3 空港の実績値が本モデルの理論値を上回っている。次に、関西 3 空港のうち 2 空港に開設されている成田路線、福岡路線、新潟路線、松山路線、高知路線、熊本路線、宮崎路線、および長崎路線の 8 路線については、全て関西国際空港と大阪国際空港の 2 空港に開設されていた。そして、成田路線と宮崎路線の 2 路線は、2 空港とも実績値が本モデルの理論値を上回っている一方で、熊本路線と長崎路線の 2 空港は、2 空港とも実績値が本モデルの理論値を下回っていた。それ以外の 4 路線（福岡路線、新潟路線、松山路線、高知路線）に関しては、大阪国際空港は実績値が本モデルの理論値を上回っている一方で、関西国際空港は実績値が本モデルの理論値を下回っていた。したがって、本モデルの再現性の観点からは、関西 3 空港間で競合関係にある路線と補完関係にある路線があることが分かる。

以上のことから、中部国際空港については、多くの路線で実績値が理論値を下回ってい

る上に、国内線では大阪国際空港および神戸空港と競合している関西国際空港と比較しても、同空港の国内旅客は少なく、また、小牧空港の影響も一定程度、認められた。

表 2.7 関西圏の複数空港開設路線における実績値と理論値

(1) 3 空港開設路線

路線		実績値	理論値	実績値－理論値
東京国際空港	関西国際空港	1,344,748	999,832	344,916
	大阪国際空港	5,541,344	1,626,233	3,915,111
	神戸空港	735,140	817,887	-82,747
新千歳空港	関西国際空港	1,194,391	1,436,491	-242,100
	大阪国際空港	1,176,661	339,761	836,900
	神戸空港	554,468	318,957	235,511
那覇空港	関西国際空港	1,190,152	2,323,872	-1,133,720
	大阪国際空港	1,168,963	504,172	664,791
	神戸空港	580,902	451,639	129,263
仙台空港	関西国際空港	342,250	193,492	148,758
	大阪国際空港	904,997	513,851	391,146
	神戸空港	210,139	80,537	129,602
鹿児島空港	関西国際空港	236,762	94,341	142,421
	大阪国際空港	672,560	403,890	268,670
	神戸空港	210,128	59,419	150,709

(2) 2 空港開設路線

路線		実績値	理論値	実績値－理論値
成田国際空港	関西国際空港	680,064	529,732	150,332
	大阪国際空港	476,001	431,979	44,022
福岡空港	関西国際空港	469,050	943,370	-474,320
	大阪国際空港	595,230	589,547	5,683
新潟空港	関西国際空港	107,286	163,110	-55,824
	大阪国際空港	456,775	439,055	17,720
松山空港	関西国際空港	104,691	163,479	-58,788
	大阪国際空港	559,189	382,306	176,883
高知空港	関西国際空港	63,243	144,502	-81,259
	大阪国際空港	254,183	123,687	130,496
熊本空港	関西国際空港	97,304	165,242	-67,938
	大阪国際空港	457,213	581,608	-124,395
宮崎空港	関西国際空港	122,398	112,336	10,062
	大阪国際空港	587,386	391,978	195,408
長崎空港	関西国際空港	111,228	123,625	-12,397
	大阪国際空港	400,468	411,018	-10,550

第3章 訪日外国人旅行者の都道府県別国籍別検証

3.1 訪日外国人旅行者の概要

3.1.1 国籍別訪日外国人旅行者数の推移

図 3.1 は、2003 年から 2023 年までの国籍別訪日外国人旅行者数の推移を示したものである。同図からは、2010 年代には、新興国の経済成長と中間層の増加、LCC の普及等を背景として、特に、中国をはじめとしたアジア諸国を中心とした国際観光需要が拡大した結果、訪日外国人旅行者数は急増していることが観察される。

国籍別にみれば、アジアの主要 4 ケ国／地域である中国、韓国、台湾、および香港に加えて、タイ、そしてアメリカからの訪日旅行者が比較的多い。また、2003 年においては、韓国からの訪日旅行者が圧倒的に多かったが（韓国：146 万人、台湾：79 万人、中国：45 万人）、2015 年から 2021 年までは中国が韓国と台湾を上回っている。

その一方で、我が国の観光政策からの観点からは、2003 年に「ビジット・ジャパン・キャンペーン」が開始され、重点市場として 20 ケ国／地域を選定した上で、我が国の認知度向上と訪日観光を促進する取り組みを継続的に推進してきた²⁰⁾。2007 年には、観光基本法に代わる「観光立国推進基本法」が施行されると同時に、5 年間を期間とした「観光立国推進基本計画」が閣議決定されるなど、観光は 21 世紀における我が国の重要な柱であることが明確に位置付けられた。さらに、2008 年には、国土交通省の外局として「観光庁」が発足し、「観光立国」に向けた取り組みが本格的に行われるようになった。

しかしながら、2011 年に発生した東日本大震災とそれに伴う福島原発事故の影響によって、同年の訪日外国人旅行者数は、前年比 27.8%減の 622 万人となった。こうした中で、2012 年に改訂された「第 2 期観光立国推進計画」では、東日本大震災からの復興とともに、インバウンド観光振興が重視され、2017 年の訪日外国人旅行者数を 1,800 万人、2020 年には 2,000 万人とする数値目標が設定された。その実現に向けて、特に、中国等のアジア諸国を対象とした訪日ビザの免除や発給要件の段階的緩和、LCC の新規就航促進等のオープン・スカイ政策の推進や免税措置の拡充、あるいは、民泊等の許認可促進をはじめ、さまざまな規制緩和が行われた²¹⁾。

²⁰⁾ 重点市場とは、韓国、中国、台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、フィリピン、ベトナム、インド、オーストラリア、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、アメリカ、およびカナダの 20 ケ国／地域である。

²¹⁾ 観光目的のための短期滞在ビザには、1 回限り利用可能な「1 次ビザ」と有効期間内は何度でも利用できる「数次ビザ」がある。例えば、中国については、「団体観光ビザ（1 次ビザ）」や「家族観光ビザ（1 次ビザ）」に加えて、2009 年には「個人観光ビザ（1 次ビザ）」が発給されたことにより、2010 年の訪日旅行者数は、前年比 40.4%増の 141 万人を記録した。それ以降も、発給要件の緩和や数次ビザの発給開始等が行われ、2016 年には 637 万人となった。さらに、2017 年には高所得者向けに 3 年有効の数次ビザが発給され、富裕層の訪日ヤリピーターが増加した結果、2019 年の訪日旅行者数は 1,000 万人目の 959 万人にまで急増した。また、2013 年以降にビザ免除となったタイやマレーシア、発給要件が緩和された

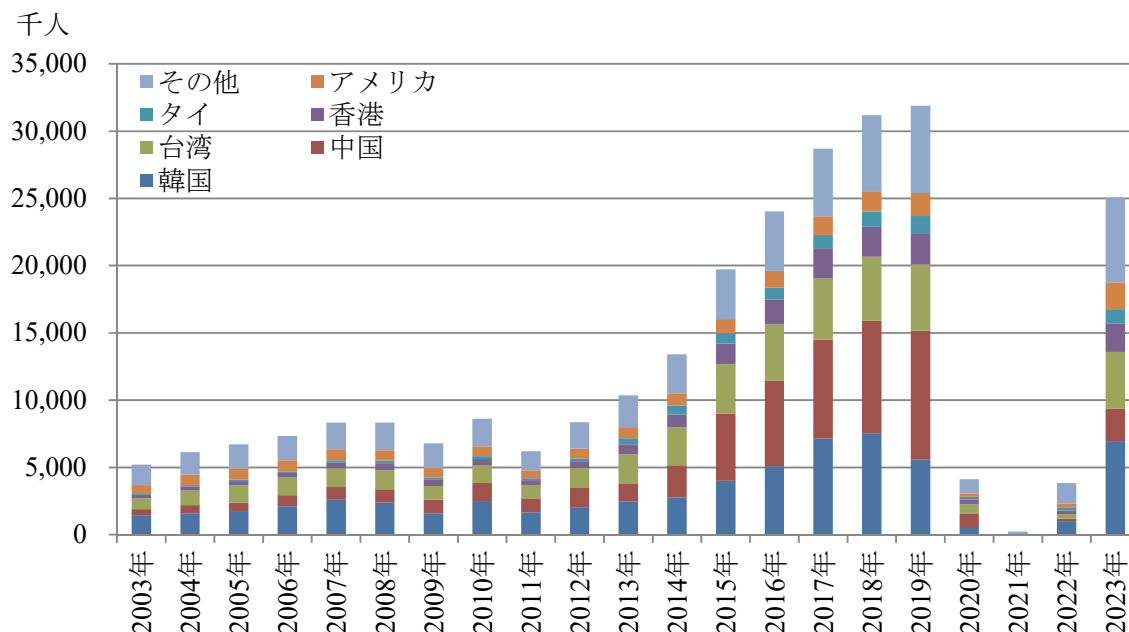


図 3.1 国籍別訪日外国人旅行者数の推移

注) 訪日外国人旅行者とは、外国人正規入国者から、日本を主たる居住地とする永住者等の外国人を除き、外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者である。

出所) 法務省「出入国管理統計年報」より、筆者作成。

これらの規制緩和を中心としたインバウンド観光政策は、特に、経済成長に伴う国民所得の増加によって国際観光需要が急速に拡大していた中国等のアジア市場に対して、訪日旅行を促進する要因となり、訪日外国人旅行者数は 2012 年の 836 万人から 2013 年には 1,036 万人と 1,000 万人を突破した。さらに、2015 年に 1,974 万人、2016 年には 2,404 万人となり、「第 2 期観光立国推進計画」の数値目標（2,000 万人）を 4 年前倒しで実現して、2019 年には 3,188 万人にまで達した。また、訪日外国人旅行者の宿泊や飲食、交通、娯楽サービス費、買物代を合わせた訪日外国人旅行消費額においても、2012 年の 1 兆 861 億円から、2019 年には 4 兆 8,135 億円へと急増した（インバウンド消費動向調査 [旧 訪日外国人消費動向調査]）。

先に述べたように、2015 年時点で、訪日外国人旅行者数は「第 2 期観光立国推進計画」の数値目標を目前としていたことから、同年、政府は「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」を開催し、観光を我が国の基幹産業へと成長させる「観光先進国」の実現に向けて、新たな目標設定とそのために必要な対応策を示した。そして、2016 年には、同会議において、観光を成長戦略の柱と位置付けた「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定

インドやフィリピン、ベトナム等、2017 年に数次ビザの導入をはじめ、発給要件が緩和されたロシアに関しても、訪日旅行者数は増加している。このように、ビザ免除やビザ発給要件緩和の措置は、訪日外国人旅行者数を押し上げる大きな要因となっている。

訪日ビザの免除や発給要件の段階的緩和については、外務省資料「最近のビザ緩和（一般旅券所持者）」[<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000110948.pdf>]を参照のこと。

し、国家戦略としての観光政策を打ち出した。同ビジョンでは、2030年までの数値目標を設定し、訪日外国人旅行者数については、2020年に4,000万人、2030年には6,000万人、そして訪日外国人旅行消費額に関しては、2020年に8兆円、2030年には15兆円という一層の量的拡大を目指した。その目標実現に向けた対応策の1つとして、例えば、2017年に「訪日誘客支援空港」を認定し、主に、地方における訪日外国人旅行者の受け入れ態勢整備を推進した。

しかしながら、2019年末に端を発したCOVID-19の発生に伴って、感染リスク拡大防止のために渡航制限を実施したことから、国際観光需要が急減した結果、2020年の訪日外国人旅行者数および訪日外国人旅行消費額は、各々、412万人（前年比87.1%減）、7,446億円（同84.5%減）にまで落ち込んだ。その後は、COVID-19の収束に伴う水際制限の緩和、そして為替市場における円安基調に合わせて、訪日外国人旅行者数と訪日外国人旅行消費額は急速に回復し、2023年には、各々、2,507万人（前年比554.1%増）、5兆3,065億円（前年比490.5%増）まで回復した²²⁾。

3.1.2 国籍別訪日外国人延べ宿泊者数の推移

次に、図3.2は、2007年から2023年までの国籍別訪日外国人延べ宿泊者数の推移を示したものである。全体的に、図3.1における訪日外国人旅行者数が多い国籍の訪日外国人延べ宿泊者数も多い傾向にあるが、例えば、台湾やアメリカ、あるいは、シンガポールやオーストラリアは、旅行者数と比較して、延べ宿泊者数が多い。

表3.1は、2007年から2023年まで4年間隔で、図3.2で示した国籍別訪日外国人延べ宿泊者数を、図3.1で示した国籍別訪日外国人旅行者数で割った値であるが、これは「国籍別訪日外国人旅行者1人当たりの平均宿泊日数」を意味する。同表からは、まず、平均宿泊日数については、シンガポールと欧米諸国（オーストラリア、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、アメリカ）からの旅行者は長いといえ、とりわけ、南欧からの旅行者は2023年で1週間前後となっており、特に長いことが分かる。次に、同期間における平均宿泊日数の増加の程度に関しては、香港、インドネシア、およびベトナム以外の国籍では全体的に増加しており、全国籍の平均では1.4倍となっている。特に、2023年におけるオーストラリア、イギリス、そしてカナダの平均宿泊日数は、同期間に2倍以上となっていることが特徴的であるといえるだろう。

²²⁾ 2024年には、各々、3,687万人（前年比47.1%増、2019年比15.6%増）、8兆1,395億円（前年比53.4%増、2019年比69.1%増）に達し、いずれも2019年の水準を上回って過去最高を記録して、COVID-19から完全に回復した。

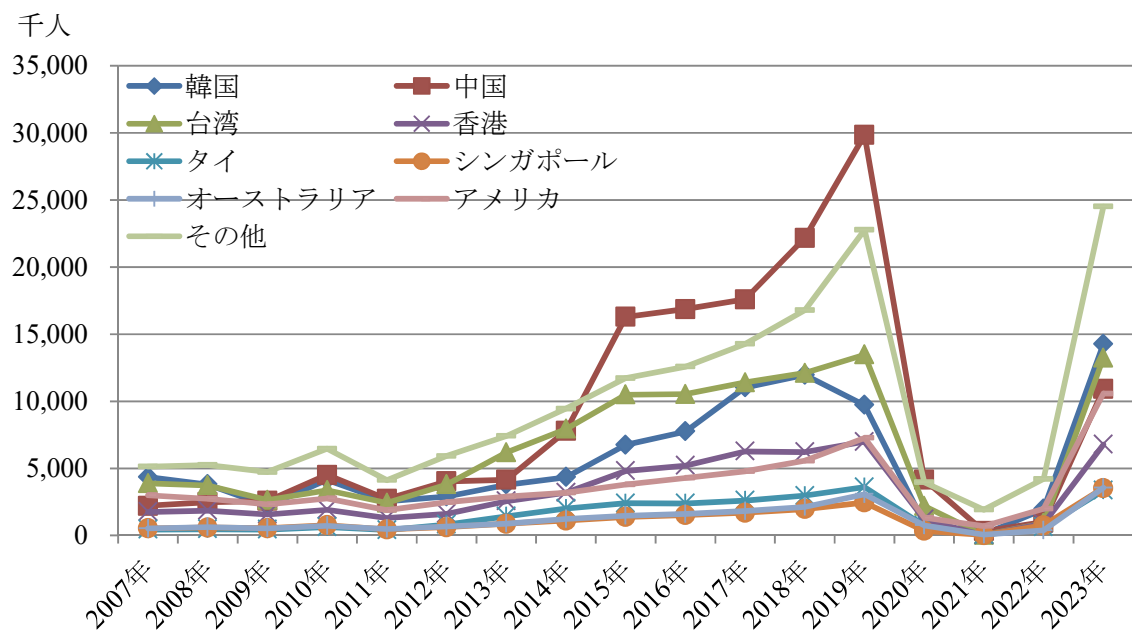


図 3.2 国籍別外国人延べ宿泊者数の推移

出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」より、筆者作成。

表 3.1 国籍別訪日外国人旅行者 1 人当たりの平均宿泊日数

No.	国籍	2007 年	2011 年	2015 年	2019 年	2023 年	2023 年／ 2007 年
1	韓国	1.7	1.5	1.7	1.7	2.0	1.2
2	中国	2.3	2.6	3.3	3.1	4.5	1.9
3	台湾	2.8	2.4	2.9	2.8	3.1	1.1
4	香港	4.1	3.6	3.2	3.0	3.2	0.8
5	タイ	2.6	2.8	3.0	2.7	3.4	1.3
6	マレーシア	—	2.5	2.8	2.7	3.6	1.4
7	シンガポール	3.5	4.0	4.5	5.0	6.0	1.7
8	インドネシア	—	—	3.6	3.3	3.5	1.0
9	フィリピン	—	—	2.2	1.9	2.4	1.1
10	ベトナム	—	—	1.6	1.6	1.3	0.8
11	インド	—	2.2	2.9	3.4	3.8	1.7
12	オーストラリア	2.4	3.0	3.9	4.9	5.8	2.5
13	イギリス	2.5	2.6	3.5	4.9	6.0	2.4
14	フランス	3.2	2.7	3.6	4.7	5.5	1.7
15	ドイツ	3.6	3.5	4.0	4.9	5.9	1.6
16	イタリア	—	—	3.9	5.7	6.7	1.7
17	スペイン	—	—	4.9	6.6	7.4	1.5
18	ロシア	—	3.1	4.0	3.9	4.5	1.4
19	アメリカ	3.7	3.4	3.7	4.2	5.2	1.4
20	カナダ	1.5	1.8	2.3	3.0	4.0	2.6
21	その他	7.3	7.2	6.0	6.7	7.5	1.0
平均		2.6	2.6	3.0	3.1	3.6	1.4

注) 2007 年の平均宿泊日数データが存在しない国籍については、データの存在する最も早い年の平均宿泊日数で、2023 年の平均宿泊日数を割った。

出所) 法務省「出入国管理統計年報」および観光庁「宿泊旅行統計調査」より、筆者作成。

3.2 訪日外国人旅行者の都道府県別国籍別地域特性

3.2.1 利用データ

以下では、宿泊旅行統計調査を利用しながら、延べ宿泊者数に関する分析を行う²³⁾。同調査における国籍別調査では、表 3.2 に示した国籍が調査対象となっている。開始時点である 2007 年は 13 区分（12 国籍）であったが、2013 年は 19 区分（18 国籍）、そして 2023 年には、イタリアとスペインが追加されて、21 区分（20 国籍）となっている（1 区分は「その他国籍」）。したがって、以下の分析では、2013 年は 18 国籍、そして 2023 年は 20 国籍を分析対象とする。

²³⁾ 同調査は、我が国における日本人／外国人の宿泊旅行の実態等を把握し、観光行政の基礎資料を得ることを目的としており、主な調査事項は、延べ宿泊者数・実宿泊者数や国籍別の延べ宿泊者数、客室稼働率等となっている。調査方法については、全国の宿泊施設を対象に調査票を郵送／回収する方法によって実施され、毎月行われている。調査対象施設に関しては、ホテル（リゾート・ホテル、ビジネス・ホテル、シティ・ホテル）、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所等であり、従業者数 10 人以上の事業所は全数調査、従業者数 5 人～9 人の事業所は 1/3 を無作為に抽出（サンプル調査）、そして従業者数 0 人～4 人の事業所は 1/9 を無作為に抽出（サンプル調査）となっている。

表 3.2 分析対象国

年	分析対象国				
2013 年	韓国	中国	台湾	香港	タイ
	マレーシア	シンガポール	インドネシア	フィリピン	ベトナム
	インド	オーストラリア	イギリス	フランス	ドイツ
	ロシア	アメリカ	カナダ		
2023 年	韓国	中国	台湾	香港	タイ
	マレーシア	シンガポール	インドネシア	フィリピン	ベトナム
	インド	オーストラリア	イギリス	フランス	ドイツ
	イタリア	スペイン	ロシア	アメリカ	カナダ

出所) 観光庁 HP より、筆者作成。

3.2.2 分析対象期間

ここでは、以下の述べる 3 つの背景を考慮し、2013 年と 2023 年の 2 ヶ年を分析対象期間として取り上げる。

- (1) 2023 年は分析時点における最新の確定値であり、経年的な考察を行う上で、2013 年は適切である。
- (2) 2013 年はインバウンドの本格的な拡大前であり、2023 年はインバウンドの本格的な拡大後である。
- (3) 2013 年は COVID-19 の発生前であり、2023 年は COVID-19 からの回復後である。

3.2.3 ハーフィンダール・ハーシュマン指数

(1) 分析方法

通常、ハーフィンダール・ハーシュマン指数 (Herfindahl-Hirschman Index : HHI) は、企業の集中度を表す指標である。HHI は、「各企業の市場シェア」の 2 乗を合計したものであり、産業内の独占度が高いほど、HHI の値は高くなる。すなわち、HHI は、0 (=完全競争) から 1 (=完全独占) までの値をとり、1 に近いほど、市場集中度が高いことを意味する (Charles (1995)、Borenstein et al. (1999)、Brezina et al. (2016))。一般的に、企業数が少ない場合や、各企業間のシェア差が大きい場合には、HHI の値は大きくなる。HHI 等の手法によって、観光客の地域的な多様性を分析した幾つかの先行研究が存在する (Narayan (2006)、Benur and Bramwell (2015)、Ozcan and Erdogan (2015)、Mérida et al. (2016)、Weidenfeld (2018)、Pizzuto and Sciortino (2021)、Peng et al. (2022)、Matsuki and Pan (2023)、Payne et al. (2023)、Solarin et al. (2023)、Solarin (2024)、Solarin et al. (2024))。

以下では、この考え方を援用し、2 つの観点から、訪日外国人旅行者の地域特性を把握する。1 つは、各都道府県において、どの程度、多様な国籍の旅行者が宿泊しているか、あるいは、どの程度、偏った国籍の旅行者しか宿泊していないかを明らかにする。

この場合、HHI は、

$$HHI_j = \sum_i \left(\frac{x_{ij}}{\sum_i x_{ij}} \right)^2 \quad (3)$$

ここで、

x_{ij} ：都道府県 j における国籍 i の延べ宿泊者数

となる。

すなわち、HHI の値が小さいほど、その都道府県には多様な国籍の旅行者が宿泊している一方で、HHI の値が大きいほど、その都道府県には偏った国籍の旅行者しか宿泊していないと解釈する。

2 つは、各国籍の旅行者は、どの程度、多様な都道府県に宿泊しているか、あるいは、どの程度、偏った都道府県にしか宿泊していないかを明らかにする。

この場合、HHI は、

$$HHI_i = \sum_j \left(\frac{x_{ij}}{\sum_j x_{ij}} \right)^2 \quad (4)$$

ここで、

x_{ij} ：都道府県 j における国籍 i の延べ宿泊者数

となる。

すなわち、HHI の値が小さいほど、その国籍の旅行者は多様な都道府県に宿泊している一方で、HHI の値が大きいほど、その国籍の旅行者は偏った都道府県にしか宿泊していないと解釈する。

(2) 分析結果

まず、表 3.3 は、2013 年と 2023 年において、式 (3) に基づく都道府県別にみた訪日外国人旅行者の国籍多様性を示したものであり、図 3.3 は、それを地図で視覚化したものである。そして、表 3.4 は、基本統計量を示したものである。表 3.3 および表 3.4 からは、2013 年と比較して、2023 年の HHI の値は全体的に小さくなっていることが分かる。これは、多様な国籍の旅行者が各都道府県に宿泊するようになったことを反映していると考えられる。ただし、8 県（岩手、宮城、福島、奈良、岡山、愛媛、福岡、大分）では、2023 年の方が HHI の値は大きくなっており、2013 年よりも限られた国籍の旅行者しか宿泊しなくなったことを意味する。そして、図 3.3 からは、地域的な傾向として、東北、四国、およ

び九州にある都道府県の HHI が比較的大きい傾向が観察されるだろう。

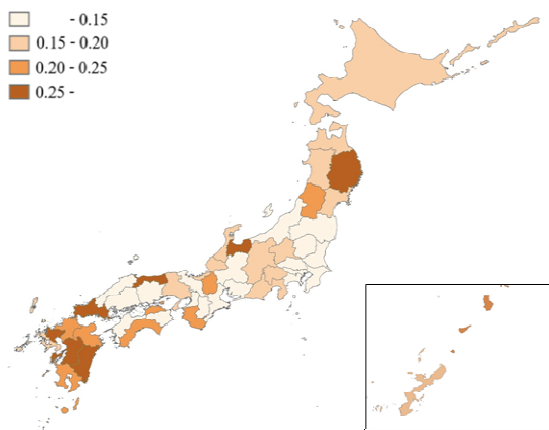
次に、表 3.5 は、2013 年と 2023 年において、式 (4) に基づく国籍別にみた訪日外国人旅行者の宿泊地域多様性を示したものである。そして、表 3.6 は、基本統計量を示したものである。表 3.5 および表 3.6 からは、2013 年と比較して、2023 年の HHI の値は全体的に大きくなっていることが分かる。これは、各国籍の旅行者に限られた都道府県にしか宿泊しなくなったことを反映していると考えられる。ただし、4 国籍（フランス、シンガポール、タイ、ベトナム）では、2023 年の方が HHI の値は小さくなっており、2013 年よりもより多様な都道府県に宿泊するようになったことを意味する。

上記で述べた HHI に基づく 2 つの観点からの分析結果は、一見、相反するようであるが、3.2.2 で述べたように、2013 年はインバウンドの本格的な拡大前であり、2023 年はインバウンドの本格的な拡大後である。そして、2013 年頃は、訪日外国人旅行者にとって定番の観光ルートが主流であった時期と重なっていた一方で、2023 年頃は、定番の観光ルートから外れて、日本各地を訪問する訪日外国人旅行者が増加した時期と重なる²⁴⁾。あるいは、2013 年頃は、訪日経験がまだ 1 回から数回程度である旅行者が大多数であったが、2023 年頃には、多ければ 10 回以上の訪日経験があるリピーターの割合が増加している。このような訪日外国人旅行者の行動変容は、一方で HHI の値を低下させる方向に働き、他方で上昇させる方向に働くことから、多様な国籍の旅行者が各都道府県に宿泊するようになると同時に、各国籍の旅行者に限られた都道府県にしか宿泊しなくなったという訪日外国人旅行者の地域特性を反映したと考えられるだろう。

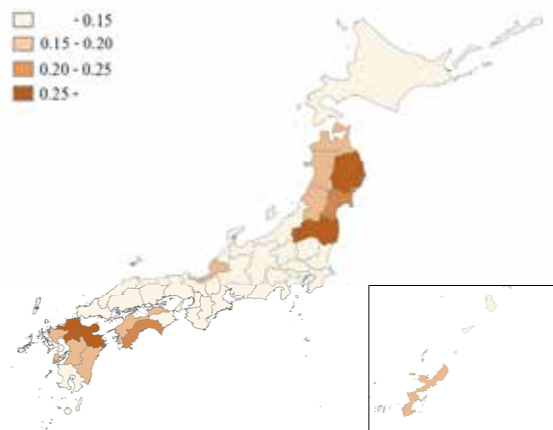
²⁴⁾ いわゆる「ゴールデン・ルート」であり、東京から箱根、富士山、名古屋、京都、大阪等を巡る広域観光周遊ルートが定番であった。我が国を代表する主要な観光地を効率的に巡ることができ、初めて我が国を訪問する外国人旅行者にとっては、人気の観光ルートであった。

表 3.3 都道府県別 HHI

No.	都道府県	2013 年	2023 年	No.	都道府県	2013 年	2023 年
1	北海道	0.18	0.14	25	滋賀県	0.23	0.12
2	青森県	0.20	0.16	26	京都府	0.12	0.09
3	岩手県	0.30	0.34	27	大阪府	0.13	0.11
4	宮城県	0.15	0.25	28	兵庫県	0.16	0.11
5	秋田県	0.18	0.16	29	奈良県	0.10	0.11
6	山形県	0.21	0.15	30	和歌山県	0.24	0.14
7	福島県	0.13	0.27	31	鳥取県	0.26	0.15
8	茨城県	0.10	0.09	32	島根県	0.12	0.09
9	栃木県	0.12	0.09	33	岡山県	0.12	0.14
10	群馬県	0.16	0.13	34	広島県	0.12	0.08
11	埼玉県	0.12	0.09	35	山口県	0.26	0.13
12	千葉県	0.11	0.09	36	徳島県	0.12	0.11
13	東京都	0.09	0.09	37	香川県	0.22	0.18
14	神奈川県	0.11	0.10	38	愛媛県	0.15	0.16
15	新潟県	0.12	0.10	39	高知県	0.21	0.21
16	富山県	0.29	0.13	40	福岡県	0.21	0.25
17	石川県	0.17	0.09	41	佐賀県	0.28	0.18
18	福井県	0.18	0.15	42	長崎県	0.18	0.13
19	山梨県	0.18	0.10	43	熊本県	0.34	0.18
20	長野県	0.20	0.10	44	大分県	0.23	0.27
21	岐阜県	0.14	0.07	45	宮崎県	0.38	0.17
22	静岡県	0.17	0.08	46	鹿児島県	0.24	0.12
23	愛知県	0.13	0.09	47	沖縄県	0.19	0.18
24	三重県	0.15	0.09	平均		0.18	0.14



(1) 2013 年



(2) 2023 年

図 3.3 都道府県別 HHI

表 3.4 基本統計量（都道府県別 HHI）

	2013 年	2023 年
最大値	0.38	0.34
最小値	0.09	0.07
平均値	0.18	0.14
標準偏差	0.07	0.06
観測数	47	47

表 3.5 国籍別 HHI

No.	国籍	2013 年	2023 年	No.	国籍	2013 年	2023 年
1	韓国	0.11	0.16	11	インド	0.22	0.26
2	中国	0.13	0.22	12	オーストラリア	0.21	0.25
3	台湾	0.10	0.11	13	イギリス	0.25	0.28
4	香港	0.14	0.14	14	フランス	0.28	0.25
5	タイ	0.15	0.15	15	ドイツ	0.19	0.24
6	マレーシア	0.17	0.19	16	イタリア	—	0.28
7	シンガポール	0.21	0.21	17	スペイン	—	0.27
8	インドネシア	0.22	0.28	18	ロシア	0.27	0.33
9	フィリピン	0.18	0.28	19	アメリカ	0.20	0.28
10	ベトナム	0.16	0.15	20	カナダ	0.24	0.30
				平均		0.19	0.23

表 3.6 基本統計量（国籍別 HHI）

	2013 年	2023 年
最大値	0.28	0.33
最小値	0.10	0.11
平均値	0.19	0.23
標準偏差	0.05	0.06
観測数	18	20

3.2.4 特化係数

(1) 分析方法

通常、特化係数（Location Quotient : LQ）は、産業の相対的な集積度を表す指標である。LQ は、「ある県の産業別構成比」を「全国の平均的な産業別構成比」と比較することによって、その県にはどのような産業が集積しているのかを表す。すなわち、全国の構成比を基準（=1）として、特化係数が 1 を上回る産業は、その県に相対的に集積し、特化係数が 1 を下回る産業に関しては、その県の相対的な集積度は低いと解釈する。LQ 等の手法によって、観光客の地域的な集中と分散を分析した幾つかの先行研究が存在する（Urtasun and Gutiérrez (2006)、Zhou et al. (2016)、Adachi (2018)、Kim et al. (2021)、Li and Liu (2022)）。

以下では、この考え方を援用し、分析対象である 20 国籍の旅行者が、どの都道府県に相対的に多く宿泊しているのかを明らかにする。

この場合、LQ は、

$$LQ_{ij} = \frac{x_{ij} / \sum_i x_{ij}}{\sum_j x_{ij} / \sum_i \sum_j x_{ij}} \quad (5)$$

ここで、

x_{ij} : 都道府県 j における国籍 i の延べ宿泊者数

となる。

すなわち、全国の構成比を基準 (=1) として、特化係数が 1 を上回る国籍の旅行者は、その都道府県を相対的に宿泊している一方で、特化係数が 1 を下回る国籍の旅行者は、その都道府県には相対的に宿泊していないと解釈する。

(2) 分析結果

まず、表 3.7 は、2013 年と 2023 年において、式 (5) に基づく特化係数の大きい上位 10 都道府県とその国籍を整理したものである。同表からは、2013 年では、埼玉県におけるフィリピンの特化係数が極めて大きく (22.43)、次いで、福島県におけるインド (6.56)、新潟県におけるロシア (5.73)、山梨県におけるベトナム (5.17)、そして宮崎県における韓国 (4.63) の順となっている。その一方で、2023 年においては、宮崎県におけるロシアの特化係数が極めて大きく (12.94)、次いで、静岡県におけるベトナム (7.50)、山梨県におけるベトナム (4.80)、岐阜県におけるスペイン (4.61)、そして石川県におけるイタリア (4.58) の順となっている。岐阜県におけるスペインと石川県におけるイタリア、あるいは、奈良県におけるフランスの特化係数が高いことは、アジア国籍の特化係数が上位を占めている中で、特徴的であるといえるだろう。

表 3.7 特化係数の高い上位 10 都道府県

2013 年				2023 年			
No.	都道府県	国籍	特化係数	No.	都道府県	国籍	特化係数
1	埼玉県	フィリピン	22.43	1	宮崎県	ロシア	12.94
2	福島県	インド	6.56	2	静岡県	ベトナム	7.50
3	新潟県	ロシア	5.73	3	山梨県	ベトナム	4.80
4	山梨県	ベトナム	5.17	4	岐阜県	スペイン	4.61
5	宮崎県	韓国	4.63	5	石川県	イタリア	4.58
6	和歌山県	香港	4.58	6	愛知県	ベトナム	4.27
7	熊本県	韓国	4.44	7	島根県	ベトナム	4.20
8	神奈川県	インド	4.20	8	岩手県	台湾	4.10
9	埼玉県	インド	4.01	9	福井県	香港	3.95
10	山梨県	タイ	3.99	10	奈良県	フランス	3.81

次に、表 3.8 は、2013 年と 2023 年において、式 (5) に基づく特化係数が最も大きい国籍を都道府県別に整理したものである。同表からは、アジア諸国の特化係数が最も大きい都道府県が多い中で、茨城県は両年ともドイツ、東京都は両年ともロシア、京都府はフランス（2013 年）とイタリア（2023 年）、奈良県と岡山県は両年ともフランス、そして広島県はオーストラリア（2013 年）とフランス（2023 年）となっていることが分かる。また、2013 年と 2023 年で、特化係数が最も大きい国籍が異なる都道県は少なくはないことが観察されるだろう。例えば、千葉県はドイツ（2013 年）とベトナム（2023 年）、新潟県はロシア（2013 年）と香港（2023 年）、石川県は台湾（2013 年）とイタリア（2023 年）、長野県はオーストラリア（2013 年）とタイ（2023 年）、岐阜県はタイ（2013 年）とスペイン（2023 年）、島根県はロシア（2013 年）とベトナム（2023 年）、愛媛県はフィリピン（2013 年）とスペイン（2023 年）、そして宮崎県は韓国（2013 年）とロシア（2023 年）となっており、アジア国籍とヨーロッパ国籍が入れ替わっている。特に、石川県、岐阜県、愛媛県、および宮崎県は、アジア国籍からヨーロッパ国籍へと変化していることが分かる。

表 3.8 特化係数の都道府県別最上位国籍

No.	都道府県	2013 年		2023 年	
		国籍	特化係数	国籍	特化係数
1	北海道	シンガポール	2.33	マレーシア	1.78
2	青森県	韓国	2.32	台湾	2.44
3	岩手県	台湾	2.65	台湾	4.10
4	宮城県	台湾	1.45	台湾	3.39
5	秋田県	フィリピン	3.00	台湾	2.52
6	山形県	台湾	1.99	マレーシア	2.54
7	福島県	インド	6.56	台湾	3.55
8	茨城県	ドイツ	1.99	ドイツ	2.80
9	栃木県	インド	2.26	タイ	2.21
10	群馬県	タイ	1.89	ベトナム	2.09
11	埼玉県	フィリピン	22.43	インド	2.97
12	千葉県	ドイツ	1.60	ベトナム	2.03
13	東京都	ロシア	1.63	ロシア	1.49
14	神奈川県	インド	4.20	インド	2.22
15	新潟県	ロシア	5.73	香港	1.98
16	富山県	台湾	2.55	台湾	2.08
17	石川県	台湾	1.93	イタリア	4.58
18	福井県	台湾	1.72	香港	3.95
19	山梨県	ベトナム	5.17	ベトナム	4.80
20	長野県	オーストラリア	3.94	タイ	2.16
21	岐阜県	タイ	2.41	スペイン	4.61
22	静岡県	インドネシア	2.40	ベトナム	7.50
23	愛知県	ベトナム	3.30	ベトナム	4.27
24	三重県	フィリピン	2.41	ベトナム	2.33
25	滋賀県	台湾	2.17	香港	2.03
26	京都府	フランス	2.46	イタリア	2.67
27	大阪府	ベトナム	1.56	韓国	1.54
28	兵庫県	香港	1.52	台湾	1.48
29	奈良県	フランス	3.78	フランス	3.81
30	和歌山県	香港	4.58	香港	3.05
31	鳥取県	韓国	3.71	香港	3.01
32	島根県	ロシア	2.20	ベトナム	4.20
33	岡山県	フランス	2.50	フランス	3.42
34	広島県	オーストラリア	3.54	フランス	3.64
35	山口県	韓国	3.84	韓国	1.85
36	徳島県	フィリピン	2.99	香港	2.91
37	香川県	台湾	1.98	台湾	2.16
38	愛媛県	フィリピン	3.48	スペイン	2.11
39	高知県	韓国	2.78	台湾	2.98
40	福岡県	韓国	3.12	韓国	3.10
41	佐賀県	韓国	3.57	韓国	2.17
42	長崎県	韓国	2.48	韓国	1.78
43	熊本県	韓国	4.44	韓国	1.98
44	大分県	韓国	3.73	韓国	3.26
45	宮崎県	韓国	4.63	ロシア	12.94
46	鹿児島県	台湾	2.04	香港	2.38
47	沖縄県	香港	2.50	台湾	2.08

そして、図 3.4 は、2013 年と 2023 年において、式 (5) に基づく国籍別にみた訪日外国人旅行者の宿泊集中度について、都道府県別に地図で視覚化したものである。以下に、年別および国籍別に考察を行う。

韓国人旅行者については、2013 年の鹿児島県、および 2023 年の宮崎県と鹿児島県を除いて、全体的に九州各県で最も大きい特化係数を示している。特に、福岡県 (2023 年 : 3.10) は地理的な近接性が、そして大分県 (2023 年 : 3.26) は韓国人旅行者に人気の温泉とゴルフが、両県の特化係数に影響を与えていると考えられる。

中国人旅行者については、まず、他の国籍の旅行者と比較して、COVID-19 からの回復が遅れていることに留意する必要がある。例えば、2023 年において、韓国やシンガポール、ベトナム、インドネシア、フィリピンは 2019 年の旅行者数を上回っており、インドや香港、台湾、マレーシア、そしてタイは 2019 年の旅行者数を多少下回っている程度である (韓国 : 1.25 倍、台湾 : 0.86 倍、香港 : 0.92 倍、タイ : 0.75 倍、マレーシア : 0.83 倍、シンガポール : 1.20 倍、インドネシア : 1.04 倍、フィリピン : 1.01 倍、ベトナム : 1.16 倍、インド : 0.95 倍)。その一方で、中国に関しては、2019 年における旅行者数の 2 割台半ば程度の回復率でしかない。この背景には、他の国籍の旅行者と比較して、中国人旅行者の訪日目的は「観光・レジャー」が多く、2023 年時点で、中国から我が国への団体旅行が再開されていないことがある。それらを踏まえた上で、両年を通して、3 大都市圏にある都道府県の特化係数が比較的大きい傾向が観察される。特に、愛知県については、2013 年の特化係数 (1.94) は、静岡県 (2.25) と山梨県 (1.96) に次いで大きく、2023 年の特化係数 (1.22) に関しても、全都道府県の中で 10 番目に大きい。

台湾人旅行者については、両年を通して、北海道と東北各県の特化係数が相対的に大きい。特に、2023 年では、岩手県 (4.10)、宮城県 (3.39)、そして福島県 (3.55) の上位 3 県が顕著に大きいことが特徴的である。3.1.1 で述べた「明日の日本を支える観光ビジョン」においても、東日本大震災後の東北における観光振興が取り上げられており、東北 6 県への訪日外国人旅行者数を増加させるために、政府もさまざまな取り組みを推進してきた。東日本大震災からの復興を支援する台湾人旅行者の姿勢が反映されている可能性もあるだろう。また、2023 年において、全国で 4 番目に大きな特化係数を示した高知県 (2.98) に関しては、2023 年 5 月に国際定期チャーター便として初就航した LCC (タイガーエア台湾) の影響であると考えられる。

香港人旅行者については、2023 年では、福井県 (3.95)、和歌山県 (3.05)、および鳥取県 (3.01) の特化係数が顕著に大きい。和歌山県に関しては、2013 年の特化係数も 4.58 であり、極めて大きくなっている。香港人旅行者はリピート率が高く、都市部から地方部へシフトする傾向が強い上に、香港人旅行者に対して、和歌山県は積極的なプロモーション活動を展開している。

タイ人旅行者については、両年を通して、東日本の各県における特化係数が大きい傾向

が観察される。特に、山梨県は極めて大きい特化係数を示しているが（2013年：3.99、2023年：3.50）、これには、タイ人旅行者にとって最も人気の高い観光地が富士山であることが影響していると考えられる。その他、2013年における岐阜県（2.41）、そして2023年における山形県（2.21）、福島県（2.93）、栃木県（2.21）、および長野県（2.16）の特化係数が比較的大きいといえる。愛知県に関しても、両年ともに、相対的に大きいといえるだろう（2013年：1.71 [全国6位]、2023年：1.85 [全国9位]）。

マレーシア人旅行者についても、両年に共通して、東日本各県の特化係数が大きい傾向にある。特に、マレーシア人旅行者にとっては冬季の人气が高く、入国空港に関しては、関西国際空港に次いで新千歳空港が多い。2023年では、静岡県（2.67）の特化係数が最も大きく、次いで、山形県（2.54）と岐阜県（2.53）が続いている。

シンガポール人旅行者については、両年ともに、北海道の特化係数が最も大きくなっている（2013年：2.33、2023年：1.75）。全体的に、都市部から北信越各県へとシフトしている傾向が観察される。岐阜県に関しては、高山や白川郷を訪問するシンガポール人旅行者が増加していることを反映していると考えられる（2013年：1.02、2023年：1.18）。

インドネシア人旅行者については、他の東南アジア国籍とは異なり、北海道や東北各県の特化係数は1未満である。全体的に、東海、北陸、および信越各県の特化係数が大きいという特徴がある。両年に共通して、山梨県（2013年：3.30 [全国1位]、2023年：1.84 [全国3位]）と静岡県（2013年：2.40 [全国2位]、2023年：1.89 [全国1位]）の特化係数が大きい。

フィリピン人旅行者については、2013年には、特化係数の大きな都道府県が全国的に広がっていたが、2023年には、都市部に集中する傾向が観察される（愛知県：1.82、千葉県：1.73、大阪府：1.37、東京都：1.27、埼玉県：1.07）。2013年においては、埼玉県（22.43）が突出して高く、次いで愛媛県（3.48）であったことから、地方部から都市部へとシフトしているといえるだろう。

ベトナム人旅行者については、2013年は山梨県（5.17）と愛知県（3.30）、そして2023年は静岡県（7.50）、山梨県（4.80）、愛知県（4.27）、および島根県（4.20）の特化係数が大きいといえる。東海各県の特化係数が大きい要因としては、これらの地域には多種多様な製造業が集積していることから、多くの技能実習生が生産活動に従事しており、それに伴って、友人・親族訪問（Visiting Friends and Relatives：VFR）需要が高いことが挙げられるだろう。

インド人旅行者については、2013年では、福島県（6.56）、神奈川県（4.20）、および埼玉県（4.01）の特化係数が、そして2023年では、島根県（3.11）の特化係数が大きい。また、広島県（2013年：2.20、2023年：1.88）と兵庫県（2013年：1.25、2023年：1.12）の特化係数が相対的に大きい背景としては、前者については、宮島観光の人气上昇とダーク・ツーリズム（広島平和記念公園）、そして後者に関しては、神戸市における日本有数の在日

インド人社会の存在が挙げられるだろう。

オーストラリア人旅行者については、特に、スキー観光に人気のある長野県の特化係数が大きい（2013 年：3.94、2023 年：2.12）。そして、宮島観光とダーク・ツーリズムへの高い需要から、広島県の特化係数も極めて大きくなっている（2013 年：3.54、2023 年：2.14）。

イギリス人旅行者については、兩年を通して、東京都（2013 年：1.53、2023 年：1.33）や神奈川県（2013 年：2.50、2023 年：1.35）、京都府（2013 年：2.08、2023 年：1.53）、奈良県（2013 年：1.73、2023 年：1.42）、広島県（2013 年：1.84、2023 年：3.41）をはじめ、訪日外国人旅行者に共通して人気のある標準的な都道府県の特化係数が大きいと判断できるだろう。

フランス人旅行者については、その特徴として、奈良県の特化係数が最も大きいことを挙げることができる（2013 年：3.78、2023 年：3.81）。2023 年には、奈良県に加えて、島根県（3.79）、広島県（3.64）、そして岡山県（3.42）の特化係数が大きい。島根県と岡山県に関しては、歴史や文化を好むフランス人旅行者に対して、両県が合同で積極的なプロモーション活動を展開している。

ドイツ人旅行者についても、兩年を通して、東京都（2013 年：1.27、2023 年：1.21）や神奈川県（2013 年：2.14、2023 年：1.55）、京都府（2013 年：1.61、2023 年：1.68）、奈良県（2013 年：1.84、2023 年：2.03）、広島県（2013 年：2.46、2023 年：3.32）をはじめ、訪日外国人旅行者に共通して人気のある標準的な都道府県の特化係数が大きい傾向にある。瀬戸内海沿岸の各県における大きな特化係数は、瀬戸内国際芸術祭や海外のサイクリストから注目されている「しまなみ海道サイクリングロード」の影響である可能性が高いと考えられる。

イタリア人旅行者については、石川県（4.58）、岐阜県（3.38）、そして広島県（3.21）の特化係数が大きい特徴がある。石川県については、金沢市がイタリア人旅行者獲得に向けた取り組みを推進している一方で、岐阜県に関しては、在日イタリア商工会議所が岐阜県観光プロモーション事業を展開している。

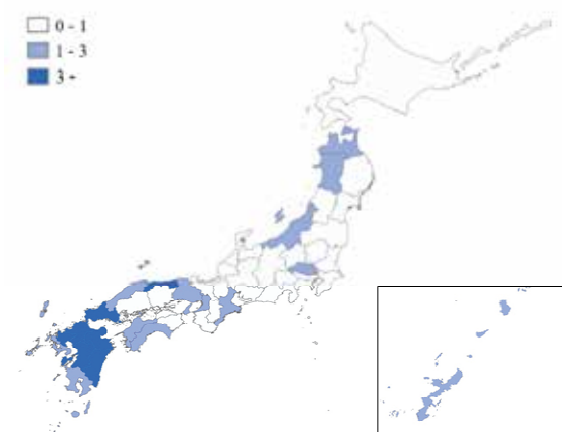
スペイン人旅行者についても、岐阜県（4.61）、石川県（3.10）、そして広島県（3.08）の特化係数が大きい傾向にある。岐阜県については、スペイン国内において、岐阜県が観光プロモーション事業の展開やスペイン旅行博への出展を積極的に行っている。石川県と広島県に関しては、スペイン人旅行者にとっても、両県が東京都や京都府、奈良県と並ぶ人気の高い都道府県であるといえる。

ロシア人旅行者については、2013 年については、日本海沿岸の各県における特化係数が相対的に大きく、特に、新潟県に関しては、ロシアとの歴史的／経済的関係が強い上に、官民一体となって、積極的な交流活動を展開している（新潟県：5.73、島根県：2.20、富山県：1.69、青森県：1.63）。ウクライナ侵攻後の 2023 年では、宮崎県（12.94）や奈良県（1.59）、東京都（1.49）、京都府（1.46）、埼玉県（1.31）の特化係数が大きくなっている。

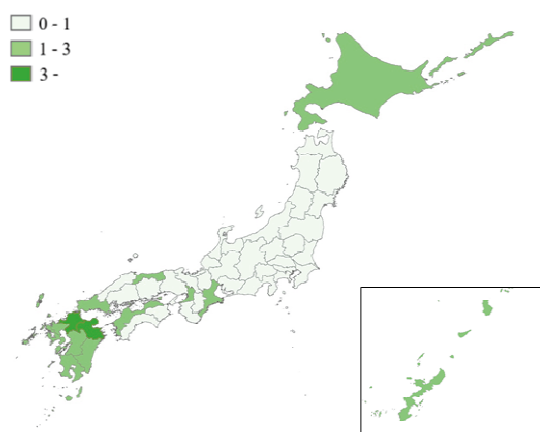
アメリカ人旅行者については、2013 年における特化係数の大きな上位 5 都道府県は、栃木県（2.04）、神奈川県（2.00）、広島県（1.79）、福島県（1.69）、そして京都府（1.49）であり、2023 年には、沖縄県（1.83）、神奈川県（1.73）、山口県（1.51）、東京都（1.37）、そして京都府（1.32）の順となっている。両年を通して、訪日外国人旅行者に共通して人気のある標準的な都道府県に加えて、米軍基地の存在する都道府県の特化係数が相対的に大きいといえるだろう。

カナダ人旅行者については、2013 年における特化係数の大きな上位 5 都道府県は、京都府（1.93）、広島県（1.80）、島根県（1.62）、岡山県（1.51）、そして東京（1.49）であり、2023 年には、広島県（1.40）、東京都（1.40）、京都府（1.36）、石川県（1.24）、そして神奈川県（1.21）の順となっている。両年を通して、広島や京都をはじめとして、訪日外国人旅行者に共通して人気のある標準的な都道府県の特化係数が相対的に大きい。

全体的な考察としては、まず、東海 3 県については、特に、2023 年におけるベトナム人旅行者の大きな特化係数が特徴的である（愛知県：4.27、三重県：2.33、岐阜県：1.30、（静岡県：7.50））。次に、2023 年における岐阜県のイタリア（3.38）とスペイン（4.61）は、突出して大きな特化係数を示している。そして、2013 年と 2023 年の両年に共通した顕著な傾向としては、広島県の特化係数は欧米系国籍とインドが高く、その多くは核保有国である。

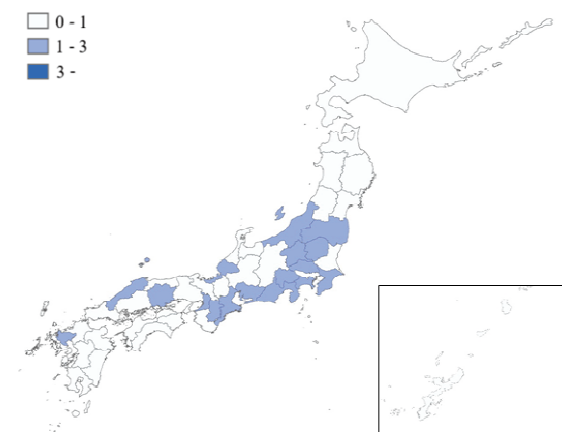


①2013 年

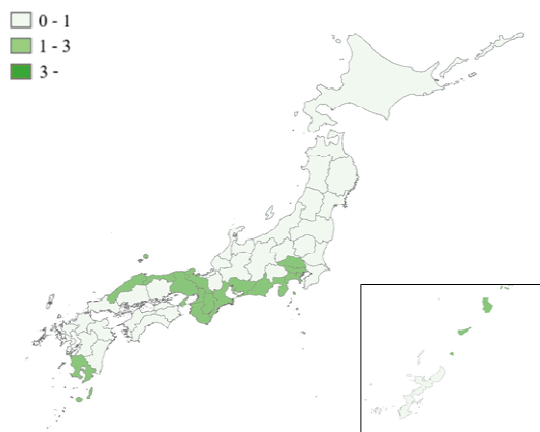


②2023 年

(1) 韓国人旅行者

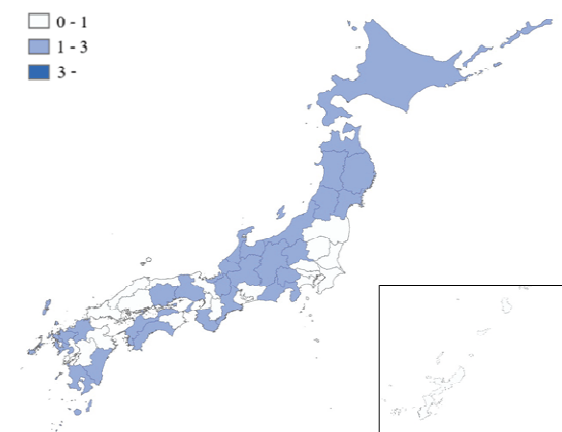


①2013 年

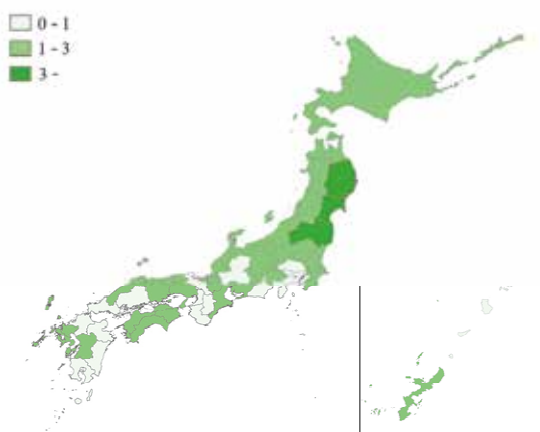


②2023 年

(2) 中国人旅行者

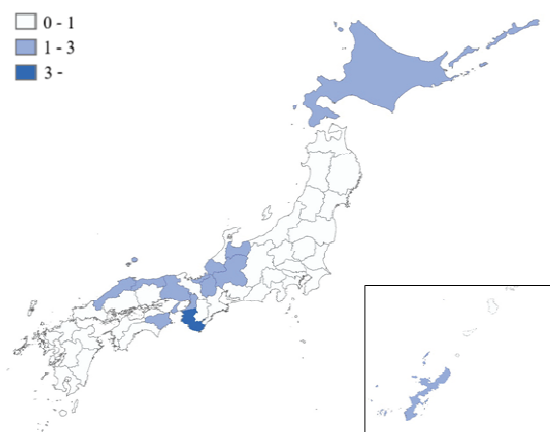


①2013 年

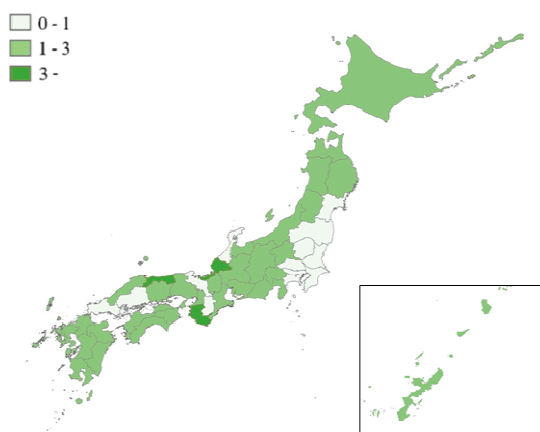


②2023 年

(3) 台湾人旅行者

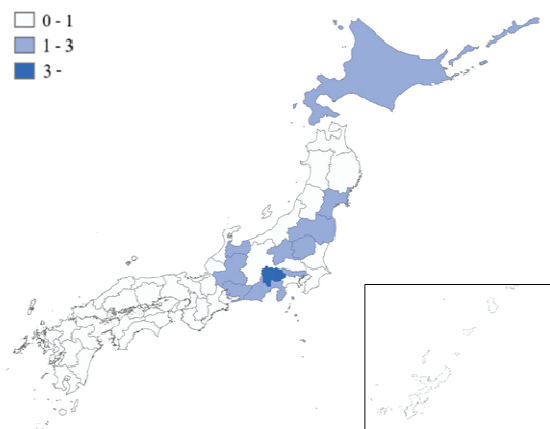


①2013 年

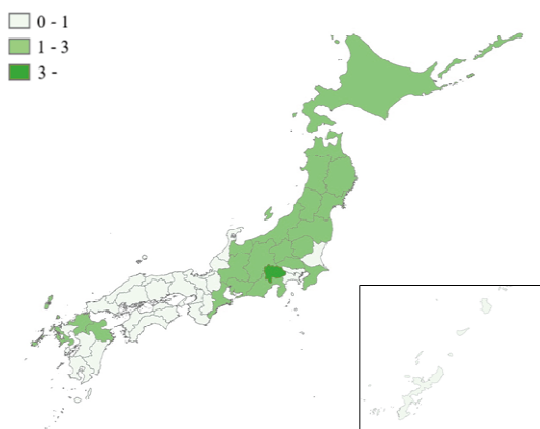


②2023 年

(4) 香港人旅行者

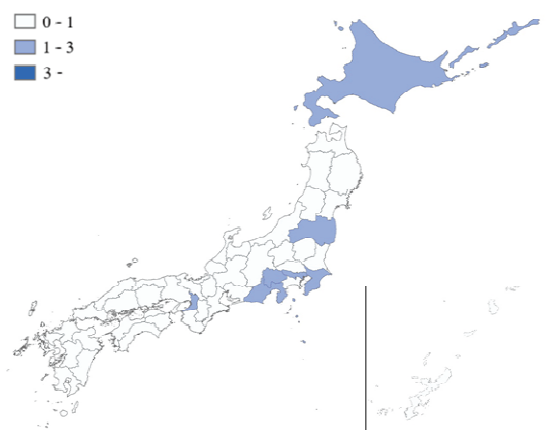


①2013 年

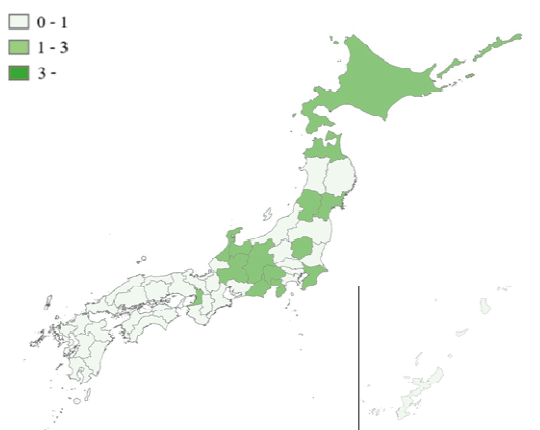


②2023 年

(5) タイ人旅行者

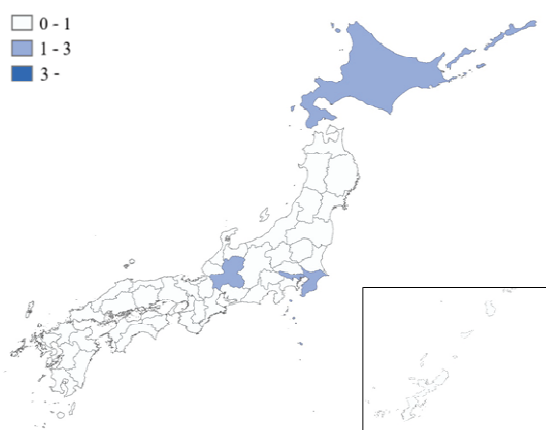


①2013 年



②2023 年

(6) マレーシア人旅行者

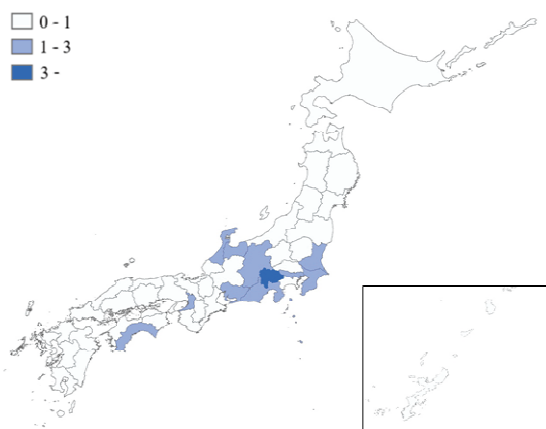


①2013 年

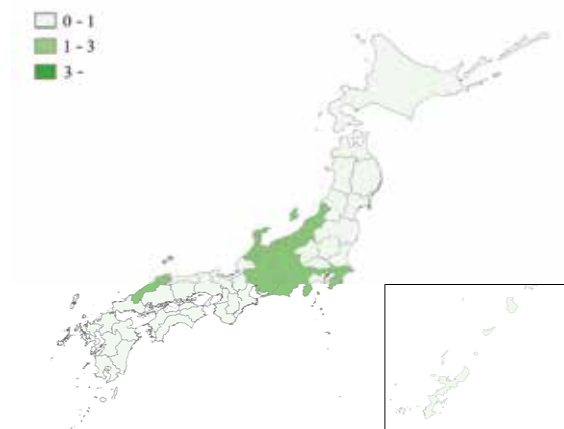


②2023 年

(7) シンガポール人旅行者

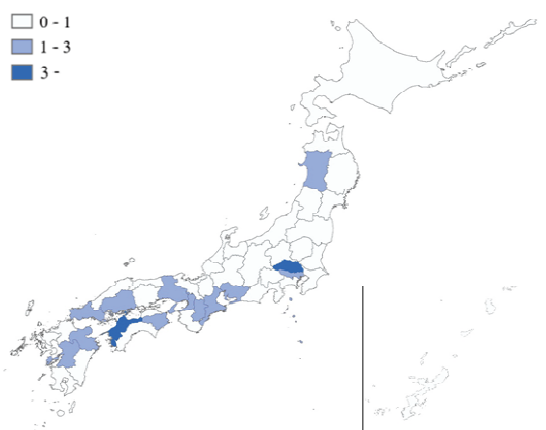


①2013 年

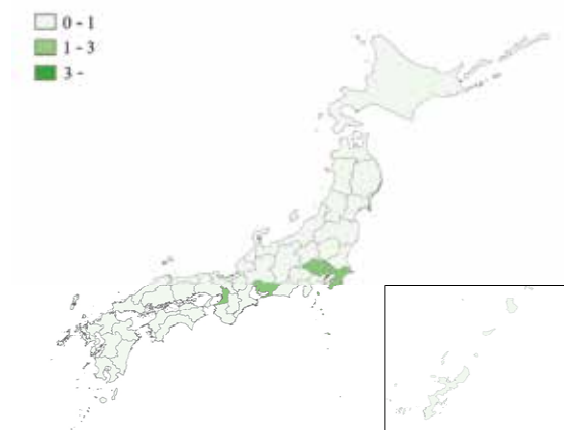


②2023 年

(8) インドネシア人旅行者

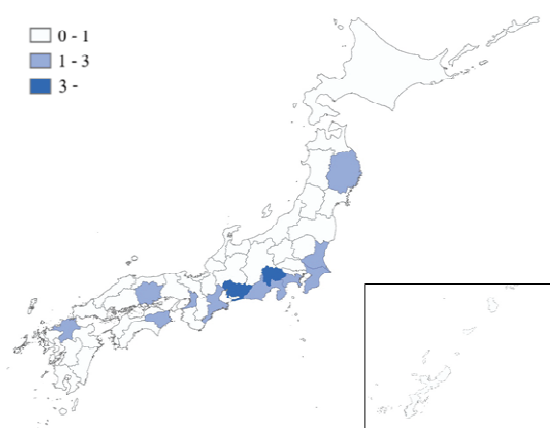


①2013 年

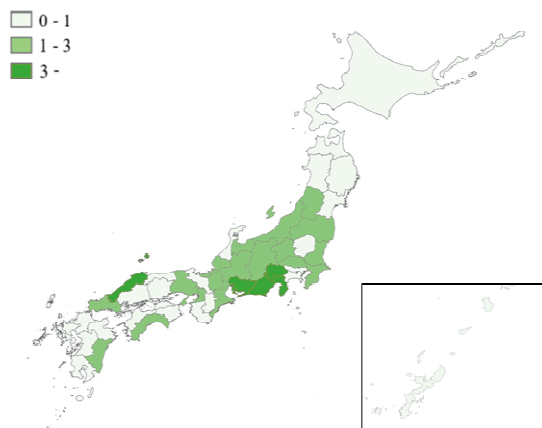


②2023 年

(9) フィリピン人旅行者

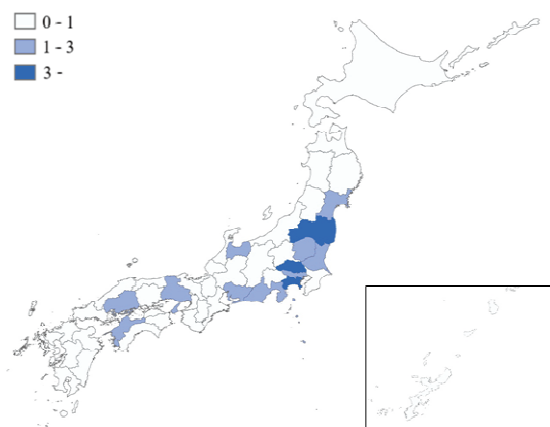


①2013 年

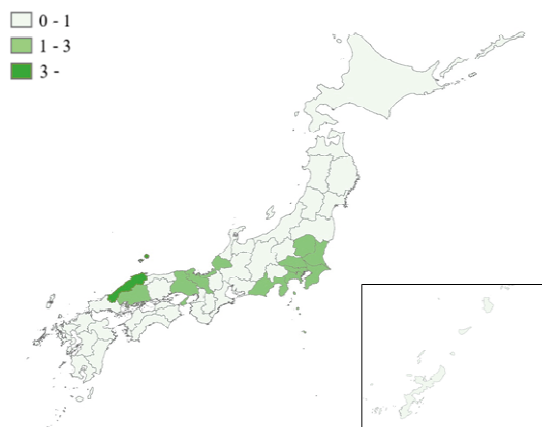


②2023 年

(10) ベトナム人旅行者

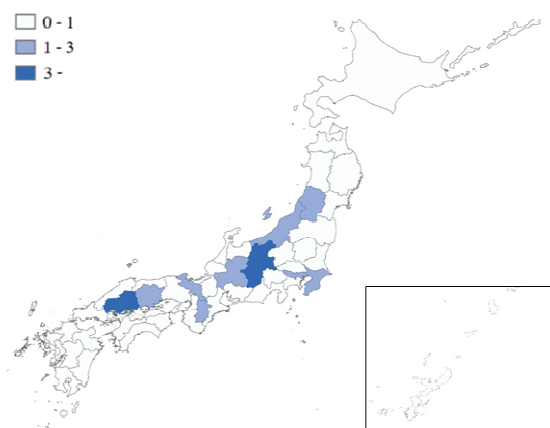


①2013 年

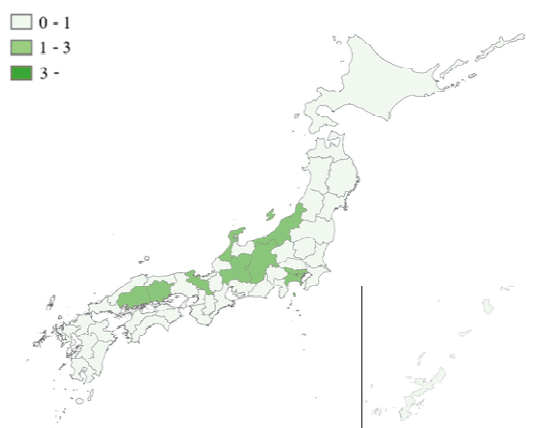


②2023 年

(11) インド人旅行者

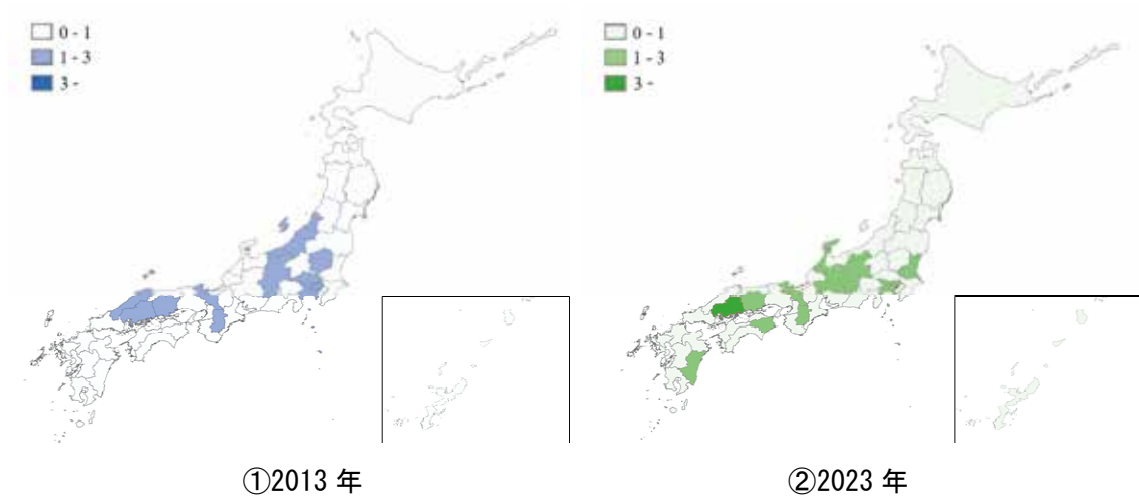


①2013 年

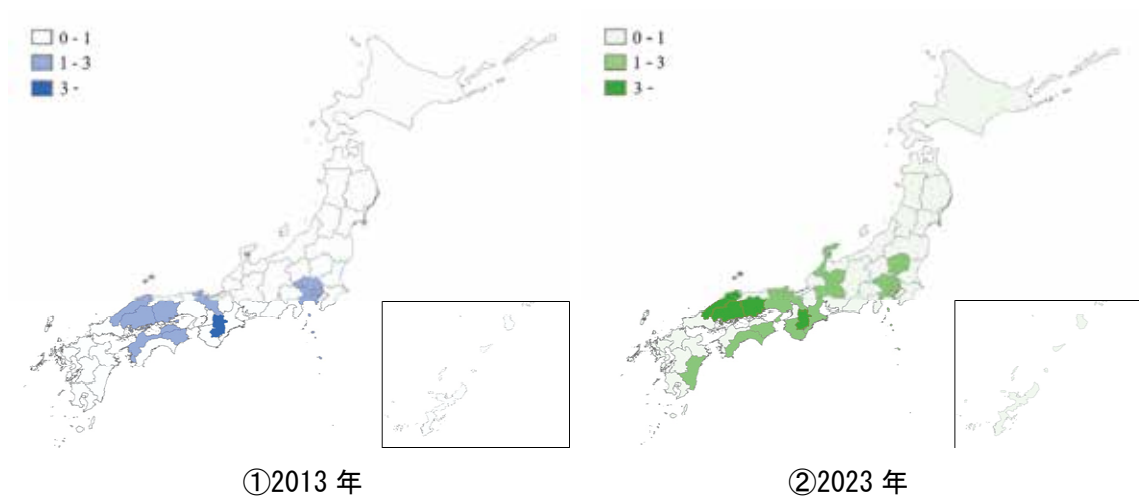


②2023 年

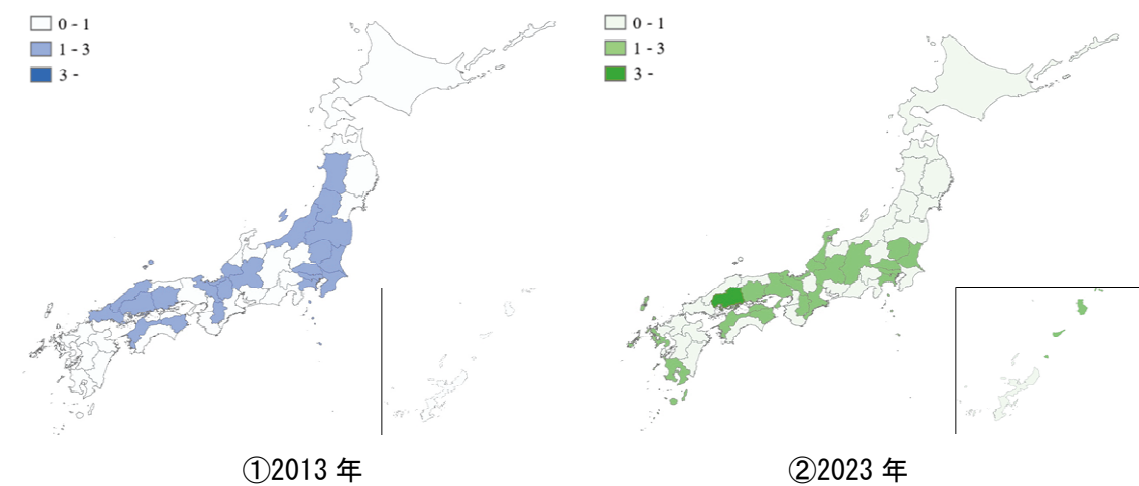
(12) オーストラリア人旅行者



(13) イギリス人旅行者

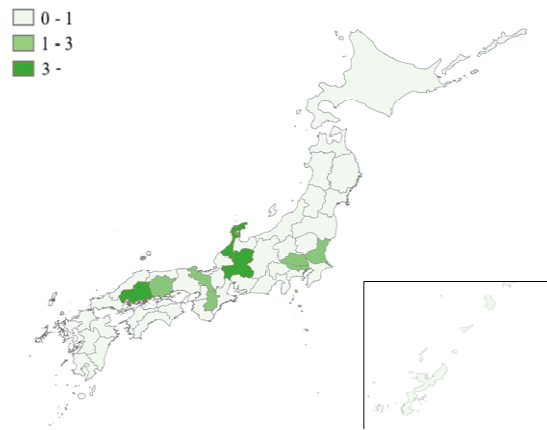


(14) フランス人旅行者



(15) ドイツ人旅行者

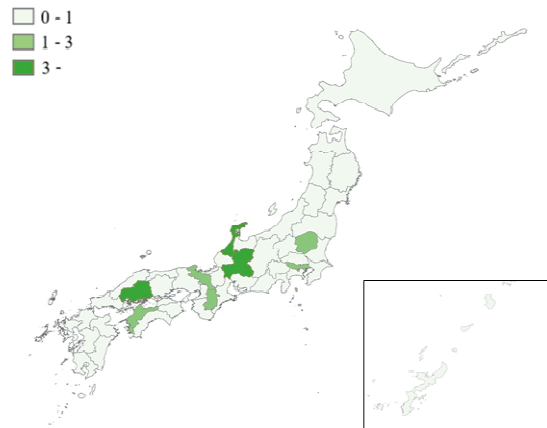
データなし



②2023 年

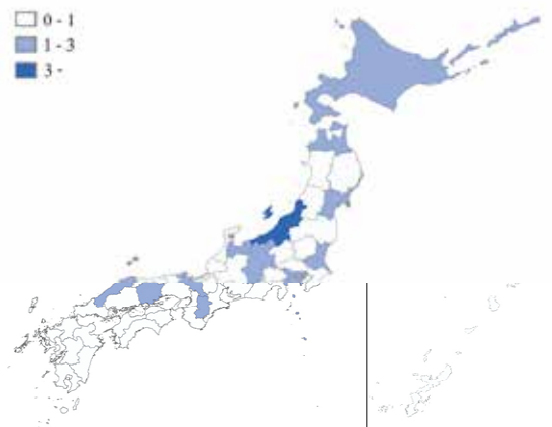
(16) イタリア人旅行者

データなし

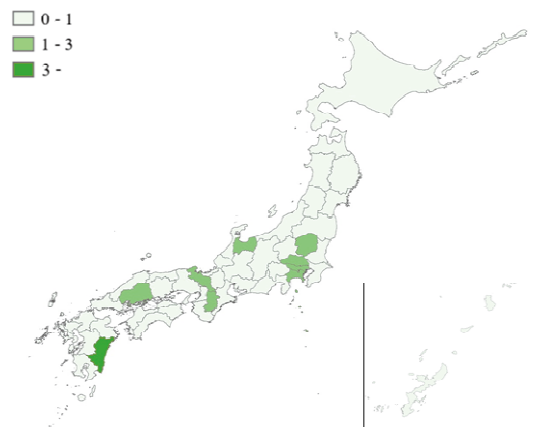


②2023 年

(17) スペイン人旅行者

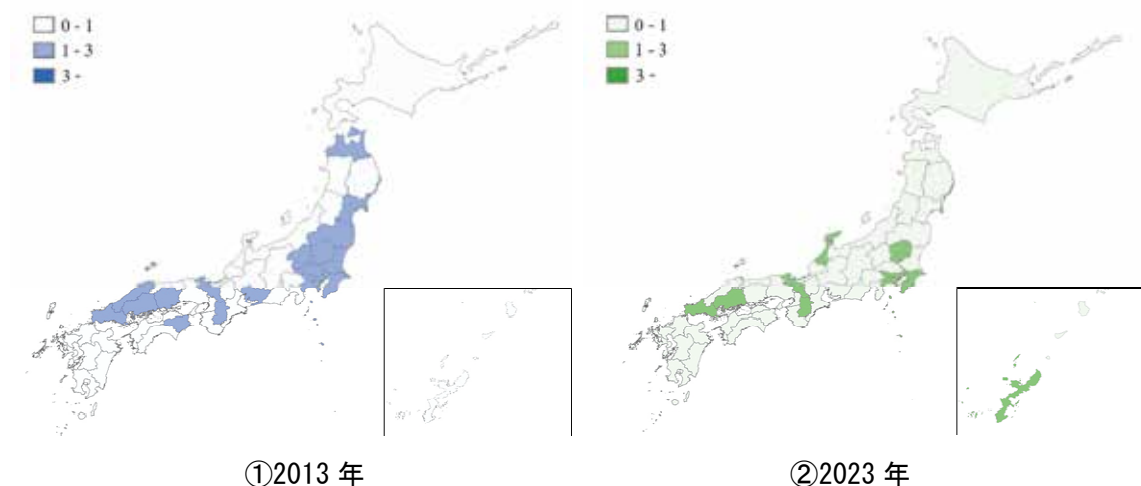


①2013 年

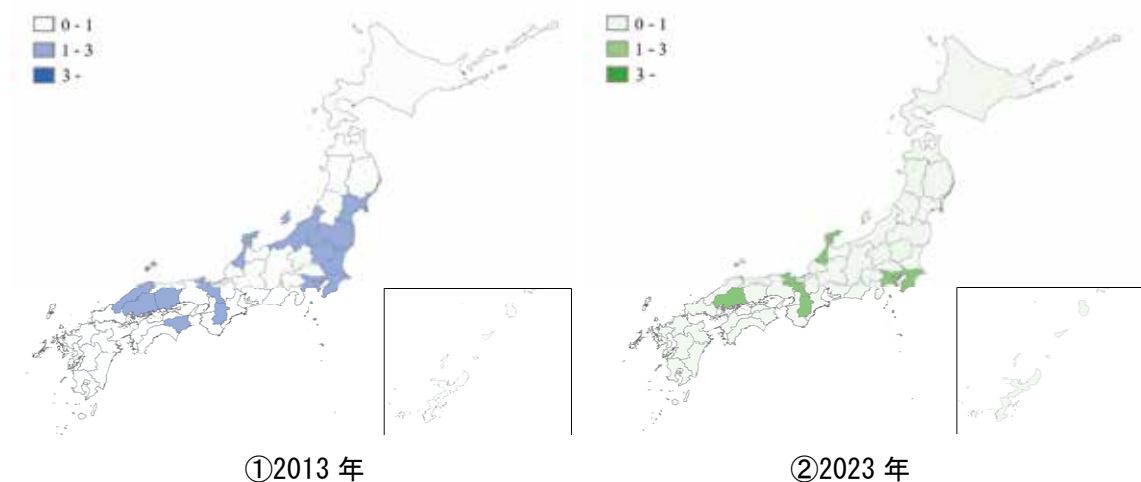


②2023 年

(18) ロシア人旅行者



(19) アメリカ人旅行者



(20) カナダ人旅行者

図 3.4 分析対象 20 ヶ国における都道府県別特化係数の概要

3.3 中部圏における訪日外国人旅行者数増加に向けた政策的含意

3.3.1 岐阜県における取り組み²⁵⁾

3.2.4 で明らかになったように、2023 年において、岐阜県はイタリア旅行者とスペイン旅行者に対して、極めて大きな特化係数を示している。以下では、特に、岐阜県に焦点を当てた上で、同県によるこれまでの取り組みを紹介し、その背景にある要因を考察する。

岐阜県では、2009 年 4 月に観光交流推進局を新設し、「地域資源を観光資源化して選ばれる岐阜県へ」というスローガンの下で、官民一体となって、「岐阜の宝ものプロジェクト」に取り組んでいる。これは、地域資源の再発見とそのブラッシュ・アップ、そして地域再

²⁵⁾ ここでの記述は、2025 年 1 月 30 日（木）に開催された「中部国際空港の将来像調査研究会（2024 年度第 2 回）」における古田菜穂子氏（岐阜県観光国際戦略アドバイザー）のご報告「岐阜県のインバウンド誘致の取り組み」に基づいている。

生のための人材育成を推進する事業であり、内在するさまざまな地域資源を再発見して観光資源化し、他の観光資源と結び合わせた上で、それを対外的に発信することを通して、地域資源を観光資源化することを目的としている。その結果、国内外から旅行者が訪問するようになり、地域にはさまざまな経済的メリットがもたらされることを期待している。同時に、観光や食、モノづくりを一体化したパッケージ・ブランディング手法によって、これまで約 20 ヶ国で岐阜県プロモーション活動を展開している。例えば、同県の特産品を継続的に販売する GAS（グローバル・アンテナ・ショップ）を展開している²⁶⁾。このように、同県は海外主要都市の小売店等と連携して GAS を構築し、海外パートナーの発掘や自社製品の市場開拓等に活用できる場と機会を提供している。さらに、同県の食材を提供するレストラン等も、十数ヶ国で 50 店舗以上開拓している。

ここで強調すべきは、GAS オーナーには、同県への事前訪問を要請し、販売品の背後にある「物語」を実感できる工夫を施していることであり、レストラン開拓のためには、職員が現地に赴いて常に対面で交渉を行っていることである。そうすることによって、海外パートナーが同県をより深く理解し、継続的なプロモーション活動へと繋げている。

このように、観光・食・モノ・人を一体化した独自のパッケージ・ブランド戦略とパーソナル・リーチ型プロモーションが、岐阜県のインバウンド観光客増加に大きく貢献していると考えられるだろう。

3.3.2 これからの観光政策に向けた政策的含意

COVID-19 から完全回復した現在、我が国では、新たな成長産業として、あるいは、地域振興の有効な手段として、経済成長を牽引する観光産業に対する期待がますます大きくなっている。国レベルでは、観光立国を実現するための政策が強力に推進されている一方で、岐阜県をはじめとする多くの地域においても、さまざまなインバウンド観光振興策が展開されている。特に、規制緩和政策が推進された結果、2010 年代半ばから訪日外国人旅行者数は急増し、大きな経済効果をもたらした。しかしながら、インバウンド観光は地域経済への経済効果が大きいことから、地方創生の手段として期待されたものの、現在、訪日外国人旅行者数の地域間格差やオーバー・ツーリズムの問題等が深刻化している。その一方で、観光産業は、経済的、社会的、あるいは政治的要因によって、大きな影響を受ける。このような問題に対しては、観光市場の多様化（Tourism Market Diversification : TMD）戦略こそが、特定の目的地への過度な集中を抑制し、外国人観光客数を一定数に抑えることによって、観光産業を安定化させると同時に、経済の持続的な成長を可能にすると指摘されている（Gartell（1993）、Dore and Crouch（2003）、Peng et al.（2023）、Capone（2019）、

²⁶⁾ 2024 年 4 月時点で、9 ヶ国 15 店舗（フランス [4 店舗]、スイス [1 店舗]、スペイン [1 店舗]、アメリカ [3 店舗]、シンガポール [2 店舗]、タイ [1 店舗]、香港 [1 店舗]、台湾 [1 店舗]、オーストラリア [1 店舗]）となっている。

Saboori et al. (2023))。Wang and Bai (2023) は、地方におけるインフラ整備によって、観光開発に伴う都市と地方間の所得格差は縮小することを指摘している。

今後の観光政策を考える上で、また、岐阜県の取り組みから示唆されるように、住民や企業、そして行政が一体となって、地域で目指すべき方向性の共通認識と理解を深め、地域成長の好循環を生み出すことが重要である。そのためには、持続可能な成長に向けた観光地域づくりや観光地経営を担う人材育成が重要であり、自治体や観光地域づくり法人 (Destination Management Organization : DMO)、国をはじめとしたステーク・ホルダーが協力しながら、持続可能な観光地域づくりを実現することが求められるだろう (Presenza et al. (2005)、Sainaghi (2006)、Wang (2008)、Pearce and Schänzel (2013)、Adeyinka-Ojo et al. (2014)、Pike and Page (2014)、Capone (2019)、Banu (2016)、Romão and Nijkamp (2019))。

終 章

空港法第4条において、拠点空港は「国際航空輸送網又は国内航空輸送網の拠点となる空港」と定義され、成田国際空港や東京国際空港、関西国際空港と同様に、中部国際空港においても、ハブとしての機能が重視される。現状では、容量制約から新規路線の誘致が限定される首都圏空港とは異なり、関西国際空港と中部国際空港では、新規路線誘致を含む相対的に柔軟な路線ネットワークが設定されてきた。各空港における路線ネットワークのあり方は経営戦略の根幹となる重要な要素であり、航空会社の戦略に依存する他空港の路線ネットワークの状況にも影響を受けることが想定される。

そこで、本調査研究では、主に2つの研究を行った。1つは、OAGデータに基づく中部国際空港と比較対象空港（関西国際空港、福岡空港）の旅客流動に関する分析である。すなわち、旅客の出発空港、経由空港、および目的空港を特定することによって、実際の旅客の流動実態を解明すると同時に、これら3空港に成田国際空港と東京国際空港の2空港を加えた5空港間の競争と役割分担の現状を明らかにした。もう1つは、宿泊旅行統計調査に基づく訪日外国人旅行者に関する分析である。空港の効率的運用や空港経営という観点からは、特に、インバウンド観光客の獲得が重要となることから、訪日外国人旅行者の都道府県別国籍別地域特性を明らかにした。そして、特に、岐阜県における取り組みを紹介しながら、インバウンド観光客の獲得に向けた政策的示唆を検討した。以上の2つの分析を通して、滑走路増設後の中部国際空港における国際線誘致方針や路線ネットワーク戦略に向けた視座を提供した。

本調査研究で得られた結論は、大きくは以下の10点に要約できる。

1. COVID-19からの回復率については、中部国際空港の回復率は低いことが明らかとなった。その要因としては、国内線の回復が早かったことから、国内線の比率が相対的に大きい福岡空港と東京国際空港の回復率は高く、国際線の比率が相対的に大きい中部国際空港、関西国際空港、および成田国際空港の回復率は低いといえる。
2. ハブの分類別にみた旅客数に関しては、中部国際空港は内内ハブとしての接続が5割強、内際ハブと際内ハブとしての接続が各々2割程度、そして際際ハブとしての接続はほとんど存在しないことから、同空港は国内線同士を乗り換える旅客数が相対的に多いといえる。
3. 東京2空港で乗り換える旅客数については、福岡空港が最も多く、中部国際空港と関西国際空港は同程度である。また、東京2空港経由旅客の国内線と国際線の内訳は、関西国際空港や福岡空港と比較して、中部国際空港は東京2空港経由で国際線に乗り換える割合が相対的に高い。そして、東京2空港経由国際線乗換旅客は、関西国際空港や福岡空港と比較して、中部国際空港は成田国際空港経由で国際線に乗り換える割

合が相対的に高い。

4. 中部国際空港の成田国際空港経由旅客数は減少している一方で、東京国際空港経由旅客数は増加しているが、この背景には、東京国際空港における国際線の新規路線開設や既存路線拡充に伴って、旅客が成田国際空港経由から東京国際空港経由にシフトした影響があると考えられる。そして、成田国際空港経由旅客の目的空港は、北アメリカ地域やアジア地域の空港が多い一方で、東京国際空港経由旅客の目的空港に関しては、国内線では北海道地方や東北地方の空港、国際線では同空港には路線が存在しない空港が多い。また、中部国際空港にも路線が存在する空港に対しても、一定数、東京 2 空港経由旅客が存在する。
5. 航空旅客流動を 4 タイプ（ローカル、ビヨンド、ビハインド、およびブリッジ）に類型化した上で、中部国際空港と比較対象空港における旅客流動の実態を把握した結果、中部国際空港を出発する旅客は、ローカルの割合が 8 割程度と大部分を占めている一方で、15%程度は他空港で乗り換えて本来の目的地に向かう旅客流動であった。その一方で、同空港で乗り換える旅客流動は全体の 5%程度であることから、国際拠点空港としての機能を十分に果たしていないことが明らかとなった。
6. 2023 年 3 月のデルタ航空によるデトロイト路線からの事実上の撤退に伴って、同空港を発着する北アメリカ路線はなくなり、このことが同空港におけるビヨンド、ビハインド、およびブリッジの割合低下に繋がると同時に、同空港の国際ハブとしての機能は大幅に低下していた。
7. 我が国の国内航空旅客を対象に空港後背圏を設定した上で、重力モデルによって、我が国における国内航空旅客の流動特性を把握した。分析結果からは、我が国の国内航空旅客流動は、空港後背圏の 1 人当たり所得と人口、路線距離の基本 3 変数に加えて、各路線におけるビジネス目的の旅客数割合や LCC の便数割合、運賃、路線競争度によって、大きな影響を受けることが明らかとなった。同時に、新幹線との競合路線や離島路線も、国内航空旅客流動を左右する重要な要因となっていた。
8. 中部国際空港は、後背圏面積は東京国際空港と、後背圏人口は大阪国際空港とほぼ同じレベルであるが、多くの路線で実績値がモデルの理論値を下回っていた。すなわち、同空港は、実力以下の航空旅客数しか創出できていないと判断できる。そして、後背圏人口 1 人当たりの利用率が低いことから、地域住民にはあまり利用されていないことが明らかとなった。また、国内線では大阪国際空港および神戸空港と競合している関西国際空港と比較しても、中部国際空港の国内旅客数は少なく、また、小牧空港の影響も一定程度、認められた。
9. 訪日外国人旅行者の国籍多様性と地域的集中の実態について、HHI と特化係数によって、都道府県レベルで把握した。その結果、経年的にみれば、都道府県レベルでみた訪日外国人旅行者の国籍多様性は大きくなっている実態が明らかとなった。同時に、

東京都や大阪府、京都府、広島県をはじめ、大都市圏の都道府県に訪日外国人旅行者は相対的に集中している一方で、欧米系国籍の旅行者やインド人旅行者は広島県に、スペイン人旅行者やイタリア人旅行者は岐阜県に、あるいは、フランス人旅行者は奈良県や岡山県、島根県に相対的に集中しているなど、特定の都道府県に特有の傾向も観察された。

10. 岐阜県の取り組みから示唆されるように、今後の観光政策においては、住民、企業、そして行政が、地域の目指すべき方向性について共通認識と理解を深め、地域成長の好循環を生み出すことが重要であることを指摘した。そのためには人材育成が重要であり、自治体やDMO、国をはじめとしたステーク・ホルダーが協力しながら、持続可能な観光地域づくりを実現することが求められる。

参考文献

- 1) 井田 仁康 (1994) 航空旅客流動と空港後背地, 大明堂.
- 2) 岡部 篤行・鈴木 敦夫 (1992) 最適配置の数理, 朝倉書店.
- 3) 金本 良嗣・徳岡 一幸 (2002) 日本の都市圏設定基準, 応用地域学研究, No.7, pp.1-15.
- 4) 観光庁 (2024) 宿泊旅行統計調査.
- 5) 国土交通省航空局 (2019) 空港管理状況調査.
- 6) 国土交通省航空局 (2019) 航空輸送統計調査.
- 7) 国土交通省航空局 (2019) 航空旅客動態調査.
- 8) 法務省 (2024) 出入国管理統計年報.
- 9) Adachi, Y. (2018) Applicability of Agglomeration to Tourism Economics. *Japan and the World Economy*, No.47, pp.58-67.
- 10) Adeyinka-Ojo, S. F., Khoo-Lattimore, C. and Nair, V. (2014) A Framework for Rural Tourism Destination Management and Marketing Organizations. *Procedia Social and Behavioral Sciences*, No.144, pp.151-163.
- 11) Adler, H., Brudner, A., Gallotti, R., Privitera, F. and Ramasco, J. J. (2022) Does Big Data Help Answer Big Questions? The Case of Airport Catchment Areas & Competition. *Transportation Research Part B*, No.166, pp.444-467.
- 12) Aydın, U. and Ülengin, B. (2022) Analyzing Air Cargo Flows of Turkish Domestic Routes: A Comparative Analysis of Gravity Models. *Journal of Air Transport Management*, No.102, 102217.
- 13) Banu, A. (2016) MICE-future for Business Tourism. *International Journal of Advanced Multidisciplinary Research*, Vo.3, No.2, pp.63-66.
- 14) Benur, A. M. and Bramwell, B. (2015) Tourism Product Development and Product Diversification in Destinations. *Tourism Management*, No.50, pp.213-224.
- 15) Borenstein, S., Bushnell, J. and Knittel, C. R. (1999) Market Power in Electricity Markets: Beyond Concentration Measures. *The Energy Journal*, Vo.20, No.4, pp.65-88.
- 16) Brezina, I., Pekár, J., Čičková, Z. and Reiff, M. (2016) Herfindahl-Hirschman Index Level of Concentration Values Modification and Analysis of their Change. *Central European Journal of Operations Research*, No.24, pp.49-72.
- 17) Burrough, P. A., McDonnell, R., McDonnell, R. A. and Lloyd, C. D. (2015) *Principles of Geographical Information Systems*. Oxford University Press, Oxford, UK.
- 18) Capone, F. (2019) *Tourist Clusters, Destinations and Competitiveness: Theoretical Issues and Empirical Evidences*. Routledge, London, UK.

- 19) Chang, L.-Y. (2014) Analysis of Bilateral Air Passenger Flows: A Non-parametric Multivariate Adaptive Regression Spline Approach. *Journal of Air Transport Management*, No.34, pp.123-130.
- 20) Charles R. L. (1995) The Herfindahl-Hirschman Index: A Concentration Measure taking the Consumer's Point of View. *The Antitrust Bulletin*, Vol.40, No.2.
- 21) Croley, T. E. and Hartmann, H. C. (1985) Resolving Thiessen polygons. *Journal of Hydrology*, Vo.76, No.3, pp.363-379.
- 22) Dore, L. and Crouch, G. I. (2003) Promoting Destinations: An Exploratory Study of Publicity Programs used by National Tourism Organizations. *Journal of Vacation Marketing*, Vol.9, No.2, pp.137-151.
- 23) Gao, Y. (2020) Estimating the Sensitivity of Small Airport Catchments to Competition from Larger Airports: A Case Study in Indiana. *Journal of Transport Geography*, No.82, 102628.
- 24) Gartell, R. B. (1993) Convention and Visitor Bureau: Current Issues in Management and Marketing. *Journal of Travel & Tourism Marketing*, Vol.1, No.29, pp.71-78.
- 25) Grosche, T., Rothlauf, F. and Heinzl, A. (2007) Gravity Models for Airline Passenger Volume Estimation. *Journal of Air Transport Management*, Vol.13, No.4, pp.175-183.
- 26) Harvey, D. (1951) Airline Passenger Traffic Pattern within the United States. *Journal of Air Law and Commerce*, No.18, pp.157-165.
- 27) Hazledine, T. (2009) Border Effects for Domestic and International Canadian Passenger Air Travel. *Journal of Air Transport Management*, Vol.15, No.1, pp.7-13.
- 28) Huber, C., Watts, A., Grills, A., Yong, J. H. E., Morrison, S., Bowden, S., Tuite, A., Nelson, B., Cetron, M. and Khan, K. (2021) Modelling Airport Catchment Areas to Anticipate the Spread of Infectious Diseases across Land and Air Travel. *Spatial and Spatio-temporal Epidemiology*, No.36, 100380.
- 29) Hwang, C. C. and Shiao, G. C. (2011) Analyzing Air Cargo Flows of International Routes: An Empirical Study of Taiwan Taoyuan International Airport. *Journal of Transport Geography*, Vol.19, No.4, pp.738-744.
- 30) International Air Transport Association (2024) Air Passenger Market Analysis: Global Air Traffic Surpasses Pre-pandemic Levels in February.
- 31) Kim, Y. R., Williams, A. M., Park, S. and Chen, J. L. (2021) Spatial Spillovers of Agglomeration Economies and Productivity in the Tourism Industry: The Case of the UK. *Tourism Management*, No.82, 104201.
- 32) Li, Z. and Liu, H. (2022) How Tourism Industry Agglomeration Improves Tourism Economic Efficiency? *Tourism Economics*, Vol.28, No.7, pp.1724-1748.
- 33) Lieshout, R. (2012) Measuring the Size of an Airport's Catchment Area. *Journal of Transport*

Geography, No.25, pp.27-34.

- 34) Long, W. H. (1970) The Economics of Air Travel Gravity Model. *Journal of Regional Science*, No.10, pp.353-363.
- 35) Maertens, S. (2012) Estimating the Market Power of Airports in their Catchment Areas: A Europe-wide Approach. *Journal of Transport Geography*, No.22, pp.10-18.
- 36) Matsuki, T. and Pan, L. (2023) Exploring the Tourism Markets' Convergence Hypothesis in South Korea. *Tourism Economics*, Vol.29, No.7, pp.1960-1971.
- 37) Matsumoto, H. (2004) International Urban Systems and Air Passenger and Cargo Flows: Some Calculations. *Journal of Air Transport Management*, Vol.10, No.4, pp.239-247.
- 38) Matsumoto, H. (2007) International Air Network Structures and Air Traffic Density of World Cities. *Transportation Research Part E*, Vol.43, No.3, pp.269-282.
- 39) Matsumoto, H., Domae, K. and O'Connor, K. (2016) Business Connectivity, Air Transport and the Urban Hierarchy: A Case Study in East Asia. *Journal of Transport Geography*, No.54, pp.132-139.
- 40) Matsumoto, H. and Domae, K. (2018) The Effects of New International Airports and Integrator's Hubs on the Mobility of Cities in Urban Hierarchies: A Case Study in East and Southeast Asia. *Journal of Air Transport Management*, No.71, pp.160-166.
- 41) Matsumoto, H. and Domae, K. (2019) Assessment of Hub Status of Cities in Europe and Asia from an International Air Traffic Perspective. *Journal of Air Transport Management*, No.78, pp.88-95.
- 42) Mérida, A. L., Carmona, M., Congregado, E. and Golpe, A. A. (2016) Exploring the Regional Distribution of Tourism and the Extent to which there is Convergence. *Tourism Management*, No.57, pp.225-233.
- 43) Narayan, P. K. (2006) Are Australia's Tourism Markets Converging? *Applied Economics*, Vol.38, No.10, pp.1153-1162.
- 44) Official Airline Guide (2017) Asia's Hubs: Dynamics of Connectivity.
- 45) Official Airline Guide (2019) Traffic Analyser.
- 46) Ozcan, B. and Erdogan, S. (2015) Are Turkey's Tourism Markets Converging? Evidence from the Two-step LM and Three-step RALS-LM Unit Root Tests. *Current Issues in Tourism*, Vol.20, No.4, pp.425-442.
- 47) Paliska, D., Drobne, S., Borruso, G., Gardina, M. and Fabjan, D. (2016) Passengers' Airport Choice and Airports' Catchment Area Analysis in Cross-border Upper Adriatic Multi-airport Region. *Journal of Air Transport Management*, No.57, pp.143-154.
- 48) Pantazis, N. and Liefner, I. (2006) The Impact of Low-cost Carriers on Catchment Areas of Established International Airports: The Case of Hanover Airport, Germany. *Journal of*

- Transport Geography, No.14, pp.265-272.
- 49) Payne, J. E., Nazlioglu, S. and Mervar, A. (2023) Regional Tourism Convergence: A Disaggregated Analysis of Croatia. *Applied Economics*, Vol.55, No.52, pp.6149-6169.
 - 50) Pearce, D. G. and Schänzel, H. A. (2013) Destination Management: The Tourist's Perspective. *Journal of Destination marketing & Management*, Vol.2, No.3, pp.137-145.
 - 51) Peng, Y. T., Saboori, B., Ranjbar, O. and Can, M. (2022) The Effects of Tourism Market Diversification on CO₂ Emissions: Evidence from Australia. *Current Issues in Tourism*, Vol.26, No.4, pp.518-525.
 - 52) Peng, Y. T., Saboori, B., Ranjbar, O. and Can, M. (2023) Global Perspective on Tourism-economic Growth Nexus: The Role of Tourism Market Diversification. *Tourism Planning & Development*, Vol.20, No.5, pp.919-937.
 - 53) Pike, S. and Page, S. J. (2014) Destination Marketing Organizations and Destination Marketing: A Narrative Analysis of the Literature. *Tourism Management*, No.41, pp.202-227.
 - 54) Pizzuto, P. and Sciortino, C. (2021) Exploring the Tourism Markets' Convergence Hypothesis in Italy. *Tourism Economics*, Vol.27, No.8, pp.1839-1847.
 - 55) Presenza, A., Sheehan, L. and Ritchie, J. R. B. (2005) Towards a Model of the Roles and Activities of Destination Management Organizations. *Journal of Hospitality, Tourism and Leisure Science*, Vol.3, No.1, pp.1-16.
 - 56) Romão, J. and Nijkamp, P. (2019) Impacts of Innovation, Productivity and Specialization on Tourism Competitiveness: A Spatial Econometric Analysis on European Regions. *Current Issues in Tourism*, Vol.22, No.10, pp.1150-1169.
 - 57) Saboori, B., Ghaderi, Z. and Soleymani, A. (2023) A Revised Perspective on Tourism-economic Growth Nexus, Exploring Tourism Market Diversification. *Tourism Economics*. Vol.29, No.7, pp.1812-1835.
 - 58) Sainaghi, R. (2006) From Contents to Processes: Versus a Dynamic Destination Management Model. *Tourism Management*, Vol.27, No.5, pp.1053-1063.
 - 59) Solarin, S. A., Lasisi, T. T., Hossain, M. E. and Bekun, F. V. (2023) Diversification in the Tourism Sector and Economic Growth in Australia: A Disaggregated Analysis. *International Journal of Tourism Research*. Vol.25, No.6, pp.543-564.
 - 60) Solarin, S. A. (2024) Convergence of Tourism Market Diversification: Evidence from a New Indicator based on Herfindahl-Hirschman Index. *Quality & Quantity*.
 - 61) Solarin, S. A., Ulucak, R. and Erdogan, S. (2024) Assessing the Economic Impacts of Tourism Markets and Activities Diversification: Evidence from a New Dynamic Regression Approach. *Journal of Travel Research*. Vol.63, No.8, pp.2078-2093.
 - 62) Suau-Sanchez, P., Burghouwt, G. and Pallares-Barbera, M. (2014) An Appraisal of the

- CORINE Land Cover Database in Airport Catchment Area Analysis using a GIS Approach. *Journal of Air Transport Management*, No.34, pp.12-16.
- 63) Suau-Sanchez, P. and Voltes-Dorta, A. (2019) Drivers of Airport Scheduled Traffic in European Winter Tourism Areas: Infrastructure, Accessibility, Competition and Catchment Area. *Journal of Air Transport Management*, No.81, 101723.
 - 64) Taaffe, E. J. (1962) The Urban Hierarchy: An Air Passenger Definition. *Economic Geography*, No.38, pp.1-14.
 - 65) Teixeira, F. M. and Derudder, B. (2021) Spatio-temporal Dynamics in Airport Catchment Areas: The Case of the New York Multi Airport Region. *Journal of Transport Geography*, No.90, 102916.
 - 66) UN Tourism (2024) World Tourism Barometer and Statistical Annex, Vol.22, No.4.
 - 67) Urtasun, A. and Gutiérrez, I. (2006) Tourism Agglomeration and its Impact on Social Welfare: An Empirical Approach to the Spanish Case. *Tourism Management*, Vol.27, No.5, pp.901-912.
 - 68) Wang, Y. (2008) Collaborative Destination Marketing: Roles and Strategies of Convention and Visitors Bureaus. *Journal of Vacation Marketing*, No.14, pp.191-209.
 - 69) Wang, Y. and Bai, H. (2023) The Impact and Regional Heterogeneity Analysis of Tourism Development on Urban-rural Income Gap. *Economic Analysis and Policy*, No.80, pp.1539-1548.
 - 70) Wei, W. and Hansen, M. (2006) An Aggregate Demand Model for Air Passenger Traffic in the Hub-and-spoke Network. *Transportation Research Part A*, Vol.40, No.10, pp.841-851.
 - 71) Weidenfeld, A. (2018) Tourism Diversification and its Implications for Smart Specialisation. *Sustainability*, Vol.10, No.2, p.319.
 - 72) Wilken, D., Berster, P. and Gelhausen, M. C. (2016) Analysis of Demand Structures on Intercontinental Routes to and from Europe with a View to Identifying Potential for New Low-cost Services. *Journal of Air Transport Management*, No.56, pp.79-90.
 - 73) Wojahn, O. W. (2001) Airline Network Structure and the Gravity Model. *Transportation Research Part E*, Vol.37, No.4, pp.267-279.
 - 74) Zhou, B., Qu, H. and Li, N. (2016) How Tourist Attraction Agglomeration Affects a Regional Tourism Economy. *Tourism Analysis*, No.21, pp.603-616.
 - 75) Zhou, H., Xia, J., Luo, Q., Nikolova, G., Sun, J., Hughes, B., Kelobonye, K., Wang, H. and Falkmer, T. (2018) Investigating the Impact of Catchment Areas of Airports on Estimating Air Travel Demand: A Case Study of Regional Western Australia. *Journal of Air Transport Management*, No.70, pp.91-103.

(参考)【詳細表】

【詳細表】

1 中部国際空港

1.1 ビヨンド

1.1.1 経由空港

(1)2019年1月～6月

①成田国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	6,086	8.2
2	ダラス・フォートワース国際空港	DFW	アメリカ	ダラス	5,403	7.3
3	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	3,932	5.3
4	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	3,804	5.1
5	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	3,658	4.9
6	メキシコ・シテイ国際空港	MEX	メキシコ	メキシコシティ	2,646	3.6
7	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	2,338	3.1
8	ブリュッセル空港	BRU	ベルギー	ブリュッセル	2,235	3.0
9	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	2,058	2.8
10	ジョージ・ジョン・クワンタン国際空港	IAH	アメリカ	ヒューストン	2,025	2.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					74,499	100

(2)2024年1月～6月

①上海浦東国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	北京大興国際空港	PKX	中国	北京	2,678	4.7
2	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	2,415	4.3
3	西安咸陽国際空港	XIY	中国	西安	2,400	4.2
4	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	2,263	4.0
5	瀋陽桃仙国際空港	SHE	中国	瀋陽	2,218	3.9
6	天津浜海国際空港	TSN	中国	天津	1,814	3.2
7	ハルビン太平国際空港	HRB	中国	ハルビン	1,785	3.1
8	成都天府国際空港	TFU	中国	成都	1,704	3.0
9	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	1,681	3.0
10	武漢天河国際空港	WUH	中国	武漢	1,657	2.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					56,725	100

②上海浦東国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	瀋陽桃仙国際空港	SHE	中国	瀋陽	2,851	4.9
2	済州国際空港	CJU	韓国	済州	2,622	4.5
3	昆明長水国際空港	KMG	中国	昆明	2,180	3.7
4	シガラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	2,148	3.7
5	武漢天河国際空港	WUH	中国	武漢	2,144	3.7
6	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	1,835	3.1
7	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,808	3.1
8	プーケット国際空港	HKT	タイ	プーケット	1,566	2.7
9	ハルビン太平国際空港	HRB	中国	ハルビン	1,480	2.5
10	バンダナライケ国際空港	CMB	スリランカ	コロンボ	1,479	2.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					58,497	100

②東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	青森空港	AOJ	日本	青森	2,606	5.2
2	旭川空港	AKJ	日本	旭川	2,438	4.9
3	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	2,159	4.3
4	釧路空港	KUH	日本	釧路	2,027	4.1
5	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	1,892	3.8
6	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,719	3.5
7	福岡空港	FUK	日本	福岡	1,620	3.3
8	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	1,520	3.1
9	帯広空港	OBO	日本	帯広	1,465	2.9
10	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	1,365	2.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					49,789	100

③新千歳空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	花巻空港	HNA	日本	盛岡	18,859	37.8
2	青森空港	AOJ	日本	青森	17,674	35.4
3	釧路空港	KUH	日本	釧路	11,341	22.7
4	女満別空港	MMB	日本	網走	1,152	2.3
5	函館空港	HKD	日本	函館	363	0.7
6	秋田空港	AXT	日本	秋田	236	0.5
7	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	125	0.3
8	稚内空港	WKJ	日本	稚内	49	0.1
9	利尻空港	RIS	日本	利尻	41	0.1
10	天津浜海国際空港	TSN	中国	天津	24	0.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					49,889	100

③成田国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	4,763	11.9
2	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	4,042	10.1
3	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	2,654	6.7
4	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	1,857	4.7
5	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	1,580	4.0
6	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	1,413	3.5
7	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	827	2.1
8	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	729	1.8
9	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	721	1.8
10	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	658	1.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					39,864	100

④仁川国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	1,966	5.2
2	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	1,887	5.0
3	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,563	4.1
4	シドニー国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	1,519	4.0
5	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	1,513	4.0
6	タシュケント国際空港	TAS	ウズベキスタン	タシュケント	1,296	3.4
7	トリブバン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	1,285	3.4
8	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	1,170	3.1
9	フィウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	1,125	3.0
10	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	1,038	2.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					37,865	100

④新千歳空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	花巻空港	HNA	日本	盛岡	7,922	31.9
2	青森空港	AOJ	日本	青森	7,314	29.4
3	女満別空港	MMB	日本	網走	4,990	20.1
4	釧路空港	KUH	日本	釧路	2,509	10.1
5	中標津空港	SHB	日本	根室	816	3.3
6	函館空港	HKD	日本	函館	705	2.8
7	稚内空港	WKJ	日本	稚内	348	1.4
8	秋田空港	AXT	日本	秋田	188	0.8
9	利尻空港	RIS	日本	利尻	47	0.2
10	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	4	0.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					24,850	100

⑤東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	4,289	12.1
2	青森空港	AOJ	日本	青森	3,118	8.8
3	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	2,469	7.0
4	釧路空港	KUH	日本	釧路	2,401	6.8
5	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	1,851	5.2
6	ジョン・F・ケネディ国際空港	JFK	アメリカ	ニューヨーク	1,724	4.9
7	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	1,713	4.8
8	ハマド国際空港	DOH	カタール	ドーハ	1,684	4.8
9	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	1,521	4.3
10	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	1,348	3.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					35,400	100

⑥香港国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	1,918	5.5
2	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	1,881	5.4
3	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1,683	4.9
4	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	1,584	4.6
5	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	1,571	4.5
6	トリブワン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	1,441	4.2
7	バンダラナイケ国際空港	CMB	スリランカ	コロンボ	1,298	3.7
8	パナン国際空港	PEN	マレーシア	ペナン	1,273	3.7
9	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	1,269	3.7
10	O・R・タンボ国際空港	JNB	南アフリカ	ヨハネスブルグ	1,238	3.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					34,686	100

⑤ニノイ・アキノ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	6,191	26.4
2	ダバオ国際空港	DVO	フィリピン	ダバオ	3,414	14.6
3	ングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	2,173	9.3
4	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	1,969	8.4
5	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	1,444	6.2
6	プエルト・プリンス国際空港	PPS	フィリピン	プエルト・プリンス	1,382	5.9
7	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	750	3.2
8	ダナン国際空港	DAD	ベトナム	ダナン	717	3.1
9	バコロド＝シライ国際空港	BCD	フィリピン	バコロド	560	2.4
10	シブラン空港	DGT	フィリピン	シブラン	552	2.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					23,430	100

⑥シンガポール・チャンギ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	4,775	22.7
2	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	2,586	12.3
3	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	1,818	8.6
4	ヴェラナ国際空港	MLE	モルディブ	マレ	1,467	7.0
5	パナン国際空港	PEN	マレーシア	ペナン	1,032	4.9
6	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	885	4.2
7	プーケット国際空港	HKT	タイ	プーケット	776	3.7
8	ケンペゴウダ国際空港	BLR	インド	ベンガルール	754	3.6
9	パース空港	PER	オーストラリア	パース	641	3.0
10	バンダラナイケ国際空港	CMB	スリランカ	コロンボ	600	2.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					21,038	100

⑦ヘルシンキ・ヴァンター国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	4,991	16.6
2	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,106	3.7
3	ミラノ・マルペンサ空港	MXP	イタリア	ミラノ	930	3.1
4	フイミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	900	3.0
5	ヴァーツラフ・ハヴェル・プラハ国際空港	PRG	チェコ	プラハ	753	2.5
6	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	705	2.3
7	アドルフ・ヘス・マドリッド＝バラハス空港	MAD	スペイン	マドリッド	693	2.3
8	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	601	2.0
9	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	587	2.0
10	ブリュッセル空港	BRU	ベルギー	ブリュッセル	491	1.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					30,072	100

⑧フランクフルト空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	グアルーリョス国際空港	GRU	ブラジル	サンパウロ	6,086	23.9
2	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	5,403	21.2
3	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	3,932	15.4
4	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	3,804	14.9
5	ミラノ・マルペンサ空港	MXP	イタリア	ミラノ	3,658	14.4
6	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	2,646	10.4
7	ブリュッセル空港	BRU	ベルギー	ブリュッセル	2,338	9.2
8	フイミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	2,235	8.8
9	ヴェネツィア・テッセラ空港	VCE	イタリア	ヴェネツィア	2,058	8.1
10	ヴァーツラフ・ハヴェル・プラハ国際空港	PRG	チェコ	プラハ	2,025	7.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					25,472	100

⑦仁川国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	992	5.1
2	トリブバン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	901	4.7
3	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	858	4.4
4	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	763	3.9
5	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	754	3.9
6	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	701	3.6
7	バンペン国際空港	PNH	カンボジア	バンペン	618	3.2
8	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	584	3.0
9	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	532	2.8
10	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	478	2.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					19,330	100

⑧香港国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	2,048	10.7
2	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	1,501	7.8
3	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,493	7.8
4	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	1,191	6.2
5	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	1,108	5.8
6	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	1,039	5.4
7	ミラノ・マルペンサ空港	MXP	イタリア	ミラノ	912	4.8
8	アドルフ・ヘス・マドリッド＝バラハス空港	MAD	スペイン	マドリッド	871	4.6
9	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	727	3.8
10	バンダラナイケ国際空港	CMB	スリランカ	コロンボ	655	3.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					19,138	100

⑨スワンナプーム空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	プーケット国際空港	HKT	タイ	プーケット	4,685	19.4
2	チェンマイ国際空港	CNX	タイ	チェンマイ	2,484	10.3
3	トリブバン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	1,497	6.2
4	クラレンプーール国際空港	KUL	マレーシア	クラレンプーール	1,424	5.9
5	ヤンゴン国際空港	RGN	ミャンマー	ヤンゴン	1,264	5.2
6	ケンペゴウダ国際空港	BLR	インド	ベンガルール	1,131	4.7
7	インディア・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	941	3.9
8	シェムリアップ国際空港	REP	カンボジア	シェムリアップ	742	3.1
9	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	656	2.7
10	プンペン国際空港	PNH	カンボジア	プンペン	611	2.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					24,106	100

⑩シンガポール・チャンギ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シガラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	6,842	28.9
2	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	2,402	10.2
3	クラレンプーール国際空港	KUL	マレーシア	クラレンプーール	2,359	10.0
4	ヴェラナ国際空港	MLE	モルディブ	マレ	1,792	7.6
5	ペナン国際空港	PEN	マレーシア	ペナン	1,149	4.9
6	プーケット国際空港	HKT	タイ	プーケット	953	4.0
7	パース空港	PER	オーストラリア	パース	896	3.8
8	アフマダーバード空港	AMD	インド	アフマダーバード	892	3.8
9	バンダラナイケ国際空港	CMB	スリランカ	コロンボ	781	3.3
10	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	718	3.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					23,646	100

⑨ノイバイ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダナン国際空港	DAD	ベトナム	ダナン	3,414	24.9
2	シェムリアップ・アンコール国際空港	SAI	カンボジア	シェムリアップ	2,863	20.9
3	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	2,495	18.2
4	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	1,382	10.1
5	ヴァン国際空港	VII	ベトナム	ヴァン	669	4.9
6	クラレンプーール国際空港	KUL	マレーシア	クラレンプーール	587	4.3
7	ディエンビエンフー空港	DIN	ベトナム	ディエンビエンフー	563	4.1
8	フバイ国際空港	HUI	ベトナム	フエ	397	2.9
9	カムラン国際空港	CXR	ベトナム	カムラン	171	1.2
10	カントー国際空港	VCA	ベトナム	カントー	144	1.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					13,716	100

⑩那覇空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新石垣空港	ISG	日本	石垣	6,569	52.3
2	宮古空港	MMY	日本	宮古島	3,436	27.3
3	下地島空港	SHI	日本	宮古島	1,098	8.7
4	久米島空港	UEO	日本	久米島	537	4.3
5	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	275	2.2
6	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	234	1.9
7	沖永良部空港	OKE	日本	沖永良部島	151	1.2
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	147	1.2
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	75	0.6
10	奄美空港	ASJ	日本	奄美	17	0.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					12,572	100

1.1.2 目的空港

(1)2019年1月－6月

①ンガラ・ライ国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	6,842	32.2
2	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	4,619	21.7
3	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	3,734	17.6
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	2,148	10.1
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,519	7.1
6	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	1,288	6.1
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	363	1.7
8	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	331	1.6
9	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	168	0.8
10	香港国際空港	HKG	中国	香港	150	0.7
...	...	...			...	...
合計					21,271	100

(2)2024年1月－6月

①スワンナプーム空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	2,267	17.8
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	2,048	16.1
3	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,755	13.8
4	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1,444	11.4
5	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	1,382	10.9
6	東京国際空港	HND	日本	東京	1,365	10.7
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	493	3.9
8	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	431	3.4
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	427	3.4
10	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	378	3.0
...	...	...			...	...
合計					12,717	100

②青森空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	17,674	85.0
2	東京国際空港	HND	日本	東京	3,118	15.0
合計					20,792	100

②スカルノ・ハッタ国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	成田国際空港	NRT	日本	東京	4,047	33.0
2	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	2,586	21.1
3	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1,969	16.1
4	東京国際空港	HND	日本	東京	1,523	12.4
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	992	8.1
6	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	383	3.1
7	香港国際空港	HKG	中国	香港	198	1.6
8	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	79	0.6
9	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	38	0.3
10	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	38	0.3
...	...	...			...	...
合計					12,255	100

④パリ＝シャルル・ド・ゴール空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	4,289	30.3
2	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	1,976	14.0
3	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	1,852	13.1
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,808	12.8
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,563	11.0
6	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	1,106	7.8
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	740	5.2
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	512	3.6
9	アブダビ国際空港	AUH	アラブ首長国連邦	アブダビ	182	1.3
10	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	56	0.4
...	...	...			...	...
合計					14,146	100

④イングラ・ライ国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シンガポール・チャング国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	4,775	54.1
2	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	2,173	24.6
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	940	10.7
4	香港国際空港	HKG	中国	香港	464	5.3
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	411	4.7
6	成田国際空港	NRT	日本	東京	49	0.6
7	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	40	0.5
8	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	3	0.0
9	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	1	0.0
合計					8,822	100

⑤釧路空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	11,341	82.5
2	東京国際空港	HND	日本	東京	2,401	17.5
合計					13,742	100

⑤花巻空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	7,922	100.0
合計					7,922	100

⑥クアラルンプール国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	2,359	21.3
2	成田国際空港	NRT	日本	東京	2,058	18.6
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,918	17.3
4	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	1,539	13.9
5	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	1,424	12.8
6	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	1,003	9.0
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	326	2.9
8	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	224	2.0
9	東京国際空港	HND	日本	東京	130	1.2
10	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	44	0.4
...	...	...			...	...
合計					11,086	100

⑥マクタン・セブ国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	6,191	83.0
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	754	10.1
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	377	5.1
4	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	40	0.5
5	成田国際空港	NRT	日本	東京	39	0.5
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	36	0.5
7	東京国際空港	HND	日本	東京	7	0.1
8	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	5	0.1
合計					7,456	100

⑦スカルノ・ハッタ国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	成田国際空港	NRT	日本	東京	3,658	33.6
2	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	2,402	22.1
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,571	14.4
4	東京国際空港	HND	日本	東京	1,521	14.0
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	591	5.4
6	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	500	4.6
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	373	3.4
8	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	85	0.8
9	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	84	0.8
10	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	46	0.4
...	...	...			...	...
合計					10,884	100

⑧済州国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	金海国際空港	PUS	韓国	金山	8,092	74.6
2	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	2,622	24.2
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	108	1.0
4	成田国際空港	NRT	日本	東京	27	0.2
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	1	0.0
合計					10,850	100

⑦ダナン国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	3,415	47.9
2	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	2,164	30.4
3	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	717	10.1
4	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	375	5.3
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	345	4.8
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	88	1.2
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	4	0.1
8	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	2	0.0
9	東京国際空港	HND	日本	東京	1	0.0
10	金海国際空港	PUS	韓国	金山	1	0.0
...	...	...			...	...
合計					7,124	100

⑧新石垣空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	6,569	100
合計					6,569	100

⑨ロサンゼルス国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	成田国際空港	NRT	日本	東京	6,086	57.4
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,887	17.8
3	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	1,006	9.5
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	478	4.5
5	東京国際空港	HND	日本	東京	415	3.9
6	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	361	3.4
7	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	125	1.2
8	デトロイト・スティーヴンソン・ウェンゲン・カンテン国際空港	DTW	アメリカ	デトロイト	112	1.1
9	香港国際空港	HKG	中国	香港	97	0.9
10	成都双流国際空港	CTU	中国	成都	13	0.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					10,596	100

⑩スワンナプーム空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,881	19.1
2	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,476	15.0
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,252	12.7
4	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	999	10.1
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	859	8.7
6	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	763	7.7
7	東京国際空港	HND	日本	東京	637	6.5
8	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	530	5.4
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	524	5.3
10	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	396	4.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					9,862	100

⑨クアラルンプール国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	成田国際空港	NRT	日本	東京	1,857	28.5
2	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	1,821	28.0
3	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	587	9.0
4	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	564	8.7
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	488	7.5
6	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	171	2.6
7	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	170	2.6
8	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	124	1.9
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	90	1.4
10	香港国際空港	HKG	中国	香港	35	0.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					6,508	100

⑩タンソンニャット国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	2,496	42.7
2	東京国際空港	HND	日本	東京	713	12.2
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	640	10.9
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	558	9.5
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	391	6.7
6	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	377	6.4
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	300	5.1
8	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	155	2.6
9	深圳宝安国際空港	SZX	中国	深圳	74	1.3
10	香港国際空港	HKG	中国	香港	35	0.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					5,852	100

1.2 ビハインド

1.2.1 出発空港

(1) 2019年1月～6月

① 新千歳空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福岡空港	FUK	日本	福岡	3,623	20.4
2	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	3,161	17.8
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	2,165	12.2
4	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	1,636	9.2
5	長崎空港	NGS	日本	長崎	937	5.3
6	熊本空港	KMJ	日本	熊本	693	3.9
7	香港国際空港	HKG	中国	香港	569	3.2
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	515	2.9
9	松山空港	MYJ	日本	松山	351	2.0
10	大分空港	OIT	日本	大分	318	1.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					17,729	100

(2) 2024年1月～6月

① 新千歳空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,487	14.5
2	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	1,416	13.8
3	福岡空港	FUK	日本	福岡	1,368	13.3
4	熊本空港	KMJ	日本	熊本	813	7.9
5	長崎空港	NGS	日本	長崎	692	6.7
6	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	672	6.5
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	614	6.0
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	477	4.6
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	434	4.2
10	大分空港	OIT	日本	大分	321	3.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					10,266	100

② 仙台空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	2,644	22.5
2	長春龍嘉国際空港	CGQ	中国	長春	1,337	11.4
3	女満別空港	MMB	日本	網走	720	6.1
4	熊本空港	KMJ	日本	熊本	717	6.1
5	松山空港	MYJ	日本	松山	646	5.5
6	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	509	4.3
7	長崎空港	NGS	日本	長崎	505	4.3
8	濟州国際空港	CJU	韓国	濟州	505	4.3
9	大分空港	OIT	日本	大分	479	4.1
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	478	4.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					11,742	100

② 香港国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	長崎空港	NGS	日本	長崎	4,279	60.4
2	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	1,608	22.7
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	786	11.1
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	166	2.3
5	仙台空港	SDJ	日本	仙台	91	1.3
6	熊本空港	KMJ	日本	熊本	72	1.0
7	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	35	0.5
8	大分空港	OIT	日本	大分	28	0.4
9	高知空港	KCZ	日本	高知	18	0.3
10	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	11	0.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					7,089	100

③福岡空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	3,876	36.6
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,423	13.4
3	旭川空港	AKJ	日本	旭川	1,186	11.2
4	宮古空港	MMY	日本	宮古島	774	7.3
5	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	712	6.7
6	仙台空港	SDJ	日本	仙台	597	5.6
7	瀋陽桃仙国際空港	SHE	中国	瀋陽	360	3.4
8	女満別空港	MMB	日本	網走	259	2.4
9	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	225	2.1
10	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	162	1.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					10,594	100

③仙台空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	大分空港	OIT	日本	大分	1,134	17.9
2	長崎空港	NGS	日本	長崎	749	11.8
3	松山空港	MYJ	日本	松山	607	9.6
4	熊本空港	KMJ	日本	熊本	564	8.9
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	507	8.0
6	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	468	7.4
7	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	450	7.1
8	新石垣空港	ISG	日本	石垣	385	6.1
9	福岡空港	FUK	日本	福岡	349	5.5
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	170	2.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					6,323	100

④鹿児島空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	3,567	45.3
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	2,618	33.3
3	旭川空港	AKJ	日本	旭川	819	10.4
4	女満別空港	MMB	日本	網走	272	3.5
5	新潟空港	KIJ	日本	新潟	251	3.2
6	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	98	1.2
7	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	79	1.0
8	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	50	0.6
9	ダトロイト・マトロボリタン・ウエイン・カウンティ空港	DTW	アメリカ	デトロイト	29	0.4
10	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	26	0.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					7,873	100

④那覇空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,434	30.3
2	大分空港	OIT	日本	大分	857	18.1
3	福岡空港	FUK	日本	福岡	698	14.8
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	642	13.6
5	成田国際空港	NRT	日本	東京	572	12.1
6	秋田空港	AXT	日本	秋田	181	3.8
7	松山空港	MYJ	日本	松山	147	3.1
8	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	108	2.3
9	高知空港	KCZ	日本	高知	30	0.6
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	22	0.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					4,726	100

⑤仁川国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	函館空港	HKD	日本	函館	2,048	30.4
2	秋田空港	AXT	日本	秋田	1,811	26.8
3	旭川空港	AKJ	日本	旭川	1,794	26.6
4	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	126	1.9
5	仙台空港	SDJ	日本	仙台	115	1.7
6	松山空港	MYJ	日本	松山	102	1.5
7	新千歳空港	CTS	日本	札幌	88	1.3
8	新潟空港	KIJ	日本	新潟	73	1.1
9	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	36	0.5
10	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	23	0.3
...	...	...			...	...
合計					6,745	100

⑥旭川空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福岡空港	FUK	日本	福岡	1,575	24.7
2	新潟空港	KIJ	日本	新潟	1,154	18.1
3	長崎空港	NGS	日本	長崎	1,011	15.8
4	熊本空港	KMJ	日本	熊本	897	14.0
5	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	697	10.9
6	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	494	7.7
7	大分空港	OIT	日本	大分	335	5.2
8	松山空港	MYJ	日本	松山	150	2.3
9	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	40	0.6
10	那覇空港	OKA	日本	那覇	26	0.4
...	...	...			...	...
合計					6,389	100

⑤長崎空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,630	43.7
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	780	20.9
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	621	16.6
4	成田国際空港	NRT	日本	東京	572	15.3
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	94	2.5
6	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	18	0.5
7	宮古空港	MMY	日本	宮古島	6	0.2
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	5	0.1
9	天津滨海国際空港	TSN	中国	天津	3	0.1
10	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	2	0.1
...	...	...			...	...
合計					3,732	100

⑥福岡空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	795	21.5
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	709	19.2
3	新石垣空港	ISG	日本	石垣	497	13.5
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	432	11.7
5	成田国際空港	NRT	日本	東京	374	10.1
6	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	371	10.0
7	宮古空港	MMY	日本	宮古島	318	8.6
8	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	83	2.2
9	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	34	0.9
10	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	27	0.7
...	...	...			...	...
合計					3,693	100

⑦那覇空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	2,474	40.8
2	福岡空港	FUK	日本	福岡	1,547	25.5
3	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	625	10.3
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	348	5.7
5	大分空港	OIT	日本	大分	345	5.7
6	函館空港	HKD	日本	函館	102	1.7
7	松山空港	MYJ	日本	松山	102	1.7
8	デトロイト・メトロポリタン・ウエイン・カウンティ空港	DTW	アメリカ	デトロイト	86	1.4
9	新潟空港	KIJ	日本	新潟	65	1.1
10	女満別空港	MMB	日本	網走	65	1.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					6,068	100

⑧東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	天津浜海国際空港	TSN	中国	天津	2,100	34.8
2	福岡空港	FUK	日本	福岡	912	15.1
3	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	641	10.6
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	421	7.0
5	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	354	5.9
6	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	293	4.9
7	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	292	4.8
8	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	166	2.7
9	松山空港	MYJ	日本	松山	138	2.3
10	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	109	1.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					6,040	100

⑦鹿児島空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,087	29.7
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	933	25.5
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	846	23.1
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	680	18.5
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	82	2.2
6	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	21	0.6
7	秋田空港	AXT	日本	秋田	9	0.2
8	天津浜海国際空港	TSN	中国	天津	3	0.1
9	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	2	0.1
10	南京禄口国際空港	NKG	中国	南京	2	0.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,666	100

⑧熊本空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	1,491	41.4
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	799	22.2
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	778	21.6
4	成田国際空港	NRT	日本	東京	274	7.6
5	宮古空港	MMY	日本	宮古島	177	4.9
6	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	60	1.7
7	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	9	0.2
8	天津浜海国際空港	TSN	中国	天津	7	0.2
9	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	6	0.2
10	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1	0.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,603	100

⑨宮崎空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	宮古空港	MMY	日本	宮古島	1,154	25.0
2	新石垣空港	ISG	日本	石垣	915	19.8
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	913	19.8
4	旭川空港	AKJ	日本	旭川	830	18.0
5	仙台空港	SDJ	日本	仙台	612	13.2
6	女満別空港	MMB	日本	網走	58	1.3
7	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	54	1.2
8	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	43	0.9
9	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	12	0.3
10	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	8	0.2
...	...	...			...	...
合計					4,621	100

⑨大分空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,735	49.3
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,325	37.7
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	344	9.8
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	59	1.7
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	45	1.3
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	5	0.1
7	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	3	0.1
合計					3,516	100

⑩新石垣空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	松山空港	MYJ	日本	松山	1,199	26.9
2	大分空港	OIT	日本	大分	836	18.8
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	769	17.3
4	福岡空港	FUK	日本	福岡	537	12.0
5	新千歳空港	CTS	日本	札幌	511	11.5
6	新潟空港	KIJ	日本	新潟	507	11.4
7	熊本空港	KMJ	日本	熊本	194	4.4
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	3	0.1
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1	0.0
合計					4,457	100

⑩仁川国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	秋田空港	AXT	日本	秋田	1,397	43.2
2	大分空港	OIT	日本	大分	749	23.2
3	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	246	7.6
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	238	7.4
5	函館空港	HKD	日本	函館	213	6.6
6	熊本空港	KMJ	日本	熊本	137	4.2
7	仙台空港	SDJ	日本	仙台	123	3.8
8	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	29	0.9
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	24	0.7
10	松山空港	MYJ	日本	松山	17	0.5
...	...	...			...	...
合計					3,235	100

1.2.2 目的空港

(1)2019年1月－6月

①新千歳空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福岡空港	FUK	日本	福岡	3,876	17.5
2	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	3,567	16.1
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	2,474	11.2
4	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	942	4.3
5	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	913	4.1
6	松山空港	MYJ	日本	松山	905	4.1
7	長崎空港	NGS	日本	長崎	852	3.9
8	宮古空港	MMY	日本	宮古島	776	3.5
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	746	3.4
10	熊本空港	KMJ	日本	熊本	595	2.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					22,095	100

(2)2024年1月－6月

①仙台空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	大分空港	OIT	日本	大分	1,735	18.3
2	長崎空港	NGS	日本	長崎	1,630	17.2
3	松山空港	MYJ	日本	松山	865	9.1
4	熊本空港	KMJ	日本	熊本	799	8.4
5	福岡空港	FUK	日本	福岡	709	7.5
6	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	680	7.2
7	那覇空港	OKA	日本	那覇	642	6.8
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	524	5.5
9	出雲空港	IZO	日本	松江	336	3.5
10	新石垣空港	ISG	日本	石垣	333	3.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					9,476	100

②福岡空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	3,623	25.4
2	旭川空港	AKJ	日本	旭川	1,575	11.1
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,547	10.9
4	女満別空港	MMB	日本	網走	1,380	9.7
5	秋田空港	AXT	日本	秋田	995	7.0
6	東京国際空港	HND	日本	東京	912	6.4
7	宮古空港	MMY	日本	宮古島	610	4.3
8	新石垣空港	ISG	日本	石垣	537	3.8
9	仙台空港	SDJ	日本	仙台	460	3.2
10	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	286	2.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					14,250	100

②新千歳空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,434	15.3
2	成田国際空港	NRT	日本	東京	1,258	13.4
3	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	1,087	11.6
4	福岡空港	FUK	日本	福岡	795	8.5
5	香港国際空港	HKG	中国	香港	786	8.4
6	熊本空港	KMJ	日本	熊本	778	8.3
7	長崎空港	NGS	日本	長崎	621	6.6
8	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	519	5.5
9	松山空港	MYJ	日本	松山	313	3.3
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	306	3.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					9,388	100

③仙台空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	2,618	19.6
2	大分空港	OIT	日本	大分	1,134	8.5
3	女満別空港	MMB	日本	網走	1,004	7.5
4	松山空港	MYJ	日本	松山	795	6.0
5	新石垣空港	ISG	日本	石垣	769	5.8
6	長春龍嘉国際空港	CGQ	中国	長春	753	5.6
7	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	633	4.7
8	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	612	4.6
9	福岡空港	FUK	日本	福岡	597	4.5
10	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	495	3.7
...	...	...			...	...
合計					13,331	100

④旭川空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,794	22.3
2	福岡空港	FUK	日本	福岡	1,186	14.7
3	熊本空港	KMJ	日本	熊本	966	12.0
4	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	830	10.3
5	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	819	10.2
6	新潟空港	KIJ	日本	新潟	776	9.6
7	長崎空港	NGS	日本	長崎	733	9.1
8	大分空港	OIT	日本	大分	350	4.3
9	松山空港	MYJ	日本	松山	199	2.5
10	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	187	2.3
...	...	...			...	...
合計					8,053	100

③長崎空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	香港国際空港	HKG	中国	香港	4,279	71.2
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	749	12.5
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	692	11.5
4	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	150	2.5
5	成田国際空港	NRT	日本	東京	96	1.6
6	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	7	0.1
7	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	3	0.0
8	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	2	0.0
9	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	1	0.0
10	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1	0.0
...	...	...			...	...
合計					6,008	100

④福岡空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,368	23.0
2	成田国際空港	NRT	日本	東京	1,190	20.0
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	698	11.7
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	693	11.6
5	宮古空港	MMY	日本	宮古島	485	8.1
6	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	441	7.4
7	仙台空港	SDJ	日本	仙台	349	5.9
8	東京国際空港	HND	日本	東京	337	5.7
9	新石垣空港	ISG	日本	石垣	151	2.5
10	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	73	1.2
...	...	...			...	...
合計					5,952	100

⑤鹿児島空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	3,161	42.1
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	2,644	35.2
3	旭川空港	AKJ	日本	旭川	697	9.3
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	348	4.6
5	新潟空港	KIJ	日本	新潟	266	3.5
6	函館空港	HKD	日本	函館	64	0.9
7	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	59	0.8
8	煙台蓬萊国際空港	YNT	中国	煙台	37	0.5
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	36	0.5
10	コナ国際空港	KOA	アメリカ	カイルア・コナ	16	0.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					7,515	100

⑤秋田空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,397	34.8
2	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	799	19.9
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	489	12.2
4	福岡空港	FUK	日本	福岡	432	10.8
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	181	4.5
6	松山空港	MYJ	日本	松山	173	4.3
7	香港国際空港	HKG	中国	香港	166	4.1
8	成田国際空港	NRT	日本	東京	128	3.2
9	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	63	1.6
10	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	59	1.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					4,014	100

⑥那覇空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	2,165	32.0
2	福岡空港	FUK	日本	福岡	1,423	21.0
3	大分空港	OIT	日本	大分	620	9.1
4	新潟空港	KIJ	日本	新潟	535	7.9
5	仙台空港	SDJ	日本	仙台	376	5.5
6	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	310	4.6
7	松山空港	MYJ	日本	松山	295	4.4
8	ヒロ国際空港	ITO	アメリカ	ヒロ	73	1.1
9	リフエ空港	LIH	アメリカ	リフエ	68	1.0
10	函館空港	HKD	日本	函館	57	0.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					6,776	100

⑥大分空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,134	34.4
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	857	26.0
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	749	22.7
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	321	9.7
5	宮古空港	MMY	日本	宮古島	108	3.3
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	69	2.1
7	香港国際空港	HKG	中国	香港	28	0.8
8	函館空港	HKD	日本	函館	21	0.6
9	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	7	0.2
10	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	3	0.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,301	100

⑦松山空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新石垣空港	ISG	日本	石垣	1,199	24.5
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	646	13.2
3	宮古空港	MMY	日本	宮古島	608	12.4
4	西安咸陽国際空港	XIY	中国	西安	553	11.3
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	533	10.9
6	新千歳空港	CTS	日本	札幌	351	7.2
7	秋田空港	AXT	日本	秋田	170	3.5
8	旭川空港	AKJ	日本	旭川	150	3.1
9	東京国際空港	HND	日本	東京	138	2.8
10	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	102	2.1
...	...	...			...	...
合計					4,887	100

⑧ダニエル・K・イノウエ国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福岡空港	FUK	日本	福岡	712	18.9
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	625	16.6
3	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	577	15.3
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	320	8.5
5	東京国際空港	HND	日本	東京	292	7.7
6	新千歳空港	CTS	日本	札幌	222	5.9
7	新潟空港	KIJ	日本	新潟	174	4.6
8	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	126	3.3
9	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	120	3.2
10	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	98	2.6
...	...	...			...	...
合計					3,769	100

⑦成田国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	614	18.7
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	572	17.4
3	長崎空港	NGS	日本	長崎	572	17.4
4	松山空港	MYJ	日本	松山	432	13.1
5	福岡空港	FUK	日本	福岡	374	11.4
6	大分空港	OIT	日本	大分	344	10.5
7	熊本空港	KMJ	日本	熊本	274	8.3
8	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	24	0.7
9	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	18	0.5
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	16	0.5
...	...	...			...	...
合計					3,290	100

⑧高雄国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	熊本空港	KMJ	日本	熊本	1,491	46.8
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,416	44.5
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	130	4.1
4	函館空港	HKD	日本	函館	40	1.3
5	福岡空港	FUK	日本	福岡	34	1.1
6	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	29	0.9
7	高知空港	KCZ	日本	高知	21	0.7
8	長崎空港	NGS	日本	長崎	18	0.6
9	松山空港	MYJ	日本	松山	5	0.2
10	那覇空港	OKA	日本	那覇	0	0.0
...	...	...			...	...
合計					3,184	100

⑨グアム国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,636	43.5
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	478	12.7
3	新潟空港	KIJ	日本	新潟	451	12.0
4	青森空港	AOJ	日本	青森	385	10.2
5	函館空港	HKD	日本	函館	298	7.9
6	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	79	2.1
7	釧路空港	KUH	日本	釧路	65	1.7
8	那覇空港	OKA	日本	那覇	57	1.5
9	花巻空港	HNA	日本	盛岡	45	1.2
10	秋田空港	AXT	日本	秋田	41	1.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,762	100

⑩女満別空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	長崎空港	NGS	日本	長崎	958	26.9
2	熊本空港	KMJ	日本	熊本	754	21.2
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	720	20.2
4	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	272	7.6
5	福岡空港	FUK	日本	福岡	259	7.3
6	松山空港	MYJ	日本	松山	124	3.5
7	大分空港	OIT	日本	大分	121	3.4
8	新潟空港	KIJ	日本	新潟	106	3.0
9	那覇空港	OKA	日本	那覇	65	1.8
10	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	58	1.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,565	100

⑨鹿児島空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,608	51.0
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	672	21.3
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	246	7.8
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	242	7.7
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	199	6.3
6	仙台空港	SDJ	日本	仙台	92	2.9
7	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	48	1.5
8	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	19	0.6
9	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	11	0.3
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	4	0.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,151	100

⑩仁川国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	大分空港	OIT	日本	大分	1,325	43.8
2	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	933	30.8
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	434	14.3
4	函館空港	HKD	日本	函館	196	6.5
5	東京国際空港	HND	日本	東京	46	1.5
6	仙台空港	SDJ	日本	仙台	20	0.7
7	宮古空港	MMY	日本	宮古島	14	0.5
8	成田国際空港	NRT	日本	東京	13	0.4
9	新石垣空港	ISG	日本	石垣	9	0.3
10	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	8	0.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,027	100

1.3 ブリッジ

(1)2019年1月－6月

①デトロイト・メトロポリタン・ウェイン・カウンティ空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	701	39.7
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	353	20.0
3	福岡空港	FUK	日本	福岡	161	9.1
4	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	135	7.7
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	118	6.7
6	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	105	6.0
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	47	2.7
8	新千歳空港	CTS	日本	札幌	36	2.0
9	長崎空港	NGS	日本	長崎	23	1.3
10	熊本空港	KMJ	日本	熊本	21	1.2
...	...	...			...	...
合計					1,764	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	フィラデルフィア国際空港	PHL	アメリカ	フィラデルフィア	108	6.1
2	オーランド国際空港	MCO	アメリカ	オーランド	107	6.1
3	ノーフォーク国際空港	ORF	アメリカ	ノーフォーク	85	4.8
4	フォートローダーデール・ハリウッド国際空港	FLL	アメリカ	フォートローダーデール	76	4.3
5	ボルチモア・ワシントン国際空港	BWI	アメリカ	ボルチモア	74	4.2
6	セントルイス・ランバート国際空港	STL	アメリカ	セントルイス	63	3.6
7	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	53	3.0
8	ジョージア・インディアン・コンベンショナル空港	IAH	アメリカ	ヒューストン	51	2.9
9	バーミングハム国際空港	BHM	アメリカ	バーミングハム	46	2.6
10	ルイビル国際空港	SDF	アメリカ	ルイビル	44	2.5
...	...	...			...	...
合計					1,764	100

⑥鹿児島空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新潟空港	KIJ	日本	新潟	176	64.2
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	98	35.8
合計					274	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	奄美空港	ASJ	日本	奄美	242	88.3
2	徳之島空港	TKN	日本	徳之島	29	10.6
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	3	1.1
合計					274	100

②ヘルシンキ・ヴァンター国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	806	50.4
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	735	45.9
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	22	1.4
4	福岡空港	FUK	日本	福岡	17	1.1
5	成田国際空港	NRT	日本	東京	13	0.8
6	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	2	0.1
7	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	2	0.1
8	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	2	0.1
9	長崎空港	NGS	日本	長崎	1	0.1
...	...	...			...	...
合計					1,600	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ストックホルム・アーランダ空港	ARN	スウェーデン	ストックホルム	168	10.5
2	オスロ空港	OSL	ノルウェー	オスロ	155	9.7
3	ベルリン・テーゲル空港	TXL	ドイツ	ベルリン	113	7.1
4	コペンハーゲン空港	CPH	デンマーク	コペンハーゲン	112	7.0
5	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	109	6.8
6	チューリッヒ空港	ZRH	スイス	チューリッヒ	81	5.1
7	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	75	4.7
8	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	57	3.6
9	ウィーン国際空港	VIE	オーストリア	ウィーン	57	3.6
10	ストックホルム・ブロンマ空港	BMA	スウェーデン	ストックホルム	45	2.8
...	...	...			...	...
合計					1,600	100

⑦ハーツフィールド・ジャクソン・アトランタ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	92	33.8
2	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	75	27.6
3	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	55	20.2
4	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	17	6.3
5	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	7	2.6
6	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	6	2.2
7	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	5	1.8
8	東京国際空港	HND	日本	東京	3	1.1
9	仙台空港	SDJ	日本	仙台	2	0.7
10	秋田空港	AXT	日本	秋田	2	0.7
...	...	...			...	...
合計					272	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	アルバート・J・エリス空港	OAJ	アメリカ	ジャクソンビル	28	10.3
2	マートルビーチ国際空港	MYR	アメリカ	マートルビーチ	16	5.9
3	オーガスタ・リジョナル空港	AGS	アメリカ	オーガスタ	13	4.8
4	イーガー空港	CRW	アメリカ	チャールストン	12	4.4
5	ペンサコーラ国際空港	PNS	アメリカ	ペンサコーラ	11	4.0
6	ジャクソン・タラハシー国際空港	CLT	アメリカ	ジャクソン	10	3.7
7	ガルフォード・ビロクシー国際空港	GPT	アメリカ	ガルフォード	10	3.7
8	ボルチモア・ワシントン国際空港	BWI	アメリカ	ボルチモア	8	2.9
9	アクロン・カントン国際空港	CAK	アメリカ	アクロン	8	2.9
10	ハウノラ国際空港	UVF	セントルシア	カストリーズ	8	2.9
...	...	...			...	...
合計					272	100

③福岡空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	秋田空港	AXT	日本	秋田	188	29.7
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	161	25.4
3	新潟空港	KIJ	日本	新潟	104	16.4
4	旭川空港	AKJ	日本	旭川	94	14.8
5	新千歳空港	CTS	日本	札幌	43	6.8
6	那覇空港	OKA	日本	那覇	24	3.8
7	函館空港	HKD	日本	函館	20	3.2
...	...	...			...	...
合計					634	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	279	44.0
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	160	25.2
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	50	7.9
4	対馬空港	TSJ	日本	対馬	37	5.8
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	25	3.9
6	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	24	3.8
7	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	19	3.0
8	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	17	2.7
9	香港国際空港	HKG	中国	香港	12	1.9
10	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	8	1.3
...	...	...			...	...
合計					634	100

⑧スワンナプーム空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福岡空港	FUK	日本	福岡	62	31.2
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	35	17.6
3	東京国際空港	HND	日本	東京	33	16.6
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	32	16.1
5	旭川空港	AKJ	日本	旭川	9	4.5
6	新潟空港	KIJ	日本	新潟	7	3.5
7	秋田空港	AXT	日本	秋田	5	2.5
8	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	4	2.0
9	長崎空港	NGS	日本	長崎	3	1.5
10	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	3	1.5
...	...	...			...	...
合計					199	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	トリブバン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	70	35.2
2	シャーンジャラル国際空港	DAC	バングラデシュ	ダッカ	28	14.1
3	ヤンゴン国際空港	RGN	ミャンマー	ヤンゴン	16	8.0
4	パークセー国際空港	PKZ	ラオス	パークセー	11	5.5
5	ジンナー国際空港	KHI	パキスタン	カラチ	11	5.5
6	シェムリアップ国際空港	REP	カンボジア	シェムリアップ	8	4.0
7	プノンペン国際空港	PNH	カンボジア	プノンペン	8	4.0
8	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	7	3.5
9	ワットタイ国際空港	VTE	ラオス	ヴィエンチャン	6	3.0
10	ンガラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	5	2.5
...	...	...			...	...
合計					199	100

④フランクフルト空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福岡空港	FUK	日本	福岡	282	63.2
2	成田国際空港	NRT	日本	東京	49	11.0
3	東京国際空港	HND	日本	東京	20	4.5
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	17	3.8
5	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	14	3.1
6	那覇空港	OKA	日本	那覇	12	2.7
7	新千歳空港	CTS	日本	札幌	11	2.5
8	長崎空港	NGS	日本	長崎	9	2.0
9	新潟空港	KIJ	日本	新潟	7	1.6
10	新石垣空港	ISG	日本	石垣	5	1.1
...	...	...			...	...
合計					446	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ポルト空港	OPO	ポルトガル	ポルト	60	13.5
2	ミラノ・マルペンサ空港	MXP	イタリア	ミラノ	39	8.7
3	ベルリン・テゲル空港	TXL	ドイツ	ベルリン	20	4.5
4	ハンブルク空港	HAM	ドイツ	ハンブルク	15	3.4
5	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	15	3.4
6	ヴァーツラフ・ハヴェル・プラハ国際空港	PRG	チェコ	プラハ	15	3.4
7	ヴェネツィア・テッセラ空港	VCE	イタリア	ヴェネツィア	14	3.1
8	ビルン空港	BLL	デンマーク	ビルン	14	3.1
9	クラクフ・バリエ空港	KRK	ポーランド	クラクフ	13	2.9
10	コート・ダジュール空港	NCE	フランス	ニース	12	2.7
...	...	...			...	...
合計					446	100

⑨香港国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	165	84.2
2	福岡空港	FUK	日本	福岡	12	6.1
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	11	5.6
4	東京国際空港	HND	日本	東京	8	4.1
...	...	...			...	...
合計					196	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	57	29.1
2	パース空港	PER	オーストラリア	パース	45	23.0
3	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	27	13.8
4	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	19	9.7
5	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	9	4.6
6	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	8	4.1
7	オー克蘭ド国際空港	AKL	ニュージーランド	オー克蘭ド	7	3.6
8	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	5	2.6
9	ワイミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	4	2.0
10	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	3	1.5
...	...	...			...	...
合計					196	100

⑤成田国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福岡空港	FUK	日本	福岡	156	35.9
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	121	27.9
3	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	66	15.2
4	長崎空港	NGS	日本	長崎	35	8.1
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	19	4.4
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	10	2.3
7	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	9	2.1
8	秋田空港	AXT	日本	秋田	7	1.6
9	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	3	0.7
10	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	2	0.5
...	...	...			...	...
合計					434	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	113	26.0
2	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	55	12.7
3	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	36	8.3
4	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	30	6.9
5	ジェネラル・エドワード・ローレンス・ローガン国際空港	BOS	アメリカ	ボストン	28	6.5
6	デトロイト・メトロポリタン・ウェイン・カウンティ空港	DTW	アメリカ	デトロイト	26	6.0
7	ジョン・F・ケネディ国際空港	JFK	アメリカ	ニューヨーク	21	4.8
8	サンディイ国際空港	NAN	フィジー	ナンディ	17	3.9
9	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	14	3.2
10	サンディイエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	10	2.3
...	...	...			...	...
合計					434	100

⑩ダニエル・K・イノウエ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	72	38.5
2	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	29	15.5
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	25	13.4
4	香港国際空港	HKG	中国	香港	15	8.0
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	14	7.5
6	新千歳空港	CTS	日本	札幌	11	5.9
7	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	7	3.7
8	東京国際空港	HND	日本	東京	5	2.7
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	5	2.7
10	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	2	1.1
...	...	...			...	...
合計					187	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	リフエ空港	LIH	アメリカ	リフエ	89	47.6
2	カフルイ空港	OGG	アメリカ	カフルイ	60	32.1
3	コナ国際空港	KOA	アメリカ	カイルア・コナ	18	9.6
4	ヒロ国際空港	ITO	アメリカ	ヒロ	18	9.6
5	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	1	0.5
6	成田国際空港	NRT	日本	東京	1	0.5
合計					187	100

(2)2024年1月－6月

①新千歳空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	成田国際空港	NRT	日本	東京	614	94.6
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	13	2.0
3	熊本空港	KMJ	日本	熊本	11	1.7
4	長崎空港	NGS	日本	長崎	11	1.7
合計					649	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	釧路空港	KUH	日本	釧路	288	44.4
2	函館空港	HKD	日本	函館	206	31.7
3	女満別空港	MMB	日本	網走	109	16.8
4	稚内空港	WKJ	日本	稚内	46	7.1
合計					649	100

⑥東京国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	70	68.0
2	天津滨海新区国際空港	TSN	中国	天津	23	22.3
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	3	2.9
4	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	3	2.9
5	香港国際空港	HKG	中国	香港	2	1.9
6	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	2	1.9
合計					103	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	28	27.2
2	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	28	27.2
3	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	23	22.3
4	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	7	6.8
5	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	3	2.9
6	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	3	2.9
7	青森空港	AOJ	日本	青森	3	2.9
8	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	2	1.9
9	ジョン・F・ケネディ国際空港	JFK	アメリカ	ニューヨーク	2	1.9
10	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	2	1.9
...	...	...			...	...
合計					103	100

②成田国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	132	25.3
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	102	19.6
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	88	16.9
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	73	14.0
5	長崎空港	NGS	日本	長崎	47	9.0
6	松山空港	MYJ	日本	松山	23	4.4
7	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	12	2.3
8	福岡空港	FUK	日本	福岡	12	2.3
9	熊本空港	KMJ	日本	熊本	9	1.7
10	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	8	1.5
...	...	...			...	...
合計					521	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	96	18.4
2	トロント・ピアソン国際空港	YYZ	カナダ	トロント	89	17.1
3	モントリオール・ピエール・エリオン・トリポット国際空港	YUL	カナダ	モントリオール	53	10.2
4	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	48	9.2
5	サンディエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	41	7.9
6	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	38	7.3
7	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	30	5.8
8	カルガリー国際空港	YYC	カナダ	カルガリー	20	3.8
9	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	19	3.6
10	フアアア国際空港	PPT	フランス領ポリネシア(サモア)	フアアア	19	3.6
...	...	...			...	...
合計					521	100

⑦上海浦東国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	55	82.1
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	5	7.5
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	4	6.0
4	松山空港	MYJ	日本	松山	2	3.0
5	熊本空港	KMJ	日本	熊本	1	1.5
合計					67	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	惠州平潭空港	HUZ	中国	惠州	9	13.4
2	トリブバン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	7	10.4
3	昆明長水国際空港	KMG	中国	昆明	5	7.5
4	バンダラナイケ国際空港	CMB	スリランカ	コロンボ	5	7.5
5	嘉峪关空港	JGN	中国	嘉峪关	5	7.5
6	シェンディ空港	SQJ	エチオピア	シェンディ	5	7.5
7	広元盤龍空港	GYS	中国	広元	4	6.0
8	カシュガル空港	KHG	中国	カシュガル	4	6.0
9	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	4	6.0
10	深圳宝安国際空港	SZX	中国	深圳	3	4.5
...	...	...			...	...
合計					67	100

③福岡空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仙台空港	SDJ	日本	仙台	301	81.1
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	70	18.9
合計					371	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	132	35.6
2	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	56	15.1
3	対馬空港	TSJ	日本	対馬	52	14.0
4	松山空港	MYJ	日本	松山	47	12.7
5	天草空港	AXJ	日本	天草	34	9.2
6	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	19	5.1
7	香港国際空港	HKG	中国	香港	16	4.3
8	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	15	4.0
合計					371	100

⑧仁川国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仙台空港	SDJ	日本	仙台	14	38.9
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	6	16.7
3	熊本空港	KMJ	日本	熊本	4	11.1
4	東京国際空港	HND	日本	東京	4	11.1
5	三ノ伊・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	3	8.3
6	長崎空港	NGS	日本	長崎	2	5.6
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	2	5.6
8	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	1	2.8
合計					36	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	8	22.2
2	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	6	16.7
3	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	5	13.9
4	クラーク国際空港	CRK	フィリピン	マニラ	5	13.9
5	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	3	8.3
6	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	3	8.3
7	アルマトイ国際空港	ALA	カザフスタン	アルマトイ	2	5.6
8	ヤンゴン国際空港	RGN	ミャンマー	ヤンゴン	2	5.6
9	チェンマイ国際空港	CNX	タイ	チェンマイ	1	2.8
10	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	1	2.8
...	...	...			...	...
合計					36	100

④那覇空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	285	80.5
2	松山空港	MYJ	日本	松山	35	9.9
3	秋田空港	AXT	日本	秋田	32	9.0
4	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	2	0.6
合計					354	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	久米島空港	UEO	日本	久米島	108	30.5
2	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	88	24.9
3	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	79	22.3
4	宮古空港	MMY	日本	宮古島	50	14.1
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	11	3.1
6	下地島空港	SHI	日本	宮古島	11	3.1
7	新石垣空港	ISG	日本	石垣	7	2.0
合計					354	100

⑨北京首都国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	長崎空港	NGS	日本	長崎	15	55.6
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	9	33.3
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	2	7.4
4	成田国際空港	NRT	日本	東京	1	3.7
合計					27	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	昆明長水国際空港	KMG	中国	昆明	10	37.0
2	深圳宝安国際空港	SZX	中国	深圳	6	22.2
3	ウルムチ地窩堡国際空港	URC	中国	ウルムチ	6	22.2
4	延吉朝陽川空港	YNJ	中国	延吉	2	7.4
5	通遼空港	TGO	中国	通遼	1	3.7
6	蘭州中川空港	LHW	中国	蘭州	1	3.7
7	長春龍嘉国際空港	CGQ	中国	長春	1	3.7
...	...	...			...	...
合計					27	100

⑤香港国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	163	97.0
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	3	1.8
3	大分空港	OIT	日本	大分	2	1.2
合計					168	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	72	42.9
2	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	43	25.6
3	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	20	11.9
4	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	6	3.6
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	6	3.6
6	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	4	2.4
7	廈門高崎国際空港	XMN	中国	廈門	4	2.4
8	チャトラパティ・シヴァージー国際空港	BOM	インド	ムンバイ	3	1.8
9	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	2	1.2
10	オー克兰国際空港	AKL	ニュージーランド	オー克兰	1	0.6
...	...	...			...	...
合計					168	100

⑩グアム国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	10	62.5
2	東京国際空港	HND	日本	東京	6	37.5
合計					16	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	サイパン国際空港	SPN	北マリアナ諸島	ガラパン	12	75.0
2	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	4	25.0
合計					16	100

【詳細表】

2 関西国際空港

2.1 ビヨンド

2.1.1 経由空港

(1) 2019年1月～6月

① 香港国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	9,422	9.6
2	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	6,462	6.6
3	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	4,311	4.4
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	3,559	3.6
5	メルボルン国際空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	3,313	3.4
6	プーケット国際空港	HKT	タイ	プーケット	3,104	3.1
7	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	2,750	2.8
8	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	2,153	2.2
9	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	2,087	2.1
10	トリブバン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	2,074	2.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					98,557	100

(2) 2024年1月～6月

① 上海浦東国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	9,133	7.7
2	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	5,151	4.4
3	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	3,782	3.2
4	鄭州新鄭国際空港	CGO	中国	鄭州	3,692	3.1
5	西安咸陽国際空港	XIY	中国	西安	3,686	3.1
6	武漢天河国際空港	WUH	中国	武漢	3,584	3.0
7	長沙黄花国際空港	CSX	中国	長沙	3,584	3.0
8	成都天府国際空港	TFU	中国	成都	3,410	2.9
9	重慶江北国際空港	CKG	中国	重慶	3,294	2.8
10	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	3,278	2.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					117,906	100

② 東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	秋田空港	AXT	日本	秋田	9,988	10.6
2	函館空港	HKD	日本	函館	9,112	9.7
3	旭川空港	AKJ	日本	旭川	8,543	9.1
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	7,066	7.5
5	庄内空港	SYO	日本	酒田	5,757	6.1
6	帯広空港	OBO	日本	帯広	5,423	5.8
7	那覇空港	OKA	日本	那覇	4,744	5.0
8	女満別空港	MMB	日本	網走	3,331	3.5
9	稚内空港	WKJ	日本	稚内	2,974	3.2
10	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	2,925	3.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					94,268	100

② 東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	釧路空港	KUH	日本	釧路	10,472	9.8
2	奄美空港	ASJ	日本	奄美	7,976	7.5
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	6,192	5.8
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	5,978	5.6
5	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	5,128	4.8
6	函館空港	HKD	日本	函館	5,110	4.8
7	下地島空港	SHI	日本	宮古島	4,949	4.6
8	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	3,916	3.7
9	ジョン・F・ケネディ国際空港	JFK	アメリカ	ニューヨーク	3,421	3.2
10	那覇空港	OKA	日本	那覇	3,404	3.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					106,581	100

③仁川国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	3,965	5.8
2	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	3,686	5.4
3	タシケント国際空港	TAS	ウズベキスタン	タシケント	3,234	4.7
4	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	3,042	4.5
5	フイミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	3,025	4.4
6	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	2,323	3.4
7	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	2,249	3.3
8	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	2,090	3.1
9	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	1,620	2.4
10	瀋陽桃仙国際空港	SHE	中国	瀋陽	1,562	2.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					68,278	100

④ドバイ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	カイロ国際空港	CAI	エジプト	カイロ	4,371	6.6
2	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	4,144	6.3
3	ヴェネツィア・テッセラ空港	VCE	イタリア	ヴェネツィア	3,755	5.7
4	ミラノ・マルペンサ空港	MPX	イタリア	ミラノ	3,567	5.4
5	グアルニーヨス国際空港	GRU	ブラジル	サンパウロ	3,232	4.9
6	ムハンマド5世国際空港	CMN	モロッコ	カサブランカ	3,221	4.9
7	アテネ国際空港	ATH	ギリシャ	アテネ	2,666	4.1
8	フイミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	2,343	3.6
9	マルタ国際空港	MLA	マルタ	バレッタ	2,052	3.1
10	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	1,975	3.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					65,767	100

③香港国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	12,077	15.0
2	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	7,097	8.8
3	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	4,051	5.0
4	シドニー国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	4,036	5.0
5	ジュアンダ国際空港	SUB	インドネシア	スラバヤ	3,801	4.7
6	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	3,331	4.1
7	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	3,228	4.0
8	ブーケット国際空港	HKT	タイ	ブーケット	3,159	3.9
9	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	3,157	3.9
10	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	3,058	3.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					80,578	100

④シンガポール・チャンギ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シドニー国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	9,808	14.3
2	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	7,445	10.9
3	ヴェラナ国際空港	MLE	モルディブ	マレ	4,908	7.2
4	パース空港	PER	オーストラリア	パース	4,611	6.7
5	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	3,468	5.1
6	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	3,374	4.9
7	ジュアンダ国際空港	SUB	インドネシア	スラバヤ	3,180	4.7
8	チャトラパティ・シヴァージー国際空港	BOM	インド	ムンバイ	2,595	3.8
9	パナマ国際空港	PEN	マレーシア	ペナン	2,574	3.8
10	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	2,247	3.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					68,371	100

⑤上海浦東国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	温州龍湾国際空港	WNZ	中国	温州	3,206	5.2
2	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	2,839	4.6
3	廈門高崎国際空港	XMN	中国	廈門	2,169	3.5
4	武漢天河国際空港	WUH	中国	武漢	2,083	3.4
5	桂林両江国際空港	KWL	中国	桂林	1,861	3.0
6	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,564	2.5
7	長沙黄花国際空港	CSX	中国	長沙	1,550	2.5
8	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	1,517	2.4
9	プノンペン国際空港	PNH	カンボジア	プノンペン	1,493	2.4
10	チェンマイ国際空港	CNX	タイ	チェンマイ	1,437	2.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					61,926	100

⑥シンガポール・チャンギ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	9,228	15.8
2	ンガラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	5,224	8.9
3	パナシ国際空港	PEN	マレーシア	ペナン	4,966	8.5
4	ジュアング国際空港	SUB	インドネシア	スラバヤ	3,705	6.3
5	クアランプール国際空港	KUL	マレーシア	クアランプール	3,546	6.1
6	パース空港	PER	オーストラリア	パース	3,440	5.9
7	プーケット国際空港	HKT	タイ	プーケット	3,300	5.6
8	ヴエラナ国際空港	MLE	モルデイブ	マレ	2,636	4.5
9	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	2,502	4.3
10	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	1,749	3.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					58,489	100

⑤ドバイ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ミラノ・マルペンサ空港	MXP	イタリア	ミラノ	3,142	6.6
2	カイロ国際空港	CAI	エジプト	カイロ	2,455	5.1
3	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	2,273	4.8
4	アドルフ・ヘス・マドリッド＝バラハス空港	MAD	スペイン	マドリッド	2,254	4.7
5	グアルーリョス国際空港	GRU	ブラジル	サンパウロ	2,077	4.4
6	フィウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	2,019	4.2
7	バルセロナ＝エル・プラタ空港	BCN	スペイン	バルセロナ	2,017	4.2
8	ヴェネツィア・テッセラ空港	VCE	イタリア	ヴェネツィア	1,937	4.1
9	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	1,805	3.8
10	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	1,200	2.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					47,716	100

⑥仁川国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	3,968	8.8
2	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	2,229	4.9
3	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	2,187	4.8
4	シアトル・タコマ国際空港	SEA	アメリカ	シアトル	1,455	3.2
5	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	1,406	3.1
6	フィウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	1,392	3.1
7	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,261	2.8
8	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	1,246	2.8
9	チンギスハーン国際空港	UBN	モンゴル	ウランバートル	1,225	2.7
10	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	1,206	2.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					45,213	100

⑦ヘルシンキ・ヴァンター国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	2,474	6.2
2	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	2,469	6.2
3	ミラノ・マルペンサ空港	MXP	イタリア	ミラノ	2,196	5.5
4	ストックホルム・アーランダ空港	ARN	スウェーデン	ストックホルム	1,994	5.0
5	フイウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	1,962	4.9
6	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	1,880	4.7
7	コペンハーゲン空港	CPH	デンマーク	コペンハーゲン	1,790	4.5
8	アムステルダム・スアレス・マドリード＝バラハス空港	MAD	スペイン	マドリード	1,555	3.9
9	ベルリン・テーゲル空港	TXL	ドイツ	ベルリン	1,524	3.8
10	ウィーン国際空港	VIE	オーストリア	ウィーン	1,342	3.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					40,130	100

⑧アムステルダム・スキポール空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	2,535	7.2
2	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	2,166	6.1
3	ヴェネツィア・テッセラ空港	VCE	イタリア	ヴェネツィア	2,054	5.8
4	フイウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	1,983	5.6
5	ミラノ・マルペンサ空港	MXP	イタリア	ミラノ	1,952	5.5
6	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,741	4.9
7	アムステルダム・スアレス・マドリード＝バラハス空港	MAD	スペイン	マドリード	1,620	4.6
8	ヴァージン・アトランティック国際空港	PRG	チェコ	プラハ	1,048	3.0
9	ベルリン・テーゲル空港	TXL	ドイツ	ベルリン	911	2.6
10	マンチエスター空港	MAN	イギリス	マンチエスター	659	1.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					35,240	100

⑦ニノイ・アキノ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	9,849	25.6
2	ンガラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	5,774	15.0
3	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	3,477	9.0
4	ダバオ国際空港	DVO	フィリピン	ダバオ	2,914	7.6
5	クララルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	2,333	6.1
6	バコド＝シライ国際空港	BCD	フィリピン	バコド	2,141	5.6
7	イロイロ国際空港	ILO	フィリピン	イロイロ	1,248	3.2
8	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	964	2.5
9	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	886	2.3
10	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	885	2.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					38,429	100

⑧台湾桃園国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	3,504	9.8
2	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	2,941	8.2
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	2,669	7.5
4	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	2,586	7.2
5	ジョン・F・ケネディ国際空港	JFK	アメリカ	ニューヨーク	1,972	5.5
6	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	1,925	5.4
7	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	1,743	4.9
8	ミラノ・マルペンサ空港	MXP	イタリア	ミラノ	1,260	3.5
9	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	1,090	3.0
10	ウィーン国際空港	VIE	オーストリア	ウィーン	1,072	3.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					35,812	100

⑨金海国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	済州国際空港	CJU	韓国	済州	11,969	34.3
2	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	8,305	23.8
3	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	2,328	6.7
4	サイパン国際空港	SPN	北マリアナ諸島	ガラパン	2,270	6.5
5	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	1,992	5.7
6	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	1,392	4.0
7	コタキナバル国際空港	BKI	マレーシア	コタキナバル	893	2.6
8	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	732	2.1
9	マカオ国際空港	MFM	中国	マカオ	716	2.1
10	ダナン国際空港	DAD	ベトナム	ダナン	642	1.8
...	...	...			...	...
合計					34,897	100

⑩北京首都国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	2,714	8.2
2	フイウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	2,366	7.1
3	ジョン・F・ケネディ国際空港	JFK	アメリカ	ニューヨーク	2,266	6.8
4	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	2,073	6.2
5	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	1,873	5.6
6	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	1,549	4.7
7	ストックホルム・アーランダ空港	ARN	スウェーデン	ストックホルム	840	2.5
8	長春龍嘉国際空港	CGQ	中国	長春	729	2.2
9	リスト・フエレンツ国際空港	BUD	ハンガリー	ブダペスト	714	2.2
10	モントリオール＝ピエール・エリオン・トリポット国際空港	YUL	カナダ	モントリオール	600	1.8
...	...	...			...	...
合計					33,208	100

⑨青島流亭国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	2,778	8.3
2	武漢天河国際空港	WUH	中国	武漢	2,590	7.8
3	長沙黄花国際空港	CSX	中国	長沙	2,235	6.7
4	成都天府国際空港	TFU	中国	成都	2,064	6.2
5	重慶江北国際空港	CKG	中国	重慶	2,020	6.1
6	ハルビン太平国際空港	HRB	中国	ハルビン	1,890	5.7
7	長春龍嘉国際空港	CGQ	中国	長春	1,766	5.3
8	上海虹橋国際空港	SHA	中国	上海	1,709	5.1
9	西安咸陽国際空港	XIY	中国	西安	1,622	4.9
10	杭州蕭山国際空港	HGH	中国	杭州	1,594	4.8
...	...	...			...	...
合計					33,298	100

⑩イスตันบูล国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	カイロ国際空港	CAI	エジプト	カイロ	1,639	5.9
2	カイセリ・エルキレト国際空港	ASR	トルコ	カイセリ	1,471	5.3
3	ネヴァシェヒル・カッパドキア空港	NAV	トルコ	ネヴァシェヒル	1,045	3.8
4	アドナ・メンデレス空港	ADB	トルコ	イズミル	944	3.4
5	テッサロニキ・マケドニア国際空港	SKG	ギリシヤ	テッサロニキ	885	3.2
6	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	799	2.9
7	ヴェネツィア・テッセラ空港	VCE	イタリア	ヴェネツィア	790	2.9
8	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	681	2.5
9	ワルシャワ・シヨハパン空港	WAW	ポーランド	ワルシャワ	641	2.3
10	ミラノ・マルペンサ空港	MXP	イタリア	ミラノ	546	2.0
...	...	...			...	...
合計					27,613	100

2.1.2 目的空港

(1)2019年1月－6月

①スカルノ・ハッタ国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	9,228	28.3
2	ソングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	8,865	27.2
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	6,462	19.9
4	東京国際空港	HND	日本	東京	2,925	9.0
5	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	1,414	4.3
6	成田国際空港	NRT	日本	東京	1,146	3.5
7	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	967	3.0
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	516	1.6
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	475	1.5
10	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	204	0.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					32,554	100

(2)2024年1月－6月

①スカルノ・ハッタ国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	7,445	21.8
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	7,097	20.8
3	東京国際空港	HND	日本	東京	5,128	15.0
4	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	3,848	11.3
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	3,477	10.2
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,925	5.6
7	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,691	5.0
8	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,406	4.1
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	773	2.3
10	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	387	1.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					34,134	100

②スワンナプーム空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	香港国際空港	HKG	中国	香港	9,422	32.2
2	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	2,839	9.7
3	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	2,781	9.5
4	東京国際空港	HND	日本	東京	2,659	9.1
5	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	1,779	6.1
6	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	1,507	5.1
7	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	1,266	4.3
8	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,134	3.9
9	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1,011	3.5
10	マカオ国際空港	MFM	中国	マカオ	1,004	3.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					29,289	100

②スワンナプーム空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	香港国際空港	HKG	中国	香港	12,077	38.4
2	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	3,278	10.4
3	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	2,941	9.4
4	マカオ国際空港	MFM	中国	マカオ	1,957	6.2
5	チェンマイ国際空港	CNX	タイ	チェンマイ	1,949	6.2
6	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	1,716	5.5
7	東京国際空港	HND	日本	東京	1,356	4.3
8	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	885	2.8
9	廈門高崎国際空港	XMN	中国	廈門	828	2.6
10	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	818	2.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					31,427	100

③ロンドン・ヒースロー空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	3,042	16.2
2	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	2,469	13.1
3	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	2,166	11.5
4	東京国際空港	HND	日本	東京	2,021	10.7
5	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,951	10.4
6	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	1,873	9.9
7	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	1,041	5.5
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,009	5.4
9	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	894	4.7
10	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	874	4.6
...	...	...			...	...
合計					18,835	100

③シドニー・ライオンズ国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	9,808	42.0
2	クアラルンプール国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	5,774	24.7
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	4,036	17.3
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,777	7.6
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	999	4.3
6	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	354	1.5
7	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	245	1.0
8	廈門高崎国際空港	XMN	中国	廈門	137	0.6
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	107	0.5
10	杭州蕭山国際空港	HGH	中国	杭州	43	0.2
...	...	...			...	...
合計					23,358	100

④済州国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	11,969	66.2
2	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	5,093	28.2
3	大邱国際空港	TAE	韓国	大邱	958	5.3
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	47	0.3
5	香港国際空港	HKG	中国	香港	12	0.1
6	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	6	0.0
7	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	1	0.0
...	...	...			...	...
合計					18,086	100

④ロンドン・ヒースロー空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	3,916	19.1
2	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	2,822	13.7
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	2,410	11.7
4	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	2,247	10.9
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	2,229	10.9
6	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	1,200	5.8
7	ハマド国際空港	DOH	カタール	ドーハ	881	4.3
8	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	865	4.2
9	アブダビ国際空港	AUH	アラブ首長国連邦	アブダビ	857	4.2
10	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	685	3.3
...	...	...			...	...
合計					20,533	100

⑤フウィミチーノ空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	3,025	17.9
2	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	2,366	14.0
3	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	2,343	13.9
4	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	1,983	11.7
5	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	1,962	11.6
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,230	7.3
7	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,114	6.6
8	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	666	3.9
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	588	3.5
10	ミュンヘン国際空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	426	2.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					16,892	100

⑥ノパリ＝シャルル・ド・ゴール空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	2,714	17.0
2	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	2,474	15.5
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	2,249	14.1
4	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	1,741	10.9
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,564	9.8
6	東京国際空港	HND	日本	東京	1,127	7.0
7	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	907	5.7
8	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	684	4.3
9	成都双流国際空港	CTU	中国	成都	478	3.0
10	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	438	2.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					16,004	100

⑤パリ＝シャルル・ド・ゴール空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	3,504	18.1
2	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	2,485	12.8
3	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	2,273	11.8
4	ハマド国際空港	DOH	カタール	ドーハ	1,284	6.6
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,261	6.5
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,255	6.5
7	東京国際空港	HND	日本	東京	1,038	5.4
8	アブダビ国際空港	AUH	アラブ首長国連邦	アブダビ	906	4.7
9	廈門高崎国際空港	XMN	中国	廈門	904	4.7
10	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	799	4.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					19,340	100

⑥メルボルン空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	香港国際空港	HKG	中国	香港	4,051	24.7
2	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	3,468	21.2
3	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	1,640	10.0
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,213	7.4
5	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	1,046	6.4
6	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	964	5.9
7	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	689	4.2
8	成田国際空港	NRT	日本	東京	633	3.9
9	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	595	3.6
10	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	562	3.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					16,391	100

⑦シエムリアップ国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ノイバイ国際空港	HAN	バトナム	ハノイ	7,462	48.3
2	タンソンニャット国際空港	SGN	バトナム	ホーチミン	4,670	30.2
3	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	988	6.4
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	801	5.2
5	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	464	3.0
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	435	2.8
7	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	157	1.0
8	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	132	0.9
9	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	93	0.6
10	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	76	0.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					15,446	100

⑧パルセロナ＝エル・プラット空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	4,144	27.1
2	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	2,535	16.6
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	2,090	13.7
4	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	1,880	12.3
5	^{パリ} ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,345	8.8
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	918	6.0
7	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	680	4.5
8	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	635	4.2
9	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	406	2.7
10	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	312	2.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					15,273	100

⑦ドンムアン空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	9,133	57.6
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	2,267	14.3
3	マカオ国際空港	MFM	中国	マカオ	1,867	11.8
4	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	694	4.4
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	602	3.8
6	南京禄口国際空港	NKG	中国	南京	390	2.5
7	杭州蕭山国際空港	HGH	中国	杭州	226	1.4
8	ノイバイ国際空港	HAN	バトナム	ハノイ	171	1.1
9	チェンマイ国際空港	CNX	タイ	チェンマイ	158	1.0
10	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	121	0.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					15,846	100

⑧済州国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	7,177	46.0
2	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	6,973	44.6
3	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	780	5.0
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	684	4.4
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	4	0.0
合計					15,618	100

⑨メルボルン空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	香港国際空港	HKG	中国	香港	3,313	21.9
2	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	2,491	16.5
3	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	1,749	11.6
4	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1,573	10.4
5	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	1,241	8.2
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,114	7.4
7	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	988	6.5
8	成田国際空港	NRT	日本	東京	728	4.8
9	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	501	3.3
10	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	487	3.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					15,142	100

⑩ロサンゼルス国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	2,362	16.2
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	2,323	15.9
3	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	2,073	14.2
4	東京国際空港	HND	日本	東京	1,832	12.6
5	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,401	9.6
6	シアトル・タコマ国際空港	SEA	アメリカ	シアトル	1,321	9.1
7	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,143	7.8
8	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	543	3.7
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	493	3.4
10	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	310	2.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					14,566	100

⑨シンガポール・チャンギ国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	3,782	25.6
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	3,331	22.5
3	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	1,223	8.3
4	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	1,170	7.9
5	東京国際空港	HND	日本	東京	1,133	7.7
6	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,081	7.3
7	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	886	6.0
8	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	625	4.2
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	457	3.1
10	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	322	2.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					14,785	100

⑩シドニー国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	香港国際空港	HKG	中国	香港	3,228	22.7
2	東京国際空港	HND	日本	東京	2,607	18.3
3	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	2,211	15.5
4	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,246	8.8
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,041	7.3
6	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	986	6.9
7	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	773	5.4
8	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	516	3.6
9	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	379	2.7
10	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	355	2.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					14,222	100

2.2 ビハインド

2.2.1 出発空港

(1) 2019年1月～6月

① 東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	2,181	12.8
2	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	1,989	11.7
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,412	8.3
4	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	1,157	6.8
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	944	5.6
6	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	888	5.2
7	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	811	4.8
8	宮古空港	MMY	日本	宮古島	707	4.2
9	福岡空港	FUK	日本	福岡	617	3.6
10	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	484	2.9
...	...	...			...	...
合計					16,981	100

(2) 2024年1月～6月

① 東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	廈門高崎国際空港	XMN	中国	廈門	1,851	11.8
2	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,290	8.3
3	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	1,150	7.4
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,041	6.7
5	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	1,007	6.4
6	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	997	6.4
7	宮古空港	MMY	日本	宮古島	978	6.3
8	那覇空港	OKA	日本	那覇	970	6.2
9	新千歳空港	CTS	日本	札幌	832	5.3
10	新石垣空港	ISG	日本	石垣	654	4.2
...	...	...			...	...
合計					15,626	100

② 新千歳空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	2,156	19.5
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,702	15.4
3	熊本空港	KMJ	日本	熊本	1,522	13.8
4	東京国際空港	HND	日本	東京	1,271	11.5
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	887	8.0
6	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	485	4.4
7	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	356	3.2
8	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	305	2.8
9	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	189	1.7
10	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	152	1.4
...	...	...			...	...
合計					11,039	100

② 新千歳空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,451	14.9
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,034	10.7
3	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	902	9.3
4	香港国際空港	HKG	中国	香港	805	8.3
5	東京国際空港	HND	日本	東京	798	8.2
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	469	4.8
7	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	431	4.4
8	南京禄口国際空港	NKG	中国	南京	366	3.8
9	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	350	3.6
10	成田国際空港	NRT	日本	東京	327	3.4
...	...	...			...	...
合計					9,706	100

③那覇空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	2,803	35.4
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	2,246	28.4
3	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	1,430	18.1
4	成田国際空港	NRT	日本	東京	268	3.4
5	熊本空港	KMJ	日本	熊本	262	3.3
6	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	147	1.9
7	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	143	1.8
8	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	124	1.6
9	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	77	1.0
10	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	35	0.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					7,914	100

③上海浦東国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,472	27.6
2	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	1,103	20.7
3	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	1,017	19.1
4	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	442	8.3
5	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	295	5.5
6	東京国際空港	HND	日本	東京	276	5.2
7	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	198	3.7
8	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	132	2.5
9	大邱国際空港	TAE	韓国	大邱	87	1.6
10	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	83	1.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					5,335	100

④ダニエル・K・イノウエ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,859	27.2
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,673	24.5
3	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	571	8.4
4	香港国際空港	HKG	中国	香港	403	5.9
5	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	311	4.5
6	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	302	4.4
7	東京国際空港	HND	日本	東京	258	3.8
8	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	173	2.5
9	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	164	2.4
10	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	162	2.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					6,836	100

④成田国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,328	27.4
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	561	11.6
3	杭州蕭山国際空港	HGH	中国	杭州	453	9.3
4	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	420	8.7
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	376	7.8
6	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	372	7.7
7	寧波樑社国際空港	NGB	中国	寧波	178	3.7
8	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	138	2.8
9	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	93	1.9
10	南京禄口国際空港	NKG	中国	南京	91	1.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					4,850	100

⑤福岡空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	771	14.6
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	578	10.9
3	東京国際空港	HND	日本	東京	567	10.7
4	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	514	9.7
5	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	468	8.8
6	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	333	6.3
7	ンガラ・フライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	321	6.1
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	310	5.9
9	宮古空港	MMY	日本	宮古島	239	4.5
10	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	141	2.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					5,293	100

⑥台湾桃園国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	1,310	29.5
2	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	988	22.3
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	481	10.8
4	高知空港	KCZ	日本	高知	365	8.2
5	熊本空港	KMJ	日本	熊本	213	4.8
6	東京国際空港	HND	日本	東京	203	4.6
7	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	192	4.3
8	福岡空港	FUK	日本	福岡	90	2.0
9	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	88	2.0
10	成田国際空港	NRT	日本	東京	75	1.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					4,440	100

⑤那覇空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	1,618	34.3
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	841	17.8
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	789	16.7
4	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	446	9.4
5	大邱国際空港	TAE	韓国	大邱	334	7.1
6	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	105	2.2
7	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	85	1.8
8	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	62	1.3
9	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	46	1.0
10	シンガポール・チャナギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	46	1.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					4,722	100

⑥香港国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,356	31.3
2	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	1,242	28.7
3	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	708	16.3
4	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	344	7.9
5	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	158	3.6
6	東京国際空港	HND	日本	東京	142	3.3
7	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	111	2.6
8	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	93	2.1
9	大邱国際空港	TAE	韓国	大邱	72	1.7
10	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	23	0.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					4,334	100

⑦仁川国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スメア国際空港	NOU	ニューカレドニア	スメア	1,424	34.6
2	オークランド国際空港	AKL	ニュージーランド	オークランド	808	19.7
3	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	487	11.8
4	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	342	8.3
5	高知空港	KCZ	日本	高知	291	7.1
6	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	190	4.6
7	東京国際空港	HND	日本	東京	85	2.1
8	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	53	1.3
9	熊本空港	KMJ	日本	熊本	51	1.2
10	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	41	1.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					4,111	100

⑧スエア国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,800	49.2
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	809	22.1
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	347	9.5
4	福岡空港	FUK	日本	福岡	172	4.7
5	東京国際空港	HND	日本	東京	106	2.9
6	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	84	2.3
7	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	59	1.6
8	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	45	1.2
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	33	0.9
10	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	25	0.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,658	100

⑦清州国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,781	44.1
2	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	1,285	31.8
3	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	532	13.2
4	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	85	2.1
5	東京国際空港	HND	日本	東京	78	1.9
6	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	73	1.8
7	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	73	1.8
8	マカオ国際空港	MFM	中国	マカオ	43	1.1
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	17	0.4
10	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	14	0.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					4,035	100

⑧スワンナプーム空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	1,225	35.8
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,215	35.5
3	東京国際空港	HND	日本	東京	347	10.2
4	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	262	7.7
5	成田国際空港	NRT	日本	東京	128	3.7
6	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	90	2.6
7	青森空港	AOJ	日本	青森	22	0.6
8	山形空港	GAJ	日本	山形	16	0.5
9	花巻空港	HNA	日本	盛岡	16	0.5
10	仙台空港	SDJ	日本	仙台	14	0.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,418	100

⑨金海国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	杭州蕭山国際空港	HGH	中国	杭州	819	26.3
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	601	19.3
3	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	477	15.3
4	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	286	9.2
5	オークランド国際空港	AKL	ニュージーランド	オークランド	267	8.6
6	成田国際空港	NRT	日本	東京	133	4.3
7	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	123	3.9
8	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	44	1.4
9	高知空港	KCZ	日本	高知	42	1.3
10	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	34	1.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,116	100

⑩上海浦東国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	885	30.1
2	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	632	21.5
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	528	17.9
4	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	266	9.0
5	福岡空港	FUK	日本	福岡	105	3.6
6	大邱国際空港	TAE	韓国	大邱	99	3.4
7	仙台空港	SDJ	日本	仙台	53	1.8
8	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	48	1.6
9	延吉朝陽川空港	YNJ	中国	延吉	45	1.5
10	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	35	1.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					2,944	100

⑨台湾桃園国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	761	25.3
2	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	530	17.6
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	415	13.8
4	成田国際空港	NRT	日本	東京	345	11.5
5	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	260	8.7
6	東京国際空港	HND	日本	東京	216	7.2
7	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	120	4.0
8	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	69	2.3
9	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	63	2.1
10	松山空港	MYJ	日本	松山	46	1.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,004	100

⑩ダニエル・K・イノウエ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,105	37.3
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	843	28.4
3	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	155	5.2
4	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	150	5.1
5	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	144	4.9
6	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	130	4.4
7	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	65	2.2
8	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	64	2.2
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	44	1.5
10	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	36	1.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					2,965	100

2.2.2 目的空港

(1)2019年1月－6月

①東京国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	2,803	17.8
2	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	1,308	8.3
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,271	8.1
4	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	907	5.8
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	885	5.6
6	杭州蕭山国際空港	HGH	中国	杭州	788	5.0
7	宮古空港	MMY	日本	宮古島	610	3.9
8	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	602	3.8
9	福岡空港	FUK	日本	福岡	567	3.6
10	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	538	3.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					15,759	100

(2)2024年1月－6月

①新千歳空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	1,781	11.3
2	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,472	9.3
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,356	8.6
4	成田国際空港	NRT	日本	東京	1,328	8.4
5	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	1,215	7.7
6	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	982	6.2
7	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	870	5.5
8	那覇空港	OKA	日本	那覇	841	5.3
9	東京国際空港	HND	日本	東京	832	5.3
10	シンガポール・チャングイー国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	495	3.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					15,761	100

②新千歳空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	2,246	14.5
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,701	11.0
3	東京国際空港	HND	日本	東京	1,412	9.1
4	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	970	6.3
5	高知空港	KCZ	日本	高知	695	4.5
6	新石垣空港	ISG	日本	石垣	665	4.3
7	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	638	4.1
8	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	601	3.9
9	福岡空港	FUK	日本	福岡	578	3.7
10	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	528	3.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					15,450	100

②東京国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,618	16.4
2	廈門高崎国際空港	XMN	中国	廈門	1,486	15.1
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	798	8.1
4	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	725	7.4
5	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	542	5.5
6	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	347	3.5
7	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	314	3.2
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	276	2.8
9	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	262	2.7
10	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	242	2.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					9,844	100

③那覇空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	2,181	24.1
2	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	1,673	18.5
3	高知空港	KCZ	日本	高知	932	10.3
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	887	9.8
5	福岡空港	FUK	日本	福岡	771	8.5
6	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	477	5.3
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	235	2.6
8	シアトル・タコマ国際空港	SEA	アメリカ	シアトル	184	2.0
9	熊本空港	KMJ	日本	熊本	178	2.0
10	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	162	1.8
...	...	...			...	...
合計					9,066	100

④ダニエル・K・イノウエ国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,430	22.4
2	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,310	20.5
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	632	9.9
4	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	548	8.6
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	487	7.6
6	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	477	7.5
7	熊本空港	KMJ	日本	熊本	278	4.4
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	258	4.0
9	新千歳空港	CTS	日本	札幌	189	3.0
10	東京国際空港	HND	日本	東京	160	2.5
...	...	...			...	...
合計					6,380	100

③ダニエル・K・イノウエ国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,242	19.8
2	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,103	17.6
3	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1,073	17.1
4	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	761	12.1
5	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	651	10.4
6	那覇空港	OKA	日本	那覇	446	7.1
7	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	262	4.2
8	廈門高崎国際空港	XMN	中国	廈門	150	2.4
9	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	121	1.9
10	東京国際空港	HND	日本	東京	79	1.3
...	...	...			...	...
合計					6,268	100

④那覇空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	1,105	18.8
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,034	17.6
3	東京国際空港	HND	日本	東京	970	16.5
4	成田国際空港	NRT	日本	東京	561	9.6
5	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	425	7.2
6	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	206	3.5
7	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	184	3.1
8	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	146	2.5
9	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	113	1.9
10	ハマド国際空港	DOH	カタール	ドーハ	107	1.8
...	...	...			...	...
合計					5,866	100

⑤福岡空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	1,180	19.3
2	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	896	14.6
3	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	619	10.1
4	東京国際空港	HND	日本	東京	617	10.1
5	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	434	7.1
6	高知空港	KCZ	日本	高知	342	5.6
7	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	333	5.4
8	スミア国際空港	NOU	ニューカレドニア	スミア	172	2.8
9	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	158	2.6
10	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	135	2.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					6,124	100

⑤成田国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	789	18.0
2	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	546	12.5
3	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	345	7.9
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	327	7.5
5	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	263	6.0
6	杭州蕭山国際空港	HGH	中国	杭州	253	5.8
7	寧波櫟社国際空港	NGB	中国	寧波	199	4.5
8	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	128	2.9
9	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	111	2.5
10	蘇南碩放国際空港	WUX	中国	無錫	104	2.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					4,383	100

⑥台湾桃園国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	1,859	45.3
2	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	973	23.7
3	東京国際空港	HND	日本	東京	358	8.7
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	134	3.3
5	熊本空港	KMJ	日本	熊本	115	2.8
6	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	100	2.4
7	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	92	2.2
8	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	71	1.7
9	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	70	1.7
10	高知空港	KCZ	日本	高知	63	1.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					4,105	100

⑥ロサンゼルス国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	1,225	28.5
2	東京国際空港	HND	日本	東京	1,150	26.8
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,017	23.7
4	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	180	4.2
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	120	2.8
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	111	2.6
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	93	2.2
8	那覇空港	OKA	日本	那覇	85	2.0
9	新千歳空港	CTS	日本	札幌	41	1.0
10	宮古空港	MMY	日本	宮古島	39	0.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					4,295	100

⑦香港国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,702	46.6
2	成田国際空港	NRT	日本	東京	675	18.5
3	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	403	11.0
4	福岡空港	FUK	日本	福岡	310	8.5
5	東京国際空港	HND	日本	東京	164	4.5
6	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	85	2.3
7	高知空港	KCZ	日本	高知	84	2.3
8	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	67	1.8
9	熊本空港	KMJ	日本	熊本	56	1.5
10	ヌメア国際空港	NOU	ニューカレドニア	ヌメア	22	0.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,655	100

⑧ロサンゼルス国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	988	27.2
2	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	705	19.4
3	東京国際空港	HND	日本	東京	384	10.6
4	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	286	7.9
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	266	7.3
6	新千歳空港	CTS	日本	札幌	147	4.0
7	香港国際空港	HKG	中国	香港	130	3.6
8	那覇空港	OKA	日本	那覇	124	3.4
9	福岡空港	FUK	日本	福岡	121	3.3
10	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	84	2.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,636	100

⑦清州国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	1,001	31.3
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	708	22.1
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	420	13.1
4	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	181	5.7
5	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	161	5.0
6	深圳宝安国際空港	SZX	中国	深圳	135	4.2
7	東京国際空港	HND	日本	東京	124	3.9
8	新千歳空港	CTS	日本	札幌	98	3.1
9	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	95	3.0
10	シンガポール・チャング国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	62	1.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,199	100

⑧上海浦東国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,451	47.0
2	東京国際空港	HND	日本	東京	1,041	33.7
3	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	130	4.2
4	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	114	3.7
5	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	112	3.6
6	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	70	2.3
7	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	57	1.8
8	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	23	0.7
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	17	0.6
10	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	14	0.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,087	100

⑨上海浦東国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	2,156	60.2
2	東京国際空港	HND	日本	東京	888	24.8
3	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	302	8.4
4	ヌメア国際空港	NOU	ニューカレドニア	ヌメア	59	1.6
5	福岡空港	FUK	日本	福岡	42	1.2
6	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	32	0.9
7	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	18	0.5
8	新石垣空港	ISG	日本	石垣	12	0.3
9	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	11	0.3
10	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	11	0.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,580	100

⑩仁川国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	944	27.4
2	ヌメア国際空港	NOU	ニューカレドニア	ヌメア	809	23.4
3	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	325	9.4
4	高知空港	KCZ	日本	高知	294	8.5
5	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	213	6.2
6	オーケランド国際空港	AKL	ニュージーランド	オーケランド	213	6.2
7	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	173	5.0
8	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	69	2.0
9	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	61	1.8
10	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	45	1.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					3,451	100

⑨台湾桃園国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	1,290	44.5
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	469	16.2
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	376	13.0
4	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	177	6.1
5	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	155	5.3
6	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	142	4.9
7	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	79	2.7
8	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	57	2.0
9	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	44	1.5
10	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	24	0.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					2,900	100

⑩スワンナプーム空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	1,007	38.0
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	902	34.1
3	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	458	17.3
4	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	144	5.4
5	成田国際空港	NRT	日本	東京	53	2.0
6	大邱国際空港	TAE	韓国	大邱	35	1.3
7	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	17	0.6
8	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	15	0.6
9	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	7	0.3
10	那覇空港	OKA	日本	那覇	5	0.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					2,647	100

2.3 ブリッジ

(1)2019年1月－6月

①アムステルダム・スキポール空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スミア国際空港	NOU	ニューカレドニア	スミア	1,015	49.1
2	福岡空港	FUK	日本	福岡	524	25.3
3	東京国際空港	HND	日本	東京	255	12.3
4	那覇空港	OKA	日本	那覇	108	5.2
5	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	103	5.0
6	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	30	1.4
7	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	10	0.5
8	新千歳空港	CTS	日本	札幌	8	0.4
9	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	8	0.4
10	ンガラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	4	0.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					2,069	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	304	14.7
2	ボルドー＝メリニャック空港	BOD	フランス	ボルドー	154	7.4
3	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	115	5.6
4	ナント＝アトランティック空港	NTE	フランス	ナント	114	5.5
5	リヨン＝サン＝エグジュペリ国際空港	LYS	フランス	リヨン	110	5.3
6	ヴェネツィア・テッセラ空港	VCE	イタリア	ヴェネツィア	88	4.3
7	マルセイユ・プロヴァンス空港	MRS	フランス	マルセイユ	84	4.1
8	フィウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	82	4.0
9	トゥールーズ＝ブラニャック空港	TLS	フランス	トゥールーズ	81	3.9
10	アトランフォ・スアレス・マドリッド＝バラハス空港	MAD	スペイン	マドリッド	79	3.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					2,069	100

⑥東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	186	30.8
2	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	86	14.2
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	60	9.9
4	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	43	7.1
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	35	5.8
6	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	31	5.1
7	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	24	4.0
8	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	21	3.5
9	香港国際空港	HKG	中国	香港	20	3.3
10	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	20	3.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					604	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	174	28.8
2	ロンドン＝ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	51	8.4
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	50	8.3
4	函館空港	HKD	日本	函館	47	7.8
5	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	41	6.8
6	旭川空港	AKJ	日本	旭川	40	6.6
7	青森空港	AOJ	日本	青森	27	4.5
8	三沢空港	MSJ	日本	八戸	23	3.8
9	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	15	2.5
10	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	14	2.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					604	100

②ヘルシンキ・ヴァンター国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スミア国際空港	NOU	ニューカレドニア	スミア	782	42.5
2	東京国際空港	HND	日本	東京	501	27.2
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	190	10.3
4	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	98	5.3
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	88	4.8
6	新千歳空港	CTS	日本	札幌	72	3.9
7	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	62	3.4
8	新石垣空港	ISG	日本	石垣	13	0.7
9	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	10	0.5
10	香港国際空港	HKG	中国	香港	8	0.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					1,842	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	658	35.7
2	ストックホルム・アーランダ空港	ARN	スウェーデン	ストックホルム	186	10.1
3	オスロ空港	OSL	ノルウェー	オスロ	85	4.6
4	ジュネーヴ・コアントラン国際空港	GVA	スイス	ジュネーヴ	74	4.0
5	コペンハーゲン空港	CPH	デンマーク	コペンハーゲン	69	3.7
6	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	52	2.8
7	ベルリン・テゲル空港	TXL	ドイツ	ベルリン	46	2.5
8	ウンベルト・デルガード空港	LIS	ポルトガル	リスボン	41	2.2
9	ロヴァアニュミ空港	RVN	フィンランド	ロヴァアニュミ	38	2.1
10	ケブラヴィアーケ国際空港	KEF	アイスランド	レイキャヴィーク	38	2.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					1,842	100

⑦フランクフルト空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福岡空港	FUK	日本	福岡	182	30.2
2	スミア国際空港	NOU	ニューカレドニア	スミア	174	28.9
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	101	16.7
4	東京国際空港	HND	日本	東京	54	9.0
5	新千歳空港	CTS	日本	札幌	27	4.5
6	オークランド国際空港	AKL	ニュージーランド	オークランド	26	4.3
7	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	14	2.3
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	9	1.5
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	3	0.5
10	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	3	0.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					603	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	リヨン＝サン＝テグジュベリ国際空港	LYS	フランス	リヨン	58	9.6
2	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	55	9.1
3	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	33	5.5
4	マルセイユ・プロヴァンス空港	MRS	フランス	マルセイユ	31	5.1
5	コート・ダジュール空港	NCE	フランス	ニース	29	4.8
6	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	25	4.1
7	ライプツィヒ・ハレ空港	LEJ	ドイツ	ライプツィヒ	24	4.0
8	トゥールーズ＝ブラニャック空港	TLS	フランス	トゥールーズ	23	3.8
9	フィウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	20	3.3
10	リスト・フエレンツ国際空港	BUD	ハンガリー	ブダペスト	17	2.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					603	100

③パピリ＝シヤルル・ド・ゴール空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スミア国際空港	NOU	ニューカレドニア	スミア	708	56.4
2	福岡空港	FUK	日本	福岡	196	15.6
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	191	15.2
4	東京国際空港	HND	日本	東京	91	7.3
5	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	34	2.7
6	新千歳空港	CTS	日本	札幌	22	1.8
7	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	4	0.3
8	タンソンニャット国際空港	SGN	バトナム	ホーチミン	4	0.3
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	2	0.2
10	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	2	0.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					1,255	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ポー・ピレネー空港	PUF	フランス	ポー	143	11.4
2	マルセイユ・プロヴァンス空港	MRS	フランス	マルセイユ	90	7.2
3	ボルドー・メリニャック空港	BOD	フランス	ボルドー	80	6.4
4	トゥールーズ・ブラニャック空港	TLS	フランス	トゥールーズ	78	6.2
5	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	63	5.0
6	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	56	4.5
7	モンペリエ・メディテラネ空港	MPL	フランス	モンペリエ	53	4.2
8	ブレスト・ブルターニュ空港	BES	フランス	ブレスト	52	4.1
9	コート・ダジュール空港	NCE	フランス	ニース	51	4.1
10	ナント・アトランティック空港	NTE	フランス	ナント	46	3.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					1,255	100

⑧香港国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	299	51.8
2	成田国際空港	NRT	日本	東京	105	18.2
3	東京国際空港	HND	日本	東京	99	17.2
4	南通興東空港	NTG	中国	南通	38	6.6
5	福岡空港	FUK	日本	福岡	21	3.6
6	高知空港	KCZ	日本	高知	4	0.7
7	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	3	0.5
8	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	3	0.5
9	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	3	0.5
10	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	2	0.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					577	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	132	22.9
2	シャージャラル国際空港	DAC	ハンガリー	ブダペスト	124	21.5
3	フィウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	97	16.8
4	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	33	5.7
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	30	5.2
6	パース空港	PER	オーストラリア	パース	30	5.2
7	アデレード空港	ADL	オーストラリア	アデレード	20	3.5
8	トリブバン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	19	3.3
9	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	19	3.3
10	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	10	1.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					577	100

④サンフランシスコ国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	495	54.1
2	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	203	22.2
3	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	47	5.1
4	東京国際空港	HND	日本	東京	44	4.8
5	深圳宝安国際空港	SZX	中国	深圳	22	2.4
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	18	2.0
7	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	17	1.9
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	10	1.1
9	福岡空港	FUK	日本	福岡	9	1.0
10	杭州蕭山国際空港	HGH	中国	杭州	9	1.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					915	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	サンディエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	190	20.8
2	シアトル・タコマ国際空港	SEA	アメリカ	シアトル	93	10.2
3	ワシントン・ダレス国際空港	IAD	アメリカ	ワシントンD.C.	72	7.9
4	パームスプリングス国際空港	PSP	アメリカ	パームスプリングス	54	5.9
5	ハリー・リード国際空港	LAS	アメリカ	ラスベガス	49	5.4
6	ポートランド国際空港	PDX	アメリカ	ポートランド	46	5.0
7	フェニックス・スカイハーパー国際空港	PHX	アメリカ	フェニックス	27	3.0
8	ダラス・フォートワース国際空港	DFW	アメリカ	ダラス	27	3.0
9	デンバー国際空港	DEN	アメリカ	デンバー	27	3.0
10	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	23	2.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					915	100

⑨オークランド国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	304	55.4
2	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	102	18.6
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	54	9.8
4	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	41	7.5
5	東京国際空港	HND	日本	東京	24	4.4
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	16	2.9
7	那覇空港	OKA	日本	那覇	4	0.7
8	福州長楽国際空港	FOC	中国	福州	2	0.4
9	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	1	0.2
10	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	1	0.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					549	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	クライストチャーチ国際空港	CHC	ニュージーランド	クライストチャーチ	299	54.5
2	クイーンズタウン空港	ZQN	ニュージーランド	クイーンズタウン	103	18.8
3	ウェリントン国際空港	WLG	ニュージーランド	ウェリントン	62	11.3
4	ネルソン空港	NSN	ニュージーランド	ネルソン	36	6.6
5	ダニーデン国際空港	DUD	ニュージーランド	ダニーデン	9	1.6
6	ウッドボーン空港	BHE	ニュージーランド	ブレナム	7	1.3
7	ホークスベイ空港	NPE	ニュージーランド	ネーピア	7	1.3
8	ニュージーランド国際空港	NPL	ニュージーランド	ニュージーランド	5	0.9
9	パーマーストンノース空港	PMR	ニュージーランド	パーマーストンノース	5	0.9
10	タウポ空港	TUO	ニュージーランド	タウポ	4	0.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					549	100

⑤ロサンゼルス国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	398	47.7
2	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	210	25.1
3	東京国際空港	HND	日本	東京	74	8.9
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	59	7.1
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	37	4.4
6	新千歳空港	CTS	日本	札幌	22	2.6
7	福岡空港	FUK	日本	福岡	12	1.4
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	11	1.3
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	9	1.1
10	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	1	0.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					835	100

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	オーースチン・バーグストロム国際空港	AUS	アメリカ	オーースチン	94	11.3
2	ハリー・リード国際空港	LAS	アメリカ	ラスベガス	83	9.9
3	サンディエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	65	7.8
4	サンアントニオ国際空港	SAT	アメリカ	サンアントニオ	47	5.6
5	セントレイス・ランバート国際空港	STL	アメリカ	セントレイス	46	5.5
6	ツーンソン国際空港	TUS	アメリカ	ツーンソン	45	5.4
7	ソルトレイクシティ国際空港	SLC	アメリカ	ソルトレイクシティ	42	5.0
8	フェニックス・スカイハーパー国際空港	PHX	アメリカ	フェニックス	34	4.1
9	デンバー国際空港	DEN	アメリカ	デンバー	33	4.0
10	ジョージ・ブッシュ・インターコンチネンタル空港	IAH	アメリカ	ヒューストン	27	3.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					835	100

⑩シンクパーバー国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	246	46.6
2	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	131	24.8
3	インディアラ・ガンディール国際空港	DEL	インド	デリー	38	7.2
4	クラーク国際空港	CRK	フィリピン	マバラカット	32	6.1
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	20	3.8
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	17	3.2
7	東京国際空港	HND	日本	東京	15	2.8
8	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	7	1.3
9	新千歳空港	CTS	日本	札幌	6	1.1
10	ングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	4	0.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					528	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	エドモントン国際空港	YEG	カナダ	エドモントン	172	32.6
2	カルガリー国際空港	YYC	カナダ	カルガリー	115	21.8
3	ウィニペグ国際空港	YWG	カナダ	ウィニペグ	69	13.1
4	サスカトワン国際空港	YXE	カナダ	サスカトワン	30	5.7
5	レジャイナ国際空港	YQR	カナダ	レジャイナ	18	3.4
6	トロント・ピアソン国際空港	YYZ	カナダ	トロント	15	2.8
7	サンディエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	13	2.5
8	ビクトリア国際空港	YYJ	カナダ	ヴィクトリア	13	2.5
9	ポートランド国際空港	PDX	アメリカ	ポートランド	12	2.3
10	ハリー・リード国際空港	LAS	アメリカ	ラスベガス	11	2.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					528	100

(2)2024年1月－6月

①バンクーバー国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	680	44.9
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	174	11.5
3	東京国際空港	HND	日本	東京	125	8.3
4	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	118	7.8
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	111	7.3
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	75	5.0
7	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	41	2.7
8	那覇空港	OKA	日本	那覇	40	2.6
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	39	2.6
10	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	32	2.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					1,515	100

⑥ロサンゼルス国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	373	49.7
2	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	174	23.2
3	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	80	10.7
4	香港国際空港	HKG	中国	香港	62	8.3
5	東京国際空港	HND	日本	東京	26	3.5
6	那覇空港	OKA	日本	那覇	11	1.5
7	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	8	1.1
8	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	7	0.9
9	杭州蕭山国際空港	HGH	中国	杭州	3	0.4
10	福州長楽国際空港	FOC	中国	福州	2	0.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					750	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	カルガリー国際空港	YYC	カナダ	カルガリー	334	22.0
2	エドモントン国際空港	YEG	カナダ	エドモントン	256	16.9
3	オタワ・マクドナルド・カルティエ国際空港	YOW	カナダ	オタワ	116	7.7
4	サスカトゥーン・ピアース・マンロブ国際空港	YXE	カナダ	サスカトゥーン	103	6.8
5	トロント・ピアソン国際空港	YYZ	カナダ	トロント	101	6.7
6	リニペータ・ジャクソン・アームストロング国際空港	YWG	カナダ	ウィニペグ	101	6.7
7	レジャイナ国際空港	YQR	カナダ	レジャイナ	90	5.9
8	シアトル・タコマ国際空港	SEA	アメリカ	シアトル	49	3.2
9	モントリオール・ピエール・エリクソント国際空港	YUL	カナダ	モントリオール	47	3.1
10	ハリー・リード国際空港	LAS	アメリカ	ラスベガス	33	2.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					1,515	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	98	13.1
2	ソルトレイクシティ国際空港	SLC	アメリカ	ソルトレイクシティ	61	8.1
3	デッド・スチープリンス・アンカレッジ国際空港	ANC	アメリカ	アンカレッジ	50	6.7
4	ツーン国際空港	TUS	アメリカ	ツーン	38	5.1
5	フェニックス・スカイハーパー国際空港	PHX	アメリカ	フェニックス	38	5.1
6	オースチン・バーグストロム国際空港	AUS	アメリカ	オースチン	36	4.8
7	カルガリー国際空港	YYC	カナダ	カルガリー	34	4.5
8	ハリー・リード国際空港	LAS	アメリカ	ラスベガス	33	4.4
9	サクラメント国際空港	SMF	アメリカ	サクラメント	28	3.7
10	ジェネラル・エドワード・ローレンス・ローガン国際空港	BOS	アメリカ	ボストン	27	3.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					750	100

②サンフランシスコ国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	512	38.6
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	377	28.4
3	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	165	12.4
4	香港国際空港	HKG	中国	香港	57	4.3
5	東京国際空港	HND	日本	東京	52	3.9
6	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	45	3.4
7	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	27	2.0
8	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	17	1.3
9	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	16	1.2
10	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	13	1.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					1,326	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	サンディエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	238	17.9
2	ジョージ・ブッシュ・バイコンチネンタル空港	IAH	アメリカ	ヒューストン	93	7.0
3	シアトル・タコマ国際空港	SEA	アメリカ	シアトル	85	6.4
4	ハリー・リード国際空港	LAS	アメリカ	ラスベガス	79	6.0
5	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	77	5.8
6	トロント・ピアソン国際空港	YYZ	カナダ	トロント	70	5.3
7	ニューアーク・リパティール国際空港	EWB	アメリカ	ニューアーク	61	4.6
8	ポートランド国際空港	PDX	アメリカ	ポートランド	57	4.3
9	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	55	4.1
10	ワシントン・ダレス国際空港	IAD	アメリカ	ワシントンD.C.	45	3.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					1,326	100

⑦イスタンブール空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	248	41.5
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	104	17.4
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	100	16.7
4	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	59	9.9
5	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	58	9.7
6	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	17	2.8
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	5	0.8
8	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	4	0.7
9	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	2	0.3
10	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	1	0.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					598	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	リュブリャナ空港	LJU	スロベニア	リュブリャナ	40	6.7
2	スコピエ空港	SKP	北マケドニア	スコピエ	22	3.7
3	ザイリニユス国際空港	VNO	リトアニア	ザイリニユス	20	3.3
4	ヴェネツィア・テッセラ空港	VCE	イタリア	ヴェネツィア	20	3.3
5	マルセイユ・プロヴァンス空港	MRS	フランス	マルセイユ	18	3.0
6	バレンシア空港	VLC	スペイン	バレンシア	17	2.8
7	デュッセルドルフ空港	DUS	ドイツ	デュッセルドルフ	17	2.8
8	バルセロナ＝エル・プラット空港	BCN	スペイン	バルセロナ	17	2.8
9	ヴァーツラフ・ハヴェル・プラハ国際空港	PRG	チェコ	プラハ	16	2.7
10	ナポリ・カポデアイキア国際空港	NAP	イタリア	ナポリ	16	2.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					598	100

③新千歳空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	成田国際空港	NRT	日本	東京	952	87.1
2	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	80	7.3
3	宮古空港	MMY	日本	宮古島	17	1.6
4	新石垣空港	ISG	日本	石垣	10	0.9
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	8	0.7
6	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	7	0.6
7	ミュンヘン空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	6	0.5
8	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	5	0.5
9	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	3	0.3
10	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	2	0.2
...	...	...		...	...	...
合計					1,093	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	釧路空港	KUH	日本	釧路	758	69.4
2	女満別空港	MMB	日本	網走	211	19.3
3	青森空港	AOJ	日本	青森	85	7.8
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	24	2.2
5	函館空港	HKD	日本	函館	8	0.7
6	中標津空港	SHB	日本	根室	5	0.5
7	花巻空港	HNA	日本	盛岡	2	0.2
...						
合計					1,093	100

⑧シンガポール・チャンギ国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	227	50.7
2	新千歳空港	CTS	日本	札幌	209	46.7
3	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	8	1.8
4	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1	0.2
5	東京国際空港	HND	日本	東京	1	0.2
6	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	1	0.2
7	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	1	0.2
...						
合計					448	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	パース空港	PER	オーストラリア	パース	112	25.0
2	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	65	14.5
3	シドニー国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	63	14.1
4	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	37	8.3
5	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	33	7.4
6	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	22	4.9
7	チャトラパティ・シヴァージー国際空港	BOM	インド	ムンバイ	17	3.8
8	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	16	3.6
9	ダーウィン国際空港	DRW	オーストラリア	ダーウィン	12	2.7
10	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	8	1.8
...	...	...			...	...
合計					448	100

④東京国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	311	36.2
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	165	19.2
3	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	77	9.0
4	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	76	8.9
5	新石垣空港	ISG	日本	石垣	49	5.7
6	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	42	4.9
7	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	30	3.5
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	23	2.7
9	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	21	2.4
10	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	13	1.5
...	...	...			...	...
合計					858	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	旭川空港	AKJ	日本	旭川	165	19.2
2	ジョン・F・ケネディ国際空港	JFK	アメリカ	ニューヨーク	140	16.3
3	トロント・ピアソン国際空港	YYZ	カナダ	トロント	106	12.4
4	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	99	11.5
5	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	48	5.6
6	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	35	4.1
7	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	31	3.6
8	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	28	3.3
9	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	27	3.1
10	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	21	2.4
...	...	...			...	...
合計					858	100

⑨成田国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	202	48.2
2	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	170	40.6
3	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	41	9.8
4	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	4	1.0
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1	0.2
6	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	1	0.2
合計					419	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	旭川空港	AKJ	日本	旭川	168	40.1
2	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	69	16.5
3	サンディエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	27	6.4
4	ジョージ・ブッシュ・インターコンチネンタル空港	IAH	アメリカ	ヒューストン	21	5.0
5	モントリオール・ピエール・エドワード・ロレンツス・エリオット・ハート国際空港	YUL	カナダ	モントリオール	21	5.0
6	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	20	4.8
7	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	18	4.3
8	ジュネタル・エドワード・ローレンス・ローガン国際空港	BOS	アメリカ	ボストン	17	4.1
9	シアトル・タコマ国際空港	SEA	アメリカ	シアトル	14	3.3
10	オーケランド国際空港	AKL	ニュージーランド	オーケランド	11	2.6
...	...	...			...	...
合計					419	100

⑤ミュンヘン空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	231	29.2
2	東京国際空港	HND	日本	東京	106	13.4
3	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	100	12.6
4	ケアンズ国際空港	CNS	オーストラリア	ケアンズ	84	10.6
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	76	9.6
6	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	59	7.4
7	新千歳空港	CTS	日本	札幌	45	5.7
8	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	26	3.3
9	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	15	1.9
10	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	14	1.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					792	100

⑩ダニエル・K・イノウエ国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	65	18.2
2	香港国際空港	HKG	中国	香港	51	14.3
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	48	13.4
4	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	42	11.8
5	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	32	9.0
6	杭州蕭山国際空港	HGH	中国	杭州	29	8.1
7	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	18	5.0
8	廈門高崎国際空港	XMN	中国	廈門	15	4.2
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	14	3.9
10	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	14	3.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					357	100

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ベルリン・ブランデンブルグ国際空港	BER	ドイツ	ベルリン	47	5.9
2	ハンブルグ空港	HAM	ドイツ	ハンブルク	41	5.2
3	ドレスデン空港	DRS	ドイツ	ドレスデン	37	4.7
4	ブリュッセル空港	BRU	ベルギー	ブリュッセル	30	3.8
5	リヨン・サン＝テグジュペリ国際空港	LYS	フランス	リヨン	29	3.7
6	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	27	3.4
7	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	25	3.2
8	ポルト空港	OPO	ポルトガル	ポルト	24	3.0
9	ウンパレル・デルガード空港	LIS	ポルトガル	リスボン	23	2.9
10	トゥールーズ・ブラニャック空港	TLS	フランス	トゥールーズ	23	2.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					792	100

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	コナ国際空港	KOA	アメリカ	カイルア・コナ	55	15.4
2	ハリー・リード国際空港	LAS	アメリカ	ラスベガス	45	12.6
3	カフルイ空港	OGG	アメリカ	カフルイ	39	10.9
4	リフエ空港	LIH	アメリカ	リフエ	38	10.6
5	サンディエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	28	7.8
6	ヒロ国際空港	ITO	アメリカ	ヒロ	28	7.8
7	サクラメント国際空港	SMF	アメリカ	サクラメント	23	6.4
8	パゴパゴ国際空港	PPG	アメリカ領サモア	パゴパゴ	19	5.3
9	シアトル・タコマ国際空港	SEA	アメリカ	シアトル	13	3.6
10	ポートランド国際空港	PDX	アメリカ	ポートランド	13	3.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					357	100

【詳細表】

3 福岡空港

3.1 ビヨンド

3.1.1 経由空港

(1)2019年1月～6月

①東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	32,609	25.0
2	青森空港	AOJ	日本	青森	8,139	6.3
3	秋田空港	AXT	日本	秋田	7,770	6.0
4	函館空港	HKD	日本	函館	7,553	5.8
5	富山空港	TOY	日本	富山	7,356	5.7
6	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	6,165	4.7
7	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	4,898	3.8
8	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	4,300	3.3
9	小松空港	KMQ	日本	金沢	3,787	2.9
10	旭川空港	AKJ	日本	旭川	3,707	2.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					130,183	100

(2)2024年1月～6月

①東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	32,553	26.1
2	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	7,859	6.3
3	青森空港	AOJ	日本	青森	7,609	6.1
4	秋田空港	AXT	日本	秋田	7,089	5.7
5	函館空港	HKD	日本	函館	6,599	5.3
6	小松空港	KMQ	日本	金沢	4,820	3.9
7	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	4,551	3.6
8	富山空港	TOY	日本	富山	4,136	3.3
9	旭川空港	AKJ	日本	旭川	3,946	3.2
10	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	3,070	2.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					124,738	100

②金海国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	済州国際空港	CJU	韓国	済州	29,383	43.5
2	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	28,473	42.2
3	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	2,142	3.2
4	シェムリアップ国際空港	REP	カンボジア	シェムリアップ	968	1.4
5	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	861	1.3
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	614	0.9
7	三亜鳳凰国際空港	SYX	中国	三亜	613	0.9
8	ウラジオストク国際空港	VVO	ロシア	ウラジオストク	595	0.9
9	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	545	0.8
10	マカオ国際空港	MFM	中国	マカオ	401	0.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					67,550	100

②金海国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	28,831	59.1
2	済州国際空港	CJU	韓国	済州	19,353	39.7
3	関西国際空港	KIX	日本	大阪	98	0.2
4	海口美蘭国際空港	HAK	中国	海口	88	0.2
5	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	67	0.1
6	マカオ国際空港	MFM	中国	マカオ	52	0.1
7	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	49	0.1
8	成田国際空港	NRT	日本	東京	39	0.1
9	チンギスハーン国際空港	UBN	モンゴル	ウランバートル	28	0.1
10	タグビララン空港	TAG	フィリピン	タグビララン	23	0.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					48,744	100

③仁川国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	4,191	7.5
2	瀋陽桃仙国際空港	SHE	中国	瀋陽	2,578	4.6
3	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	2,392	4.3
4	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	2,369	4.2
5	フイミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	2,205	3.9
6	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,783	3.2
7	ミラノ・マルペンサ空港	MXP	イタリア	ミラノ	1,493	2.7
8	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	1,467	2.6
9	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	1,400	2.5
10	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	1,233	2.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					55,986	100

③上海浦東国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	1,848	4.8
2	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	1,446	3.7
3	成都天府国際空港	TFU	中国	成都	1,360	3.5
4	北京大興国際空港	PKX	中国	北京	1,323	3.4
5	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	1,215	3.1
6	武漢天河国際空港	WUH	中国	武漢	1,205	3.1
7	瀋陽桃仙国際空港	SHE	中国	瀋陽	1,072	2.8
8	重慶江北国際空港	CKG	中国	重慶	1,059	2.7
9	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	1,048	2.7
10	ングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	1,014	2.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					38,797	100

④成田国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	3,384	8.1
2	ダラス・フォートワース国際空港	DFW	アメリカ	ダラス	2,240	5.4
3	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	2,134	5.1
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	2,123	5.1
5	シカゴ・オヘア国際空港	ORD	アメリカ	シカゴ	2,050	4.9
6	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	1,900	4.6
7	オークランド国際空港	AKL	ニュージーランド	オークランド	1,391	3.3
8	ジョージア・ジョン・マクドナルド国際空港	IAH	アメリカ	ヒューストン	1,268	3.0
9	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	1,260	3.0
10	サンフランシスコ国際空港	SFO	アメリカ	サンフランシスコ	1,188	2.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					41,614	100

④仁川国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ハマド国際空港	DOH	カタール	ドーハ	1,765	6.9
2	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1,412	5.5
3	トリバン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	1,266	5.0
4	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	1,215	4.8
5	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	1,132	4.4
6	成田国際空港	NRT	日本	東京	1,028	4.0
7	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	797	3.1
8	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	761	3.0
9	フイミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	710	2.8
10	イスタンブール空港	IST	トルコ	イスタンブール	702	2.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					25,523	100

⑤上海浦東国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	成都双流国際空港	CTU	中国	成都	1,541	4.4
2	昆明長水国際空港	KMG	中国	昆明	1,442	4.1
3	フイウミチーノ空港	FCO	イタリア	ローマ	1,395	4.0
4	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,256	3.6
5	西安咸陽国際空港	XIY	中国	西安	1,212	3.5
6	瀋陽桃仙国際空港	SHE	中国	瀋陽	1,169	3.4
7	シグラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	1,156	3.3
8	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	1,081	3.1
9	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	1,005	2.9
10	武漢天河国際空港	WUH	中国	武漢	933	2.7
...	...	...			...	...
合計					34,812	100

⑤那覇空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	宮古空港	MMY	日本	宮古島	7,974	36.4
2	新石垣空港	ISG	日本	石垣	7,730	35.3
3	下地島空港	SHI	日本	宮古島	4,805	21.9
4	久米島空港	UEO	日本	久米島	575	2.6
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	373	1.7
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	202	0.9
7	沖永良部空港	OKI	日本	沖永良部島	116	0.5
8	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	48	0.2
9	奄美空港	ASJ	日本	奄美	47	0.2
10	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	42	0.2
...	...	...			...	...
合計					21,922	100

⑥シンガポール・チャンギ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シグラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	7,527	31.3
2	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	2,996	12.5
3	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	2,531	10.5
4	プーケット国際空港	HKT	タイ	プーケット	1,364	5.7
5	パナン国際空港	PEN	マレーシア	パナン	1,339	5.6
6	ヴェラナ国際空港	MLE	モルディブ	マレ	1,057	4.4
7	パース空港	PER	オーストラリア	パース	968	4.0
8	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	883	3.7
9	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	855	3.6
10	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	531	2.2
...	...	...			...	...
合計					24,027	100

⑥香港国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	1,770	9.7
2	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1,578	8.6
3	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	1,409	7.7
4	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	1,140	6.2
5	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	1,018	5.6
6	トリブバン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	971	5.3
7	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	873	4.8
8	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	749	4.1
9	ミラノ・マルペンサ空港	MPX	イタリア	ミラノ	674	3.7
10	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	598	3.3
...	...	...			...	...
合計					18,282	100

⑦台湾桃園国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	4,496	20.0
2	タンソンニャット国際空港	SGN	バトナム	ホーチミン	2,186	9.7
3	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	1,183	5.3
4	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,019	4.5
5	広州白雲国際空港	CAN	中国	広州	1,007	4.5
6	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	935	4.2
7	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	874	3.9
8	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	786	3.5
9	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	783	3.5
10	ノイバイ国際空港	HAN	バトナム	ハノイ	728	3.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					22,476	100

⑧香港国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	1,065	6.6
2	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	774	4.8
3	トリバパン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	712	4.4
4	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	690	4.2
5	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	653	4.0
6	ヤンゴン国際空港	RGN	ミャンマー	ヤンゴン	595	3.7
7	O・R・タンボ国際空港	JNB	南アフリカ	ヨハネスブルグ	558	3.4
8	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	554	3.4
9	バンダラナイケ国際空港	CMB	スリランカ	コロンボ	509	3.1
10	シャージャラル国際空港	DAC	バングラデシュ	ダッカ	503	3.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					16,241	100

⑦シンガポール・チャンギ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ンガラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	3,590	20.2
2	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	2,217	12.5
3	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	2,214	12.4
4	パース空港	PER	オーストラリア	パース	1,226	6.9
5	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	1,113	6.3
6	ヴェラナ国際空港	MLE	モルディブ	マレ	974	5.5
7	ペナン国際空港	PEN	マレーシア	ペナン	802	4.5
8	ジュアンダ国際空港	SUB	インドネシア	スラバヤ	607	3.4
9	プーケット国際空港	HKT	タイ	プーケット	604	3.4
10	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	518	2.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					17,784	100

⑧大阪国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	5,284	30.5
2	福島空港	FKS	日本	福島	2,376	13.7
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	2,253	13.0
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,741	10.0
5	新潟空港	KIJ	日本	新潟	1,419	8.2
6	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,031	5.9
7	高知空港	KCZ	日本	高知	767	4.4
8	青森空港	AOJ	日本	青森	655	3.8
9	山形空港	GAJ	日本	山形	316	1.8
10	函館空港	HKD	日本	函館	291	1.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					17,348	100

⑨ノイバイ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	3,918	27.0
2	シェムリアップ国際空港	REP	カンボジア	シェムリアップ	3,011	20.7
3	ダナン国際空港	DAD	ベトナム	ダナン	2,422	16.7
4	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	1,378	9.5
5	ヤンゴン国際空港	RGN	ミャンマー	ヤンゴン	1,221	8.4
6	スワンナプーム国際空港	BKK	タイ	バンコク	1,153	7.9
7	フバイ国際空港	HUI	ベトナム	フエ	538	3.7
8	ワットタイ国際空港	VTE	ラオス	ヴィエンチャン	183	1.3
9	ルアンパバーン国際空港	LPQ	ラオス	ルアンパバーン	160	1.1
10	チェンマイ国際空港	CNX	タイ	チェンマイ	130	0.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					14,530	100

⑨台湾桃園国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	スワンナプーム国際空港	BKK	タイ	バンコク	2,328	13.4
2	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	1,239	7.1
3	パリ＝シャルル・ド・ゴール国際空港	CDG	フランス	パリ	1,222	7.1
4	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,161	6.7
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1,130	6.5
6	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	776	4.5
7	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	723	4.2
8	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	625	3.6
9	ダナン国際空港	DAD	ベトナム	ダナン	611	3.5
10	ミュンヘン国際空港	MUC	ドイツ	ミュンヘン	600	3.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					17,329	100

⑩大阪国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	4,495	32.2
2	福島空港	FKS	日本	福島	1,886	13.5
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,717	12.3
4	青森空港	AOJ	日本	青森	906	6.5
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	818	5.9
6	ドバイ国際空港	DXB	アラブ首長国連邦	ドバイ	682	4.9
7	高知空港	KCZ	日本	高知	669	4.8
8	仙台空港	SDJ	日本	仙台	600	4.3
9	新潟空港	KIJ	日本	新潟	487	3.5
10	秋田空港	AXT	日本	秋田	388	2.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					13,949	100

⑩ニノイ・アキノ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シングラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	2,042	15.8
2	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	1,577	12.2
3	クアラルンプール国際空港	KUL	マレーシア	クアラルンプール	1,288	10.0
4	ダバオ国際空港	DVO	フィリピン	ダバオ	1,089	8.4
5	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	1,056	8.2
6	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	815	6.3
7	ロハス空港	RXS	フィリピン	ロハス	747	5.8
8	バコロド＝シライ国際空港	BCD	フィリピン	バコロド	538	4.2
9	スワンナプーム国際空港	BKK	タイ	バンコク	529	4.1
10	サンボア＝アンガ国際空港	ZAM	フィリピン	サンボア＝アンガ	425	3.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					12,899	100

3.1.2 目的空港

(1)2019年1月－6月

①新千歳空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	32,609	75.3
2	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	3,886	9.0
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	2,123	4.9
4	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1,717	4.0
5	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,411	3.3
6	関西国際空港	KIX	日本	大阪	578	1.3
7	松本空港	MMJ	日本	松本	277	0.6
8	花巻空港	HNA	日本	盛岡	270	0.6
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	224	0.5
10	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	131	0.3
...	...	...			...	...
合計					43,293	100

(2)2024年1月－6月

①新千歳空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	32,553	81.8
2	成田国際空港	NRT	日本	東京	2,788	7.0
3	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1,741	4.4
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,656	4.2
5	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	761	1.9
6	静岡空港	FSZ	日本	静岡	182	0.5
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	98	0.2
8	新潟空港	KIJ	日本	新潟	10	0.0
合計					39,789	100

②金浦国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	28,473	86.9
2	大邱国際空港	TAE	韓国	大邱	4,252	13.0
3	東京国際空港	HND	日本	東京	30	0.1
合計					32,755	100

②金浦国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	28,831	99.9
2	東京国際空港	HND	日本	東京	23	0.1
合計					28,854	100

③ 済州国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	29,383	98.4
2	大邱国際空港	TAE	韓国	大邱	456	1.5
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	31	0.1
合計					29,870	100

④ シンガポール・ライオン国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シンガポール・チャナンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	7,527	48.2
2	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	5,419	34.7
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,156	7.4
4	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	889	5.7
5	関西国際空港	KIX	日本	大阪	323	2.1
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	191	1.2
7	香港国際空港	HKG	中国	香港	32	0.2
8	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	31	0.2
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	26	0.2
10	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	5	0.0
...	...	...			...	...
合計					15,602	100

③ 済州国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	19,353	99.4
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	118	0.6
3	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	8	0.0
合計					19,479	100

④ 東京国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	5,284	44.8
2	松山空港	MYJ	日本	松山	1,693	14.4
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	1,513	12.8
4	高知空港	KCZ	日本	高知	973	8.3
5	徳島空港	TKS	日本	徳島	936	7.9
6	小松空港	KMQ	日本	金沢	830	7.0
7	出雲空港	IZO	日本	松江	381	3.2
8	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	103	0.9
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	66	0.6
10	那覇空港	OKA	日本	那覇	3	0.0
...	...	...			...	...
合計					11,782	100

⑤ダニエル・K・イノウエ国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	4,898	34.7
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	4,191	29.7
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	3,384	24.0
4	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	703	5.0
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	500	3.5
6	新千歳空港	CTS	日本	札幌	379	2.7
7	関西国際空港	KIX	日本	大阪	28	0.2
8	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	24	0.2
9	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	10	0.1
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	2	0.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					14,120	100

⑤青森空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	7,609	84.8
2	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	655	7.3
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	360	4.0
4	名古屋飛行場	NKM	日本	名古屋	345	3.8
合計					8,969	100

⑥東京国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	4,495	38.0
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	2,232	18.9
3	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,488	12.6
4	徳島空港	TKS	日本	徳島	1,199	10.1
5	松山空港	MYJ	日本	松山	918	7.8
6	高知空港	KCZ	日本	高知	792	6.7
7	関西国際空港	KIX	日本	大阪	567	4.8
8	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	124	1.0
9	那覇空港	OKA	日本	那覇	7	0.1
10	新千歳空港	CTS	日本	札幌	3	0.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					11,826	100

⑥ダニエル・K・イノウエ国際空港

順位	経由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	7,859	89.1
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	663	7.5
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	191	2.2
4	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	85	1.0
5	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	20	0.2
合計					8,818	100

⑦スワンナプーム空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	4,496	38.1
2	ノイバイ国際空港	HAN	バトナム	ハノイ	1,153	9.8
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,005	8.5
4	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	913	7.7
5	マカオ国際空港	MFM	中国	マカオ	792	6.7
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	774	6.6
7	東京国際空港	HND	日本	東京	611	5.2
8	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	531	4.5
9	タンソンニャット国際空港	SGN	バトナム	ホーチミン	510	4.3
10	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	483	4.1
...	...	...			...	...
合計					11,803	100

⑦宮古空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	7,974	96.2
2	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	318	3.8
合計					8,292	100

⑧ノリ＝シャルル・ド・ゴール空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	6,165	52.8
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,783	15.3
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,256	10.8
4	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	935	8.0
5	成田国際空港	NRT	日本	東京	673	5.8
6	関西国際空港	KIX	日本	大阪	306	2.6
7	ヘルシンキ・ヴァンター国際空港	HEL	フィンランド	ヘルシンキ	264	2.3
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	171	1.5
9	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	63	0.5
10	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	17	0.1
...	...	...			...	...
合計					11,672	100

⑧新石垣空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	7,730	94.0
2	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	497	6.0
合計					8,227	100

⑨青森空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	8,139	82.2
2	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	906	9.2
3	名古屋飛行場	NKM	日本	名古屋	470	4.7
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	384	3.9
合計					9,899	100

⑩ロサンゼルス国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	3,685	37.6
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	2,369	24.2
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	2,134	21.8
4	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	648	6.6
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	287	2.9
6	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	241	2.5
7	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	188	1.9
8	関西国際空港	KIX	日本	大阪	133	1.4
9	香港国際空港	HKG	中国	香港	73	0.7
10	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	34	0.3
...	...	...			...	...
合計					9,792	100

⑨秋田空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	7,089	90.9
2	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	422	5.4
3	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	254	3.3
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	36	0.5
合計					7,801	100

⑩シドニー国際空港

順位	經由空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	3,590	48.9
2	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	2,042	27.8
3	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	1,014	13.8
4	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	368	5.0
5	香港国際空港	HKG	中国	香港	245	3.3
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	75	1.0
7	東京国際空港	HND	日本	東京	7	0.1
8	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	3	0.0
9	成田国際空港	NRT	日本	東京	1	0.0
合計					7,345	100

3.2 ビハインド

3.2.1 出発空港

(1) 2019年1月～6月

① 那覇空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	13,451	49.0
2	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	3,953	14.4
3	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,343	4.9
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,339	4.9
5	対馬空港	TSJ	日本	対馬	1,257	4.6
6	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1,049	3.8
7	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	816	3.0
8	新潟空港	KIJ	日本	新潟	765	2.8
9	新千歳空港	CTS	日本	札幌	704	2.6
10	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	625	2.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					27,439	100

(2) 2024年1月～6月

① 那覇空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	11,887	27.4
2	静岡空港	FSZ	日本	静岡	5,739	13.2
3	成田国際空港	NRT	日本	東京	3,228	7.4
4	対馬空港	TSJ	日本	対馬	3,002	6.9
5	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	2,629	6.1
6	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	2,394	5.5
7	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	1,902	4.4
8	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,748	4.0
9	新潟空港	KIJ	日本	新潟	1,611	3.7
10	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,545	3.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					43,368	100

② 東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	11,766	43.8
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	7,869	29.3
3	松山空港	MYJ	日本	松山	1,810	6.7
4	対馬空港	TSJ	日本	対馬	994	3.7
5	大邱国際空港	TAE	韓国	大邱	674	2.5
6	新石垣空港	ISG	日本	石垣	669	2.5
7	高知空港	KCZ	日本	高知	655	2.4
8	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	463	1.7
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	461	1.7
10	福江空港	FUJ	日本	五島	453	1.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					26,888	100

② 東京国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	11,842	27.5
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	7,872	18.3
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	4,452	10.4
4	天草空港	AXJ	日本	天草	3,077	7.2
5	清州国際空港	CJJ	韓国	清州	2,631	6.1
6	対馬空港	TSJ	日本	対馬	2,106	4.9
7	松山空港	MYJ	日本	松山	1,555	3.6
8	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	1,457	3.4
9	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	1,333	3.1
10	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,317	3.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					43,004	100

③宮崎空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	7,528	28.3
2	松山空港	MYJ	日本	松山	4,181	15.7
3	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	2,818	10.6
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	2,635	9.9
5	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,730	6.5
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,203	4.5
7	那覇空港	OKA	日本	那覇	973	3.7
8	対馬空港	TSJ	日本	対馬	973	3.7
9	新千歳空港	CTS	日本	札幌	882	3.3
10	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	829	3.1
...	...	...			...	...
合計					26,584	100

③宮崎空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	6,169	25.3
2	松山空港	MYJ	日本	松山	3,310	13.6
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,874	7.7
4	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,759	7.2
5	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,613	6.6
6	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1,523	6.2
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,410	5.8
8	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,410	5.8
9	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,283	5.3
10	対馬空港	TSJ	日本	対馬	1,174	4.8
...	...	...			...	...
合計					24,417	100

④松山空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	名古屋飛行場	NKM	日本	名古屋	11,482	57.9
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	4,333	21.8
3	東京国際空港	HND	日本	東京	2,326	11.7
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	273	1.4
5	マカオ国際空港	MFM	中国	マカオ	249	1.3
6	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	230	1.2
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	226	1.1
8	新千歳空港	CTS	日本	札幌	199	1.0
9	那覇空港	OKA	日本	那覇	98	0.5
10	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	83	0.4
...	...	...			...	...
合計					19,835	100

④松山空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	名古屋飛行場	NKM	日本	名古屋	10,069	52.2
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	5,098	26.4
3	東京国際空港	HND	日本	東京	2,090	10.8
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	520	2.7
5	花巻空港	HNA	日本	盛岡	251	1.3
6	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	224	1.2
7	松本空港	MMJ	日本	松本	205	1.1
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	172	0.9
9	福江空港	FUJ	日本	五島	107	0.6
10	仙台空港	SDJ	日本	仙台	84	0.4
...	...	...			...	...
合計					19,292	100

⑤ 済州国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	10,425	60.0
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	3,840	22.1
3	新潟空港	KIJ	日本	新潟	2,104	12.1
4	徳島空港	TKS	日本	徳島	350	2.0
5	小松空港	KMQ	日本	金沢	338	1.9
6	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	314	1.8
7	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	6	0.0
8	成田国際空港	NRT	日本	東京	6	0.0
9	東京国際空港	HND	日本	東京	1	0.0
10	那覇空港	OKA	日本	那覇	1	0.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					17,385	100

⑥ 仁川国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	金海国際空港	PUS	韓国	金山	5,258	34.1
2	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,866	12.1
3	新潟空港	KIJ	日本	新潟	1,681	10.9
4	静岡空港	FSZ	日本	静岡	1,327	8.6
5	茨城空港	IBR	日本	水戸	1,253	8.1
6	仙台空港	SDJ	日本	仙台	931	6.0
7	徳島空港	TKS	日本	徳島	797	5.2
8	東京国際空港	HND	日本	東京	552	3.6
9	松山空港	MYJ	日本	松山	492	3.2
10	高知空港	KCZ	日本	高知	402	2.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					15,429	100

⑤ 対馬空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	3,262	20.8
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	2,535	16.2
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,991	12.7
4	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	1,922	12.3
5	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,657	10.6
6	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1,130	7.2
7	福江空港	FUJ	日本	五島	824	5.3
8	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	665	4.2
9	新潟空港	KIJ	日本	新潟	520	3.3
10	新千歳空港	CTS	日本	札幌	467	3.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					15,670	100

⑥ 仁川国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	3,475	25.1
2	茨城空港	IBR	日本	水戸	1,877	13.6
3	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,527	11.0
4	新潟空港	KIJ	日本	新潟	1,497	10.8
5	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,251	9.0
6	東京国際空港	HND	日本	東京	1,181	8.5
7	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	554	4.0
8	那覇空港	OKA	日本	那覇	545	3.9
9	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	298	2.2
10	仙台空港	SDJ	日本	仙台	257	1.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					13,829	100

⑦仙台空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	3,065	23.0
2	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	2,139	16.0
3	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	1,169	8.8
4	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,162	8.7
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,063	8.0
6	新石垣空港	ISG	日本	石垣	986	7.4
7	香港国際空港	HKG	中国	香港	860	6.4
8	対馬空港	TSJ	日本	対馬	711	5.3
9	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	495	3.7
10	松山空港	MYJ	日本	松山	355	2.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					13,342	100

⑧対馬空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,836	14.4
2	東京国際空港	HND	日本	東京	1,799	14.1
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,609	12.6
4	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	1,539	12.1
5	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,191	9.3
6	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	1,000	7.8
7	関西国際空港	KIX	日本	大阪	823	6.5
8	福江空港	FUJ	日本	五島	686	5.4
9	新石垣空港	ISG	日本	石垣	644	5.1
10	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	482	3.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					12,744	100

⑦静岡空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,087	9.5
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	933	8.2
3	香港国際空港	HKG	中国	香港	846	7.4
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	674	5.9
5	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	82	0.7
6	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	21	0.2
7	秋田空港	AXT	日本	秋田	9	0.1
8	仙台空港	SDJ	日本	仙台	6	0.1
9	天津浜海国際空港	TSN	中国	天津	3	0.0
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	2	0.0
...	...	...	...	...	...	...
合計					11,414	100

⑧天草空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	静岡空港	FSZ	日本	静岡	2,227	20.3
2	大邱国際空港	TAE	韓国	大邱	1,968	18.0
3	東京国際空港	HND	日本	東京	1,581	14.4
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,163	10.6
5	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	935	8.5
6	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	884	8.1
7	仙台空港	SDJ	日本	仙台	752	6.9
8	小松空港	KMQ	日本	金沢	505	4.6
9	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	351	3.2
10	新潟潟空港	KIJ	日本	新潟	183	1.7
...	...	...	...	...	...	...
合計					10,945	100

⑨小牧空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	松山空港	MYJ	日本	松山	11,108	99.8
2	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	24	0.2
3	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	1	0.0
合計					11,133	100

⑩中部国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	3,041	30.1
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	2,808	27.8
3	新石垣空港	ISG	日本	石垣	1,430	14.2
4	対馬空港	TSJ	日本	対馬	560	5.5
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	461	4.6
6	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	333	3.3
7	ニノイ・アギノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	308	3.0
8	福江空港	FUJ	日本	五島	253	2.5
9	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	223	2.2
10	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	139	1.4
...	...	...			...	...
合計					10,105	100

⑨大阪国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	2,113	19.4
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,988	18.3
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1,334	12.2
4	対馬空港	TSJ	日本	対馬	991	9.1
5	天草空港	AXJ	日本	天草	788	7.2
6	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	772	7.1
7	福江空港	FUJ	日本	五島	556	5.1
8	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	490	4.5
9	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	370	3.4
10	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	344	3.2
...	...	...			...	...
合計					10,890	100

⑩仙台空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	3,041	29.1
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,277	12.2
3	天草空港	AXJ	日本	天草	1,155	11.0
4	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	985	9.4
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	838	8.0
6	対馬空港	TSJ	日本	対馬	828	7.9
7	徳島空港	TKS	日本	徳島	456	4.4
8	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	365	3.5
9	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	353	3.4
10	香港国際空港	HKG	中国	香港	239	2.3
...	...	...			...	...
合計					10,460	100

3.2.2 目的空港

(1)2019年1月－6月

①仁川国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	済州国際空港	CJU	韓国	済州	10,425	29.5
2	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	6,274	17.8
3	函館空港	HKD	日本	函館	6,150	17.4
4	静岡空港	FSZ	日本	静岡	2,158	6.1
5	茨城空港	IBR	日本	水戸	1,629	4.6
6	秋田空港	AXT	日本	秋田	1,453	4.1
7	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,298	3.7
8	新潟空港	KIJ	日本	新潟	1,212	3.4
9	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,063	3.0
10	富山空港	TOY	日本	富山	842	2.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					35,312	100

(2)2024年1月－6月

①那覇空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	11,842	31.9
2	静岡空港	FSZ	日本	静岡	6,640	17.9
3	対馬空港	TSJ	日本	対馬	2,535	6.8
4	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1,988	5.4
5	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	1,759	4.7
6	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	1,617	4.4
7	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	1,329	3.6
8	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,277	3.4
9	福江空港	FUJ	日本	五島	1,198	3.2
10	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,175	3.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					37,073	100

②東京国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	13,451	44.2
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	7,528	24.8
3	松山空港	MYJ	日本	松山	2,326	7.6
4	対馬空港	TSJ	日本	対馬	1,799	5.9
5	奄美空港	ASJ	日本	奄美	1,300	4.3
6	福江空港	FUJ	日本	五島	942	3.1
7	高知空港	KCZ	日本	高知	678	2.2
8	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	552	1.8
9	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	511	1.7
10	新石垣空港	ISG	日本	石垣	396	1.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					30,407	100

②宮崎空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	7,872	21.8
2	松山空港	MYJ	日本	松山	5,098	14.1
3	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	3,475	9.6
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	3,041	8.4
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	2,394	6.6
6	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	2,113	5.8
7	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	2,093	5.8
8	福江空港	FUJ	日本	五島	2,048	5.7
9	対馬空港	TSJ	日本	対馬	1,922	5.3
10	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,742	4.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					36,179	100

③宮崎空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	7,869	26.3
2	松山空港	MYJ	日本	松山	4,333	14.5
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	3,065	10.2
4	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	2,808	9.4
5	福江空港	FUJ	日本	五島	1,781	5.9
6	対馬空港	TSJ	日本	対馬	1,539	5.1
7	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,459	4.9
8	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,283	4.3
9	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1,186	4.0
10	新千歳空港	CTS	日本	札幌	882	2.9
...	...	...			...	...
合計					29,941	100

④那覇空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	11,766	41.4
2	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	3,041	10.7
3	新千歳空港	CTS	日本	札幌	2,299	8.1
4	対馬空港	TSJ	日本	対馬	1,836	6.5
5	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1,335	4.7
6	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,202	4.2
7	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	1,189	4.2
8	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1,162	4.1
9	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	973	3.4
10	新潟空港	KIJ	日本	新潟	968	3.4
...	...	...			...	...
合計					28,388	100

③東京国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	11,887	37.7
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	6,169	19.6
3	対馬空港	TSJ	日本	対馬	3,262	10.3
4	松山空港	MYJ	日本	松山	2,090	6.6
5	天草空港	AXJ	日本	天草	1,581	5.0
6	福江空港	FUJ	日本	五島	1,446	4.6
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	1,181	3.7
8	高知空港	KCZ	日本	高知	789	2.5
9	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	755	2.4
10	奄美空港	ASJ	日本	奄美	497	1.6
...	...	...			...	...
合計					31,537	100

④松山空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	名古屋飛行場	NKM	日本	名古屋	8,012	53.1
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	3,310	22.0
3	東京国際空港	HND	日本	東京	1,555	10.3
4	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	342	2.3
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	283	1.9
6	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	280	1.9
7	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	187	1.2
8	花巻空港	HNA	日本	盛岡	159	1.1
9	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	159	1.1
10	屋久島空港	KUM	日本	屋久島	126	0.8
...	...	...			...	...
合計					15,076	100

⑤松山空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	名古屋飛行場	NKM	日本	名古屋	11,108	55.4
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	4,181	20.9
3	東京国際空港	HND	日本	東京	1,810	9.0
4	マカオ国際空港	MFM	中国	マカオ	576	2.9
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	492	2.5
6	仙台空港	SDJ	日本	仙台	355	1.8
7	新千歳空港	CTS	日本	札幌	322	1.6
8	花巻空港	HNA	日本	盛岡	217	1.1
9	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	163	0.8
10	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	96	0.5
...	...	...			...	...
合計					20,045	100

⑥仙台空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	済州国際空港	CJU	韓国	済州	3,840	25.3
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	2,635	17.3
3	対馬空港	TSJ	日本	対馬	1,609	10.6
4	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,339	8.8
5	香港国際空港	HKG	中国	香港	1,153	7.6
6	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	931	6.1
7	福江空港	FUJ	日本	五島	806	5.3
8	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	659	4.3
9	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	434	2.9
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	288	1.9
...	...	...			...	...
合計					15,190	100

⑤仁川国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	4,432	30.5
2	茨城空港	IBR	日本	水戸	3,549	24.4
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	1,410	9.7
4	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	782	5.4
5	小松空港	KMQ	日本	金沢	749	5.1
6	新潟空港	KIJ	日本	新潟	656	4.5
7	那覇空港	OKA	日本	那覇	636	4.4
8	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	490	3.4
9	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	453	3.1
10	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	414	2.8
...	...	...			...	...
合計					14,574	100

⑥対馬空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	3,002	23.8
2	東京国際空港	HND	日本	東京	2,106	16.7
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	1,174	9.3
4	小松空港	KMQ	日本	金沢	1,136	9.0
5	福江空港	FUJ	日本	五島	1,045	8.3
6	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	991	7.9
7	仙台空港	SDJ	日本	仙台	828	6.6
8	成田国際空港	NRT	日本	東京	697	5.5
9	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	630	5.0
10	新潟空港	KIJ	日本	新潟	503	4.0
...	...	...			...	...
合計					12,611	100

⑦小牧空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	松山空港	MYJ	日本	松山	11,482	100.0
2	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	1	0.0
3	ウラジオストク国際空港	VVO	ロシア	ウラジオストク	1	0.0
合計					11,484	100

⑧金海国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	5,258	51.0
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	2,139	20.7
3	秋田空港	AXT	日本	秋田	740	7.2
4	新潟空港	KIJ	日本	新潟	470	4.6
5	東京国際空港	HND	日本	東京	463	4.5
6	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	223	2.2
7	函館空港	HKD	日本	函館	133	1.3
8	徳島空港	TKS	日本	徳島	104	1.0
9	福島空港	FKS	日本	福島	100	1.0
10	成田国際空港	NRT	日本	東京	99	1.0
...	...	...			...	...
合計					10,319	100

⑦仙台空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	対馬空港	TSJ	日本	対馬	1,991	15.9
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	1,874	15.0
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,748	14.0
4	出雲空港	IZO	日本	松江	1,551	12.4
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	926	7.4
6	福江空港	FUJ	日本	五島	863	6.9
7	天草空港	AXJ	日本	天草	752	6.0
8	大連周水子国際空港	DLC	中国	大連	578	4.6
9	香港国際空港	HKG	中国	香港	476	3.8
10	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	448	3.6
...	...	...			...	...
合計					12,524	100

⑧静岡空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	5,739	49.8
2	天草空港	AXJ	日本	天草	2,227	19.3
3	出雲空港	IZO	日本	松江	1,465	12.7
4	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1,025	8.9
5	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	469	4.1
6	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	132	1.1
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	122	1.1
8	対馬空港	TSJ	日本	対馬	76	0.7
9	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	67	0.6
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	55	0.5
...	...	...			...	...
合計					11,521	100

⑨対馬空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	1,257	12.3
2	東京国際空港	HND	日本	東京	994	9.7
3	新石垣空港	ISG	日本	石垣	989	9.7
4	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	973	9.5
5	福江空港	FUJ	日本	五島	916	8.9
6	小松空港	KMQ	日本	金沢	905	8.8
7	関西国際空港	KIX	日本	大阪	848	8.3
8	仙台空港	SDJ	日本	仙台	711	6.9
9	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	560	5.5
10	新潟空港	KIJ	日本	新潟	551	5.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					10,238	100

⑩中部国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	3,953	40.6
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	2,818	28.9
3	対馬空港	TSJ	日本	対馬	1,000	10.3
4	福江空港	FUJ	日本	五島	479	4.9
5	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	451	4.6
6	済州国際空港	CJU	韓国	済州	314	3.2
7	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	172	1.8
8	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	98	1.0
9	新千歳空港	CTS	日本	札幌	70	0.7
10	宮古空港	MMY	日本	宮古島	51	0.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					9,748	100

⑨台湾桃園国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	茨城空港	IBR	日本	水戸	2,297	20.9
2	静岡空港	FSZ	日本	静岡	1,774	16.1
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	1,410	12.8
4	東京国際空港	HND	日本	東京	1,317	12.0
5	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	847	7.7
6	高知空港	KCZ	日本	高知	770	7.0
7	花巻空港	HNA	日本	盛岡	654	5.9
8	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	372	3.4
9	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	344	3.1
10	新潟空港	KIJ	日本	新潟	233	2.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					10,998	100

⑩小牧空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	松山空港	MYJ	日本	松山	10,069	93.5
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	184	1.7
3	天草空港	AXJ	日本	天草	122	1.1
4	福江空港	FUJ	日本	五島	104	1.0
5	新千歳空港	CTS	日本	札幌	80	0.7
6	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	55	0.5
7	香港国際空港	HKG	中国	香港	35	0.3
8	ノイバイ国際空港	HAN	ベトナム	ハノイ	29	0.3
9	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	27	0.3
10	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	18	0.2
...	...	...	...	...	...	...
合計					10,772	100

3.3 ブリッジ

(1)2019年1月～6月

①東京国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	5,920	78.5
2	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	398	5.3
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	357	4.7
4	福江空港	FUJ	日本	五島	350	4.6
5	対馬空港	T SJ	日本	対馬	301	4.0
6	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	48	0.6
7	松山空港	MYJ	日本	松山	41	0.5
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	33	0.4
9	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	26	0.3
10	新石垣空港	ISG	日本	石垣	24	0.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					7,544	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	富山空港	TOY	日本	富山	4,371	57.9
2	函館空港	HKD	日本	函館	1,219	16.2
3	秋田空港	AXT	日本	秋田	930	12.3
4	小松空港	KMQ	日本	金沢	256	3.4
5	旭川空港	AKJ	日本	旭川	189	2.5
6	女満別空港	MMB	日本	網走	135	1.8
7	三沢空港	MSJ	日本	八戸	132	1.7
8	青森空港	AOJ	日本	青森	111	1.5
9	庄内空港	SYO	日本	酒田	53	0.7
10	新千歳空港	CTS	日本	札幌	27	0.4
...	...	...	...	...	...	...
合計					7,544	100

⑥青島流亭国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仙台空港	SDJ	日本	仙台	506	96.0
2	松山空港	MYJ	日本	松山	15	2.8
3	高知空港	KCZ	日本	高知	3	0.6
4	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	2	0.4
5	東京国際空港	HND	日本	東京	1	0.2
合計					527	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	上海虹橋国際空港	SHA	中国	上海	450	85.4
2	西安咸陽国際空港	XIY	中国	西安	68	12.9
3	蘭州中川空港	LHW	中国	蘭州	4	0.8
4	杭州蕭山国際空港	HGH	中国	杭州	3	0.6
5	ハルビン太平国際空港	HRB	中国	ハルビン	1	0.2
6	ジャムス東郊空港	JMU	中国	ジャムス	1	0.2
合計					527	100

②金海国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	4,643	99.5
2	松山空港	MYJ	日本	松山	14	0.3
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	6	0.1
4	東京国際空港	HND	日本	東京	3	0.1
合計					4,666	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	済州国際空港	CJU	韓国	済州	4,647	99.6
2	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	6	0.1
3	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	6	0.1
4	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	4	0.1
5	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	3	0.1
合計					4,666	100

⑦新千歳空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福江空港	FUJ	日本	五島	178	65.7
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	82	30.3
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	9	3.3
4	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	1	0.4
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	1	0.4
合計					271	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	稚内空港	WKJ	日本	稚内	178	65.7
2	函館空港	HKD	日本	函館	81	29.9
3	山形空港	GAJ	日本	山形	5	1.8
4	釧路空港	KUH	日本	釧路	4	1.5
5	青森空港	AOJ	日本	青森	2	0.7
6	福島空港	FKS	日本	福島	1	0.4
合計					271	100

③那覇空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	東京国際空港	HND	日本	東京	613	44.9
2	福江空港	FUJ	日本	五島	523	38.3
3	対馬空港	TSJ	日本	対馬	71	5.2
4	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	70	5.1
5	茨城空港	IBR	日本	水戸	38	2.8
6	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	24	1.8
7	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	20	1.5
8	仙台空港	SDJ	日本	仙台	7	0.5
合計					1,366	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	久米島空港	UEO	日本	久米島	638	46.7
2	新石垣空港	ISG	日本	石垣	612	44.8
3	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	58	4.2
4	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	48	3.5
5	宮古空港	MMY	日本	宮古島	5	0.4
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	4	0.3
7	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1	0.1
合計					1,366	100

⑧上海浦東国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仙台空港	SDJ	日本	仙台	79	39.1
2	松山空港	MYJ	日本	松山	42	20.8
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	23	11.4
4	花巻空港	HNA	日本	盛岡	18	8.9
5	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	10	5.0
6	東京国際空港	HND	日本	東京	6	3.0
7	新潟空港	KIJ	日本	新潟	6	3.0
8	新石垣空港	ISG	日本	石垣	4	2.0
9	新千歳空港	CTS	日本	札幌	4	2.0
10	那覇空港	OKA	日本	那覇	3	1.5
...	...	...			...	...
合計					202	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	西安咸陽国際空港	XIY	中国	西安	71	35.1
2	桂林两江国際空港	KWL	中国	桂林	20	9.9
3	廈門高崎国際空港	XMN	中国	廈門	13	6.4
4	三亜鳳凰国際空港	SYX	中国	三亜	11	5.4
5	シグラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	10	5.0
6	プエラナ国際空港	MLE	モルディブ	マレ	8	4.0
7	フフホト白塔国際空港	HET	中国	フフホト	8	4.0
8	バンクーバー国際空港	YVR	カナダ	バンクーバー	7	3.5
9	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	7	3.5
10	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	5	2.5
...	...	...			...	...
合計					202	100

④大阪国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	対馬空港	TSJ	日本	対馬	567	54.6
2	新石垣空港	ISG	日本	石垣	124	11.9
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	119	11.5
4	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	106	10.2
5	福江空港	FUJ	日本	五島	49	4.7
6	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	36	3.5
7	宮古空港	MMY	日本	宮古島	35	3.4
8	香港国際空港	HKG	中国	香港	2	0.2
合計					1,038	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福島空港	FKS	日本	福島	699	67.3
2	新潟空港	KIJ	日本	新潟	167	16.1
3	花巻空港	HNA	日本	盛岡	54	5.2
4	高知空港	KCZ	日本	高知	40	3.9
5	仙台空港	SDJ	日本	仙台	39	3.8
6	秋田空港	AXT	日本	秋田	36	3.5
7	青森空港	AOJ	日本	青森	1	0.1
8	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1	0.1
9	出雲空港	IZO	日本	松江	1	0.1
合計					1,038	100

⑨香港国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	松山空港	MYJ	日本	松山	65	41.4
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	23	14.6
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	21	13.4
4	高知空港	KCZ	日本	高知	20	12.7
5	那覇空港	OKA	日本	那覇	19	12.1
6	徳島空港	TKS	日本	徳島	3	1.9
7	成田国際空港	NRT	日本	東京	2	1.3
8	青島流亭国際空港	TAO	中国	青島	2	1.3
9	東京国際空港	HND	日本	東京	1	0.6
10	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	1	0.6
...	...	...			...	...
合計					157	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ヤンゴン国際空港	RGN	ミャンマー	ヤンゴン	30	19.1
2	O・R・タンボ国際空港	JNB	南アフリカ	ヨハネスブルグ	15	9.6
3	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	10	6.4
4	ロンドン・ガトウィック空港	LGW	イギリス	ロンドン	9	5.7
5	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	8	5.1
6	パース空港	PER	オーストラリア	パース	8	5.1
7	トリブハン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	8	5.1
8	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	5	3.2
9	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	5	3.2
10	ダブリン空港	DUB	アイルランド	ダブリン	5	3.2
...	...	...			...	...
合計					157	100

⑤仁川国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	304	32.1
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	268	28.3
3	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	85	9.0
4	新潟空港	KIJ	日本	新潟	69	7.3
5	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	50	5.3
6	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	48	5.1
7	松山空港	MYJ	日本	松山	36	3.8
8	那覇空港	OKA	日本	那覇	34	3.6
9	徳島空港	TKS	日本	徳島	13	1.4
10	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	11	1.2
...	...	...			...	...
合計					946	100

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	サイパン国際空港	SPN	北マリアナ諸島	ガランパン	402	42.5
2	長春龍嘉国際空港	CGQ	中国	長春	164	17.3
3	ナンデイ国際空港	NAN	フィジー	ナンデイ	75	7.9
4	シラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	35	3.7
5	ハルビン太平国際空港	HRB	中国	ハルビン	34	3.6
6	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	27	2.9
7	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	23	2.4
8	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	18	1.9
9	威海大水泊空港	WEH	中国	威海	15	1.6
10	アムステルダム・スキポール空港	AMS	オランダ	アムステルダム	13	1.4
...	...	...			...	...
合計					946	100

⑩ニノイ・アキノ国際空港

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	43	27.6
2	那覇空港	OKA	日本	那覇	42	26.9
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	25	16.0
4	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	21	13.5
5	小松空港	KMQ	日本	金沢	9	5.8
6	東京国際空港	HND	日本	東京	6	3.8
7	福江空港	FUJ	日本	五島	6	3.8
8	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	4	2.6
合計					156	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ポートモレスビー・ジャクソン国際空港	POM	バブアニューギニア	ポートモレスビー	51	32.7
2	シラ・ライ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	49	31.4
3	ダバオ国際空港	DVO	フィリピン	ダバオ	17	10.9
4	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	9	5.8
5	レガスピ空港	LGP	フィリピン	レガスピ	7	4.5
6	プエルト・プリンス国際空港	PPS	フィリピン	プエルト・プリンス	7	4.5
7	バコロド＝シライ国際空港	BCD	フィリピン	バコロド	5	3.2
8	サンボアンガ国際空港	ZAM	フィリピン	サンボアンガ	5	3.2
9	イロイロ国際空港	ILO	フィリピン	イロイロ	2	1.3
10	ダニエル・Z・ロマオルデス空港	TAC	フィリピン	タクロバン	2	1.3
...	...	...			...	...
合計					156	100

(2)2024年1月～6月

①東京国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	5,137	64.1
2	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	935	11.7
3	対馬空港	TSJ	日本	対馬	374	4.7
4	那覇空港	OKA	日本	那覇	305	3.8
5	福江空港	FUJ	日本	五島	298	3.7
6	天草空港	AXJ	日本	天草	225	2.8
7	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	177	2.2
8	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	159	2.0
9	屋久島空港	KUM	日本	屋久島	151	1.9
10	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	64	0.8
...	...	...	...	...	...	...
合計					8,017	100

⑥ダニエル・K・イノウエ国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	85	23.9
2	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	70	19.7
3	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	60	16.9
4	那覇空港	OKA	日本	那覇	50	14.0
5	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	48	13.5
6	香港国際空港	HKG	中国	香港	32	9.0
7	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	4	1.1
8	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	3	0.8
9	上海浦東国際空港	PVG	中国	上海	2	0.6
10	仙台空港	SDJ	日本	仙台	1	0.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					356	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	富山空港	TOY	日本	富山	3,463	43.2
2	旭川空港	AKJ	日本	旭川	1,733	21.6
3	秋田空港	AXT	日本	秋田	749	9.3
4	新千歳空港	CTS	日本	札幌	441	5.5
5	庄内空港	SYO	日本	酒田	376	4.7
6	函館空港	HKD	日本	函館	300	3.7
7	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	139	1.7
8	青森空港	AOJ	日本	青森	133	1.7
9	三沢空港	MSJ	日本	八戸	107	1.3
10	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	71	0.9
...	...	...	...	...	...	...
合計					8,017	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ハリー・リード国際空港	LAS	アメリカ	ラスベガス	85	23.9
2	サンディエゴ国際空港	SAN	アメリカ	サンディエゴ	51	14.3
3	コナ国際空港	KOA	アメリカ	カイルア・コナ	48	13.5
4	ヒロ国際空港	ITO	アメリカ	ヒロ	31	8.7
5	カフルイ空港	OGG	アメリカ	カフルイ	29	8.1
6	シアトル・タコマ国際空港	SEA	アメリカ	シアトル	24	6.7
7	リフエ空港	LIH	アメリカ	リフエ	22	6.2
8	パゴパゴ国際空港	PPG	アメリカ領サモア	パゴパゴ	17	4.8
9	ポートランド国際空港	PDX	アメリカ	ポートランド	14	3.9
10	フェニックス・スカイハーパー国際空港	PHX	アメリカ	フェニックス	9	2.5
...	...	...	...	...	...	...
合計					356	100

②那覇空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福江空港	FUJ	日本	五島	1,234	41.0
2	対馬空港	TSJ	日本	対馬	729	24.2
3	東京国際空港	HND	日本	東京	610	20.2
4	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	212	7.0
5	新潟空港	KIJ	日本	新潟	92	3.1
6	仙台空港	SDJ	日本	仙台	40	1.3
7	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	24	0.8
8	新千歳空港	CTS	日本	札幌	23	0.8
9	小松空港	KMQ	日本	金沢	22	0.7
10	茨城空港	IBR	日本	水戸	15	0.5
...	...	...			...	...
合計					3,013	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	新石垣空港	ISG	日本	石垣	2,116	70.2
2	久米島空港	UEO	日本	久米島	539	17.9
3	宮古空港	MMY	日本	宮古島	218	7.2
4	台湾桃園国際空港	TPE	台湾	台北	55	1.8
5	下地島空港	SHI	日本	宮古島	43	1.4
6	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	39	1.3
7	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	3	0.1
合計					3,013	100

⑦上海浦東国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	花巻空港	HNA	日本	盛岡	98	34.8
2	鹿児島空港	KOJ	日本	鹿児島	81	28.7
3	仙台空港	SDJ	日本	仙台	29	10.3
4	松山空港	MYJ	日本	松山	26	9.2
5	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	13	4.6
6	東京国際空港	HND	日本	東京	12	4.3
7	高知空港	KCZ	日本	高知	9	3.2
8	新千歳空港	CTS	日本	札幌	5	1.8
9	中部国際空港	NGO	日本	名古屋	5	1.8
10	屋久島空港	KUM	日本	屋久島	2	0.7
...	...	...			...	...
合計					282	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	西安咸陽国際空港	XIY	中国	西安	34	12.1
2	武漢天河国際空港	WUH	中国	武漢	26	9.2
3	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	26	9.2
4	深圳宝安国際空港	SZX	中国	深圳	24	8.5
5	重慶江北国際空港	CKG	中国	重慶	24	8.5
6	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	19	6.7
7	北京首都国際空港	PEK	中国	北京	18	6.4
8	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	13	4.6
9	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	12	4.3
10	天津浜海国際空港	TSN	中国	天津	12	4.3
...	...	...			...	...
合計					282	100

③大阪国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	対馬空港	TSJ	日本	対馬	907	69.2
2	福江空港	FUJ	日本	五島	217	16.6
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	56	4.3
4	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	44	3.4
5	天草空港	AXJ	日本	天草	31	2.4
6	那覇空港	OKA	日本	那覇	30	2.3
7	屋久島空港	KUM	日本	屋久島	23	1.8
8	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	1	0.1
9	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	1	0.1
10	ニノイ・アキノ国際空港	MNL	フィリピン	マニラ	1	0.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					1,311	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	福島空港	FKS	日本	福島	702	53.5
2	高知空港	KCZ	日本	高知	271	20.7
3	新潟空港	KIJ	日本	新潟	166	12.7
4	仙台空港	SDJ	日本	仙台	66	5.0
5	秋田空港	AXT	日本	秋田	48	3.7
6	新千歳空港	CTS	日本	札幌	35	2.7
7	青森空港	AOJ	日本	青森	14	1.1
8	花巻空港	HNA	日本	盛岡	6	0.5
9	長崎空港	NGS	日本	長崎	2	0.2
10	大分空港	OIT	日本	大分	1	0.1
...	...	...	...	...	...	...
合計					1,311	100

⑧ニノイ・アキノ国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	那覇空港	OKA	日本	那覇	107	60.5
2	東京国際空港	HND	日本	東京	38	21.5
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	8	4.5
4	新潟空港	KIJ	日本	新潟	8	4.5
5	松山空港	MYJ	日本	松山	5	2.8
6	仙台空港	SDJ	日本	仙台	3	1.7
7	出雲空港	IZO	日本	松江	3	1.7
8	福江空港	FUJ	日本	五島	1	0.6
9	グアム国際空港	GUM	アメリカ	グアム	1	0.6
10	屋久島空港	KUM	日本	屋久島	1	0.6
...	...	...	...	...	...	...
合計					177	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ポートモレスビー・ジャクソン国際空港	POM	バブアニューギニア	ポートモレスビー	32	18.1
2	シドニー・ライオンズ国際空港	DPS	インドネシア	デンパサール	25	14.1
3	マクタン・セブ国際空港	CEB	フィリピン	セブ	22	12.4
4	ダバオ国際空港	DVO	フィリピン	ダバオ	20	11.3
5	シブラン空港	DGT	フィリピン	シブラン	14	7.9
6	バコロド＝シライ国際空港	BCD	フィリピン	バコロド	13	7.3
7	ラギンデイガン国際空港	CGY	フィリピン	カガヤン・デ・オロ	13	7.3
8	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	6	3.4
9	クアラランブール国際空港	KUL	マレーシア	クアラランブール	6	3.4
10	イロイロ国際空港	ILO	フィリピン	イロイロ	4	2.3
...	...	...	...	...	...	...
合計					177	100

④金海国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	仁川国際空港	ICN	韓国	ソウル	481	72.8
2	松山空港	MYJ	日本	松山	170	25.7
3	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	6	0.9
4	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	4	0.6
合計					661	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	済州国際空港	CJU	韓国	済州	500	75.6
2	金浦国際空港	GMP	韓国	ソウル	159	24.1
3	高雄国際空港	KHH	台湾	高雄	1	0.2
4	関西国際空港	KIX	日本	大阪	1	0.2
合計					661	100

⑨香港国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	松山空港	MYJ	日本	松山	75	43.6
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	44	25.6
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	26	15.1
4	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	11	6.4
5	出雲空港	IZO	日本	松江	7	4.1
6	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	3	1.7
7	徳島空港	TKS	日本	徳島	3	1.7
8	東京国際空港	HND	日本	東京	2	1.2
9	新千歳空港	CTS	日本	札幌	1	0.6
合計					172	100

順位	目的空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	インディラ・ガンディー国際空港	DEL	インド	デリー	83	48.3
2	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	25	14.5
3	チャトラパティ・シヴァージー国際空港	BOM	インド	ムンバイ	15	8.7
4	チェンナイ国際空港	MAA	インド	チェンナイ	7	4.1
5	シャージャハル国際空港	DAC	バングラデシュ	ダッカ	7	4.1
6	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	6	3.5
7	ロンドン・ヒースロー空港	LHR	イギリス	ロンドン	5	2.9
8	クライストチャーチ国際空港	CHC	ニュージーランド	クライストチャーチ	4	2.3
9	フランクフルト空港	FRA	ドイツ	フランクフルト	4	2.3
10	ケンペゴウダ国際空港	BLR	インド	ベンガルール	4	2.3
...	...	...			...	...
合計					172	100

⑤仁川国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	金海国際空港	PUS	韓国	釜山	253	41.5
2	仙台空港	SDJ	日本	仙台	204	33.4
3	那覇空港	OKA	日本	那覇	56	9.2
4	松山空港	MYJ	日本	松山	26	4.3
5	東京国際空港	HND	日本	東京	20	3.3
6	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	20	3.3
7	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	10	1.6
8	高知空港	KCZ	日本	高知	10	1.6
9	屋久島空港	KUM	日本	屋久島	4	0.7
10	小松空港	KMQ	日本	金沢	3	0.5
...	...	...			...	...
合計					610	100

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	171	28.0
2	コタキナバル国際空港	BKI	マレーシア	コタキナバル	132	21.6
3	チンギスハーン国際空港	UBN	モンゴル	ウランバートル	38	6.2
4	台中国際空港	RMQ	台湾	台中	27	4.4
5	延吉朝陽川空港	YNJ	中国	延吉	22	3.6
6	ロサンゼルス国際空港	LAX	アメリカ	ロサンゼルス	20	3.3
7	トリブバン国際空港	KTM	ネパール	カトマンズ	17	2.8
8	スカルノ・ハッタ国際空港	CGK	インドネシア	ジャカルタ	15	2.5
9	サイパン国際空港	SPN	北マリアナ諸島	ガラパン	14	2.3
10	ヤンゴン国際空港	RGN	ミャンマー	ヤンゴン	14	2.3
...	...	...			...	...
合計					610	100

⑩台湾桃園国際空港

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	花巻空港	HNA	日本	盛岡	56	38.9
2	ダニエル・K・イノウエ国際空港	HNL	アメリカ	ホノルル	20	13.9
3	宮崎空港	KMI	日本	宮崎	19	13.2
4	松山空港	MYJ	日本	松山	13	9.0
5	大阪国際空港	ITM	日本	大阪	11	7.6
6	仙台空港	SDJ	日本	仙台	8	5.6
7	高知空港	KCZ	日本	高知	7	4.9
8	新潟空港	KIJ	日本	新潟	6	4.2
9	奄美空港	ASJ	日本	奄美	2	1.4
10	東京国際空港	HND	日本	東京	1	0.7
...	...	...			...	...
合計					144	100

順位	出発空港	空港コード	国／地域	最大母都市	旅客数(人)	割合(%)
1	シドニー国際空港	SYD	オーストラリア	シドニー	42	29.2
2	スワンナプーム空港	BKK	タイ	バンコク	29	20.1
3	シンガポール・チャンギ国際空港	SIN	シンガポール	シンガポール	23	16.0
4	ブナベン国際空港	PNH	カンボジア	プノンペン	9	6.3
5	ドンムアン空港	DMK	タイ	バンコク	7	4.9
6	メルボルン空港	MEL	オーストラリア	メルボルン	6	4.2
7	ブリスベン空港	BNE	オーストラリア	ブリスベン	5	3.5
8	タンソンニャット国際空港	SGN	ベトナム	ホーチミン	4	2.8
9	パリ＝シャルル・ド・ゴール空港	CDG	フランス	パリ	3	2.1
10	ダナン国際空港	DAD	ベトナム	ダナン	3	2.1
...	...	...			...	...
合計					144	100

3 大都市圏を後背地とする拠点空港の競争と役割分担の分析

2025 年 6 月

制作発行 公益財団法人 中部圏社会経済研究所

担当：企画調査部 主任研究員 長谷 祐



公益財団法人

中部圏社会経済研究所

Chubu Region Institute for Social and Economic Research

〒460-0008

名古屋市中区栄4丁目14番2号 久屋パークビル3階

TEL: 052-212-8790 FAX: 052-212-8782

<http://www.criser.jp>